
久喜市

栗橋宿本陣跡 I

首都圏氾濫区域堤防強化対策における
埋蔵文化財発掘調査報告
(第2分冊)

2019

国土交通省 関東地方整備局
公益財団法人 埼玉県埋蔵文化財調査事業団

目 次

(第1分冊)

巻頭図版

序

例言

凡例

目次

I 発掘調査の概要	1
1. 発掘調査に至る経過	1
2. 発掘調査・報告書作成の経過	2
(1) 発掘調査	2
(2) 整理・報告書の作成	2
3. 発掘調査・報告書作成の組織	3
II 遺跡の立地と環境	5
1. 地理的環境	5
2. 歴史的環境	6
III 遺跡の概要	13
IV 栗橋宿本陣跡の遺構と遺物	25
1. 第一面の遺構と遺物	25
(1) 建物跡	25
(2) 基礎状遺構	51
(3) 瓦敷遺構	80
(4) 埋設桶	80
(5) 埋設甕	107
(6) 井戸跡	108
(7) 杭列	115
(8) 木樋	120
(9) 竹樋	131
(10) 溝跡	131
(11) 焼土遺構	136
(12) 土壌	138
(13) 第652号土壌周囲の焼土範囲・撒き銭	272
(14) 性格不明遺構	272
(15) ビット	275
(16) グリッド出土遺物	275

(第2分冊)

2. 第二面の遺構と遺物	287
(1) 建物跡	287
(2) 基礎状遺構	287
(3) 埋設桶	290
(4) 井戸跡	297
(5) 溝跡	307
(6) 柵列跡	309
(7) 土壌	309
(8) ビット	409
(9) グリッド出土遺物	409
3. 文字資料	417
4. 出土遺物一覧と遺構の時期	419
V 自然科学分析	457
1. 放射性炭素年代測定	457
2. 埋設桶材質の樹種同定	460
3. 大型植物遺体	461
4. 動物遺体	468
5. 埋設桶内面付着物の分析	470
6. 埋設桶の寄生虫卵分析	472
7. 第4次調査出土木製品の樹種同定	475
8. 木製品の樹種同定	481
9. 出土布片の同定	483
10. 綿の同定	485
11. 紙片の同定	487
VI 調査のまとめ	489
写真図版	

插图目录

(第2分册)

第237图	第604号建物跡(1)・出土遺物	288	第271图	土壙(12)	325
第238图	第604号建物跡(2)	289	第272图	土壙(13)	326
第239图	第313・314・317号基礎狀遺構	289	第273图	土壙(14)	327
第240图	基礎狀遺構出土遺物	290	第274图	土壙(15)	328
第241图	埋設桶(1)	291	第275图	土壙(16)	329
第242图	埋設桶(2)	292	第276图	土壙出土遺物(1)	330
第243图	埋設桶(3)	293	第277图	土壙出土遺物(2)	331
第244图	埋設桶出土遺物(1)	294	第278图	土壙出土遺物(3)	332
第245图	埋設桶出土遺物(2)	295	第279图	土壙出土遺物(4)	333
第246图	埋設桶出土遺物(3)	296	第280图	土壙出土遺物(5)	334
第247图	埋設桶出土遺物(4)	296	第281图	土壙出土遺物(6)	335
第248图	埋設桶出土遺物(5)	297	第282图	土壙出土遺物(7)	336
第249图	井戸跡(1)	299	第283图	土壙出土遺物(8)	337
第250图	井戸跡(2)	300	第284图	土壙出土遺物(9)	338
第251图	井戸跡(3)	301	第285图	土壙出土遺物(10)	339
第252图	井戸跡(4)	302	第286图	土壙出土遺物(11)	340
第253图	井戸跡出土遺物(1)	303	第287图	土壙出土遺物(12)	341
第254图	井戸跡出土遺物(2)	304	第288图	土壙出土遺物(13)	342
第255图	井戸跡出土遺物(3)	305	第289图	土壙出土遺物(14)	343
第256图	井戸跡出土遺物(4)	306	第290图	土壙出土遺物(15)	344
第257图	第302号溝跡	307	第291图	土壙出土遺物(16)	345
第258图	溝跡出土遺物	308	第292图	土壙出土遺物(17)	346
第259图	柵列跡・出土遺物	310	第293图	土壙出土遺物(18)	347
第260图	土壙(1)	314	第294图	土壙出土遺物(19)	348
第261图	土壙(2)	315	第295图	土壙出土遺物(20)	349
第262图	土壙(3)	316	第296图	土壙出土遺物(21)	350
第263图	土壙(4)	317	第297图	土壙出土遺物(22)	351
第264图	土壙(5)	318	第298图	土壙出土遺物(23)	352
第265图	土壙(6)	319	第299图	土壙出土遺物(24)	353
第266图	土壙(7)	320	第300图	土壙出土遺物(25)	354
第267图	土壙(8)	321	第301图	土壙出土遺物(26)	355
第268图	土壙(9)	322	第302图	土壙出土遺物(27)	356
第269图	土壙(10)	323	第303图	土壙出土遺物(28)	357
第270图	土壙(11)	324	第304图	土壙出土遺物(29)	358

第305図	土壌出土遺物 (30)	359	第341図	瓦総重量別遺構分布図	427
第306図	土壌出土遺物 (31)	360	第342図	ウィグルマッチング結果	458
第307図	土壌出土遺物 (32)	376	第343図	年代測定を行った木材と年輪計測結果	459
第308図	土壌出土遺物 (33)	377	第344図	栗橋宿本陣跡出土木製品の光学顕微鏡 写真	461
第309図	土壌出土遺物 (34)	378	第345図	栗橋宿本陣跡から出土した大型植物遺 体 (1)	461
第310図	土壌出土遺物 (35)	379	第346図	栗橋宿本陣跡から出土した大型植物遺 体 (2)	466
第311図	土壌出土遺物 (36)	381	第347図	栗橋宿本陣跡から出土した大型植物遺 体 (3)	467
第312図	土壌出土遺物 (37)	382	第348図	栗橋宿本陣跡出土の動物遺体	469
第313図	土壌出土遺物 (38)	383	第349図	第313号埋設桶内面付着膠着物の詳細 と元素マッピング図	471
第314図	土壌出土遺物 (39)	384	第350図	栗橋宿本陣跡 (第325号埋設桶) にお ける花粉分布図	473
第315図	土壌出土遺物 (40)	385	第351図	埋設桶における花粉分布図	474
第316図	土壌出土遺物 (41)	386	第352図	第325号埋設桶 7 層から産出した寄生 虫卵と花粉化石	474
第317図	土壌出土遺物 (42)	387	第353図	第311号井戸跡から産出した寄生虫卵	475
第318図	土壌出土遺物 (43)	388	第354図	栗橋宿本陣跡第 4 次出土木製品の光学 顕微鏡写真 (1)	478
第319図	土壌出土遺物 (44)	389	第355図	栗橋宿本陣跡第 4 次出土木製品の光学 顕微鏡写真 (2)	479
第320図	土壌出土遺物 (45)	390	第356図	栗橋宿本陣跡第 4 次出土木製品の光学 顕微鏡写真 (3)	480
第321図	土壌出土遺物 (46)	391	第357図	栗橋宿本陣跡出土の布片の試料写真と 走査型電子顕微鏡写真	485
第322図	土壌出土遺物 (47)	392	第358図	栗橋宿本陣跡第 4 次出土の綿の試料写 真と走査型電子顕微鏡写真	486
第323図	土壌出土遺物 (48)	393	第359図	栗橋宿本陣跡第 4 次出土の紙片の試料 写真と走査型電子顕微鏡写真	488
第324図	土壌出土遺物 (49)	394	第360図	絵図と調査区の対比案	490
第325図	土壌出土遺物 (50)	395	第361図	火災処理に係る土壌の分布	491
第326図	土壌出土遺物 (51)	399			
第327図	土壌出土遺物 (52)	400			
第328図	土壌出土遺物 (53)	401			
第329図	土壌出土遺物 (54)	404			
第330図	土壌出土遺物 (55)	405			
第331図	土壌出土遺物 (56)	406			
第332図	土壌出土遺物 (57)	407			
第333図	土壌出土遺物 (58)	409			
第334図	ビット・出土遺物	409			
第335図	グリッド出土遺物 (1)	410			
第336図	グリッド出土遺物 (2)	411			
第337図	グリッド出土遺物 (3)	413			
第338図	グリッド出土遺物 (4)	414			
第339図	グリッド出土遺物 (5)	415			
第340図	グリッド出土遺物 (6)	416			

表目次

(第2分冊)

第64表	建物跡出土遺物観察表	290	第93表	第二面瓦計測表	424
第65表	基礎状遺構出土遺物観察表	290	第94表	出土遺物一覧表	428
第66表	第二面埋設桶一覧表	293	第95表	出土貝類一覧表	445
第67表	埋設桶出土遺物観察表(1)	295	第96表	遺構時期推定一覧表	446
第68表	埋設桶出土遺物観察表(2)	296	第97表	第一面主要土壌出土遺物組成表	452
第69表	埋設桶出土遺物観察表(3)	297	第98表	第二面主要土壌出土遺物組成表	454
第70表	埋設桶出土遺物観察表(4)	297	第99表	ウィグルマッティング測定試料および処理	457
第71表	第二面井戸跡一覧表	297	第100表	放射性炭素年代測定、暦年較正、ウィグルマッティングの結果	458
第72表	井戸跡出土遺物観察表(1)	305	第101表	樹種同定結果	460
第73表	井戸跡出土遺物観察表(2)	307	第102表	大型植物遺体同定結果	463
第74表	溝跡出土遺物観察表	309	第103表	栗橋宿本陣跡で出土した大型植物遺体	466
第75表	柵列跡出土遺物観察表	310	第104表	ウメ核・モモ核の計測値	466
第76表	第二面土壌一覧表	312	第105表	分類群一覧	469
第77表	土壌出土遺物観察表(1)	360	第106表	栗橋宿本陣跡出土の動物遺体一覧	469
第78表	土壌出土遺物観察表(2)	376	第107表	分析試料とその詳細	470
第79表	土壌出土遺物観察表(3)	380	第108表	桶内面付着物の蛍光X線分析結果	470
第80表	土壌出土遺物観察表(4)	395	第109表	黒色針状の結晶質物のEDS分析結果	471
第81表	土壌出土遺物観察表(5)	402	第110表	分析試料一覧	472
第82表	土壌出土遺物観察表(6)	404	第111表	寄生虫卵分析に用いた試料の計量値と寄生虫卵数	473
第83表	土壌出土遺物観察表(7)	408	第112表	器種別の樹種組成	476
第84表	土壌出土遺物観察表(8)	409	第113表	樹種同定結果一覧	477
第85表	第二面ピット一覧表	409	第114表	樹種同定結果一覧	482
第86表	ピット出土遺物観察表	409	第115表	分析試料と同定結果	484
第87表	グリッド出土遺物観察表(1)	412			
第88表	グリッド出土遺物観察表(2)	413			
第89表	グリッド出土遺物観察表(3)	416			
第90表	グリッド出土遺物観察表(4)	416			
第91表	文字資料釈文	417			
第92表	第一面瓦計測表	419			

写真図版目次

巻頭図版 1	1	第301号土壇ほかい出土の被熱した陶磁器 (1)	8	第302号建物跡ビット 8
	2	第301号土壇ほかい出土の被熱した陶磁器 (2)	図版 7	1
巻頭図版 2	1	出土した瓦類	2	第302号建物跡ビット 10
	2	出土した玩具類	3	第303・304・305号建物跡遠景
			4	第303号建物跡
			5	第304号建物跡
			6	第305号建物跡検出状況
図版 1	1	遺跡全景 (北東から)	7	第305・308号建物跡
	2	遺跡遠景と日光街道 (北から)	8	第306・307 a・b 号建物跡
	3	遺跡遠景 (西から)	図版 8	1
	4	遺跡遠景 (北から)	2	第306号建物跡ビット 1 断面
	5	遺跡遠景 (南から)	3	第306号建物跡ビット 1
図版 2	1	調査区全景 (第1次調査)	4	第306号建物跡ビット 2 断面
	2	調査区全景 (第2次調査)	5	第306号建物跡ビット 2
	3	調査区全景 (第3次調査)	6	第307 a 号建物跡
	4	調査区全景 (第4次調査)	7	第307 a 号建物跡北側基礎
	5	第一面調査区全景 (S B301周辺)	8	第307 a 号建物跡ビット 1 断面
	6~8	第一面調査区全景 (1) ~ (3)	図版 9	1
図版 3	1・2	第一面調査区全景 (4) (5)	2	第307 a 号建物跡ビット 2 断面
	3~8	第二面調査区全景 (1) ~ (7)	3	第307 a 号建物跡ビット 2
図版 4	1	第301号建物跡検出状況	4	第307 a 号建物跡ビット 3
	2	第301号建物跡	5	第307 a 号建物跡ビット 3 断面
図版 5	1	第301号建物跡基礎北側断面	6	第307 b 号建物跡ビット 1 検出状況
	2	第301号建物跡基礎南側断面	7	第307 b 号建物跡ビット 1 断面
	3	第301号建物跡南側基礎墨打ちの線	8	第307 b 号建物跡ビット 1
	4	第301号建物跡北東隅基礎	図版 10	1
	5	第301号建物跡北西隅基礎下段	2	第307 b 号建物跡ビット 2 検出状況
	6・7	第301号建物跡南東隅基礎下段	3	第307 b 号建物跡ビット 2 断面
図版 6	1	第301号建物跡西縁基礎下段	4	第307 b 号建物跡ビット 2
	2	第301・302号建物跡	5	第307 b 号建物跡ビット 3 断面
	3	第302号建物跡ビット 5・6	6	第307 b 号建物跡ビット 3
	4	第302号建物跡ビット 2	7	第307 b 号建物跡ビット 4 検出状況
	5	第302号建物跡ビット 4	8	第307 b 号建物跡ビット 4 断面
	6	第302号建物跡ビット 6	図版 11	1
	7	第302号建物跡ビット 7	2	第307 b 号建物跡北側基礎西断面

	3	第307号建物跡北側基礎下面		7	第305号埋設桶
	4	第309号建物跡		8	第306・309号埋設桶
	5	第310号建物跡検出状況	図版16	1	第306号埋設桶
図版12	1	第310・311号建物跡		2	第307号埋設桶断面
	2	第309号建物跡南西隅遺物出土状況		3	第308号埋設桶遺物出土状況
	3	第312号建物跡		4	第310号埋設桶
	4	第314号建物跡		5	第311・312号埋設桶
	5	第314号建物跡基礎断面(1)		6	第312号埋設桶遺物出土状況(1)
図版13	1	第314号建物跡基礎断面(2)		7	第312号埋設桶遺物出土状況(2)
	2	第601号建物跡		8	第313号埋設桶
	3	第601号建物跡西側断面(1)	図版17	1	第313号埋設桶側面
	4	第601号建物跡西側断面(2)		2	第314号埋設桶
	5	第602号建物跡検出状況		3	第315号埋設桶
	6	第602号建物跡基礎下段		4	第316・317号埋設桶
	7	第602号建物跡		5	第317号埋設桶
	8	第602号建物跡南西隅基礎		6	第316号埋設桶・第370号土壌
図版14	1	第604号建物跡		7	第316号埋設桶
	2	第604号建物跡ピット3		8	第321号埋設桶遺物出土状況
	3	第604号建物跡ピット6	図版18	1	第323号埋設桶遺物出土状況
	4	第604号建物跡ピット5		2	第323号埋設桶
	5	第604号建物跡ピット10		3	第323号埋設桶下面遺物出土状況
	6	第604号建物跡ピット11		4	第323号埋設桶下面
	7	第303号基礎状遺構		5	第323号埋設桶側面
	8	第304号基礎状遺構		6	第325号埋設桶断面
	9	第305号基礎状遺構		7	第325号埋設桶
	10	第306号基礎状遺構		8	第326号埋設桶断面
	11	第307号基礎状遺構	図版19	1	第326号埋設桶
	12	第308号基礎状遺構		2	第326号埋設桶櫛出土状況
	13	第309号基礎状遺構		3	第601号埋設桶
	14	第311号基礎状遺構		4	第602号埋設桶断面
	15	第317号基礎状遺構		5	第602号埋設桶
図版15	1	第301号埋設桶		6	第603・604号埋設桶
	2	第302・303号埋設桶		7	第603号埋設桶側面
	3	第304号埋設桶遺物出土状況(1)		8	第605号埋設桶遺物出土状況
	4	第304号埋設桶遺物出土状況(2)	図版20	1	第605号埋設桶
	5	第304号埋設桶		2	第603・604・606号埋設桶
	6	第305号埋設桶遺物出土状況		3	第607号埋設桶

	4	第608号埋設桶断面	図版25	1	第628号埋設桶
	5	第608号埋設桶側面		2	第630号埋設桶
	6	第608号埋設桶遺物出土状況		3	第631号埋設桶
	7	第608号埋設桶		4	第629・632号埋設桶
	8	第609・610号埋設桶検出状況		5	第632号埋設桶側面
図版21	1	第609号埋設桶検出状況		6	第634号埋設桶
	2	第610号埋設桶検出状況		7	第635号埋設桶
	3	第611号埋設桶断面		8	第601号埋設甕
	4	第611号埋設桶遺物出土状況（1）	図版26	1	第302号井戸跡
	5	第611号埋設桶遺物出土状況（2）		2	第306号井戸跡断面
	6	第611号埋設桶側板・杭検出状況		3	第306号井戸跡給水筒
	7	第613号埋設桶		4	第308号井戸跡
	8	第658号土壇内埋設桶		5	第308号井戸跡側板
図版22	1	第617号埋設桶断面		6	第309号井戸跡
	2	第617号埋設桶		7	第309号井戸跡側板
	3	第618号埋設桶		8	第309号井戸跡底面
	4	第619号埋設桶	図版27	1	第309号井戸跡底面構造
	5	第619号埋設桶側面		2	第310・313号井戸跡掘力検出状況
	6	第621号埋設桶と周辺		3	第310号井戸跡側板
	7	第622号埋設桶断面		4	第310号井戸跡基礎上面
	8	第622号埋設桶		5	第310号井戸跡基礎下面
図版23	1	第622号埋設桶		6	第310号井戸跡基礎最下部
	2	第622号埋設桶タガ遺存状況		7	第303号井戸跡断面
	3	第327号埋設桶検出状況		8	第303号井戸跡
	4	第327号埋設桶	図版28	1	第304号井戸跡断面
	5	第328号埋設桶		2	第304号井戸跡・第427号土壇
	6	第329号埋設桶		3	第305号井戸跡上段側面
	7	第330号埋設桶		4	第305号井戸跡下段側面
	8	第331号埋設桶		5	第305号井戸跡基礎
図版24	1	第332号埋設桶		6	第305号井戸跡基礎最下部
	2	第333号埋設桶		7	第307号井戸跡上段側面
	3	第624号埋設桶		8	第307号井戸跡下段側面
	4	第625号埋設桶	図版29	1	第301号杭列・第301号溝跡
	5	第625号埋設桶タガ遺存状況		2	第301号木桶
	6	第626・627号埋設桶		3・4	第303号木桶
	7	第627号埋設桶		5	第302号木桶
	8	第628号埋設桶遺物出土状況	図版30	1	第601・603号木桶

図版31	2	第602号木樋	12	第370号土塀	
	3	第601号竹樋	13	第377号土塀	
	4	第601号竹樋結合部	14	第378号土塀	
	5	第302号溝跡	15	第382号土塀	
	6	第601・602号溝跡	図版33	1	第387号土塀
	7	第308号杭列		2	第389号土塀
	8	第603・604号溝跡		3	第391号土塀遺物出土状況
	9	第604号溝跡遺物出土状況		4	第395・396号土塀
	1	第301号焼土遺構		5	第395号土塀漆桶出土状況
	2	第302号焼土遺構		6	第399号土塀
	3	第601号焼土遺構		7	第408・411号土塀遺物出土状況
	4	第603号焼土遺構		8	第408・411号土塀
	5	第604号焼土遺構		9	第410号土塀
	6	第301・302号土塀断面（1）		10	第416号土塀底面木質検出状況
	7	第301・302号土塀断面（2）		11	第416号土塀
	8	第302・303号土塀遺物出土状況		12	第419号土塀遺物出土状況
	9	第303号土塀		13	第421号土塀
	10	第308号土塀		14	第423号土塀遺物出土状況（1）
11	第310号土塀断面	15		第423号土塀遺物出土状況（2）	
12	第310号土塀	図版34	1	第423号土塀遺物出土状況（3）	
13	第311号土塀断面		2	第429号土塀遺物出土状況（1）	
14	第311号土塀		3	第429号土塀遺物出土状況（2）	
15	第312・313号土塀		4	第429号土塀漆器出土状況	
16	第314号土塀断面		5	第429号土塀木札出土状況	
17	第314・318号土塀		6	第441号土塀	
18	第339号土塀遺物出土状況		7	第445号土塀	
図版32	1		第349号土塀遺物出土状況	8	第449号土塀遺物出土状況
	2		第353号土塀遺物出土状況	9	第457号土塀
	3		第357号土塀	10	第461号土塀遺物出土状況
	4		第358号土塀	11	第465号土塀
	5		第361号土塀断面	12	第466号土塀遺物出土状況
	6		第361号土塀	13	第469号土塀遺物出土状況（1）
	7		第362号土塀断面	14	第469号土塀遺物出土状況（2）
	8		第363号土塀断面	15	第469号土塀遺物出土状況（3）
	9		第362・363号土塀	16	第472号土塀
	10		第369・370号土塀	17	第475・476号土塀
	11		第370号土塀魚骨出土状況	18	第475号土塀灰出土状況（1）

図版35	1 第475号土坑出土状況 (2)	2 第681号土坑
	2 第477号土坑	3 第689・690号土坑遺物出土状況
	3 第477号土坑漆器出土状況	4 第689・690号土坑
	4 第477号土坑木棺出土状況	5 第689号土坑遺物出土状況
	5 第478号土坑	6 第690号土坑木棺出土状況
	6 第478号土坑遺物出土状況	7 第695号土坑
	7 第481・482号土坑	8 第695号土坑木製品出土状況
	8 第489号土坑	9 第696号土坑遺物出土状況
	9 第492～495号土坑	10 第696・694号土坑
	10 第497号土坑断面	11 第699号土坑桶のタガ出土状況
	11 第501号土坑	12 第700号土坑煙管出土状況
	12 第501号土坑土止め状況	13 第700号土坑
	13 第503～505号土坑	14 第700号土坑木製品出土状況
	14 第509号土坑	15 第702号土坑
	15 第601～604号土坑断面	16 第703～705号土坑
	16 第606号土坑断面	17 第710号土坑
	17 第606号土坑	18 第711号土坑遺物出土状況
	18 第620号土坑遺物出土状況	図版38 1 第716号土坑
図版36	1 第620号土坑	2 第718号土坑
	2 第621・634・637・641号土坑	3 第721号土坑粘土検出土状況
	3 第648号土坑・第601号杭列	4 第721号土坑断面 (1)
	4 第652号土坑	5 第721号土坑断面 (2)
	5 第652号土坑北部隅木舞検出土状況	6 第721号土坑炭・石検出土状況
	6 第654号土坑	7 第721号土坑
	7 第654号土坑遺物出土状況 (1)	8 第727～729号土坑
	8 第654号土坑遺物出土状況 (2)	9 第727・729号土坑漆碗出土状況
	9 第655号土坑遺物出土状況	10 第728号土坑漆碗出土状況
	10 第661・668号土坑	11 第729号土坑遺物出土状況
	11 第667号土坑	12 第729号土坑編み物出土状況
	12 第677号土坑	13 第745号土坑
	13 第677号土坑遺物出土状況	14 第750号土坑
	14 第677号土坑木棺出土状況	15 第750号土坑樹皮除去後
	15 第678～680号土坑	16 第755・757号土坑
	16 第678号土坑漆器出土状況	17 第755号土坑遺物出土状況
	17 第678号土坑遺物出土状況	18 第757号土坑遺物出土状況
	18 第678号土坑上部木材出土状況	図版39 1～12 第301号建物跡出土遺物
図版37	1 第678号土坑下部木材出土状況	図版40 1～3 第302号建物跡出土遺物

	4 第303号建物跡出土遺物	図版48	1・2・5・6 第601号木樋出土遺物
	5・6 第305号建物跡出土遺物		3 第602号木樋出土遺物
	7 第306号建物跡出土遺物		4・7 第301号溝跡出土遺物
	8~15 第307a号建物跡出土遺物		8 第601号溝跡出土遺物
図版41	1 第307a号建物跡出土遺物		9 第602号溝跡出土遺物
	2~3 第307b号建物跡出土遺物		10 第602号焼土遺構出土遺物
	4~6 第309号建物跡出土遺物		11・14 第312号土壇出土遺物
	7・8 第310号建物跡出土遺物		12 第311号土壇出土遺物
	9~11 第314号建物跡出土遺物		13・15 第301号土壇出土遺物
図版42	1 第313号建物跡出土遺物	図版49	1・2・5~13 第301号土壇出土遺物
	2~15 第314号建物跡出土遺物		3・4 第311号土壇出土遺物
図版43	1~3 第601号建物跡出土遺物	図版50	1・5・8・9・11~13
	4 第314号建物跡出土遺物		第312号土壇出土遺物
	5~8 第601号建物跡出土遺物		2・14 第301・311号土壇出土遺物
図版44	1~15 第601号建物跡出土遺物		3・4・6・7 第301号土壇出土遺物
図版45	1~5 第601号建物跡出土遺物		10 第311号土壇出土遺物
	6~11 第602号建物跡出土遺物	図版51	1・2・5 第301号土壇出土遺物
	12 第605号建物跡出土遺物		3 第301・308・311号土壇出土遺物
	13・14 第311号基礎状遺構出土遺物		4 第308号土壇出土遺物
	15 第301号瓦敷遺構出土遺物	図版52	1 第301・308号土壇出土遺物
図版46	1・2 第301号埋設桶出土遺物		2・5~10 第301号土壇出土遺物
	3 第308号埋設桶出土遺物		3 第312号土壇出土遺物
	4 第323号埋設桶出土遺物		4 第311号土壇出土遺物
	5・6 第604号埋設桶出土遺物	図版53	1・2・4~8 第301号土壇出土遺物
	7 第606号埋設桶出土遺物		3 第312号土壇出土遺物
	8 第608号埋設桶出土遺物	図版54	1・13・16 第311号土壇出土遺物
	9 第611号埋設桶出土遺物		2 第312号土壇出土遺物
	10・11 第619号埋設桶出土遺物		3・4・8・14・15
	12 第622号埋設桶出土遺物		第301号土壇出土遺物
	13 第306号井戸跡出土遺物		5 第308・312号土壇出土遺物
	14・15 第308号井戸跡出土遺物		6 第308・311号土壇出土遺物
図版47	1 第309号井戸跡出土遺物		7 第311・312号土壇出土遺物
	2 第310号井戸跡出土遺物		9 第301・311号土壇出土遺物
	3 第304号杭列出土遺物		10~12 第308号土壇出土遺物
	4・5 第308号杭列出土遺物	図版55	1 第308・311号土壇出土遺物
	6~8 第601号杭列出土遺物		2 第311号土壇出土遺物
	9~14 第601号木樋出土遺物		3・6~8・10・11・14

	第301号土壇出土遺物		12~14 第377号土壇出土遺物
	4・5・13・15 第308号土壇出土遺物	図版62	1・2 第377号土壇出土遺物
	9 第301・308号土壇出土遺物		3・5・6 第382号土壇出土遺物
	12 第312号土壇出土遺物		4 第378号土壇出土遺物
図版56	1~10 第301号土壇出土遺物		7 第383号土壇出土遺物
図版57	1~5 第301号土壇出土遺物		8・9 第388号土壇出土遺物
	6 第301・307号土壇出土遺物		10 第438号土壇出土遺物
	7~9 第308号土壇出土遺物		11 第440号土壇出土遺物
図版58	1・4・7・8 第301号土壇出土遺物		12 第442号土壇出土遺物
	2 第312号土壇出土遺物		13 第441号土壇出土遺物
	3 第308号土壇出土遺物	図版63	1~4 第442号土壇出土遺物
	5 第301・311・312号土壇出土遺物		5~7 第443号土壇出土遺物
	6・9 第311号土壇出土遺物		8~11 第445号土壇出土遺物
図版59	1 第311号土壇出土遺物		12・14・15 第450号土壇出土遺物
	2・4・5 第301号土壇出土遺物		13 第446号土壇出土遺物
	3 第308号土壇出土遺物	図版64	1 第450号土壇出土遺物
	6 第308・311号土壇出土遺物		2・3 第510号土壇出土遺物
	7 第311号土壇出土遺物		4・5 第511号土壇出土遺物
	8~10 第302号土壇出土遺物		6 第602号土壇出土遺物
図版60	1 第302号土壇出土遺物		7 第603号土壇出土遺物
	2 第303号土壇出土遺物		8~13 第605号土壇出土遺物
	3・4 第314号土壇出土遺物	図版65	1~4 第605号土壇出土遺物
	5・6 第335号土壇出土遺物		5 第610号土壇出土遺物
	7 第336号土壇出土遺物		6~9 第611号土壇出土遺物
	8 第338号土壇出土遺物		10 第612号土壇出土遺物
	9 第339号土壇出土遺物		11 第613号土壇出土遺物
	10 第340号土壇出土遺物		12・13 第618号土壇出土遺物
	11~14 第341号土壇出土遺物		14 第620号土壇出土遺物
図版61	1・2 第343号土壇出土遺物		15 第626号土壇出土遺物
	3 第348号土壇出土遺物	図版66	1 第624号土壇出土遺物
	4・6 第353号土壇出土遺物		2 第627号土壇出土遺物
	5 第357号土壇出土遺物		3・4 第634号土壇出土遺物
	7 第361号土壇出土遺物		5 第640号土壇出土遺物
	8 第363号土壇出土遺物		6 第654号土壇集合
	9 第370号土壇出土遺物		7~9 第654号土壇出土遺物
	10 第376号土壇出土遺物	図版67	1~8 第654号土壇出土遺物
	11 第371号土壇出土遺物	図版68	1~10・12・13 第654号土壇出土遺物

	11 第654号土城集合	15 第421号土城出土遺物
図版69	1～14 第654号土城出土遺物	16 第423号土城出土遺物
図版70	1 第655号土城出土遺物	図版80 1 第423号土城出土遺物
	2・3 第660号土城出土遺物	2・3 第429号土城出土遺物
	4・5 第661号土城出土遺物	4～6 第430号土城出土遺物
	6・7・9 第666号土城出土遺物	7 第431号土城出土遺物
	8・11～13 第668号土城出土遺物	8 第453号土城出土遺物
	10 第667号土城出土遺物	9 第456号土城出土遺物
	14・15 第671号土城出土遺物	10 第457号土城集合
図版71	1～16 第一面グリッド出土遺物	図版81 1～7 第457号土城出土遺物
図版72	1～15 第一面グリッド出土遺物	8～10 第458号土城出土遺物
図版73	1～19 第一面文字資料 (陶磁器)	11～14 第461号土城出土遺物
図版74	1～13 第一面文字資料 (陶磁器)	図版82 1・2 第461号土城出土遺物
図版75	1～15 第一面文字資料 (陶磁器)	3・4 第463号土城出土遺物
図版76	1～19 第一面文字資料 (陶磁器)	5～7 第465号土城出土遺物
図版77	1 第604号建物跡出土遺物	8～14 第466号土城出土遺物
	2 第330号埋設桶出土遺物	15 第468号土城出土遺物
	3 第625号埋設桶出土遺物	図版83 1～3 第469号土城出土遺物
	4 第627号埋設桶出土遺物	4～6 第472号土城出土遺物
	5～10 第628号埋設桶出土遺物	7～10 第473号土城出土遺物
	11～14 第307号井戸跡出土遺物	11 第474号土城出土遺物
図版78	1・2 第307号井戸跡出土遺物	12・13 第475号土城出土遺物
	3～6 第312号井戸跡出土遺物	14～16 第477号土城出土遺物
	7 第302号溝跡出土遺物	図版84 1 第477号土城集合
	8～10 第302号柵列出土遺物	2～10 第477号土城出土遺物
	11・12 第389号土城出土遺物	図版85 1～9 第477号土城出土遺物
	13 第391号土城出土遺物	10・11 第478号土城出土遺物
	14 第399号土城出土遺物	12 第480号土城出土遺物
	15 第400号土城出土遺物	13・14 第482号土城出土遺物
図版79	1 第401号土城出土遺物	15 第486号土城出土遺物
	2・3 第405号土城出土遺物	図版86 1～5 第495号土城出土遺物
	4・5 第409号土城出土遺物	6～10 第497号土城出土遺物
	6 第411号土城出土遺物	11・12 第498号土城出土遺物
	7・8 第415号土城出土遺物	13 第501号土城出土遺物
	9～11 第417号土城出土遺物	14 第502号土城出土遺物
	12 第419号土城出土遺物	15 第505号土城出土遺物
	13・14 第420号土城出土遺物	図版87 1・2 第505号土城出土遺物

	3	第506号土壇出土遺物
	4～6	第508号土壇出土遺物
	7～12	第509号土壇出土遺物
	13～17	第677号土壇出土遺物
図版88	1	第678号土壇集合
	2～6	第678号土壇出土遺物
	7・8	第679号土壇出土遺物
	9～13	第681号土壇出土遺物
図版89	1・2	第689号土壇出土遺物
	3～7	第695号土壇出土遺物
	8	第699号土壇出土遺物
	9～11	第700号土壇出土遺物
	12～14	第702号土壇出土遺物
図版90	1	第702号土壇集合
	2～11	第702号土壇出土遺物
	12	第704号土壇出土遺物
図版91	1・2	第704号土壇出土遺物
	3	第705号土壇出土遺物
	4	第709号土壇出土遺物
	5	第711号土壇出土遺物
	6	第716号土壇出土遺物
	7・8	第717号土壇出土遺物
	9～12	第725号土壇出土遺物
	13・14	第726号土壇出土遺物
図版92	1・2	第726号土壇出土遺物
	3	第727号土壇出土遺物
	4	第728号土壇出土遺物
	5	第751号土壇出土遺物
	6	第731号土壇出土遺物
	7	第738号土壇出土遺物
	8	第739号土壇出土遺物
	9	第743号土壇出土遺物
	10～13	第744号土壇出土遺物
	14	第748号土壇出土遺物
	15	第750号土壇出土遺物
	16	第753号土壇出土遺物
図版93	1～11	第755号土壇出土遺物

	12～15	第二面グリッド出土遺物
図版94	1～3	第二面グリッド出土遺物
	4～18	第二面文字資料（陶磁器）
図版95	1	第305号建物跡出土遺物
	2	第602号建物跡出土遺物
	3	第601号杭列出土遺物
	4	第308号杭列出土遺物
	5	第601号杭列出土遺物
	6・7	第602号木樋出土遺物
	8	第445号土壇出土遺物
	9	第601号土壇出土遺物
	10	第602号土壇出土遺物
	11	第611号土壇出土遺物
	12	第613号土壇出土遺物
	13	第631号土壇出土遺物
	14	第632号土壇出土遺物
	15	第657号土壇出土遺物
	16	第667号土壇出土遺物
	17	第304号土壇出土遺物
	18・19	第358号土壇出土遺物
	20	第445号土壇出土遺物
図版96	1	第602号土壇出土遺物
	2	第605号土壇出土遺物
	3	第606号土壇出土遺物
	4	第613号土壇出土遺物
	5	第617号土壇出土遺物
	6	第623号土壇出土遺物
	7・8	第650号土壇出土遺物
	9	第660号土壇出土遺物
	10	第667号土壇出土遺物
	11	第671号土壇出土遺物
	12～19	第一面グリッド
図版97	1	ミニチュア蓋
	2	泥面子
	3	土製品小壺
	4・5	第305号井戸跡出土遺物
	6	第302号溝跡出土遺物

	7	第429号土壙出土遺物		15	第695号土壙出土遺物
	8	第466号土壙出土遺物		16	第696号土壙出土遺物
	9	第677号土壙出土遺物		17	第702号土壙出土遺物
	10	第696号土壙出土遺物		18	第328号埋設桶出土遺物
	11	第697号土壙出土遺物	図版101	1	第303号建物跡出土遺物
	12	第702号土壙出土遺物		2	第310号建物跡出土遺物
	13	第710号土壙出土遺物		3	第313号建物跡出土遺物
	14	第718号土壙出土遺物		4	第314号建物跡出土遺物
	15	第730号土壙出土遺物		5	第326号埋設桶出土遺物
	16・17	第二面グリッド出土遺物		6	第604号埋設桶出土遺物
図版98	1	第302号建物跡		7	第611号埋設桶出土遺物
	2・3	第308号井戸跡出土遺物		8～12	第621号埋設桶出土遺物
	4・5	第301号土壙出土遺物		13	第310号井戸跡出土遺物
	6・7	第307号土壙出土遺物		14	第601号杭列出土遺物
	8・9	第308号土壙出土遺物		15	第603号溝跡出土遺物
	10・11	第312号土壙出土遺物	図版102	1・2	第345号土壙出土遺物
	12～16	第314号土壙出土遺物		3～5	第353号土壙出土遺物
	17	第345号土壙出土遺物		6	第360号土壙出土遺物
	18	第321号土壙出土遺物		7～10	第382号土壙出土遺物
	19	第362号土壙出土遺物		11・12	第387号土壙出土遺物
図版99	1～3	第382号土壙出土遺物		13	第442号土壙出土遺物
	4	第443号土壙出土遺物		14	第445号土壙出土遺物
	5	第603号土壙出土遺物	図版103	1	第450号土壙出土遺物
	6・7	第649号土壙出土遺物		2・3・5・6	第605号土壙出土遺物
	8・10	第655号土壙出土遺物		4	第632号土壙出土遺物
	9	第654号土壙出土遺物		7	第641号土壙出土遺物
	11	第420号土壙出土遺物		8・9	第642号土壙出土遺物
	12	第425号土壙出土遺物		10・11・13	第668号土壙出土遺物
	13	第429号土壙出土遺物		12	第654号土壙出土遺物
	14～18	第461号土壙出土遺物		14	第601号性格不明遺構出土遺物
図版100	1	第468号土壙出土遺物	図版104	1	第601号性格不明遺構出土遺物
	2	第476号土壙出土遺物		2	第一面グリッド出土遺物
	3・4	第477号土壙出土遺物		3	第307号井戸跡出土遺物
	5	第495号土壙出土遺物		4	第389号土壙出土遺物
	6～11	第497号土壙出土遺物		5	第394号土壙出土遺物
	12	第505号土壙出土遺物		6・7	第419号土壙出土遺物
	13・14	第678号土壙出土遺物		8	第421号土壙出土遺物

	9～11	第423号土城出土遺物	5	第323号埋設桶出土遺物
	12～15	第429号土城出土遺物	6	第505号土城出土遺物
図版105	1～5	第429号土城出土遺物	7	第314号建物跡出土遺物
	6	第455号土城出土遺物	8	第一面グリッド出土遺物
	7	第457号土城出土遺物	9	第326号埋設桶出土遺物
	8	第465号土城出土遺物	10	第311号土城出土遺物
	9	第466号土城出土遺物	図版111	1 角閃石デイスサイト製磨石
	10・11	第469号土城出土遺物		2・3 第一面石製品(1)・(2)
	12・13	第473号土城出土遺物	4	第302号建物跡出土遺物
	14・15	第476号土城出土遺物	5	第311号基礎状遺構出土遺物
図版106	1～4・6	第477号土城出土遺物	6	第611号埋設桶出土遺物
	5	第478号土城出土遺物	7	第301号土城出土遺物
	7	第497号土城出土遺物	図版112	1 第308号土城出土遺物
	8	第498号土城出土遺物	2	第311・312号土城出土遺物
	9	第676号土城出土遺物	3	第314号土城出土遺物
	10・11・13	第677号土城出土遺物	4	第339号土城出土遺物
	12・14・15	第678号土城出土遺物	5	第362号土城出土遺物
図版107	1	第678号土城出土遺物	6	第652号土城出土遺物
	2	第681号土城出土遺物	7・8	第一面土城砥石(1)・(2)
	3～8	第689号土城出土遺物	9	第一面土城硯
	9	第695号土城出土遺物	図版113	1 第一面土城火打石ほか
	10	第696号土城出土遺物	2	第二面土城砥石(1)
	11	第729号土城出土遺物	3	第二面土城砥石(2)
	12	第700号土城出土遺物	4・5	第一面グリッド出土遺物
	13	第726号土城出土遺物	6・7	第466号土城出土遺物
	14	第753号土城出土遺物	図版114	1 第二面グリッド出土遺物
図版108	1・2	第一面金属製品(1)・(2)	2	第二面土城硯・火打石
図版109	1・2	第一・二面金属製品	3	瓦転用品・土鍾
		(1)・(2)	4	第729号土城出土遺物
	3	第312号土城出土遺物	5	硝子製・骨角製髪飾り類
	4	第360号土城出土遺物	図版115	1 第628号埋設桶出土魚骨
	5	第383号土城出土遺物	2	第370号土城出土魚骨
	6	第442号土城出土遺物	3	第387号土城出土具柄杓
図版110	1	第一・二面金属製品(3)	4	第603号土城出土炭化米
	2	第301号土城出土遺物	5	第368号土城出土漆濾殻
	3	第469号土城出土遺物	6	第301号土城繊維製品
	4	第602号建物跡出土遺物	7～10	第362号土城繊維製品

図版116 1・3・4 第497号土壙織維製品

2・5～13

第497号土壙文字資料（炭化文書）

図版117 文字資料（木製品）

図版118 文字資料（木製品）

2. 第二面の遺構と遺物

第二面から検出された遺構は、建物跡1棟・基礎状遺構3基・埋設桶18基・井戸跡7基・溝跡1条・柵列跡2条・土塼182基・ピット2基である。

遺構の主体は土塼であり、建物跡等の建築遺構は少なく、杭列、木樋等の区画施設も明確には認められなかった。遺構の中には、あきらかに第二面検出面より上層から掘り込まれたと考えられるものもあったが、便宜上、第二面の遺構として報告する。

(1) 建物跡

建物跡は1棟のみ検出された。遺構図は第237・238図にまとめた。第一面と比較して検出された建物跡が少なく、しかも、布掘りや壺掘りの基礎を伴う建物跡では無い。第一面とは建物構造が大きく異なると考えられる。この差異は土蔵建物の普及と関連するものであろう。

第604号建物跡 (第237・238図)

C6-J8、D6-A8・9グリッドに位置する。基礎の規模は桁行9.47m、梁行4.54m、主軸方位はN-74°-Eである。

平面形は長方形で、12箇所の小穴が検出されている。小穴は深さ0.20m前後と浅いが、7箇所の小穴に礎や木材が検出された。従って、ぐり石上に大型の玉石を礎石のように載せ、土台をわたす構造の建物であった可能性がある。その場合、小穴は柱穴では無く、礎石の据え付け穴と捉えられる。なお、建物範囲の南部に第721号土塼が検出された。焼土や被熱が認められなかったが、平面形態から焼土遺構と類似する土塼である。長軸方向等から建物跡との関連も考え得るが、積極的に証明することはできなかった。

出土遺物は第237図1・2に陶器を示す。1は黒色味の強い鉄釉が掛けられる。煙硝播に類似するが、内面は施釉され、口縁部のみ釉剥ぎされる。2は瀬戸美濃系陶器の播鉢である。

(2) 基礎状遺構

建物の一部を構成する地業跡と考えられるが、周囲の遺構との関連が把握し難かった遺構が3基検出された。これらを基礎状遺構として示す。

第313・314号基礎状遺構 (第239図)

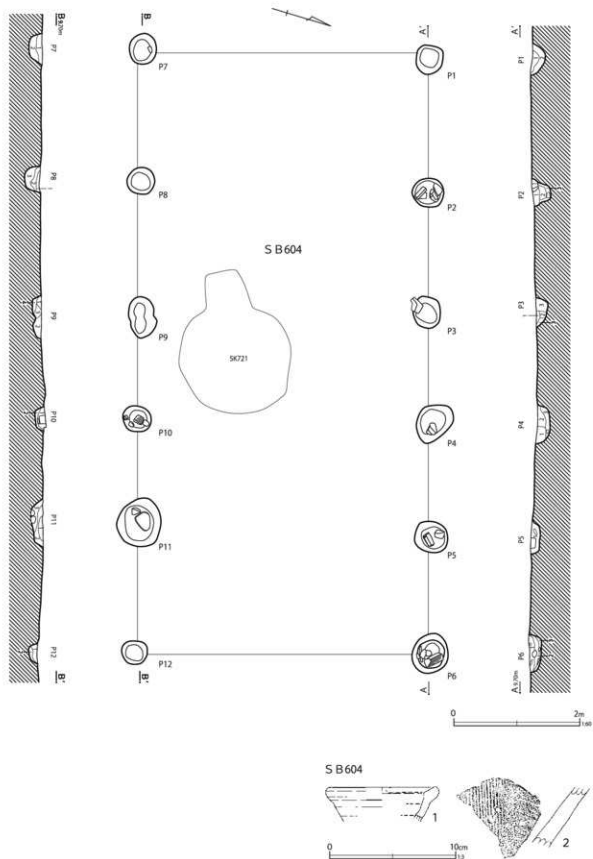
C6-H6・7グリッドに位置し、いずれも北側は調査時のトレンチによる攪乱で失っていた。

各基礎の規模は、第313号基礎状遺構が長軸1.65m以上、短軸0.78m、深さ0.12m、主軸方位はN-18°-W、第314号基礎状遺構が、長軸0.62m以上、短軸0.97m、深さ0.14m、長軸方位はN-23°-Wである。

覆土は、いずれもしまった褐色砂である。攪乱より南側の延長を確認できないこと、遺存する深度が浅いことから、上部を大きく削平されている可能性が高い。2基が平行に並ぶことから、第二面確認面より上部で構築された建物基礎の最下部が遺存した可能性も考えられる。2基の基礎の中心軸の間隔は、約3.8mである。遺物は出土しなかった。

第317号基礎状遺構 (第239図)

C6-H6、I6グリッドに位置し、西側が調査区外に延びる。規模は長軸3.36m以上、短軸3.25m、深さ0.28m、主軸方位はN-73°-Eである。平面形は南東が鉤の字状に欠ける長方形で、掘り込み内の全体を砂で固めている。下層の北側では角礫・瓦片・小礫が多く含まれている。底面は凹凸があり不安定である。調査時は建物跡(第315号建物跡)として認識されており、単独で小型の建物の基礎を成す可能性もあるが、全体構造が把握し難いため基礎状遺構として扱う。出土遺物は第240図1～3が陶磁器で、2は外面青磁釉が施された肥前系磁器の筒形碗である。18世紀後半までの様相を示す。4は木製品下駄、5は石製品で、角閃石デイスサイトの小礫が擦られたものである。上面に刃ならし状の傷が認められる。



第 237 图 第 604 号建物跡 (1)・出土遺物

第604号建物跡

ビット1

- 1 黄灰色土 黒褐色土ブロック(φ2~4cm)・酸化鉄粒(φ1cm程)少量
白色軽石粒(φ1mm)微量 しまり強

2 暗灰色土

- 混入物をほとんど含まない しまり・粘性弱

ビット2

- 1 黄灰色土 暗褐色土ブロック(φ5cm程)・黒褐色土ブロック(φ5cm程)

- 少量 軽石(φ2cm)・白色軽石粒(φ1mm)少量 一部酸化

2 暗灰色土

- しまり極めて強

3 黄灰色土

- 焼土粒(φ1cm)少量 混入物の少ない層 しまり強 粘性弱

ビット3

- 1 黄灰色土 白色軽石粒(φ5mm)少量 しまり強

2 暗灰色土

- 灰色シルトブロック(φ2~3cm)少量 (柱痕とみられる)

3 灰色シルト

- 炭化物(φ2~3cm)多量 しまり強

ビット4

- 1 黄灰色土 暗灰色シルトブロック(φ3~5cm)・黄褐色砂ブロック(φ3~5cm)少量 しまり極めて強

2 暗灰色土

- 暗灰色シルトブロック(φ3~5cm)少量 しまり強

3 暗灰色土

- 灰色シルトブロック(φ2~3cm)・砂少量 しまりあり 粘性弱

ビット5

- 1 黄灰色土 砂含む 黒褐色土ブロック(φ3cm前後)少量 しまり強 粘性弱

ビット6

- 1 黄灰色土 黒褐色土ブロック(φ3~6cm)含む しまり強 粘性弱

2 黒褐色土

- 木材少量 しまり強 粘性あり

3 黄灰色土

- 砂少量 しまりあり

ビット7

- 1 灰褐色土 灰色粘土ブロック(φ1~2cm)多量 白色軽石粒(φ1mm)・

- 酸化鉄粒(φ1mm)少量 しまり極めて強

2 暗灰色土

- 灰色粘土ブロック(φ3~5cm)混入 しまり強 粘性弱

ビット8

- 1 灰褐色土 炭化物(φ2~3mm)微量 しまり極めて強 粘性弱

2 暗灰色土

- しまり強 粘性なし

ビット9

- 1 暗黄灰色土 しまりあり 粘性弱

- 2 黄褐色砂質土と黄灰色土の混合層 白色軽石粒(φ5mm)含む (柱の抜き

- 取り痕か) しまりあり 粘性弱

3 黄灰色土

- 炭化物(φ2cm)・灰色シルト粒(φ1cm)・白色軽石粒(φ5mm)

- 少量 砂を少し混じえる しまり・粘性弱

4 黄褐色砂質土

- 全体に酸化 最下層は特に炭分沈着して硬化 しまり弱

ビット10

- 1 灰褐色土 黒褐色土ブロック(φ3~4cm)少量 砂含む しまりあり

2 暗灰色土

- 粘性弱

3 暗灰色土

- やや多く黄褐色砂を含む しまり強

ビット11

- 1 黄褐色砂 灰色土ブロック(φ3~4cm)多量 しまり弱

2 灰色砂と黄褐色土ブロック(φ5cm程)の混在層

- しまりあり

3 灰色砂

- 黄褐色土ブロック(φ2cm)少量 しまりなし

ビット12

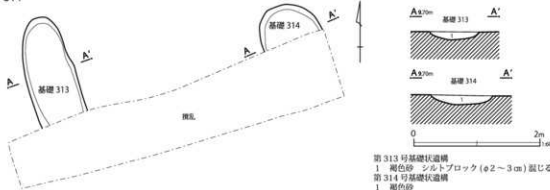
- 1 黄灰色砂 暗灰色シルトブロック(φ3~4cm)少量 しまりなし

2 黄灰色砂

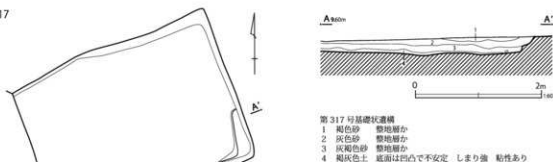
- 暗灰色シルト粒(φ5mm)少量 しまりなし

第238図 第604号建物跡(2)

基礎 313・314

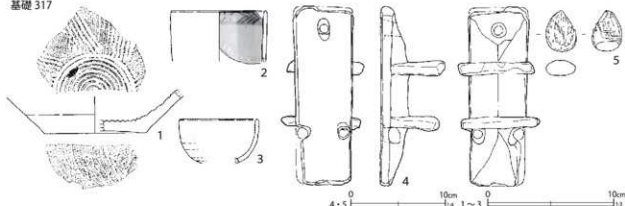


基礎 317



第239図 第313・314・317号基礎状遺構

基礎 317



第 240 図 基礎状遺構出土遺物

第 64 表 建物跡出土遺物観察表 (第 237 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
1	陶器	鉢	(8.6)	[2.7]	—	—	15	良好	灰白	SB604	瀬戸美濃系 鉄軸 口唇部欠き取り	77-1
2	陶器	播鉢	—	[4.6]	—	EIK	—	普通	にぶい黄橙	SB604	瀬戸美濃系 鉄軸 内面播目	

第 65 表 基礎状遺構出土遺物観察表 (第 240 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
1	陶器	播鉢	—	[2.9]	(8.0)	IK	40	良好	浅黄橙	基礎 317	瀬戸美濃系 底部糸切痕 (右) 柿軸 播目	
2	磁器	碗	(7.6)	[4.0]	—	—	25	良好	白	基礎 317	肥前系 飯軸 (外面青磁軸) 内面染付	
3	磁器	坏	(6.0)	[3.5]	—	D	20	良好	灰白	基礎 317	瀬戸美濃系 灰軸	
4	木製品	下駄	長 18.8 幅 6.3 高 6.7					—	—	基礎 317	除却下駄	
5	石製品	磨石	長 4.3 幅 3.2 厚 1.6 重 9.6					—	—	基礎 317	角閃石デイスサイト製 両面磨面有 裏面刃物傷か	111-1

(3) 埋設桶

埋設桶は18基が検出された。第一面で検出された埋設桶に比較して、大型のものが多く、銭貨等の出土量も少ない傾向がある。

位置、規模等の基本的な情報は第66表にまとめた。

第328号埋設桶 (第241図)

C 6-G 4 グリッドに位置し、桶のタガのみ遺存していた。掘方径が138cmと大きく、井戸跡の可能性はあるが、地山土の崩落が激しく明確にし得なかった。第244図4に示した肥前系磁器の小広東碗が出土している。第246図2は軒棧瓦、第247図1～6は鉄釘である。

第329号埋設桶 (第241図)

C 6-G 5 グリッドに位置し、タガ2本が遺存していた。土層は人為埋土で底面は灰黄色粘土が堆積する。遺物は陶磁器2片、瓦5片のみであ

る。

第330号埋設桶 (第241図)

C 6-H 5 グリッドに位置し、桶底とタガのみを残すが、いずれも腐食していた。掘方内には径3～7cmの小石が多く含まれていた。遺物は掘方に帰属するものと考えられ、中国産磁器皿 (第244図7) や鉄製品吊り金具 (第247図7) が出土している。

第625号埋設桶 (第242図)

C 6-J 7 グリッドに位置し、径82cm以上の桶を埋め込む。側板上部はほぼ失われていたが、下部のタガは比較的良く残っていた。覆土には木片や漆器椀 (第246図3) が含まれる。第244図11は文字が染付された肥前系の粗製磁器碗で、「板屋」銘と考えられる。

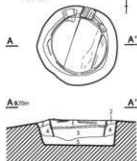
第626・627号埋設桶 (第242図)

C 6-J 7 グリッドから重複して検出された2

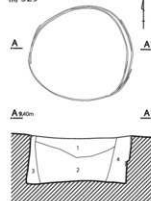
桶 327
(上部)



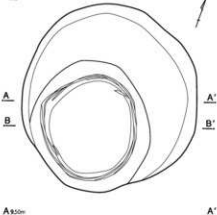
(下部)



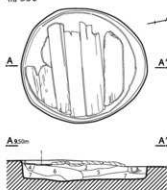
桶 329



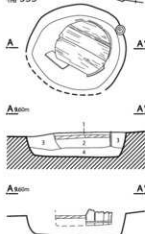
桶 328



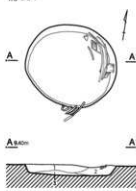
桶 330



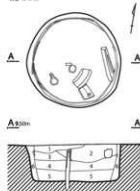
桶 333



桶 331



桶 332



第 327 号埋設桶

- 1 暗褐色土 底直上の層 粘性なし
- 2 暗灰色土 粘性なし (縦方)
- 3 暗黄褐色土 良く固められている しまり強 粘性なし
- 4 暗灰色土 若干砂混入 しまり強 (縦方)
- 5 灰黒色粘土 しまり強 粘性あり (縦方)

第 328 号埋設桶

- 1 暗褐色土 炭化物 (φ5~8 mm) 多く含む しまり強
- 2 黒褐色土 焼土 (φ8~15 mm) 多量 しまり弱
- 3 灰黄褐色土 炭化物 (φ3~5 mm)・焼土 (φ3~8 mm) 多量 しまり強
- 4 暗灰色土 炭化物 (φ3~10 mm) 多量 焼土 (φ3~8 mm) 微量 桶内の土 しまり強 やや粘性あり
- 5 灰黒色土 灰色粘土混じる 桶内の土 しまり強 やや粘性あり
- 6 灰褐色砂 焼土 (φ3~5 mm) 微量 桶内の土
- 7 暗褐色土 炭化物 (φ5~8 mm) 多量 しまり強
- 8 暗灰色砂

第 329 号埋設桶

- 1 暗黄褐色土 粘性なし
- 2 灰黒色土 粘性弱
- 3 黒灰色粘土 粘性弱
- 4 灰黄褐色土 粘性あり

第 330 号埋設桶

- 1 灰褐色土 炭化物 (φ2~3 mm) 微量 桶底直上の上部は削平 しまりあり
- 2 暗灰色土 灰色粘土少量 炭化物 (φ2~3 mm) 微量 (縦方)
- 3 褐色土 フカフカの印象の土 桶の腐った破片が多く混入 (縦方)
- 4 黄褐色砂 ブロック状に混入 (縦方)
- 5 灰黒色土 炭化物 (φ3~5 mm) 微量 しまり強 (縦方)
- 6 灰黄褐色土 シルト多量 (縦方)
- 7 灰褐色土 炭化物 (φ3~5 mm) 微量 粘性弱 (縦方)

第 331 号埋設桶

- 1 灰黒色土 しまり強 粘性弱
- 2 灰黄褐色土 しまり強 粘性なし
- 3 黄褐色土 鉄分多量 しまり強 粘性なし

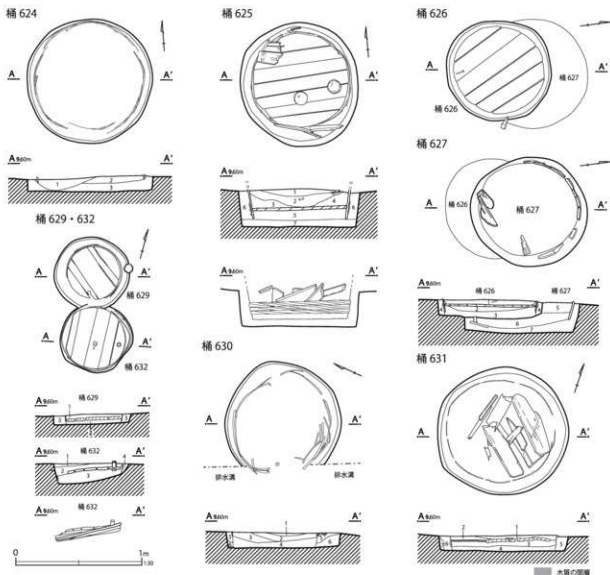
第 332 号埋設桶

- 1 黒灰色土 炭化物 (φ3~5 mm) 微量 しまり強
- 2 暗褐色土 マンガン含む しまり強
- 3 暗灰色土 しまり強
- 4 黒褐色土 やわらかい土 炭化物 (φ5~8 mm) 多量 粘性弱
- 5 黒灰色土 桶下の土か (底板は残っていない) しまり強 粘性弱
- 6 灰褐色土 砂分多量 しまり強 (縦方)

第 333 号埋設桶

- 1 暗褐色土 桶底上に約 1 cm の埋積のみ 北側は傾斜も欠失
- 2 黄灰色土 桶直下の層 しまり強 粘性弱
- 3 暗灰色土
- 4 灰黒色砂 黄褐色粘土混入 しまり強

第 241 図 埋設桶 (1)



第624号埋設箱

- 1 暗灰色土 砂質 褐色粒子(マンガンカ)多量 粘性なし
- 2 灰黒色土 砂質 炭化物(φ5~8mm)含む 粘性なし
- 3 灰黄色土 砂質 粘性なし

第625号埋設箱

- 1 暗灰色土 炭化物(φ3~5mm)多量 しまり強 粘性あり
- 2 灰黒色土 砂少量 木片・漆屑等出土 しまり強 粘性なし
- 3 灰黒色土 比較的やわらかい土 しまり強 粘性弱
- 4 灰褐色砂 砂の堆積 桶底直上の堆積 桶底上面より陶器片出土
- 5 灰褐色砂 桶底直下に若干の鉄分堆積 陶器片出土
- 6 灰褐色砂 炭化物(φ5~8mm)・木片少量 粘性のある土の塊(φ2~3cm)混入 (掘方)

7 灰黄色砂

水分多し (掘方)

第626号埋設箱

- 1 暗褐色土 炭化物(φ3~5mm)微量 砂多量 漆屑の小破片混入 しまり強 粘性なし
- 2 暗灰色砂 約9割が砂 炭化物(φ3~5mm)少量 桶底の下
- 3 褐色土 砂をはとんど混じえない 炭化物(φ8~15mm)多量 桶底の下 粘性あり

4 暗黄褐色土

腐食木片少量 しまり強 粘性弱 (掘方)

第627号埋設箱

- 1 暗褐色土 砂混入 しまり強 粘性なし
- 2 灰黄色土 木質破片多量
- 3 灰黄色砂 下部の層 (掘方)

第629号埋設箱

- 1 灰褐色土 砂分多し 炭化物(φ2~5mm)微量 しまり強
- 2 褐色砂 桶下の層
- 3 灰黄色砂 (掘方)

第630号埋設箱

- 1 暗灰色土 しまり強 粘性なし
- 2 暗灰色土 炭化物(φ3~8mm)多量 タガが破る しまり強 粘性なし
- 3 灰褐色土 砂多量 タガが破る
- 4 暗褐色土 砂多量 炭化物(φ2~3mm)少量 桶直下の層か
- 5 暗褐色土 木が腐ったものをわずかに含む しまり強 粘性なし (掘方)
- 6 暗褐色土 約7割強が砂 しまり強 粘性なし (掘方)

第631号埋設箱

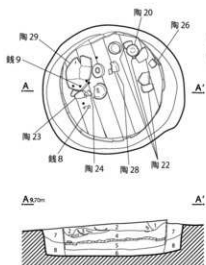
- 1 暗褐色土 焼土(φ0.3~1cm)・炭化物(φ約2cm)含む しまり強
- 2 暗褐色土 炭化物(φ5~8mm)含む 2層と3層の間に木質層が見られる (桶底の腐ったものか) しまり強
- 3 暗褐色土 桶下の層 腐った木質混じる しまり強 粘性弱
- 4 暗褐色土 砂多量 しまり強
- 5 暗黄褐色土 鉄分含む ガリガリした土 しまり強 (掘方)
- 6 暗褐色土 焼土若干混入 すぐ隣のSK705の影響か (掘方)
- 7 灰褐色土 他の粒子をはとんど含まない しまり強 粘性あり (掘方)

第632号埋設箱

- 1 暗褐色土 炭化物(φ2~5mm)混入 しまり強
- 2 灰黄色土 灰色粘土が腐状に混入 しまり強
- 3 暗褐色土 腐爛された桶底直下の層
- 4 暗褐色土 タガの周囲の土 しまり強 粘性あり (掘方)

第242図 埋設箱(2)

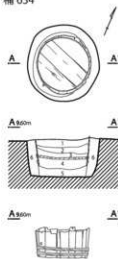
桶 628



第 628 号埋設桶

- 1 褐色土 底面に木片が入る 陶器類の出土多し しまり強 粘性なし
- 2 暗褐色土 底面に木片が入る 陶器類の出土多し しまり強 粘性なし
- 3 暗褐色土 木片等は置けない しまり強 粘性あり
- 4 暗褐色土 炭化物 (φ2~3mm) 微量 上部に陶器多量 上部より古銅・サメの歯出土・桶底直上よりサメの歯出土 しまり強 粘性あり
- 5 灰黒色土 桶底直下の層 砂多量 粘性なし
- 6 灰褐色土 砂層 炭化物 (φ3~5mm) 微量 (掘方)
- 7 灰褐色土 粘質の土約 7 割、残りは砂質土 しまり強 粘性あり (掘方)
- 8 灰褐色土 砂層 炭化物少量 (掘方)

桶 634



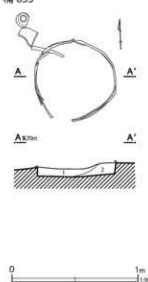
第 634 号埋設桶

- 1 灰褐色土 炭化物 (φ2~3mm) 微量 しまり強 粘性なし
- 2 褐色土 砂多量 しまり強 粘性なし
- 3 暗褐色土 炭化物 (φ3~5mm)・炭化物粘土少量 しまり強 粘性なし
- 4 灰褐色土 桶底直下の層 炭化物 (φ2~3mm) 混入 しまり強 粘性あり
- 5 暗褐色土 炭化物 (φ2~3mm) 微量 粘性あり (掘方)
- 6 灰褐色土 炭化物 (φ3~5mm) 多量 炭化砂多量 しまり強 (掘方)

第 635 号埋設桶

- 1 灰褐色土 砂質 粘性なし
- 2 灰褐色土 炭化物 (φ1~3mm) 微量 粘性弱

桶 635



第 243 図 埋設桶 (3)

基の埋設桶で、第626号埋設桶が新しい。上部は遺存しないが、第626号埋設桶の底板はつなぎの竹釘とともに良好に残っていた。第244図15~19に第626号埋設桶から出土した陶磁器を示す。

第628号埋設桶 (第243図)

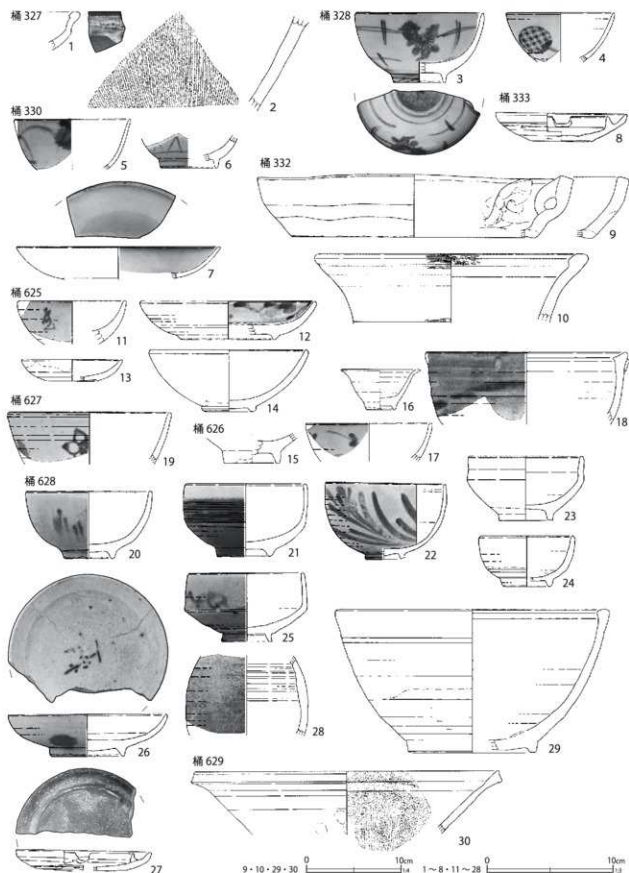
C6-J7グリッドから検出された。上部は削平を受けていた。遺存した桶内の堆積土は若干の

木片を交え、多くの陶磁器等が含まれていた。底板直下の層をはじめ、掘方の土層にはかなり砂を含んでいた。

第244図20~29が出土した陶磁器で、ほぼ18世紀中葉~後葉の様相を示す。27の瀬戸美濃系陶器灯明皿は、受部の接合痕が確認される。軸調も紫色味を帯び白い小班が入るもので、通常の柿

第 66 表 第二面埋設桶一覧表 単位: m

番号	グリッド	外径	高さ	内径	深さ	掘方径	深さ	備考
327	C6-F6	0.47	0.14	0.43	0.05	0.63	0.20	底板遺存 上部損壊
328	C6-G4	0.70	—	—	—	1.38	[0.49]	崩落激しく調査中止 井戸跡の可能性あり タガ遺存
329	C6-G5	0.78	—	—	—	—	0.38	タガ2本のみ遺存
330	C6-H5	0.87	—	—	—	0.99	0.16	桶底・タガ遺存 貫水通室1 (新)
331	C6-G5	—	—	—	—	0.72	0.09	桶最下部のタガのみ遺存
332	C6-G6, H6	0.64	—	—	—	0.74	0.28	一面杭列 302の杭が数本打ち込まれる
333	C6-J7	—	0.12	0.43	0.02	0.79	0.19	タガのみ遺存
624	C6-J7	0.85	—	—	—	0.99	0.10	タガのみ遺存
625	C6-J7	0.82	0.24	0.77	0.15	0.93	0.28	桶底・タガ遺存
626	C6-J7	0.75	0.09	0.72	0.04	0.83	0.14	桶627より新 底板遺存・銅板下部とタガは痕跡的
627	C6-J7	—	0.15	—	—	0.91	0.22	桶626より古 底板遺存無し
628	C6-J7	0.83	0.19	0.80	0.14	1.13	0.24	銭貨2 (図示) 寄生虫卵未検出 (自然科学分析参照)
629	D6-A8	0.44	0.05	0.42	0.03	0.60	0.09	桶底と最下部のタガのみ遺存
630	D6-A7/8	0.75	—	—	—	0.93	0.12	タガのみ遺存
631	D6-A8	0.85	0.7	0.82	0.03	1.04	0.12	銅板とタガの一部遺存 桶内の板は底板か否か不明
632	D6-A8	0.52	—	0.48	—	—	0.16	底板に栓あり・蓋転用とみられる
634	D6-B8	0.43	0.24	0.40	0.14	0.57	0.30	寄生虫卵未検出・イネ科花粉多い (自然科学分析参照)
635	D6-B9	0.61	—	—	—	—	0.10	



第244図 埋設桶出土遺物(1)

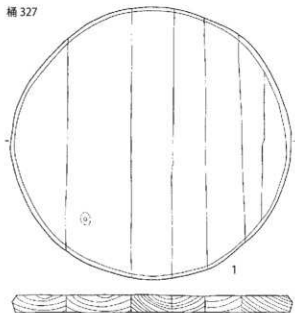


第245図 埋設桶出土遺物（2）

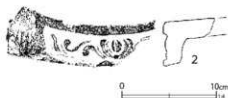
第67表 埋設桶出土遺物観察表（1）（第244・245図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
1	陶器	鉢	—	[3.0]	—	IK	5	良好	褐灰	桶327 屈方 肥前系 外面刷毛目軸		
2	陶器	擂鉢	—	[7.4]	—	E	5	良好	赤	桶327 屈方 堺明石系 内面擂目		
3	磁器	碗	(10.0)	5.5	(4.0)	—	45	良好	白	桶328 肥前系 施軸 外面染付 弱く被熱		
4	磁器	碗	(8.4)	[3.9]	—	—	20	良好	白	桶328 肥前系 施軸 外面染付		
5	磁器	碗	(9.2)	[4.0]	—	—	15	良好	白	桶330 肥前系 施軸 外面染付		
6	磁器	碗	—	[2.6]	(4.4)	K	20	良好	灰白	桶330 肥前系 施軸 外面染付		
7	磁器	皿	(16.2)	[2.5]	—	—	15	良好	白	桶330 中国景德鎮窯系 施軸 内面染付 被熱	77-2	
8	陶器	灯明皿	10.3	2.2	4.8	E	95	良好	灰白	桶333 瀬戸美濃系 柿軸 外面煤付着		
9	土師質土器	焙烙	(33.4)	6.6	(25.8)	ADHK	20	普通	褐灰	桶332 屈方 外面煤付着		
10	瓦質土器	火鉢	(27.2)	[7.2]	—	AIK	25	普通	にぶい橙	桶332 口縁部ミガイ 内外面焼す		
11	磁器	碗	(8.4)	[3.4]	—	K	35	普通	灰白	桶625 肥前系 施軸 外面染付「屈」粗製 被熱	77-3	
12	磁器	皿	(13.8)	3.0	(7.3)	IK	30	良好	灰白	桶625 肥前系 施軸 内面染付 被熱		
13	陶器	灯明皿	(7.8)	1.7	(4.0)	IK	40	良好	灰白	桶625 屈方内 瀬戸美濃系 灰軸		
14	陶器	碗	(12.4)	4.9	4.1	I	40	良好	灰白	桶625 瀬戸美濃系 灰軸 被熱		
15	磁器	碗	—	[2.4]	(4.4)	—	30	良好	灰白	桶626 屈方 肥前系 青磁軸		
16	磁器	坏	(6.4)	3.2	2.2	—	75	良好	灰白	桶626 肥前系 施軸 弱く被熱		
17	磁器	碗	(9.8)	[3.0]	—	IK	5	良好	灰白	桶626 屈方 肥前系 施軸 外面染付 被熱		
18	陶器	片口鉢	(15.8)	[5.7]	—	IK	15	良好	灰白	桶626 屈方 瀬戸美濃系 灰軸 外面縁軸流掛		
19	磁器	碗	(12.8)	[4.1]	—	—	25	良好	灰白	桶627 肥前系 施軸 外面染付	77-4	
20	陶器	碗	9.8	5.3	3.8	K	95	良好	褐灰	桶628 瀬戸美濃系 施軸 外面貞須絵 被熱	77-5	
21	陶器	碗	9.4	5.7	4.3	IK	90	良好	灰白	桶628 瀬戸美濃系 灰・鉄軸部分 高台登付砂付着		
22	陶器	碗	9.4	6.0	3.0	I	95	良好	灰白	桶628 京都信実系 施軸 外面色絵	77-7	
23	陶器	碗	9.0	5.1	4.2	—	65	良好	浅黄橙	桶628 京都信実系 施軸	77-6	
24	陶器	碗	(7.2)	4.0	(3.6)	IK	25	良好	灰白	桶628 瀬戸美濃系 灰軸		
25	陶器	碗	8.9	5.4	4.0	EK	95	良好	灰白	桶628 瀬戸美濃系 灰軸 外面貞須絵・鉄絵	77-8	
26	陶器	皿	12.4	3.3	5.6	K	70	良好	灰白	桶628 瀬戸美濃系 灰軸 内面摺絵 外面鉄軸の斑1ヶ所		
27	陶器	灯明皿	(10.4)	1.6	(4.2)	DE	45	良好	浅黄	桶628 瀬戸美濃系 鉄軸 外面重焼痕 受部貼付	77-9	
28	陶器	德利	—	[6.3]	—	DI	35	良好	灰白	桶628 瀬戸美濃系 外面灰軸 被熱		
29	陶器	片口鉢	(27.6)	15.1	(12.7)	IK	45	良好	灰白	桶628 瀬戸美濃系 柿軸 内面目跡1遺存	77-10	
30	陶器	擂鉢	(32.0)	[6.7]	—	DEK	15	普通	褐灰	桶629 丹波系 内面擂目		
31	陶器	擂鉢	(36.4)	[11.3]	—	DGI	25	良好	灰白	桶632 瀬戸美濃系 柿軸 内面擂目		
32	陶器	折縁皿	(12.4)	[1.7]	—	K	10	良好	褐灰	桶634 瀬戸美濃系 灰軸 被熱		
33	陶器	擂鉢	—	[2.8]	—	DEK	5	良好	褐灰	桶634 丹波系 内面擂目		

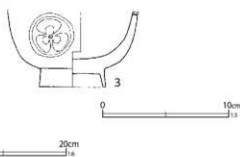
桶 327



桶 328



桶 625

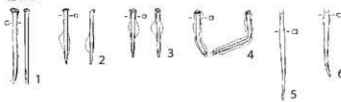


第 246 図 埋設桶出土遺物 (3)

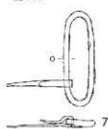
第 68 表 埋設桶出土遺物観察表 (2) (第 246 図)

番号	種別	器種	長さ	幅	厚さ	口径/径	高さ	底径	遺構	備考	図版
1	木製品	桶	—	—	2.7	44.6	—	—	桶 327 底板		
2	瓦	軒棧瓦	[6.1]	[16.3]	1.9	径 4.6	[5.0]	—	桶 328 色調、にふい黄橙色 表面雲母 (キラ) 付着		100-18
3	木製品	漆桶	—	—	—	—	[6.1]	5.2	桶 625 内外面黒漆 金で家紋		

桶 328



桶 330



桶 628



第 247 図 埋設桶出土遺物 (4)

軸と異なる。第247図8・9は寛永通宝である。第248図2はチャート製火打石である。このほか、底面からサメの歯が計7点出土した(写真図版115参照)。いずれも加工の痕跡等は認められず、詳細な用途等は不明である。

なお、自然科学分析の結果、寄生虫卵等は検出されなかった。従って、便槽等として用いられたとは考え難い。

第629・632号埋設桶 (第242図)

D6-A8 グリッドから近接して検出された。

上面はほとんど遺存していないが、第632号埋設桶の底板には栓があり、桶の蓋をひっくり返して埋設されたと考えられる。一方で、第629号埋設桶の底板は孔や栓は認められない。第629号埋設桶の底板の径が約42cm、第632号埋設桶の底板(桶蓋)の径が約48cmであり、ほぼ同規模の桶蓋・底が用いられたことが分かる。

遺物は非常に少なかったが、第244・245図30・31に各遺構から出土した陶器插鉢を示す。

第69表 埋設桶出土遺物観察表（3）（第247図）

番号	種別	器種	法量	遺構	備考	図版
1	鉄製品	釘	長[5.7] 幅0.3 厚0.3 重3.2	桶328		
2	鉄製品	釘	長4.4 幅0.3 厚0.3 重1.8	桶328		
3	鉄製品	釘	長3.9 幅0.3 厚0.3 重2.0	桶328		
4	鉄製品	釘	長[3.5] 幅0.3 厚0.3 重2.7	桶328		
5	鉄製品	釘	長[6.9] 幅0.4 厚0.3 重3.4	桶328		
6	鉄製品	釘	長[5.2] 幅0.4 厚0.3 重2.2	桶328		
7	鉄製品	吊金具	縦7.6 横7.6 厚0.4 重15.9	桶330		109-1
8	鉄製品	銭貨	径24.2 厚1.1 重3.3	桶628	寛永通宝（古）	
9	銅製品	銭貨	径24.5 厚1.0 重3.0	桶628	寛永通宝（新）	



第248図 埋設桶出土遺物（5）

第70表 埋設桶出土遺物観察表（4）（第248図）

番号	種別	器種	長さ	幅	厚さ	重さ	石材	遺構	備考	図版
1	石製品	火打石	3.0	2.6	1.1	13.0	石英	桶330	上縁は使い置かれ丸み 末端に微細剥離	111-2
2	石製品	火打石	2.3	3.2	0.9	6.3	チャート	桶628	側面の一部に擦痕あり	111-2
3	石製品	磨石	[4.5]	2.8	1.8	12.6	角閃石デイスサイト	桶628	側面の一部に擦痕あり	111-1
4	石製品	磨石	3.5	2.5	1.2	4.2	角閃石デイスサイト	桶630	擦痕あり	111-1

（4）井戸跡

井戸跡は7基が検出された。位置、規模等の基本的な情報は第71表にまとめた。以下に特徴的な井戸跡について記す。

第304号井戸跡（第249図）

C6-G5・6グリッドに位置し、タガと息抜き竹のみが遺存していた。上部に第427号土壌が検出されているが、土壌が井戸の掘方の一部であった可能性もある。両者の関係について証明する手段に欠くため、ここでは調査時の所見に従っ

て別遺構として報告する。井戸の覆土からは陶磁器や木製品が出土した。第253図には出土した陶磁器類を示す。1は肥前系磁器碗で小広東である。他に、肥前系磁器端反碗や瀬戸系濃系陶器の石皿破片が認められ、18世紀末～19世紀初頭以降に帰属する。

第305号井戸跡（第250図）

C6-G6グリッドに位置し、桶を二段以上重ねた構造である。上面を第429号土壌に覆われており、その段階で上段の桶が撤去されている可能

第71表 第二面井戸跡一覧表 単位：m

番号	グリッド	外径	高さ	内径	深さ	掘方径	深さ	備考
303	C6-G5	—	—	—	(0.35)	0.85	(0.62)	
304	C6-G5/6	0.75	—	—	(0.55)	1.55	(0.95)	SK427より古
305	C6-G6	0.62	(1.19)	0.57	(1.48)	0.40	(1.48)	SK429・pit315より古 深さは掘削の出来る範囲
307	C6-17	0.66	(2.10)	0.57	(2.15)	2.43	(2.15)	SK462より古 SK463より新 深さは掘削の出来る範囲
311	C6-J7/8	0.61	(1.05)	0.48	(1.05)	0.82	(1.10)	深さは掘削の出来る範囲
312	D6-A8/9	0.94	(1.54)	0.93	(1.54)	2.85	(1.80)	SK601より古
313	C6-J9, D6-A9	0.58	(1.63)	0.56	(1.63)	2.36	(1.78)	第一面 SE310より古

性が高い。本来は三段以上の桶を用いたものと推測される。井戸の最下段には、4本の丸杭を打ち込み、側面に溝を切って板材をはめこんだ、平面方形の枠が構築されている。その上に板材を水平に重ね、平面形多角形の台座としている。この台座の上に最下段の桶が設置されている。4本の杭から成る方形木組みの外側に丸材や角材が配されており、構築時の土留めと考えられる。

第253図5～15が出土した陶磁器で、18世紀半ば頃までの陶磁器が多い。図示した以外に肥前系磁器筒形碗が一定量出土している。一方、上層に重複する第429号土壌の遺物にも、外面に青磁釉が施された肥前系磁器朝顔形碗（第281図148）がみられ、遅くとも18世紀後半に廃絶したものと考えられる。第256図1・2は土製品で、1は白色胎土の土鈴である。京都産と考えられる。3は軽石質の角閃石ディサイトを擦って使用したもので、第二面の遺構から出土する傾向がある遺物である。5・6は金属製品である。

第307号井戸跡（第249図）

C6-17グリッドに位置し、径66cm程の桶を三段以上重ねる構造である。桶材同士の接続部分には布が巻かれ、隙間が充填される。上段の桶に残された痕跡から、さらに上に一段重なる可能性が高いが、桶材そのものの痕跡は確認できなかった。掘方、井戸枠内ともに砂の堆積が多い。最下段の桶材については下部まで調査できていない。

第253・254図16～31は出土した陶磁器で、21の肥前系磁器蛸唐草文御神酒德利、28の陶器土瓶注口部がある。27の陶器土瓶は施釉土器に近く、光沢の無い漆黒色の釉が掛けられる。他に、掘方から瀬戸美濃系陶器の馬目皿、井戸枠内から瀬戸美濃系磁器端反碗細片が出土している。19世紀初頭頃に構築され、19世紀前半で廃絶した井戸と想定される。第256図7～9に木製品を示す。9の漆碗に「本請合」銘がある。7は井戸枠内第13層から出土したすりこぎ棒である。

第311号井戸跡（第251図）

C6-J7・8グリッドに位置し、桶を積み重ねた構造である。最上部の桶は腐食して本体は遺存していなかった。下段の桶については、周囲の土砂の崩落が激しく、下面までは掘削し得なかった。第254図32～37は出土した陶磁器で、この他に内面に鉄釉が刷毛塗状に施釉された信楽系陶器の大形壺の破片が出土している。19世紀中葉以降の廃絶と想定される。

第312号井戸跡（第251図）

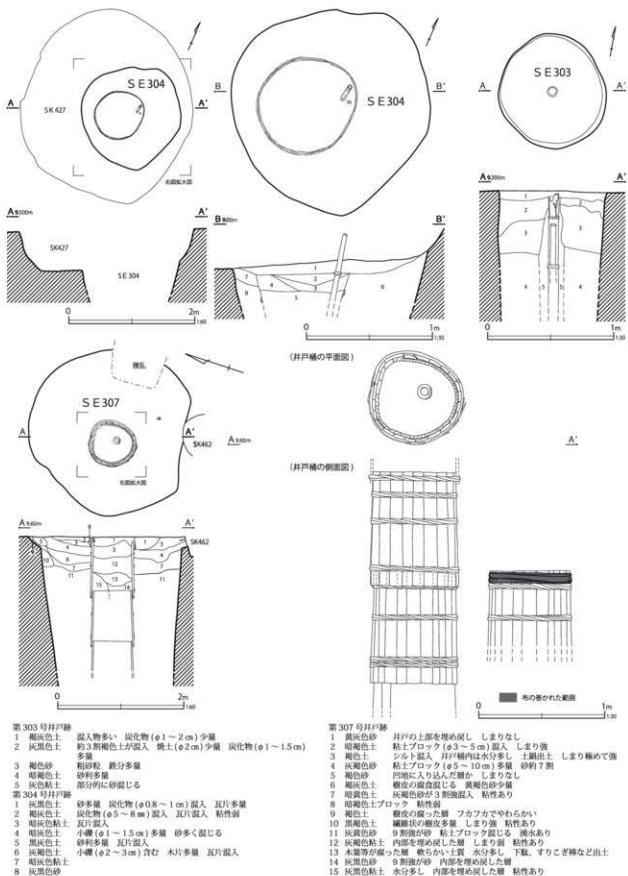
D6-A8・9グリッドに位置し、第601号性格不明遺構のしがらみ状施設の下部から検出された。上部から打ち込んだ杭で、積み重ねた桶の側面を抑えている様子が確認できる。第601号性格不明遺構は池跡の可能性があり、井戸跡もそこに付随する可能性が考えられる。

陶磁器は第254図38～47に示したように18世紀代のものが多い。掘方の遺物も肥前波佐見系の梅樹文碗、粗製碗が主体であったが、瀬戸美濃系磁器の坏も出土している。構築は19世紀前葉以降である。42は「板屋」銘が染付された肥前系磁器皿である。第256図10は角閃石ディサイト製の石製品である。11、12は木製品の漆碗と栓である。

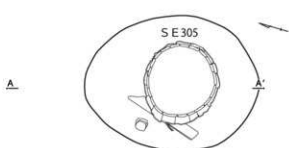
第313号井戸跡（第252図）

C6-J9、D6-A9グリッドに位置し、桶を積み上げた構造である。図示した部分より上にも最上段の桶が存在した可能性が高い。二段目の桶は、重複する第310号井戸跡の掘方に一部壊されており、側板が倒れた状態で検出された。下段の桶も検出したが、周囲の土砂の崩落が激しく、下面までは掘削し得なかった。

第254・255図48～54は出土した陶磁器で、掘方からの出土である。48は肥前系磁器筒形碗、50は瀬戸美濃系陶器灯明皿で、他の陶磁器も18世紀代のものが主体である。18世紀後半に構築されたものと考えられる。



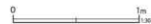
第 249 図 井戸跡 (1)



(井戸跡直下の平面構造①)

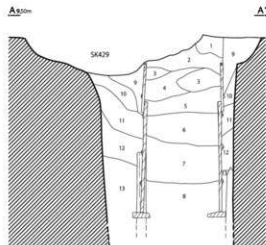


(井戸跡直下の平面構造②)

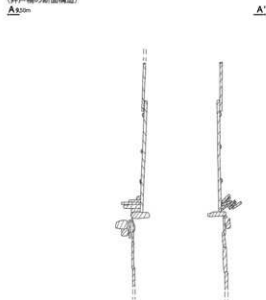


第 305 号井戸跡

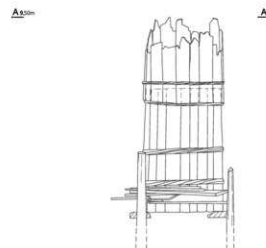
- | | |
|---------|--------------------------|
| 1 灰褐色土 | しまり強 粘性弱 |
| 2 暗褐色土 | 砂少量 炭化物 (φ3~7mm) 微量 粘性あり |
| 3 暗灰色砂 | 4層を巻き込むように不規則に堆積 |
| 4 灰黄色粘土 | 他のものをほとんど隠さえない 粘性あり |
| 5 暗灰色土 | 砂微量 粘性あり |
| 6 灰褐色土 | 砂多量 砂利混入 粘性あり |
| 7 灰黒色土 | 砂多量 砂利の層 粘性なし |
| 8 灰黒色土 | 砂・砂利多量 粘性弱 |
| 9 暗灰色粘土 | 砂少量 植物の残骸多量 粘性あり |
| 10 暗灰色土 | シルト混入 粘性なし |
| 11 黒灰色土 | 粗い砂多量 粘性弱 |
| 12 灰褐色土 | シルト混入 |
| 13 暗灰色砂 | しまり強 |



(井戸跡の断面構造)

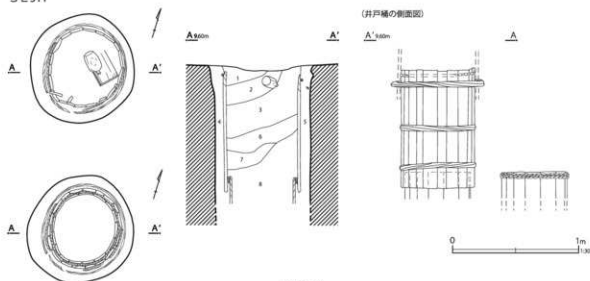
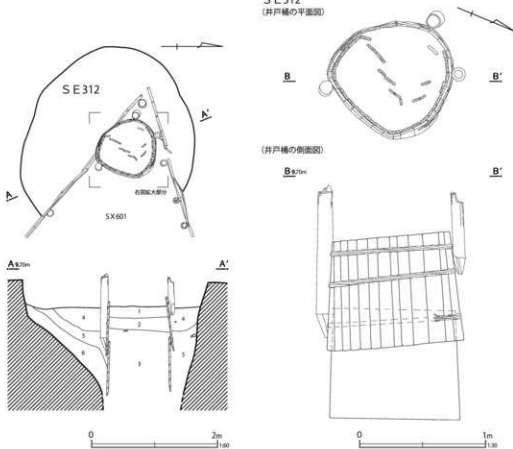


(井戸跡の側面図)



第 250 図 井戸跡 (2)

SE311

SE312
(井戸桶の平面図)

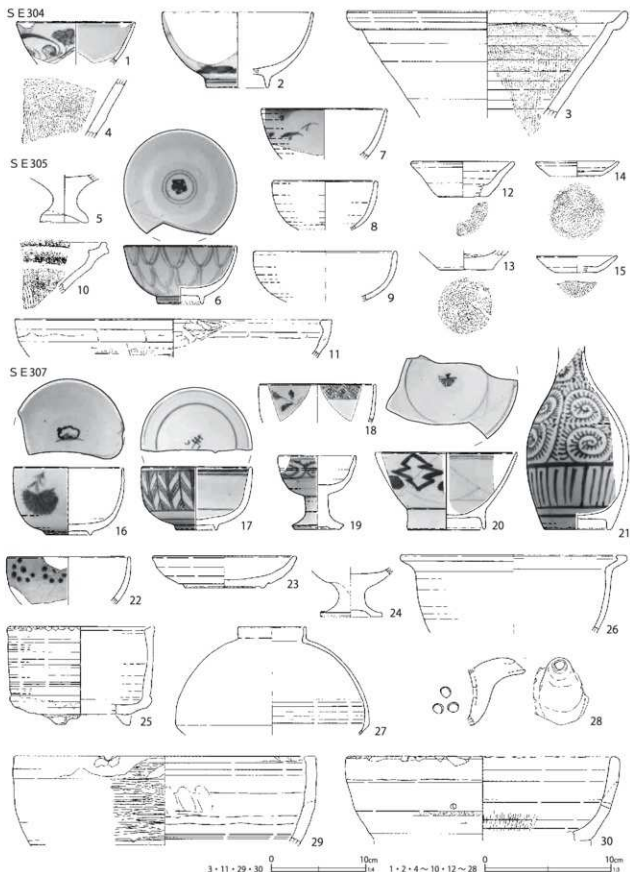
第311号井戸跡

- 1 暗黄褐色土 砂多量 粘性なし
- 2 暗褐色土 木片多量 べこかん糖利出土 粘性弱
- 3 暗褐色土 砂少量 比較的しまり良い 粘性弱
- 4 灰黄色砂 木片混入 (掘方)
- 5 灰黄色土 しまり極めて強 (掘方)
- 6 暗褐色土 粘性あり
- 7 黒色土 木片・木皮等のくず多量 粘性あり
- 8 黒褐色土 木片・竹皮微量 粘性あり

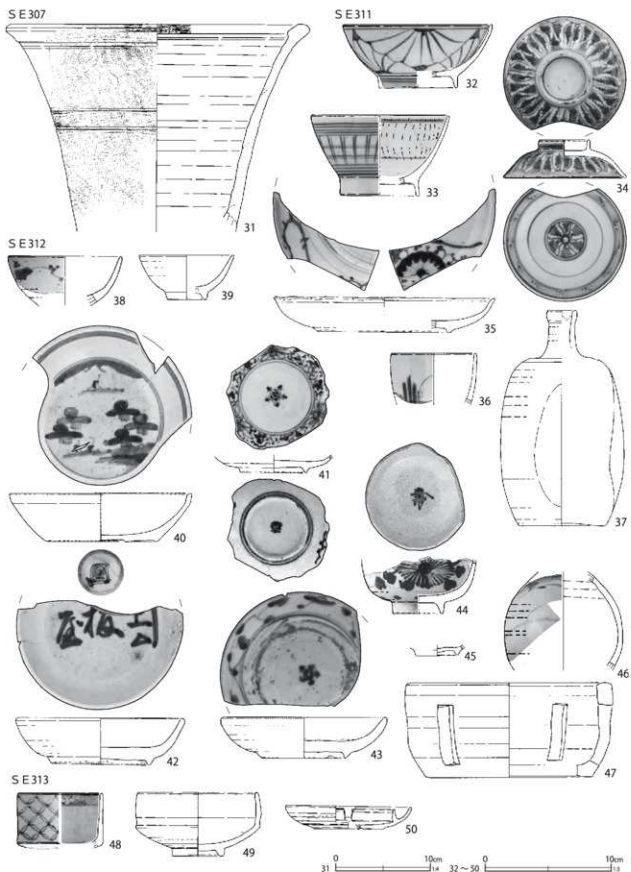
第312号井戸跡

- 1 暗褐色土 粘土ブロック (φ2~3cm) 混入 炭化物 (φ0.3~1.5cm) 多量 粘性弱
- 2 灰黄色土 糠皮・木片混入 炭化物 (φ2~3cm) 混入 粘性あり
- 3 暗褐色砂 瓦礫等少量
- 4 暗褐色土 砂少量 木屑・木炭片多量 粘性弱
- 5 暗黄褐色土 砂多量 炭土 (0.2~1cm)・炭化物 (φ3~8mm) 少量 粘性弱
- 6 灰黄色砂 崩れやすい

第251図 井戸跡 (3)

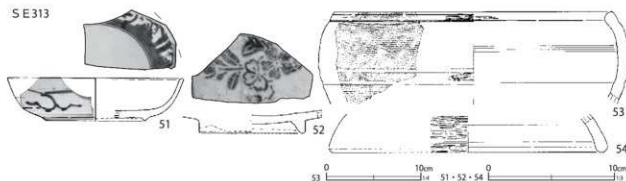


第 253 図 井戸跡出土遺物 (1)



第 254 図 井戸跡出土遺物 (2)

SE313



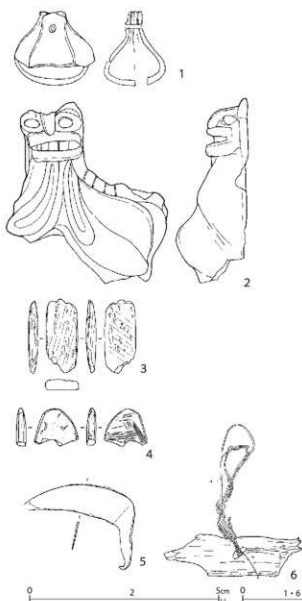
第255図 井戸跡出土遺物(3)

第72表 井戸跡出土遺物観察表(1)(第253～255図)

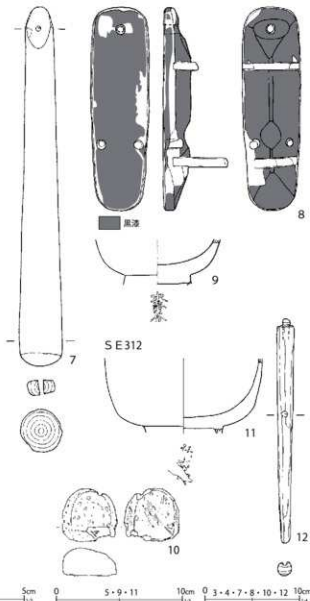
番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	境成	色調	遺構	備考	図版
1	磁器	碗	(9.4)	[3.4]	—	—	15	良好	灰白	SE304 肥前系 施軸・染付		
2	磁器	碗	(11.8)	6.0	(4.8)	—	30	良好	白	SE304 肥前系 施軸 外面染付		
3	陶器	播鉢	(29.6)	[11.2]	—	EH1K	15	良好	淡黄	SE304 瀬戸美濃系 鎔軸 内面播目		
4	陶器	播鉢	—	[4.7]	—	EI	5	良好	暗灰	SE304 備前系 内面播目		
5	磁器	仏飯器	—	[3.6]	4.0	—	80	良好	白	SE305 肥前系 施軸		
6	磁器	碗	8.8	4.6	3.6	—	80	良好	灰白	SE305 肥前系 施軸・染付		
7	磁器	碗	(9.8)	[4.0]	—	—	20	良好	灰白	SE305 肥前系 施軸 外面染付 被熱		
8	陶器	坪	(8.0)	[3.9]	—	D	35	良好	灰白	SE305 瀬戸美濃系 灰軸 弱く被熱		
9	陶器	碗	(11.0)	[4.0]	—	IK	30	良好	灰白	SE305 瀬戸美濃系 灰軸		
10	陶器	播鉢	—	[4.0]	—	K	5	良好	灰白	SE305 瀬戸美濃系 鎔軸 内面播目		
11	土師質土器	焙烙	(33.4)	[4.0]	—	CH1K	10	普通	にぶい褐	SE305 耳1遺存 外面煤付着		
12	かわらけ	小皿	(7.8)	2.8	(3.6)	EGH	20	普通	明褐灰	SE305 底部糸切痕(右) 胎土砂質		
13	かわらけ	小皿	—	[1.5]	4.3	CH1K	75	普通	にぶい橙	SE305 底部糸切痕(右) 胎土砂質		
14	かわらけ	小皿	6.4	1.2	3.8	ACHK	95	普通	灰白	SE305 底部糸切痕(左)		
15	かわらけ	小皿	(6.3)	1.3	(3.2)	ACHK	40	普通	浅黄	SE305 底部糸切痕(左)		
16	磁器	碗	(8.6)	5.3	(3.6)	—	45	良好	白	SE307 肥前系 施軸・染付		
17	磁器	碗	8.6	5.0	3.1	—	55	良好	白	SE307 越方 肥前系 施軸・染付		
18	磁器	碗	(9.0)	[3.1]	—	—	5	良好	白	SE307 越方 肥前系 施軸 内面染付 外面色絵	77-11	
19	磁器	仏飯器	(6.0)	5.8	3.6	—	60	良好	灰白	SE307 越方 肥前系 施軸 外面染付		
20	磁器	碗	(11.0)	6.1	(6.0)	—	35	良好	灰白	SE307 肥前系 施軸・染付		
21	磁器	德利	—	[14.4]	5.2	—	80	良好	白	SE307 肥前系 外面施軸・染付		
22	陶器	碗	(9.6)	[3.8]	—	K	25	良好	灰白	SE307 越方 瀬戸美濃系 施軸 外面須絵		
23	陶器	皿	(11.2)	2.5	(6.2)	K	45	良好	灰白	SE307 瀬戸美濃系 長石釉	77-12	
24	陶器	仏飯器	—	[3.9]	4.9	IK	80	良好	褐灰	SE307 越方 鉄軸	77-13	
25	陶器	香炉	(11.1)	7.7	(8.0)	I	25	良好	灰白	SE307 越方 瀬戸美濃系 灰軸 口縁部叩打痕 底部煤付着		
26	陶器	鍋	(17.6)	[6.2]	—	K	20	良好	灰白	SE307 柿釉		
27	陶器	土瓶	(5.2)	[8.5]	—	IK	35	良好	明褐灰	SE307 越方 外面鉄軸(黒色)	77-14	
28	陶器	土瓶	—	[5.3]	—	IK	5	良好	淡赤橙	SE307 越方 施軸(胎軸状) 胎土赤味帯びる	78-1	
29	瓦質土器	火鉢	(31.8)	[9.5]	—	CH1K	15	普通	にぶい黄橙	SE307 越方 外面ミガキ 煙す 口縁部叩打痕		
30	瓦質土器	火鉢	(28.0)	[8.9]	—	CDEH	25	普通	灰白	SE307 口縁部叩打痕 煤付着 内面火箸状痕 穿孔1遺存 やや酸化変成		
31	瓦質土器	火鉢	(30.9)	[22.0]	—	ACHI	35	普通	灰黄褐	SE307 口縁部・外面一部ミガキ 外面沈線文 煙す	78-2	
32	磁器	碗	(11.8)	5.0	(6.2)	—	40	良好	白	SE311 肥前系 施軸 外面染付		
33	磁器	碗	(10.8)	6.4	(6.1)	—	25	良好	白	SE311 肥前系 施軸・染付 内面成形時の痕跡(弱く波打つ)		
34	磁器	蓋	3.8	3.0	9.5	—	90	良好	白	SE311 瀬戸美濃系 施軸・染付		
35	磁器	皿	(17.3)	2.7	(10.4)	—	5	良好	白	SE311 肥前系 施軸・染付		
36	磁器	碗	(6.6)	[4.1]	—	—	25	良好	白	SE311 瀬戸美濃系 施軸 外面染付		
37	陶器	德利	2.2	17.0	6.8	IK	100	良好	にぶい橙	SE311 瀬戸美濃系 外面柿釉 底部拭き取り		

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
38	磁器	碗	(8.9)	[3.9]	—	—	30	普通	灰白	SE312	SK718 接合 肥前系 施軸 外面染付	
39	磁器	坏	(7.4)	3.5	(3.0)	—	35	良好	白	SE312	掘方 肥前系 施軸	
40	磁器	皿	(14.4)	3.8	8.8	—	65	良好	灰白	SE312	肥前系 施軸 (外面青磁軸) 内面染付 弱く被熱	78-3
41	磁器	皿	—	[1.4]	5.1	—	85	良好	灰白	SE312	掘方 肥前系 施軸・染付 被熱	
42	磁器	皿	(12.9)	3.2	(7.5)	K	60	良好	灰白	SE312	掘方 肥前系 施軸 内面染付「へ」に「上△」 「板版」弱く被熱	78-4
43	磁器	皿	(12.8)	3.2	6.6	—	65	良好	灰白	SE312	掘方 肥前系 施軸 内面染付 蛇の目状軸刺	
44	陶器	碗	—	[4.3]	3.9	DE	80	良好	灰白	SE312	瀬戸美濃系 灰軸 鉄絵	78-5
45	陶器	香炉か	—	[1.7]	3.3	IK	65	良好	灰白	SE312	掘方 京都信楽系 内面降灰 軸散る	78-6
46	磁器	徳利	—	[7.5]	—	—	35	良好	灰白	SE312	SK718 接合 掘方 肥前系 施軸・染付	
47	土師質土器	器台	(14.8)	7.4	(13.2)	CDEH	20	普通	にぶい	SE312	長方形孔2 遺存 内面煤付着	
48	磁器	碗	(6.6)	[4.3]	—	—	35	良好	灰白	SE313	掘方 肥前系 施軸・染付 被熱	
49	陶器	碗	9.4	5.0	4.0	K	70	良好	灰白	SE313	掘方 瀬戸美濃系 灰軸	
50	陶器	灯明皿	(9.8)	1.8	(5.4)	IK	40	良好	灰白	SE313	SK652 接合 掘方 瀬戸美濃系 柿軸 重焼痕	

SE305



SE307



第256図 井戸跡出土遺物(4)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
51	磁器	皿	(13.6)	3.3	(7.8)	—	20	良好	灰白	SE313 皿方 肥前系 施軸・染付		
52	陶器	皿	—	[1.8]	(8.2)	K	45	良好	灰白	SE313 皿方 瀬戸美濃系 灰軸 内面擦繪		
53	瓦質土器	火鉢	(29.4)	[9.8]	—	CHK	15	普通	褐灰	SE313 皿方 口縁部・区画内ミガキ 外面施文 横す		
54	瓦質土器	蓋	—	[3.0]	(21.3)	CDE	5	普通	灰白	SE313 外面ミガキ 横す		

第73表 井戸跡出土遺物観察表(2) (第256図)

番号	種別	器種	長さ	幅	厚さ	口径/径	高さ	底径	遺構	備考	図版
1	土製品	鈴	—	4.2	3.3	—	3.9	—	SE305	胎土A・E 色調 灰白 穿孔1 京都系 重10.9g	97-4
2	土製品	人形	—	(4.3)	(1.4)	—	(4.8)	—	SE305	銅子 型合成形 頸頂部に孔 江戸在地系 重11.7g	97-5
3	石製品	磨石	長[7.8]	幅3.4	厚1.0	重17.1			SE305	角閃石デイスイト製 4面に擦痕あり	111-1
4	瓦製品	紙具	長[4.0]	幅[4.7]	厚[1.0]	重[15.8]			SE305	瓦転用 使用面4 刃物傷多い	114-3
5	鉄製品	鎌	長[8.3]	刃幅2.3	背幅0.2	重17.3			SE305		109-1
6	銅製品	針金	縦8.2	横2.2	厚0.1	重6.0			SE305	木質付随	
7	木製品	播粉木棒	38.0	—	—	4.6	—	—	SE307	上部円孔	104-3
8	木製品	下駄	21.4	6.1	—	—	6.8	—	SE307	陰印下駄 黒漆 クリ・前歯はケヤキ	
9	木製品	漆桶	—	—	—	—	[3.6]	—	SE307	内面赤漆 外面黒漆 高台内文字「本請合」	
10	石製品	磨石	長6.5	幅5.9	厚3.0	重39.4			SE312		111-1
11	木製品	漆桶	—	—	—	—	[5.9]	—	SE312	内外面黒漆 高台内赤漆で文字	
12	木製品	栓	23.3	1.7	—	—	—	—	SE312	上部に鉄製の釘 中央に孔	

(5) 溝跡

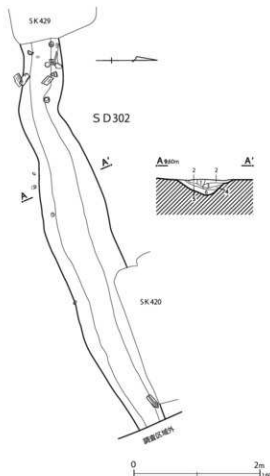
溝跡は1条が検出された。

第302号溝跡 (第257図)

C6-G6・7グリッドに位置し、東西方向に長さ6.33mが確認された。幅1.05m、深さ0.3mで、走向方位はN-71°-Eである。底面にはかなり凹凸があり、平坦では無い。覆土下部には腐食木質が多量に含まれ、上層は砂・シルト・木質を多く含む土が堆積している。

溝跡の東部は調査区外に延びていくが、西側は第429号土壌と重複した箇所では止まり、土壌の西側には延伸しない。第429号土壌との重複関係については、調査時のセクション観察でも明確にできなかった。同時併存か、土壌が新しい可能性が高いと考えられる。第429号土壌の下部には第305号井戸跡が検出されており、溝跡は何かの排水機能を有していた可能性も考慮される。

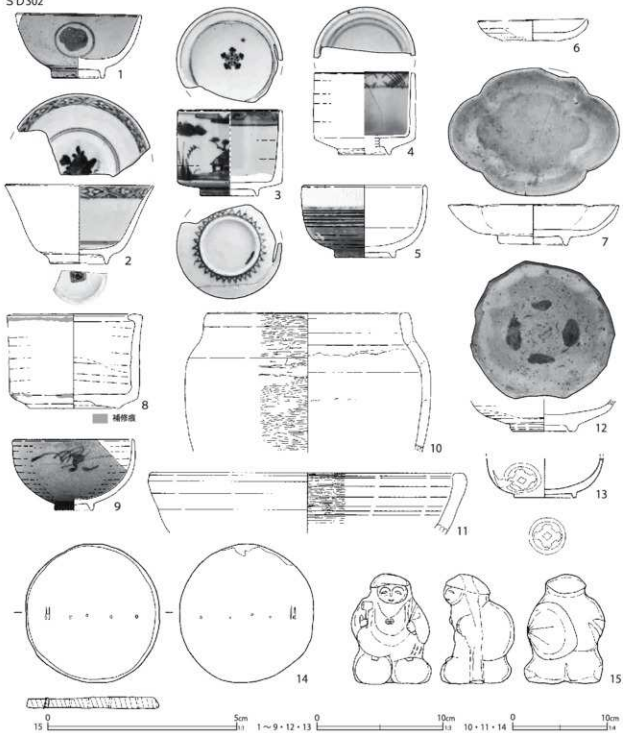
覆土中には陶磁器に混じって土製品人形や獣骨も出土している。第258図1～12は出土した陶磁器類である。2は肥前系磁器の外面青磁釉碗で、朝顔形に開く。3・4は筒形碗である。18世紀後葉の様相を示し、第305号井戸跡や第429号土壌との時期差は見出せない。8は肥前佐佐見系の



- 第302号溝跡
- 1 褐色土 杭が腐った痕 フカフカの印象
 - 2 灰褐色土 木片が少量 粘性なし
 - 3 暗灰色土 炭化物(φ3～8mm) 腐人 シルト多量 しまり強 粘性なし
 - 4 暗灰色土 シルト含む 木片多量 粘性なし
 - 5 暗褐色土 炭化物(φ1～2mm) 炭質 粘性なし
 - 6 暗褐色土 植物質の腐ったものが多量 しまり強

第257図 第302号溝跡

SD302



第 258 図 溝跡出土遺物

青磁香炉で、破損部が漆継され、軸の剥離部も埋められて補修されている。12は内面に胎土目の目跡を残す肥前系陶器の皿で、17世紀前半に遡る。10は瓦質土器の火消壺で外面へラナデ後にミガキで処理されている。11は瓦質土器の火鉢

と考えられる。内面にミガキが施される。13・14は木製品である。13は漆器椀で、体部の三方向と高台内に家紋状の模様を描く。15は土製品の人形で、完形の大黒である。

第74表 溝跡出土遺物観察表 (第258図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
1	磁器	碗	(9.8)	5.1	4.1	—	75	良好	灰白	SD302	肥前系 施軸 外面染付 被熱	
2	磁器	碗	(11.6)	6.3	(4.4)	—	30	良好	白	SD302	肥前系 施軸 (外面青磁軸) 内面染付	
3	磁器	碗	(8.0)	6.8	4.5	—	65	良好	白	SD302	肥前系 施軸・染付	
4	磁器	碗	(7.6)	6.4	(4.0)	—	45	良好	灰白	SD302	肥前系 施軸 (外面青磁軸) 内面染付	
5	陶器	碗	(9.6)	5.7	4.7	K	75	良好	灰白	SD302	瀬戸美濃系 灰・鉄軸掛分	
6	陶器	灯明皿	8.6	1.7	4.4	—	95	良好	灰白	SD302	SK423接合 瀬戸美濃系 柿軸 底部重焼痕	
7	陶器	皿	13.3	3.2	5.1	—	95	良好	灰白	SD302	瀬戸美濃系 灰軸 (輪高台型皿)	78-7
8	磁器	香炉	9.6	7.4	7.1	—	90	良好	灰白	SD302	肥前系 青磁軸 漆継痕	
9	陶器	碗	(9.4)	5.5	3.0	—	75	良好	灰白	SD302	京都信楽系 施軸 外面鉄絵	
10	瓦質土器	火消壺	(21.0)	[14.8]	—	CBH	20	良好	にぶい黄褐色	SD302	外面ヘラナゲ後ミガキ 酸化炭焼成済み	
11	瓦質土器	火鉢	(33.0)	[6.4]	—	CIK	15	普通	褐灰	SD302	内面ミガキ	
12	陶器	皿	—	[2.5]	5.0	—	90	良好	灰白	SD302	肥前系 裏灰軸 内面胎土目4	
13	木製品	漆碗	長14.6 幅14.1 厚1.2			—	—	—	—	SD302	内面赤漆 外面黒漆 三方と高台内家紋	97-6
14	木製品	曲物				—	—	—	—	SD302	底板 樹皮紐	
15	土製品	人形	幅2.1 高2.9 重8.0	A	—	—	—	良好	橙	SD302	前後合型成形 江戸在地系	

(6) 柵列跡

柵列跡は2条が検出された。いずれも日光道中に面した調査区北西部に位置する。周囲にはほとんど遺構が検出されず、広範囲に酸化鉄が沈着し硬化していた(C6-F3・4、G3・4、H4グリッド付近)。その範囲は漸移的に東に向かって消えており、遺構の残りにくい建物等が存在した範囲ではないかと思われる。第301・302号柵列跡についても建物跡の一部を検出した可能性もあるが、対応する遺構等が確認できず、柵列跡として報告する。

第301号柵列跡 (第259図)

C6-G3・4グリッドに位置する。主軸方位はN-74°-Eである。各ピットの規模は、ピット1が51×44cm、深さ26cm、ピット2が77×53cm、深さ34cm、ピット3が55×40cm、深さ40cm、ピット4が47×40cm、深さ16cm、ピット5が44×39cm、深さ20cmである。

各ピット間の距離は90cm前後で一定している。根石や礎板等は確認されなかった。

遺物は極めて少なかったが、ピット5から肥前系磁器の瓶類底部(第259図1)、丹波系陶器の播鉢底部(2)が出土している。また、ピット2から寛永通宝の文銭(3)、ピット5から寛永通宝の古寛永(4)が出土している。

第302号柵列跡 (第259図)

C6-H4グリッドに位置する。主軸方位はN-72°-Eである。各ピットの規模は、ピット1が55×46cm、深さ26cm、ピット2が29×23cm、深さ20cm、ピット3が56×49cm、深さ37cmである。

各ピット間の距離は90~100cm前後である。

ピット3からは比較的遺存状態の良い陶器(第259図5・6)が2点重なるように出土した。根石の代わりに入れられた可能性もある。6の反皿の見込みと高台内には、各々3箇所の目跡が認められる。7はピット1から出土した備前系陶器徳利で、第417号土壌の遺物(第278図69)と同一個体と考えられる。

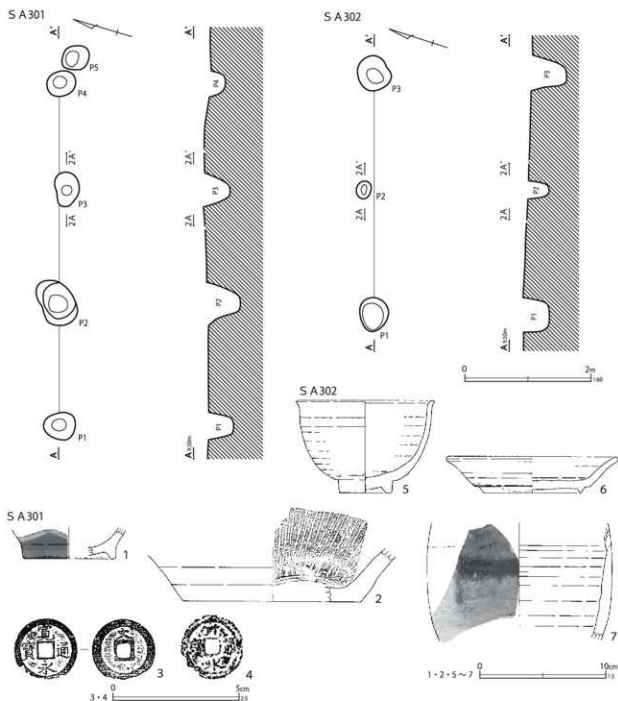
(7) 土壌

土壌は182基が検出された。位置、計測値等は第76表にまとめ、第260~275図に遺構図、第276~333図に遺物実測図を示す。以下に特徴的な土壌について記す。

第391号土壌 (第260図)

C6-F6グリッドに位置する不整楕円形の土壌で、上層から中層にかけて木材片や木製品を多く含む。

第276図3~5に出土した陶磁器を示す。3は磁器広東碗であり、土壌は18世紀末以降の帰属



第259図 櫛列跡・出土遺物

第75表 櫛列跡出土遺物観察表 (第259図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
1	磁器	瓶	—	[2.5]	(7.1)	—	10	良好	灰白	櫛列 301	pit5 肥前系 外面施軸・染付	78-9 78-10 78-8
2	陶器	櫛鉢	—	[4.2]	(14.0)	D1	15	良好	にぶい赤褐色	櫛列 301	pit5 丹波系 砂目底 内面櫛目	
3	銅製品	銭貨	径 25.4 厚 1.2 重 2.8							櫛列 301	pit2 寛永通宝 (新) 背文	
4	銅製品	銭貨	径 25.7 厚 1.7 重 2.2							櫛列 301	pit5 寛永通宝 (古)	
5	陶器	甕	(10.6)	7.3	4.1	IK	45	良好	灰白	櫛列 302	pit3 瀬戸美濃系 鉄軸	
6	陶器	皿	(13.3)	2.9	7.6	K	45	良好	灰白	櫛列 302	pit3 瀬戸美濃系 灰軸 内外面目跡各3	
7	陶器	徳利	—	[9.4]	—	DEK	10	良好	にぶい緑	櫛列 302	pit11 備前系 外面自然釉・塗土	

と考えられる。他に、肥前系磁器梅樹文碗や瀬戸美濃系陶器腰鉢碗の破片、比較的大形の破片では、瓦質土器十能が出土した。第311図3～7は木製品で墨書資料（第91表参照）が多い。5に「いせや長次郎殿」、6に「伊勢屋長二郎殿」とみえ、古絵図にみえる「賀や 年寄 長次郎」に係る資料と考えられる。なお、近接する第393・394号土壌からも「いせ屋長二郎殿行」・「いせや長二郎殿」の墨書がある木札（第311図8・12）が出土している。このほか、貝類のイタヤガイが出土しており、貝杓子として用いられた可能性がある。

第400号土壌（第261図）

C 6-F 5 グリッドに位置するやや不整な隅丸方形の土壌である。覆土中層に木材片を多く含み、廃棄土壌の上層を埋め戻したものと考えられる。

第276図18～21が出土した陶磁器で、18の皿は意図的に底部が壊された可能性がある。19はU字状の高い高台を持つ磁器で、鉢としたが底径は小さい。17世紀代に遡るものと考えられる。20は筒形碗、21は坏であり、18世紀代の肥前系磁器である。非掲載遺物にも肥前系磁器梅樹文碗や瀬戸美濃系陶器柿軸灯明皿等があり、18世紀後葉の帰属と考えられる。他に、胎土が粉質の焔炉類、火鉢が出土しており、江戸在地系土器と考えられる。第311・312図14～21は木製品で、15・16の木札に「綿屋彦三郎殿」の墨書がある（第91表参照）。内容から、綿屋彦三郎は当地の住人とみられるが、文献上では確認できなかった。

第405号土壌（第261図）

C 6-G 4 グリッドに位置する楕円形の土壌である。覆土は腐食木材を主体とし、上層のみバツクされたように黄灰褐色土に覆われる。

第276図27～30が陶磁器である。29はやや大振りの磁器筒形碗で外面に青磁釉が施される。他に瀬戸美濃系陶器せんじ碗破片等が出土した。陶磁

器の様相は18世紀後半を示す。30は円形の土製品で、塗磨の重しの可能性がある。

第423号土壌（第263図）

C 6-G 5 グリッドに位置する隅丸長方形の土壌で、主軸方向はN-69°-Eである。覆土には、木片の包含が多く、その中から多量の遺物が出土した。特に北東隅には陶磁器や漆碗が並べられたように接近して出土しており、廃棄の一括性を窺わせる（図版33-15）。第279・280図に示すように、肥前系磁器雪輪草花文碗（98～103）、腰の張る碗（104～107）、瀬戸美濃系陶器せんじ碗（114～117）、灯明皿（120～128）等の同形態の器種が複数含まれる。18世紀後葉の一括資料と位置付けられよう。第312図32～45は木製品で、32・33の漆椀、34の漆器蓋が出土している。37～40は箸で、全てヒノキないしヒノキ科の木材を使用する（第114表参照）。第一面のサンプルとして分析した第605号土壌（19世紀中葉）の箸では、スギ、カヤ、ヒノキ科等、多様な木材を用いるのと対照的である。41～43は下駄、44・45は箱材と引出状の木材である。このほかにカケヤが土壌中央部より出土したが、遺存状態が悪く図化に耐えなかった。

第457号土壌（第267図）

C 6-I 7 グリッドに位置する不整形の土壌で、長軸方向はN-87°-Eである。規模に比してやや浅く、上面が削平されている可能性が高い。覆土は多量の木片を含むしまりの弱い土で、廃棄土壌と考えられる。覆土中にはアワビ等の貝類が若干含まれていた（第95表参照）。

第282～284図199～234に出土した陶磁器を示す。203～206の肥前系磁器広東碗に加え、208の瀬戸美濃系磁器端碗が出土している。19世紀初頭に帰属するものと考えられる。221は体部が瓜形に成形された京都信楽系陶器の火入れで、鉄絵が施されている。230は瓦質土器焙烙で、内面に二次的な傷が認められる。第315図69～72は

第76表 第二面土壌一覽表 単位:長×短軸m 深さcm

番号	グリッド	形態	長軸	短軸	深さ	備考
389	C6-F6	楕円形	1.14	(0.50)	38	SK498より新
391	C6-F6	不整楕円形	0.32	1.19	23	
392	C6-F6	楕円形	0.68	0.47	18	
393	C6-F6	楕円形	1.43	0.99	28	
394	C6-F6	楕円形	1.13	0.82	29	
395	C6-F6	楕円形	1.23	(1.15)	17	SK396より新
396	C6-F6	楕円形	(0.80)	(0.63)	17	SK395より古
397	C6-F5	楕円形	(1.35)	0.91	8	
398	C6-F5	不整楕円長方形	4.16	1.22	16	
399	C6-F5	方形	1.05	(0.72)	19	
400	C6-F5	楕円長方形	1.40	1.19	45	SK401より新
401	C6-F5	楕円長方形	(0.93)	0.43	23	SK400より古
402	C6-F4	楕円長方形	1.07	0.55	10	
403	C6-F5	楕円形	1.43	0.94	32	
404	C6-F5,G5	楕円長方形	1.24	1.12	44	
405	C6-G4	楕円形	1.39	1.34	43	
406	C6-G4	不整形	1.61	0.79	25	
407	C6-G4	楕円形	0.86	0.73	12	
408	C6-G4	楕円形	1.57	1.45	30	SK411より古
409	C6-G3/4	楕円長方形	2.87	1.12	11	
410	C6-G4	楕円長方形	2.07	1.82	27	SK408より新
411	C6-G4	不整形	1.84	1.32	27	SK408より新
412	C6-F5,G5	楕円形	0.63	0.60	24	
413	C6-G4	楕円長方形	0.61	0.47	14	
414	C6-G4	楕円長方形	1.05	0.97	18	
415	C6-G5,H5	不整楕円長方形	2.65	1.33	32	
416	C6-G5	方形	1.38	0.73	13	
417	C6-G5	楕円形	1.19	1.03	46	
418	C6-H5	楕円形	0.98	(0.76)	15	
419	C6-G5/G6	楕円形	1.19	1.02	45	SK428より新
420	C6-G6/7	楕円長方形	(3.11)	2.43	16	SD302より新
421	C6-G5	楕円形	1.35	0.87	15	
422	C6-G5	楕円長方形	1.36	0.86	17	
423	C6-G5	楕円長方形	2.10	1.13	22	
424	C6-G6	楕円形	2.05	0.91	24	SK425より新
425	C6-F6,G6	楕円形	2.25	0.84	10	SK424より古
426	C6-G5	楕円形	(1.17)	0.97	10	SK427より古
427	C6-G5/G6	楕円形	2.89	2.63	59	SK426/28 SE304より新
428	C6-G5/G6	楕円形	(0.76)	0.59	20	SK419/27より古
429	C6-G6	楕円長方形	2.77	1.64	30	pit315より新
430	C6-H5	楕円形	2.07	1.52	30	
431	C6-G6	楕円形	2.62	1.97	20	
432	C6-F6	楕円形	1.16	1.32	21	
433	C6-G6	楕円形	0.87	0.53	27	
434	C6-G6	楕円長方形	1.40	0.84	43	
435	C6-G6	楕円形	0.91	0.68	20	
436	C6-G6	円形	1.14	1.07	25	
437	C6-G7	楕円形	1.07	0.73	38	
438	C6-G7	楕円形	0.77	(0.50)	60	
439	C6-G7	楕円長方形	1.10	0.62	30	
440	C6-G7	楕円形	1.68	1.42	30	
441	C6-G7	不整形	3.59	2.55	39	
442	C6-G7/8	楕円形	1.56	1.27	38	
443	C6-G7	楕円長方形	0.77	0.73	10	
444	C6-G7	楕円長方形	2.04	(0.86)	18	SK461より新
445	C6-G7	楕円長方形	2.12	0.77	29	SK460より古
446	C6-G7	円形	0.74	0.69	31	SE307より新
447	C6-G7	楕円長方形	2.09	(1.25)	39	SE307より古
448	C6-G7/8	円形	0.75	0.72	18	SK480より新
449	C6-G7/8	楕円形	1.30	(0.84)	48	SK466より古
450	C6-G7/8	楕円形	(3.04)	3.25	54	SK465より古
451	C6-G7	楕円形	0.72	0.47	13	
452	C6-G7	楕円形	1.19	1.12	22	
453	C6-G7	楕円形	3.23	1.45	16	SK485より新
454	C6-G7/8	楕円長方形	0.71	0.59	6	
455	C6-G7	円形	0.59	0.58	23	
456	C6-G7	楕円形	0.48	0.47	15	SK473より古
457	C6-G7	不整楕円形	1.6	1.28	44	SK472より新
458	C6-G7	円形	0.76	0.63	74	
459	C6-G7	楕円形	1.43	0.76	32	SK476より古
460	C6-G7	楕円形	(1.56)	(0.42)	10	SK475より古
461	C6-G7/8	不整形	6.50	(2.43)	51	SK496より古
462	C6-G7/8	楕円長方形	3.61	1.71	20	SK478より古
463	C6-G7	楕円形	0.83	0.63	17	SK477より古
464	C6-G7/8	不整形	2.06	1.73	18	SK464より古
465	C6-G7	楕円長方形	1.54	1.07	42	
466	C6-G7/8	楕円長方形	2.89	1.12	35	
467	C6-G7	楕円形	1.27	0.97	34	
468	C6-G7	楕円長方形	1.66	(0.69)	30	

番号	グリッド	形態	長軸	短軸	深さ	備考
485	C6-H7	楕円形	0.68	(0.40)	18	SK469より古
486	C6-H7	楕円形	0.69	(0.55)	14	SK486より新
487	C6-H7	楕円形	1.02	0.74	18	SK485より古
488	C6-H7	楕円長方形	2.36	1.56	39	SK487より古
489	C6-G7	楕円形	(1.35)	0.85	30	
490	C6-H6/7	楕円長方形	1.52	0.71	10	
491	C6-G7	円形	0.53	0.49	13	
492	C6-H6	楕円長方形	1.93	0.68	13	
493	C6-H6	楕円長方形	2.50	0.61	40	SK494より新
494	C6-H6	楕円形	1.93	0.81	27	SK493より古
495	C6-H6	長方形	2.54	1.00	32	SK509より新
496	C6-H8	不整形	(0.87)	(0.80)	30	SK477より古
497	C6-F6/7	不整楕円長方形	(4.70)	2.33	135	
498	C6-F6	楕円長方形	1.96	0.87	41	SK389より古
499	C6-F6	楕円長方形	2.02	0.61	18	
500	C6-F6	楕円長方形	1.08	0.68	17	
501	C6-F6/7	不整形	4.34	0.91	50	
502	C6-F6	楕円形	1.23	0.95	11	
503	C6-G7/8	楕円長方形	(1.90)	1.60	50	砂主体
504	C6-H7	楕円長方形	(2.93)	1.67	38	砂主体
505	C6-H7/8	長方形	(3.90)	2.08	44	SK506より新
506	C6-H7	楕円形	1.58	(0.50)	13	砂主体
507	C6-H6	楕円形	1.45	0.71	31	
508	C6-G7	楕円形	0.91	(0.60)	35	
509	C6-H6	長方形	1.64	0.74	21	SK495より古
676	C6-H8	不整楕円長方形	(2.65)	1.09	28	
677	C6-H8,J8	不整楕円長方形	3.03	0.99	35	
678	C6-H8,J8	不整形	2.40	2.35	32	
679	C6-H8	楕円形	1.49	(1.19)	16	
680	C6-H8	楕円長方形	1.14	0.68	25	SK680より新
681	C6-H8	楕円長方形	2.04	1.19	14	SK679より古
682	C6-H8	不整形	1.10	0.93	23	
683	C6-H8	楕円長方形	1.30	0.85	20	
684	C6-H8,J8	不整楕円形	1.14	0.74	14	
685	C6-H8	不整楕円形	1.13	0.56	13	
686	C6-H8	円形	0.83	0.90	13	
688	C6-J7/8	楕円形	1.61	1.00	35	
689	C6-H8	楕円形	(1.88)	0.88	27	SK690より古
690	C6-H8	不整楕円形	1.04	(1.02)	10	SK689より新
691	C6-J7	楕円形	1.48	0.85	24	
692	C6-J7	楕円長方形	(1.00)	0.97	15	
693	C6-J7	楕円長方形	(1.44)	1.23	21	
694	C6-J7	楕円形	0.69	(0.44)	27	
695	C6-J7	不整楕円長方形	(2.28)	1.32	28	
696	C6-A7	方形	1.37	0.90	32	
697	C6-J7	楕円長方形	1.13	0.62	13	
698	C6-A7	楕円形	1.06	(0.78)	37	SK702より新
699	C6-A7	楕円形	1.04	0.82	13	SK702より古
700	C6-A7	楕円長方形	2.77	1.32	32	SK701より新
701	C6-A7	楕円形	0.90	(0.78)	12	SK702より古
702	C6-A7	楕円形	2.82	1.72	27	SK698/99/101より古
703	C6-A7/8	楕円長方形	1.23	0.56	22	
704	C6-A8	長方形	3.40	0.73	49	
705	C6-A8	不整楕円形	1.73	0.65	37	
706	C6-A7/8	方形	1.37	0.90	32	
708	C6-J9	楕円形	0.65	0.52	27	
709	C6-A8	楕円形	1.23	0.46	21	
710	C6-A7	楕円形	1.22	1.03	28	
711	C6-J7/8	楕円長方形	1.82	1.02	26	
712	C6-A8	楕円形	0.78	0.54	10	
713	C6-A8,B8	楕円長方形	1.03	0.61	24	
714	C6-A8	不整楕円形	0.99	0.91	10	
715	C6-A9	円形	0.70	0.62	14	
716	C6-A8	長方形	0.82	0.66	20	
717	C6-A9	楕円形	(1.07)	0.81	17	SK710より新
718	C6-A9	楕円長方形	1.75	1.16	86	SK719より古
719	C6-A9	楕円形	1.02	0.82	18	SK717/18より古
720	C6-A8	楕円形	2.30	1.79	40	
722	C6-J8,A8	楕円長方形	1.19	0.87	19	
723	C6-B8	楕円形	0.67	0.45	16	
724	C6-A8	不整楕円形	1.03	0.80	44	
725	C6-A8	円形	1.51	1.39	13	
726	C6-B8	楕円長方形	3.12	1.72	27	SK730より古
727	C6-B8	楕円長方形	(3.00)	1.52	19	SK728/29/40より新

番号	グリッド	形態	長軸	短軸	深さ	備考
728	D6-B8	楕円形	1.76	0.78	19	SK727より古
729	D6-B8	不整楕円長方形	(2.98)	0.80	10	SK729/40より新 SK727/28より古
730	D6-B8	楕円形	1.88	1.19	34	SK726より新
731	D6-B8/9	楕円長方形	1.38	1.12	22	
732	D6-B8	楕円形	1.13	(0.74)	19	SK755より新 SK749より古
733	D6-B9	楕円長方形	1.11	1.09	13	
734	D6-B8	不整楕円形	1.40	1.36	18	
735	D6-A8, B8	不整楕円形	(0.85)	0.64	17	SK741より新
736	D6-B9	楕円長方形	1.50	0.93	23	
737	D6-A8/9	楕円形	1.39	0.96	7	
738	D6-B8	楕円長方形	0.82	(0.78)	18	樋611より古
739	D6-B8	楕円長方形	1.09	(0.55)	19	樋611/SK748より古
740	D6-B8	楕円長方形	1.67	1.38	20	SK727/28より古 SK741より新 SK735/40より古
741	D6-B8	楕円形	1.16	(0.65)	24	
742	D6-A9	楕円長方形	1.08	0.80	23	
743	D6-A9, B9	楕円長方形	(1.16)	(0.98)	15	SK744/56より新
744	D6-A9, B9	不整楕円形	(2.74)	0.53	33	SK746より新 SK743より古
745	D6-B9	楕円長方形	2.96	1.13	34	SK756より古
746	D6-A9	不明	(0.82)	(0.42)	10	SK744より古
747	D6-B8	楕円形	(0.97)	0.75	17	
748	D6-B8	楕円形	0.75	(0.37)	21	SK739より新
749	D6-B8	楕円形	(1.05)	0.65	14	SK732より新
750	D6-B9	楕円長方形	1.22	0.93	30	
751	D6-A9/10 D6-B9/10	楕円長方形	1.32	0.96	38	
752	D6-A9/10	不整形	(1.64)	1.12	36	
753	D6-A9	楕円形	2.10	(0.50)	44	SM601より古
754	D6-A9	楕円形	(1.43)	(0.77)	19	SM601より古
755	D6-B8/9	不整楕円形	1.35	1.08	39	SK732/57より古
756	D6-B9	不整楕円長方形	(1.93)	(0.80)	42	SK743/45より古
757	D6-B8/9	楕円形	(1.20)	(0.96)	31	SK755より新

木製品で、70の下駄には山に「七」の焼印がある。72の砥石台は、砥石が据えられた状態で出土した。第326図23は銅製品簪、24は鉄製品銀先である。なお、鋤の柄部も第696号土壌（18世紀後葉）から出土している（第324図196）。

第465・466号土壌（第268図）

C6-I6・7、J6グリッドから検出され、いずれも西側は調査区外に延びる。第465号土壌は楕円形、第466号土壌は不整形で、第465号土壌のほうが古い。覆土はいずれもレンズ状堆積で、各層の包含物にも差があることから、一定期間開口していた可能性がある。陶磁器を第285図260～288に示す。266は第465号土壌出土の瓦質土器焙烙で、内面にやや粗いミガキが施される。267以降は第466号土壌の陶磁器で、267は青磁軸が掛けられた大振りの肥前系磁器碗、268は網目文碗である。273は初期伊万里の皿で、17世紀中葉以前の所産と思われる。全体的に18世紀中葉までの陶磁器が主体だが、最新段階の

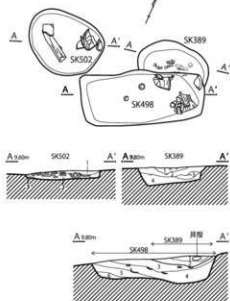
陶磁器は第465号土壌が肥前系磁器筒形碗、第466号土壌が肥前系磁器広東碗であった。各々、18世紀中～後葉・18世紀末の帰属と考えられる。第315・316図73～87に木製品を示す。73・74は第465号土壌の漆桶・蓋で、桶は高く小さい高台を有する。蓋はつまみが小さく丸みがある。77～81は第466号土壌の漆桶・蓋で、蓋はやや腰が張り、つまみが大きい。このほか、第326図25～30の金属製品、第329図3の寛永通宝、第332図37・45・48の石製品・瓦転用品はいずれも第466号土壌の出土遺物である。第332図48は大谷石の切石材であり、18世紀末には大谷石が搬入されていた可能性を示す。

第477号土壌（第268図）

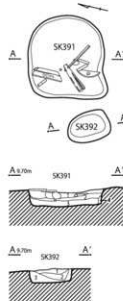
C6-H8、I8グリッドから検出された不整形の大型土壌で、北東は調査区外に延びる。遺存長は6.5mである。重複する第478号土壌より古く、第496号土壌より新しい。覆土は上面に広く砂が堆積し、出水・造成など何らかの契機に短期間で埋没した可能性が高い。

第288・289図に出土した陶磁器を示す。このうち331・332は初期伊万里様式の皿類である。最新期の磁器は328に示した外面青磁軸の磁器筒形碗である。350・351は「浅紅」銘が上絵付けされた京都言楽系陶器杯である。365・366は土器の丸底焙烙で、器高が高い。胎土からいずれも江戸在地系と考えられる。なお、第478号土壌には瀬戸美濃系磁器の端反碗（第290図376・377）が含まれ、19世紀前葉に帰属するので、新旧関係は矛盾しない。第496号土壌では陶磁器が出土していない。第308図11・12は軒瓦で、11は子葉が大きく渦を巻く。18世紀末の第695号土壌の軒瓦文様（17）と類似する。第309図24はやや小型の丸瓦である。第317～319図104～118に木製品を示す。104～109は漆器桶・蓋で、蓋はつまみ径が大きくやや上部が張る形態である。111の桶底には「福口屋」の焼印がある。第327図38～44は金属製品で、針金、釘類と帯金具である。第330図12～15は石製品で、13は小型の硯である。

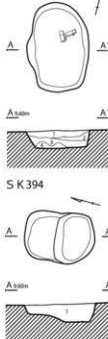
S K 389・498・502



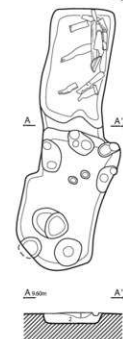
S K 391・392



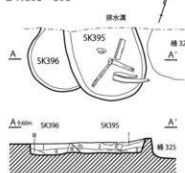
S K 393



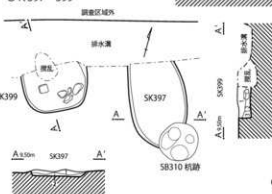
S K 398



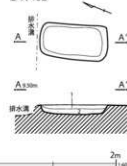
S K 395・396



S K 397・399



S K 402



第 389 号土層

- 1 褐色土 小礫 (φ3~5mm) 混入 しまり強
- 2 黒灰色土 黄色土がわずかに混入 しまり強
- 3 灰黒土 ザクザクした印象の土 木片及び貝殻片 (シジミ) 混入
- 4 灰黄褐色土 しまり強 粘性あり

第 389・498 号土層

- 1 褐色土 木が腐食した層 貝殻 (ハマグリ) 出土 粘性なし (SK389)
- 2 灰黄土 炭化物 (φ3~5mm) 若干混入 瓦面出土 若干粘性あり (SK389)
- 3 灰黄土 若干粘性あり (SK498)
- 4 褐色土 砂が約 7割混入 若干粘性あり (SK498)
- 5 灰黄土 炭化物 (φ5~8mm) 混入 陶器片出土 (SK498)
- 6 黄褐色土 若干粘土混入 やや粘性あり (SK498)

第 391 号土層

- 1 褐色土 ザクザクした印象の土 上面より杵・桶底の板等出土
- 2 褐色土 木片等多量 しまり強
- 3 灰黄褐色土 炭化物 (φ5~7mm) 多量 しまり強 粘性あり
- 4 灰黄土 しまり強 粘性あり

第 392 号土層

- 1 褐色土 小さな木片多量 しまり強
- 2 灰黄褐色土 しまり強 若干粘性あり
- 3 灰黄土 砂が多量 しまり強

第 393 号土層

- 1 褐色土 散置 腐食植物が 図形木片若干含む
- 2 褐色土 砂若干混入 しまりやや強
- 3 灰黄土 しまり強 粘性あり

第 394 号土層

- 1 褐色土 混土木片層 腐食木片くずを埋めた穴

第 395 号土層

- 1 褐色土 炭化物 (φ3~5mm) 多量 樹皮状のもの混入
- 2 灰黄土 炭化物 (φ3~7mm) 若干含む 焼土ブロック混入 しまり強 漆喰出土
- 3 暗黄褐色土 しまり強 粘性あり

第 396 号土層

- 1 褐色土 灰黄土粘土ブロック混入 しまり強
- 2 灰黄土 砂多量 (約 4割) しまり弱
- 3 灰黄土 炭化物 (φ2~3mm) 若干混入 しまり強

第 397 号土層

- 1 褐色土 木片多量 シジミ出土
- 2 灰黄土 炭化物 (φ2~3mm) 混入 しまりやや強

第 398 号土層

- 1 灰黄褐色土 ブロック (φ3~4cm) 状の堆積 焼土ブロック (φ2~3cm) 炭化物ブロック (φ2cm) 少量 しまり極めて強
- 2 灰黄褐色土 焼土層 径 3~5cm のブロック状に堆積 炭化物ブロック (φ3~4cm) 少量 しまり極めて強

第 399 号土層

- 1 褐色土 木片及び樹皮状のもの多量 しまり強
- 2 灰黄褐色土 砂多量 しまりやや強
- 3 灰黄土 炭化物 (φ2~3mm) 混入 しまり強 粘性あり

第 402 号土層

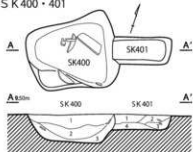
- 1 暗黄褐色土 やや砂質 炭化物 (φ1~2cm) 少量 しまり・粘性あり
- 2 褐色砂質土 全体に酸化 灰黄褐色シルト粒 (φ5mm以下) 少量 しまり弱 粘性やや弱

第 502 号土層

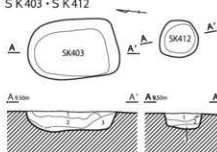
- 1 褐色土 しまり強 粘性あり
- 2 暗褐色土 瓦片・焼物片等混入 しまりやや強 粘性あり
- 3 暗黄褐色土 粘性あり

第 260 図 土層 (1)

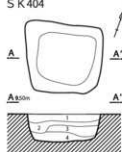
S K 400・401



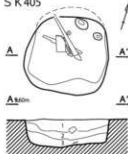
S K 403・S K 412



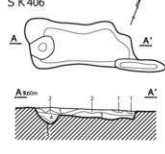
S K 404



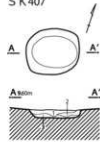
S K 405



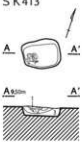
S K 406



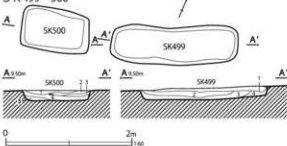
S K 407



S K 413



S K 499・500



第400号土壌

- 暗灰色土 炭化物(φ1cm)・黒褐色シルト粒(φ2~3cm)・木材片少量
しり強い 粘性あり
- 暗褐色土 木材片多量 しりやや弱 粘性強
- 暗褐色土 やや砂質 大きな木材片少量 しり弱 粘性強

第401号土壌

- 灰黄褐色土 炭化物(φ1cm)少量 しり強 粘性あり
- 暗褐色土 暗灰黄褐色土粒(φ1~2cm)少量 しり・粘性あり
- 暗灰黄褐色土 黒褐色シルト粒(φ3~4cm)少量 しりやや弱 粘性
やや強

第403号土壌

- 暗褐色土 暗褐色シルト粒(φ1~2cm)少量 下位を中心に黒褐色シルト粒
(核殻類: φ2~3cm)少量 しりやや弱 粘性強
- 黄褐色土 暗褐色シルト粒(φ1~2cm)少量 白色軽石粒(φ5mm)
多量 しり極めて強

第404号土壌

- 暗褐色土 1層より暗褐色シルトブロック(φ5cmまで)多量 黄褐色砂
ブロック(φ2cm)を含む 白色軽石粒(φ5mm)多量
- 暗褐色土 炭化物(φ1cm)少量 しりやや弱 粘性あり
- 暗褐色土 炭化物(φ1cm)少量 しりやや弱 粘性あり

第404号土壌

- 黄褐色土 やや緑色味を帯びる 砂 炭化物(φ1cm)・暗灰色
シルト粒(φ1cm)少量 しりなし
- 暗褐色土 暗灰色シルトブロック(φ2cm)を下位中心に少量含む
しりなし

- 黄灰色砂 全体に酸化し、オレンジ色味を帯びる
- 暗灰色砂質シルト 白色軽石粒(φ5mm)少量 しり・粘性弱

第405号土壌

- 黄褐色土 部分的に炭化物が薄い層状に入る しり強 粘性あり
- 暗褐色土 腐食木材類 しりなくふかふかした印象
- 褐色土 土層と同一特徴を持つが、軽石とみられる種子を30~40%
含む 木材片を含む しりなし

第406号土壌

- 焼土ブロック(φ5cmまで)主体層 炭化物ブロック(φ3~4cm)混在
- 暗褐色土 同色の砂ブロック(φ3~4cm)少量 しりやや弱 粘性強
- 黄灰色砂 部分的に酸化して黄褐色を呈する 白色軽石粒(φ2mm)
少量 しりなし

第407号土壌

- 灰黄色シルト やや砂質 しり・粘性あり
- 暗褐色土 黄褐色鉄分沈着層 しり極めて強
- 暗褐色土 酸化鉄分粒(φ1~2cm)やや多量 しり強 粘性あり

第407号土壌

- 暗褐色土 1層と同質だが酸化鉄分を混在に混じる しり・粘性
あり
- 暗褐色土 やや砂混入 焼土粒・暗灰色シルトブロック
(φ2~3cm)少量 しり強 粘性あり

第412号土壌

- 暗褐色土 砂少量 部分的に酸化 木材小片(φ1cm)含む
しりあり 粘性弱
- 暗褐色土 炭化物(φ1cm)少量 しり・粘性あり
- 暗褐色土 同色の粘質土(φ1cm)少量 しり弱

第413号土壌

- 暗褐色土 やや砂を混じえる 白色軽石粒(φ1~2mm)・炭化物粒
(φ5mm)少量 しり・粘性あり
- 暗褐色土 やや砂を混じえる 全体に酸化 しりやや弱 粘性あり
- 黄褐色土 黄褐色・暗褐色シルトブロック(φ1~2cm)を含む
しり弱い

第499号土壌

- 暗褐色土 炭化物(φ2~5mm)・焼土(φ5mm)混入 しり強
- 暗褐色土 炭化物(φ3~4mm)多量 しり強
- 暗褐色土 炭化物(φ5~7mm)若干混入 しり強
- 暗褐色土 しり強 若干粘性あり

第500号土壌

- 暗褐色土 炭化物(φ1~1.5cm)多量 しり強 粘性なし
- 暗褐色土 砂多量 炭化物(φ5~8mm)微量 しり強 粘性なし
- 暗褐色土 シルトブロック(φ2~3cm)含む しり強 若干
粘性あり
- 暗褐色土 底面に腐食した木くずが埋蔵 しり強 粘性なし
- 暗褐色土 鉄質土層 しり強 若干粘性あり

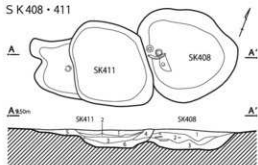
第261図 土壌(2)

第497号土壌(第262図)

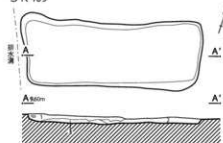
C6-F6・7グリッドに位置し、東側は調査区外に延びる。掘り込み面は検出面よりかなり高く、本来は第一面に帰属する土壌である。覆土に

は焼土、焼けた瓦を多く含み、火災処理に係る土壌と考えられる。ただし、土壌の規模に比して陶磁器の量が極めて少なく、瓦類が主体的に廃棄されたようである。第291図412~422に陶磁器を示

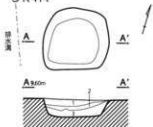
S K 408・411



S K 409



S K 414



第 408 号土壇

- 1 黄灰色土 灰黄色シルト粒 (φ2 cm 程度)・暗灰色土ブロック (φ3~5 cm) 少量 白色軽石粒 (φ5 mm) 多量 しまり強
- 2 暗灰色土 炭化物 (φ1 cm) 少量 腐食木材とみられる暗褐色土がまばらに散入 しまりやや弱 粘性あり
- 3 灰黄色土 暗灰色土ブロック (φ4~5 cm) 少量 遺構底面は酸化して黄褐色の面となる しまりなし

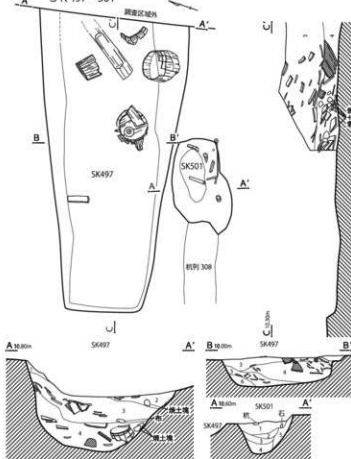
第 409 号土壇

- 1 黄灰色土 やや砂混入 腐食木材を縦線状に混じえる しまりあり 粘性やや弱
- 2 暗灰色土 暗灰色土ブロック (φ3~5 cm)・黄褐色シルトブロック (φ3~5 cm) 少量 白色軽石粒 (φ5 mm) 多量 しまり・粘性強
- 3 暗灰色土 灰黄色シルト粒 (φ2 cm 以下) 少量 白色軽石粒 (φ5 mm) 多量 しまり強

第 411 号土壇

- 1 黄灰色土 灰黄色シルト粒 (φ2 cm 以下) 少量 白色軽石粒 (φ5 mm) 多量 しまり強
- 2 暗灰色土 均質で混入物少ない しまりやや弱 粘性強
- 3 暗灰色シルト 針葉樹の皮・黄褐色砂の混合層 しまり弱 粘性強
- 4 暗灰色シルト 炭化物粒 (φ1 cm) やや多量 やや砂質 しまり・粘性あり
- 5 木片主体層 針葉樹の皮が多い
- 6 灰黄色砂質土 暗灰色シルトブロック (φ3~5 cm) 少量 しまり弱

S K 497・501



第 414 号土壇

- 1 黄灰色土 やや砂質で砂ブロック (φ4~5 cm) 少量含む 炭化物粒 (φ1 cm) 少量 白色軽石粒 (φ2 mm) 微量 しまりあり 粘性弱
- 2 暗灰色土 暗灰色シルトブロック (φ2~5 cm)・炭化物粒 (φ2 cm 程度)・木片少量 1 層より混入物が多い しまりあり 粘性弱
- 3 暗灰色砂質シルト 比較的均質な層 しまり・粘性やや弱

第 497 号土壇

- 1 暗灰色土 しまり極めて強 粘性なし
- 2 淡い暗褐色土 焼土ブロック (φ10 cm 位)・焼けた灰を含む 若干粘性あり
- 3 黒色土 炭化物と灰及び木片の層
- 4 明赤褐色土 焼土と灰の層 焼土ブロック (φ3~10 cm) 含む 焼けた補 2 点出土
- 5 黒色土 炭化物 (他別) と灰 (4 割) の層
- 6 暗褐色粘土 焼土 (φ0.5~1 cm) 微量 しまり強 粘性あり

第 501 号土壇

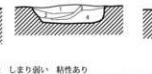
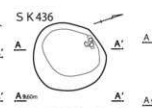
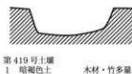
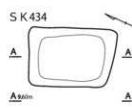
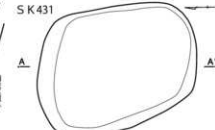
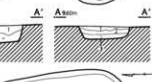
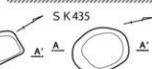
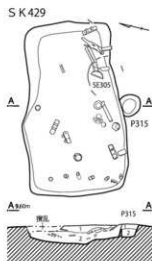
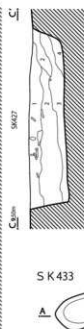
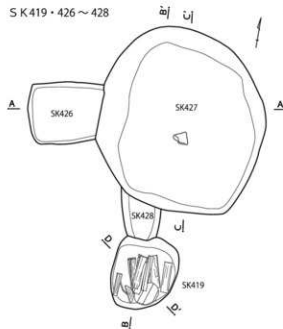
- 1 暗黄褐色土 炭化物 (φ1~2 mm) を含む 灰の面が目立つ しまり極めて強 若干粘性あり
- 2 灰褐色土 木片微量 かなり粘性あり
- 3 暗褐色土 黄褐色砂を3~4割含む しまり強 粘性なし
- 4 黒褐色土 砂をほとんど含まない しまり強 粘性あり強
- 5 灰黄褐色土 灰粘土に黄褐色砂が5~6割混入 若干粘性あり

第 262 図 土壇 (3)

す。414・415、417~419は被熱した色絵磁器であり、他の遺構と比べても色絵磁器が多い。最新期の磁器は肥前系磁器端灰碗蓋 (413・415) で、第一面第301号土壇ほかとほぼ同じ段階の火災処理に係る可能性が高い。第309・310図25~31は瓦類で、29・30は焼け歪む。26~28の丸瓦

上面には、方形に変色範囲が認められる。第319図は木製品で、126は大振りの漆器蓋である。第327図54~60は金属製品で、54は木製柄が残る鎌である。柄に焦げ等はみられない。55~60は銅製の環状製品で輪金具とした。被熱痕は確認できないが、瓦類とともに投棄されたとすれば屋根に

S K 419・426～428



第 419 号土層

1 暗褐色土

2 暗褐色土

3 暗褐色シルト質土

4 暗褐色土

5 暗褐色シルト質土

6 暗褐色土

7 暗褐色土

8 暗褐色土

9 暗褐色土

10 暗褐色土

11 暗褐色土

12 暗褐色土

13 暗褐色土

14 暗褐色土

15 暗褐色土

16 暗褐色土

17 暗褐色土

18 暗褐色土

19 暗褐色土

20 暗褐色土

21 暗褐色土

22 暗褐色土

23 暗褐色土

24 暗褐色土

25 暗褐色土

26 暗褐色土

27 暗褐色土

28 暗褐色土

29 暗褐色土

30 暗褐色土

31 暗褐色土

32 暗褐色土

33 暗褐色土

34 暗褐色土

35 暗褐色土

木材・竹多量 しまり強い 粘性あり
暗褐色シルトブロック (φ4～5cm) 少量 腐食木材を含むが、
腐食木材は少ない 下位には腐材が重なって入っている
しまり・粘性あり
暗褐色シルト質土 砂少量 しまり・粘性やや強
暗褐色シルトブロック (φ2～4cm) やや多量 炭化物粒 (φ1cm)
少量 しまり・粘性あり
同色のシルト質土ブロック (φ2～3cm) 少量 腐の崩落土
とみられる しまり弱
暗褐色シルトブロック (φ3～5cm) 多量 炭化物・焼土粒
(φ1cm)、白色軽石粒 (φ5mm) やや多量 瓦片を含む
しまり強 粘性あり
暗褐色シルトブロック (φ3～5cm)、白色軽石粒 (φ5mm)
少量 炭化物 (φ1cm) やや多量 瓦片を含む しまり強
粘性あり
腐食木材 (φ5cm以下)、瓦片少量 しまりやや弱
暗褐色シルトブロック (φ5～8cm) 少量 しまり弱 壁の
崩落土とみられる
腐食木材 (φ1～2cm)、黄褐色砂質土ブロック (φ2～6cm)
まだらに含む 灰色シルトブロック (φ1～2cm)、白色軽石粒
少量 しまりやや強 粘性あり
腐食木材片 (φ2～5cm)、焼土粒 (φ1cm)、黄褐色砂質土
(φ2～3cm) 少量 炭化物 (φ1cm) やや多量 腐の一部
酸化して黄褐色を呈する しまり弱 粘性やや強
木材片多量 しまり弱 粘性あり
暗褐色土を少し混じえる 木材片多量

第 315 号ピット

1 暗褐色土

2 暗褐色土

3 暗褐色土

4 暗褐色土

5 暗褐色土

6 暗褐色土

7 暗褐色土

8 暗褐色土

9 暗褐色土

10 暗褐色土

11 暗褐色土

12 暗褐色土

13 暗褐色土

14 暗褐色土

15 暗褐色土

16 暗褐色土

17 暗褐色土

18 暗褐色土

19 暗褐色土

20 暗褐色土

21 暗褐色土

22 暗褐色土

23 暗褐色土

24 暗褐色土

25 暗褐色土

26 暗褐色土

27 暗褐色土

28 暗褐色土

29 暗褐色土

30 暗褐色土

軽石粒 (φ5mm) 少量 しまりやや強 粘性あり

炭化物 (φ1～2cm) 少量 しまり弱 粘性やや弱

暗褐色シルト質土 砂少量 しまり・粘性やや強

暗褐色シルトブロック (φ6cm) 多量 鉄分やや多量

暗褐色シルト粒 (φ1～2cm) 少量 しまりなし

暗褐色シルト質土 (φ1～1.5cm) 多量

暗褐色シルト質土ブロック (φ3～5cm) 少量 しまり・粘性あり

やや砂質 しまり・粘性あり

同色の砂を多く含む 暗褐色シルトブロック (φ2～3cm)

少量 しまり・粘性あり

黄褐色土ブロック (φ2～3cm) 少量 しまり弱 粘性あり

鉄分粒 (φ1cm) 少量 しまり弱

灰色シルトブロック (φ5～8cm)、黄褐色シルトブロック

多量 しまり・粘性あり

暗褐色シルトブロック (φ5cm) 多量 炭化物 (φ1～2cm)

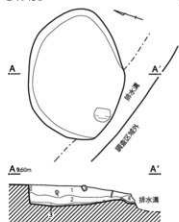
少量 しまり・粘性あり

炭化物 (φ5mm) 多量 しまり弱い 粘性あり

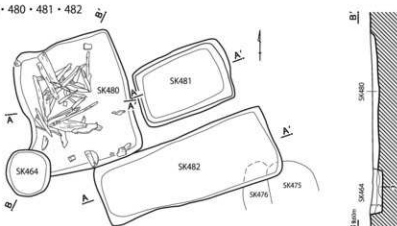
炭化物 (φ5mm) 含む しまりあり 粘性強

第 264 図 土 質 (5)

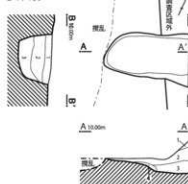
SK 430



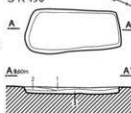
SK 464・480・481・482



SK 489



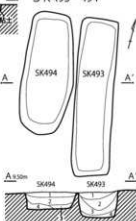
SK 490



SK 507



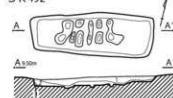
SK 493・494



SK 470



SK 492



0 2m

第 430 号土層

- 1 暗褐色土 やや砂質 炭化物・灰色シルト粒・黄褐色シルト粒 (φ1 cm) 少量 しりあり
- 2 暗褐色土 炭化材をばらばらに含む しりありや面 粘性あり
- 3 暗灰色砂質土 底面がやや砂化して硬化する しりなし
- 4 灰色砂質土 木片 (φ1~2 cm) 少量 しりなし

第 464 号土層

- 1 炭褐色土 炭化物 (φ2~3 mm)・梗皮多量 しり強 粘性面
- 2 炭褐色土 約 8 割が砂 炭分の混入多し しり強
- 3 灰黄色土 2層に比して砂粒が細かい しり強 粘性面

第 470 号土層

- 1 暗褐色土 しり強 粘性なし 陶器片出土
- 2 炭褐色土 しり強 若干粘性あり

第 480 号土層

- 1 暗褐色土 シルト質 混入物ほとんどなし 粘性面
- 2 褐色土 炭粒の粒子が赤色に変色 しりなし 粘性面
- 3 黒褐色土 半炭化した樹皮や繊維質のものが多量に含まれる
- 4 炭褐色土 砂質 杭・板材などを含む しり・粘性面

第 481 号土層

- 1 暗褐色砂 シルト混入
- 2 暗褐色土 シルト混入
- 3 黄褐色砂 砂の純層
- 4 炭褐色土 シルトブロック混入 炭化物 (φ0.5~1.5 cm) 若干混入
- 5 暗褐色土 砂質土 シルト混入 炭化物 (φ3~8 mm) 若干混入

第 482 号土層

- 1 褐色土 シルト混入
- 2 褐色土 シルト混入
- 3 褐色土 他の粒子を混じえない
- 4 炭褐色砂 炭化物ブロック (φ2 cm) 混入
- 5 暗灰色砂 シルトブロック (φ1~2 cm) 若干混入
- 6 暗灰色砂 炭化物ブロック (φ1 cm)・機土ブロック (φ2 cm) 若干混入
- 7 灰黄色砂 ギザギザした印象の層 6層より砂粒粗い

第 489 号土層

- 1 褐色土 サラサラした印象の土
- 2 黒褐色土+機土ブロック (φ2~4 cm) 機土約 8 割 瓦片・陶器片出土
- 3 褐色土+機土ブロック (φ1~5 cm) 機土 9 割 瓦片・陶器片出土
- 4 灰黄色土 瓦片・陶器片出土 粘性あり 掘りすぎか

第 490 号土層

- 1 黒褐色土 褐色粘土の小ブロック混入 しり強
- 2 暗褐色土 しり強
- 3 灰黄色土 炭化物 (φ5~8 mm) 混入 しり強 わずかに粘性あり

第 492 号土層

- 1 暗褐色砂 サラサラした印象の土
- 2 暗褐色土 炭分が多く沈着 しりありや面
- 3 灰黄色土 炭化物 (φ2~3 mm) 多量 しり強

第 493 号土層

- 1 暗褐色砂 シルトブロック (φ1~1.5 cm) 混入 しり強 粘性なし
- 2 褐色土 炭化物 (φ3~5 mm) 多量 しり強 粘性なし
- 3 灰黄色砂 炭化物 (φ3~8 mm) 若干混入 しり強 粘性なし
- 4 灰黄色土 しり強 若干粘性あり

第 494 号土層

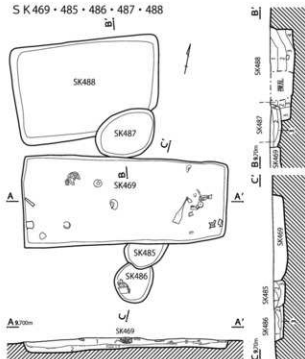
- 1 暗褐色土 砂層 底面に炭分沈着 しりあり
- 2 暗褐色土 シルトブロック混入 炭化物 (φ5~8 mm) 多量 しり強
- 3 灰黄色土 若干粘性あり

第 507 号土層

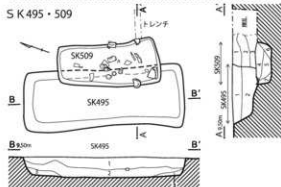
- 1 暗褐色土 砂混入 陶器片出土 しり強 粘性あり
- 2 暗褐色土 炭化物 (φ3~5 mm) 混入 しり強
- 3 灰黄色土 黄褐色土が混入 炭化物 (φ3~5 mm) 多量 しり強
- 4 褐色土 極めて強
- 2 灰黄色土 炭化物 (φ2~3 mm) 少量 しりあり 粘性面 木片・瓦片等出土
- 3 灰黄色土 砂が約 3 割混入 炭化物 (φ5~8 mm) 多量 しりあり
- 4 褐色土 粘性あり 陶器片出土 炭分沈着あり 約 7 割が混入 しりあり 粘性なし

第 265 図 土層 (6)

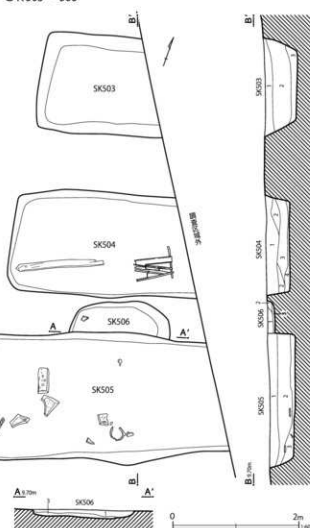
S K 469・485・486・487・488



S K 495・509



S K 503 ~ 506



第 469 号土層

- 1 暗褐色土 木片多量 漆器(3点)、黒炭のある板等出土 しまり強 粘性なし
- 2 暗灰黄褐色土 木片と板状の細片、角材(3~5cm角)等多量 しまり強 粘性弱

第 485 号土層

- 1 灰黒色土 黄色粘土の小ブロック・炭化物($\phi 2 \sim 3$ mm)若干混入 しまり強
- 2 灰褐色土 炭化物($\phi 2 \sim 4$ mm)若干混入 陶器片出土 しまり強
- 3 灰黄色土 炭化物(2×2 cm)混入 炭化物($\phi 5$ mm以下)少量 しまり強

第 486 号土層

- 1 暗黄褐色土 黄色粘土粒子混入 陶器片・瓦片出土 しまり強
- 2 灰褐色土 炭化物($\phi 2 \sim 3$ mm)微量 瓦片出土 しまり強
- 3 灰黄色土 炭分沈着 しまり強 粘性なし

第 487 号土層

- 1 暗褐色土 木材・樹皮多量 炭化物($\phi 3 \sim 8$ mm)多量 しまり極めて強
- 2 暗灰褐色土 黄色粘土混入 炭化物($\phi 2 \sim 3$ mm)微量 しまり強
- 3 暗黄褐色土 しまり強 粘性なし
- 4 黄褐色土 ブロック状の堆積 しまり極めて強

第 488 号土層

- 1 暗褐色土 炭化物($\phi 3 \sim 8$ mm)含む しまり強 粘性なし
- 2 暗灰褐色土 シルトブロック($\phi 2 \sim 3$ cm)多量 しまり強
- 3 暗黄褐色土 シルトブロック($\phi 1$ cm位)含む しまり強 粘性なし
- 4 灰褐色土 機土($\phi 0.3 \sim 1.5$ cm)混入 しまり強 粘性なし
- 5 灰黄色土 炭分をわずかに含む シルトブロック混入

第 495 号土層

- 1 褐色土 シルトブロック($\phi 3 \sim 5$ cm)多量 しまり強 粘性なし
- 2 暗黄褐色土 炭化物($\phi 2 \sim 3$ mm)微量 しまり強 若干粘性あり
- 3 暗褐色土 炭化物($\phi 2 \sim 8$ mm)多量 しまり強 粘性あり

第 503 号土層

- 1 黄灰色砂 約 50 cm 上から覆りこまれている

- 2 暗灰色砂 シルトブロック($\phi 3 \sim 5$ cm)混入
- 3 黒灰白砂 下面に炭分沈着

第 504 号土層

- 1 暗灰色砂 粘土(6割)と砂(4割)の層
- 2 黄灰色土 炭化物($\phi 2 \sim 3$ mm)微量 この層より陶器片出土
- 3 暗灰色砂 しまり強 粘性なし
- 4 褐色土

第 505 号土層

- 1 灰褐色砂 底面に陶器片・瓦片が多く出土
- 2 暗灰色砂 炭化物($\phi 2 \sim 3$ mm)微量 手堀り出土 若干粘性あり
- 3 暗灰黄褐色土

第 506 号土層

- 1 黒褐色土 小礫混入 底面に炭化物の薄層 しまり弱 粘性なし
- 2 灰褐色土 炭化物($\phi 2 \sim 5$ mm)混入 しまり強 粘性あり
- 3 暗灰色土 砂混入 粘性あり

第 509 号土層

- 1 褐色土 粘性なし
- 2 暗灰褐色土 炭化物($\phi 1$ cm前後)微量 磁石・陶器片出土 粘性あり
- 3 暗黄褐色土 炭化物($\phi 5 \sim 6$ mm)微量 漆器片・かけら等出土 粘性あり
- 4 灰褐色土 砂多量 炭化物($\phi 0.8 \sim 1$ cm)多量 陶器片出土

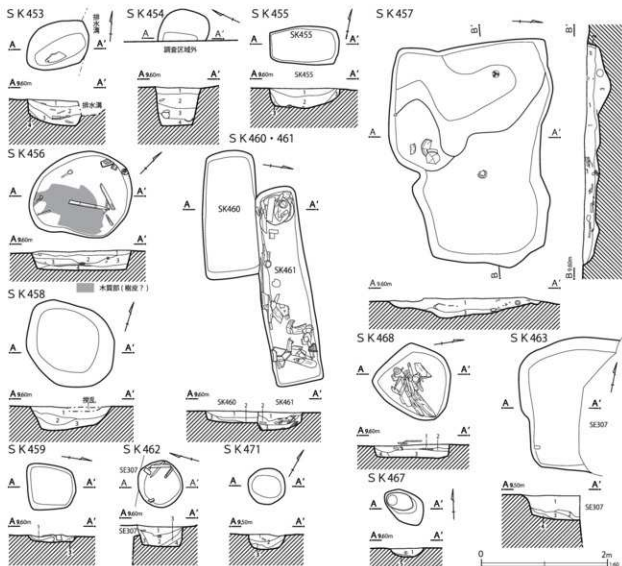
第 505 号土層

- 1 褐色土 木片・陶器片等混入 志野組出土 粘性あり (SK509)
- 2 暗褐色土 炭化物($\phi 1 \sim 2$ cm)多量 木片の小片多量 粘性あり (SK509)

第 506 号土層

- 1 暗褐色土 黄色粘土混入 炭化物($\phi 0.8 \sim 1$ cm)若干混入 粘性あり (SK509)

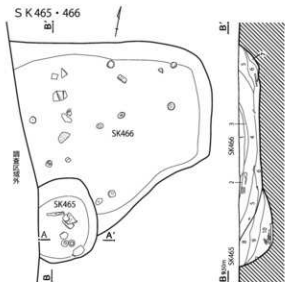
第 266 図 土層 (7)



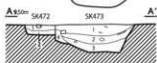
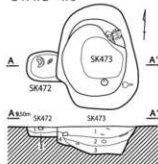
- 第 453 号土壌
1 暗褐色土 炭化物 (φ3~5mm) 多量 しまり強
2 灰褐色土 木片・瓦片多量 比較的しまりやや強い
3 暗灰色土 腐った木質状のもの混じる しまり弱 粘性あり
4 黄灰色砂 水分多し
- 第 454 号土壌
1 焼土+黒色土 焼土 (4割強) ザクザクした印象の土
2 焼土ブロック (φ2~4cm)+黒色土
3 焼土+黒色土 硬砂礫 (φ1~1.5cm) 多量 鉄分の付着みられる
4 焼土+炭化物+褐色土 焼土2割・炭化物4割・褐色土4割
- 第 455 号土壌
1 灰黒色土 砂質土少量含む 炭化物 (φ3~8mm) 多量 しまり強
2 褐色土 腐食した木質の土が多く混じる 粘性あり
3 暗灰色土 砂多量 炭化物 (φ0.8~1cm) 若干混じる
- 第 456 号土壌
1 褐色土 比較的やわらかい土 木が腐食したものが多い
2 灰黒褐色土 炭化物 (φ5~8mm) 多量 しまり強 粘性あり
3 灰褐色土 木の小片多量 下部に腐皮状のものが面状に広がる
4 暗黄色砂 腐皮の下部の層 シルト (φ1~2cm) 混じる 粘性なし
- 第 457 号土壌
1 黒灰色土 フカフカした印象の土 木片・竹片・貝殻等混入
2 暗黄灰色砂 砂の混層
3 暗灰色土 アワビ・ハマグリ等の貝殻多量 しまり強 粘性あり
- 第 458 号土壌
1 暗褐色土 木片・瓦片を含む しまり強 粘性なし
2 灰褐色土 炭化物 (φ5~8mm) 少量 しまり強 若干粘性あり
3 暗灰色土 炭化物 (φ0.8~1cm) 多量 しまり強 若干粘性あり
- 第 459 号土壌
1 黄灰色砂 砂9割強
2 灰褐色土 木片多量 しまり強 粘性あり
3 灰褐色土 炭化物混入 しまり強 粘性あり

- 第 460 号土壌
1 暗灰色土 炭化物 (φ2~3mm) わずかに含む しまり強 若干粘性あり
2 暗黄色土 砂質多量 しまり強 粘性なし
3 暗灰黄色土 炭化物 (φ2~5mm) 多量 しまり強 粘性あり
- 第 461 号土壌
1 灰黒褐色土 炭化物 (φ0.3~1cm) 多量 しまり強 若干粘性あり
2 暗灰褐色土 ザクザクした印象の土 木片・瓦片多量
3 灰黒色土 樹皮多量 下部に板状のものが散らかる 粘性あり
- 第 462 号土壌
1 褐色土 炭化物 (φ2~3mm) 多量 しまり強 粘性なし
2 灰黒褐色土 炭化物若干混じる 木材・炭化木材混入 しまり強 粘性なし
3 黒灰色土 小粒の砂を多く含む しまり強 粘性あり
- 第 463 号土壌
1 暗褐色土 砂混じりのボロボロの土 腐炭土 粘性なし
2 黒褐色土 他のものを含まない しまり強 粘性あり 陶器片含む
3 灰褐色土 炭化物 (φ1~3mm) わずかに含む しまり・粘性あり 漆器出土
4 灰黄色粘土 水分多し 炭化物 (φ3~6mm) 多量 粘性あり
- 第 467 号土壌
1 黒色土+灰褐色土 黒色の炭化物約8割 灰褐色土約2割
2 灰黒色土 しまり強 粘性あり
- 第 468 号土壌
1 黄褐色砂 上面より漆器・櫛・木片多く出土 しまり強
2 褐色砂 鉄分が沈着した層 しまり強
3 暗灰色砂 炭化物 (φ5~8mm) 多く含む しまり強
4 黄灰色砂 櫛の粒子をほとんど含まない しまり強
- 第 471 号土壌
1 暗灰色土 炭化物 (φ3~5mm) 若干混入 シルトブロック含む しまり強
2 灰褐色土 炭化物 (φ3~5mm) 多量 しまり強 若干粘性あり
3 黒灰色土 炭化物 (φ0.8~1cm) 多量 しまり強 粘性あり

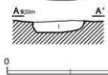
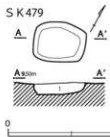
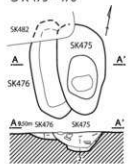
第 267 図 土 壌 (8)



SK 472・473



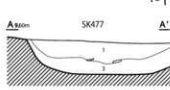
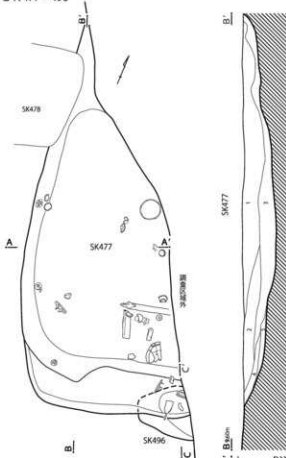
SK 475・476



第 465・466 号土壌

- 1 黒褐色土 炭化物 (φ3~5mm) 若干混入 下部に樹皮が堆積 しまり強 粘性なし (SK466)
 - 2 灰黒色土 上面に木くずが混入 しまり強 (SK466)
 - 3 暗灰色土 機土 (φ8~10mm)・炭化物 (φ3~5mm) 混入 木片含む しまり強 (SK466)
 - 4 黒色土 炭化物 (φ0.5~1.2cm) 多量 漆器・木片・陶片等多量 しまり強 粘性あり (SK466)
 - 5 暗灰色土 砂多量 木片・木くず等混入 しまり強 粘性なし (SK466)
 - 6 灰黒色土 砂多量 炭化物 (φ5~7mm) 若干混入 陶器片・瓦片等出土 しまり強 若干粘性あり (SK466)
 - 7 暗灰色土 (SK466)
 - 8 灰黒褐色土 SK465の上面に覆り込まれたものか しまりあり 粘性なし (SK465)
 - 9 黒灰色土 一部にハネギリ貝類有り 底面に陶器類含む しまりあり 若干粘性あり (SK465)
 - 10 暗灰色土 木材・漆器片を含む しまりあり 粘性あり (SK465)
 - 11 暗灰色土 水多し 砂多量 粘性あり (SK465)
- 第 472 号土壌
- 1 灰黒色土 炭化物 (φ5~8mm) 多量 しまり強 陶器出土
 - 2 暗黄灰色土 炭化物 (φ2~3mm) 混入 しまり強 粘性あり

SK 477・496



第 473 号土壌

- 1 暗灰褐色土 炭化物 (φ3~8mm) 多量 しまり強
- 2 灰黒色土 木片等 2割強混入 しまり強 若干粘性あり 白天目出土
- 3 暗黒褐色土 木片・樹皮の含有 9割強 しまり弱 漆桶出土
- 4 灰黒色土 約 3割砂含む しまり強

第 474 号土壌

- 1 暗灰色土 シルト混入 しまり極めて強 粘性なし
- 2 暗灰褐色土 木材小片・樹皮多量 しまりやや弱
- 3 灰黒色土 砂若干含む 水分多し 粘性あり
- 4 黄灰色土 木材片若干混入 しまり弱
- 5 褐色土 板状木片 8割強混入 水分多し しまり極めて弱
- 6 灰黄褐色土 砂及び小砂粒混入 しまり弱 粘性あり

第 475 号土壌

- 1 暗灰色土 木片・木製品・木くず多量 炭化物を含む しまりあり
- 2 暗灰色土 シルト質 木片をわずかに含む 砂を含む しまりややあり

第 476 号土壌

- 1 褐色土 シルト質 砂を含む 極めて微細な木質粒子の集積 しまりあり 粘性ややあり

第 477 号土壌

- 1 灰褐色砂 砂の純層
- 2 暗灰色砂 陶器類の出土多量 しまりあり 若干粘性あり
- 3 樹皮と板材の層 おがくず状のものが堆積した層 フカフカでしまり強い
- 4 褐色土 砂が 8割強混入 水分多し 粘性あり
- 5 暗灰色土 砂が 8割強混入 水分多し 粘性あり

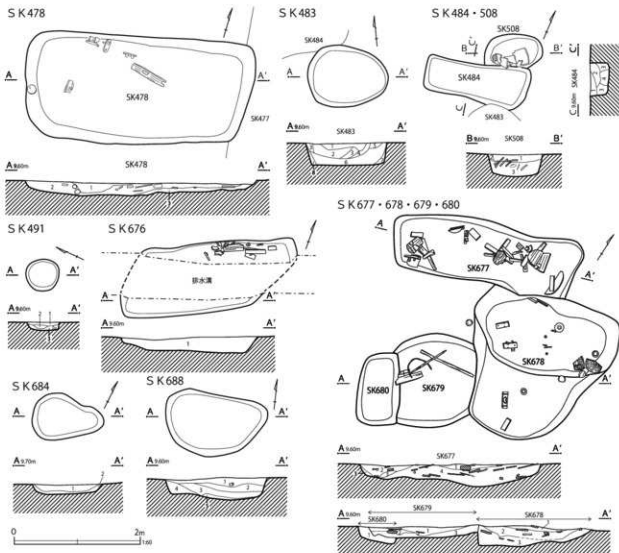
第 479 号土壌

- 1 暗灰色土 シルト質 炭化物含む 粘性ややあり

第 496 号土壌

- 1 暗灰色土 炭化物含む 粘性あり
- 2 暗灰色土 炭化物・機土ブロック (φ3~5cm) 含む ブロックは壁土が 残ったもの 粘性あり
- 3 暗灰色土 微細な砂・炭化物 (φ3mm) 含む 粘性あり

第 268 図 土壌 (9)

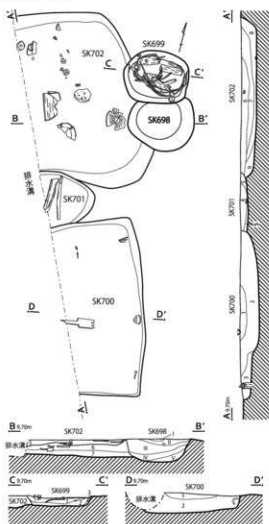


- 第 478 号土壇
1 灰褐色砂 粒徑粗くもろい。木材片を含む
2 灰褐色土 壁皮・木炭屑・枝等多量。しまりなし
3 暗灰色土 砂・炭化物・木片を含む。粘性ややあり
- 第 483 号土壇
1 褐色土 しまり極めて強
2 黄灰色粘土 炭化物(φ5~8mm)多量。しまり極めて強。陶器片出土
3 灰褐色土 粘土ブロック(φ2~3cm)混入。しまり極めて強。粘性なし
陶器片出土
4 褐色砂 ザラザラで砂粒が大きい
しまりあり。粘性なし
5 黄灰色砂 炭化物(φ3~8mm)若干混入。しまりあり。粘性なし
かわらけ出土
- 第 484 号土壇
1 暗褐色土 炭化物(φ2~3cm)少量。鉄分混入。若干粘性あり
2 暗褐色土 シルトブロック(φ1~3cm)混入
3 灰褐色砂 シルトブロック(φ1~3cm)混入
4 褐色砂 シルトブロック(φ1~3cm)混入
- 第 491 号土壇
1 暗褐色土 焼土ブロック(φ1~3cm)多量。炭化物(φ5~8mm)混入
しまり極めて強
2 灰褐色土 焼土(φ2~3cm)少量。しまり極めて強。若干粘性あり
炭化物(φ2~3cm)少量。陶器片出土。しまり極めて強
粘性なし
- 第 508 号土壇
1 黄灰色土 粘土土。粒子細かく、しまり強
2 灰褐色土 瓦・陶器多量。しまり強。粘性なし
3 黒灰色砂 砂質土。瓦・陶器多量
- 第 676 号土壇
1 黄灰色土 木材片(φ1~3cm)極めて多量。しまり・粘性なし

- 第 677 号土壇
1 黄褐色砂 全体に酸化。木材を含む。しまりなし
2 灰褐色土 腐食した針葉樹皮を多く含む。フカフカした印象。しまり・粘性弱
3 黄灰色土 やや砂質。木材片を下方中心に含む。ブロックとして混入した土とみられる。しまり・粘性やや弱
- 第 678 号土壇
1 灰褐色土 腐食木材屑。多量の木材含む。針葉樹皮と枝
2 暗褐色土 腐食木材屑。多量の木材含む。針葉樹皮と枝
3 黄灰色土 砂が少量。炭化物(φ1cm)少量。木片含む。粘性・しまりやや弱
しまりなし
- 第 679 号土壇
1 暗褐色土 腐食木材屑。多量。木材片と針葉樹皮多量
2 暗褐色土 腐食木材屑。多量。木材片と針葉樹皮多量
3 暗褐色土 腐食木材屑。多量。木材片と針葉樹皮多量
- 第 680 号土壇
1 黄灰色土 同色のシルト粒子(φ5mm)少量。しまり弱
2 黄灰色砂質土 1層が還元したもので、同質の層
- 第 684 号土壇
1 黄灰色土 炭化物(φ2~3cm)やや少。白色軽石粒子(φ5mm)少量
しまり・粘性あり
2 暗褐色砂質土 黄灰色シルトブロック(φ5cm)多量。しまり・粘性弱
3 暗褐色砂質土 暗褐色シルトブロック(φ3cm)・白色軽石粒子(φ0.5mm)少量。しまり・粘性弱
- 第 688 号土壇
1 灰褐色土 炭化物(φ2~3cm)少量。しまりやや弱
2 暗褐色土 炭化物(φ2~3cm)少量。しまりやや弱
3 暗褐色土 炭化物(φ2~3cm)少量。しまりやや弱

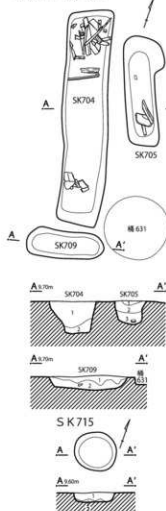
第 269 図 土壇 (10)

S K 698 ~ 702



- 第 698 号土壌
I 暗灰色砂
II 暗灰色土
III 黄灰色砂
IV 黄灰色砂
V 灰色砂
第 699 号土壌
I 暗灰色土
II 暗灰色土
III 暗灰色土
IV 暗灰色土
V 暗灰色土
第 700 号土壌
I 黄灰色砂
II 暗灰色土
III 灰黄色砂
IV 暗灰色土
V 暗灰色土
第 701 号土壌
I 黄灰色砂
II 暗灰色土
III 暗灰色土
IV 暗灰色土
V 暗灰色土
第 702 号土壌
I 暗灰色土
II 暗灰色土
III 暗灰色土
IV 暗灰色土
V 暗灰色土
第 703 号土壌
I 暗灰色土
II 暗灰色土
III 暗灰色土
IV 暗灰色土
V 暗灰色土
第 704 号土壌
I 暗灰色土
II 暗灰色土
III 暗灰色土
IV 暗灰色土
V 暗灰色土

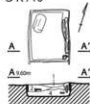
S K 704 ・ 705 ・ 709



- 第 704 号土壌
I 暗灰色土
II 暗灰色土
III 暗灰色土
IV 暗灰色土
V 暗灰色土
第 705 号土壌
I 暗灰色土
II 暗灰色土
III 暗灰色土
IV 暗灰色土
V 暗灰色土
第 706 号土壌
I 暗灰色土
II 暗灰色土
III 暗灰色土
IV 暗灰色土
V 暗灰色土
第 707 号土壌
I 暗灰色土
II 暗灰色土
III 暗灰色土
IV 暗灰色土
V 暗灰色土
第 708 号土壌
I 暗灰色土
II 暗灰色土
III 暗灰色土
IV 暗灰色土
V 暗灰色土
第 709 号土壌
I 暗灰色土
II 暗灰色土
III 暗灰色土
IV 暗灰色土
V 暗灰色土
第 710 号土壌
I 暗灰色土
II 暗灰色土
III 暗灰色土
IV 暗灰色土
V 暗灰色土
第 711 号土壌
I 暗灰色土
II 暗灰色土
III 暗灰色土
IV 暗灰色土
V 暗灰色土
第 712 号土壌
I 暗灰色土
II 暗灰色土
III 暗灰色土
IV 暗灰色土
V 暗灰色土
第 713 号土壌
I 暗灰色土
II 暗灰色土
III 暗灰色土
IV 暗灰色土
V 暗灰色土
第 714 号土壌
I 暗灰色土
II 暗灰色土
III 暗灰色土
IV 暗灰色土
V 暗灰色土
第 715 号土壌
I 暗灰色土
II 暗灰色土
III 暗灰色土
IV 暗灰色土
V 暗灰色土

第 271 図 土 壌 (12)

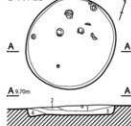
SK716



SK721



SK725



第713号土壇

- 1 暗灰色シルト 灰色砂・灰色シルトブロック (φ3~5cm)・木片 (φ3~5cm) 少量 しまりやや割 粘性あり
- 2 灰色砂質シルト 暗灰色シルトブロック (φ2~3cm) まばらに含む しまり・粘性弱

第716号土壇

- 1 灰褐色土 木片微量
- 2 暗褐色土 炭化物 (φ0.7~1cm)・木片多量 しまり強
- 3 黒灰色土 炭化物 (φ0.7~1cm) 多量 灰白色粘土混入 しまり強 若干粘性あり
- 4 灰褐色土 炭化物 (φ0.8~1.5cm) 微量 木片混入 しまり強 粘性あり (腐方)

第717号土壇

- 1 黄褐色土 ボンボンした印象の土 灰色シルトブロック (φ2cm程)・炭化物 (φ1cm) 少量 しまり弱 腐方か
- 2 暗灰色砂質土 炭化物 (φ2~3cm) 多量 木片・黄褐色砂ブロック (φ2~6cm) 少量 しまりあり

第718号土壇

- 1 灰褐色土 炭化物 (φ2~3cm) をまばらに含む 木片・黄褐色砂質土ブロック (φ2~3cm) 少量 しまりやや割 粘性あり
- 2 暗褐色粘質土 炭化物 (φ2~3cm)・木片少量 しまり弱 粘性やや強

第719号土壇

- 1 黄褐色砂 黄褐色粘質土ブロック (φ2~4cm)・炭化物 (φ1cm) 少量 しまりなし
- 2 黄褐色土 砂・炭化物 (φ1cm程) 少量 しまり・粘性弱
- 3 黄褐色粘質土 炭化物 (φ1cm程) 少量 II層より砂多い しまり弱

第721号土壇

- 1 黄褐色砂質土 黄褐色粘土ブロック (φ3~4cm) 含む しまりあり 粘性弱
- 2 灰褐色土 砂少量 下位中に炭化物 (φ1cm)・灰色粘土塊 (φ2~3cm) 少量 しまりあり 粘性やや弱
- 3 黄褐色土 灰粘土塊 (φ3~5cm) 多量 白色軽石粘土 (φ1mm) 少量 しまり強

第722号土壇

- 1 灰褐色土 やややわらかく硬い土 しみり・粘性強
- 2 黒褐色土 炭化物とみられる物質が主体の層
- 3 灰褐色土 4層より混入物多い 黒褐色の炭化物 (φ5mm) 少量 しまり強

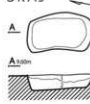
第723号土壇

- 1 黒褐色土 5層とはばね質だが、下に明確な炭化物の層 (厚さ5mm) あり 砂をやや多く含む 灰色粘土ブロック (φ2~3cm)・黄褐色砂ブロック (φ3~5cm)・炭化物 (φ1~2cm) をまばらに含む 下位には炭化物の層あり しまりあり 粘性弱 東側下位で志野面出
- 2 灰褐色土 炭化物 (φ1~2cm) 少量 しまり弱
- 3 黄褐色土 腐化炭分層 (厚さ2cm) 同様の炭分層は遺構南壁面に明確にあらわれる

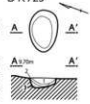
第724号土壇

- 1 灰褐色土 炭化物 (φ1~2cm) 少量 しまり弱
- 2 灰褐色土 炭化物 (φ1~2cm) 少量 しまり弱
- 3 灰褐色土 炭化物 (φ1~2cm) 少量 しまり弱

SK713



SK723



SK717~719



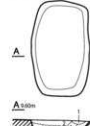
SK724



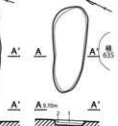
SK742



SK736



SK737



第723号土壇

- 1 褐色土 焼土 (φ1~2.5cm)・炭化物 (φ5~8mm) 多量
- 2 灰褐色土 木片混入 しまり強
- 3 暗褐色土 黄褐色粘土混入 しまり強
- 4 暗褐色土 炭化物 (φ2~7mm) 若干混じる しまり強

第724号土壇

- 1 灰褐色土 シルト質土混入 短期の埋戻し しまり強 粘性なし
- 2 暗褐色土 やわらかい土 腐皮や木片多量
- 3 黒灰色土 砂質土 埋戻し
- 4 暗褐色土 炭化物 (φ5~8mm) 多量 しまり強 粘性なし 陶器片

第725号土壇

- 1 暗褐色土 及び灰片出土
- 2 暗褐色土 しまり強 粘性なし
- 3 暗褐色土 炭化物 (φ3~5mm)・焼土 (φ5~6mm) 微量 しまり強
- 4 暗褐色土 炭化物 (φ3~5mm) 微量 しまり強
- 5 暗褐色土 シルト質土混入 しまり強 若干粘性あり

第733号土壇

- 1 灰褐色土 炭化物 (φ5~6mm) 多量 しまり強 粘性あり
- 2 暗褐色土 黄褐色粘土混入 炭化物 (φ5~6mm) 微量 しまり弱
- 3 暗褐色土 黄褐色粘土混入 炭化物 (φ5~6mm) 微量 しまり弱
- 4 暗褐色土 他粒をほとんど含まない しまり弱 粘性あり
- 5 暗褐色土 暗褐色粘質土ブロック

第736号土壇

- 1 赤褐色土 焼土が固くしまった層
- 2 灰褐色土 炭化物 (φ0.5~1cm)・焼土 (φ0.8~1cm) 若干含む
- 3 暗褐色土 陶器片出土 しまり強
- 4 暗褐色土 焼土 (φ2~3mm) 微量 骨質出土 しまり強 粘性あり
- 5 暗褐色土 ブロック状の塊 炭化物 (φ1~3mm) 微量
- 6 灰褐色土 焼土 (φ1~1.5cm) 混入 しまりやや割
- 7 灰褐色土 焼土ブロック (φ2~3cm) 混入

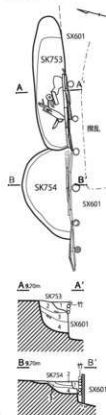
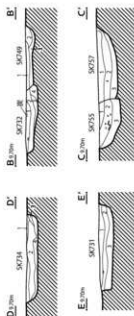
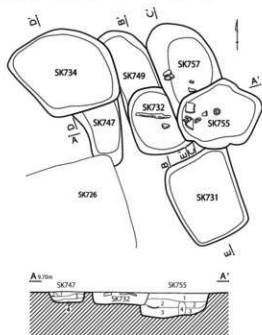
第737号土壇

- 1 灰褐色土 炭化物のくす多量
- 2 灰褐色土 砂若干混入 若干粘性あり
- 3 灰褐色土 炭化物のくす多量
- 4 灰褐色土 炭化物のくす多量
- 5 灰褐色土 炭化物のくす多量
- 6 灰褐色土 炭化物のくす多量
- 7 灰褐色土 炭化物のくす多量
- 8 灰褐色土 炭化物のくす多量
- 9 灰褐色土 炭化物のくす多量
- 10 灰褐色土 炭化物のくす多量

第742号土壇

- 1 暗褐色土 炭化材のくす約5割混じる しまり強 粘性なし
- 2 暗褐色土 灰褐色粘土ブロック (φ2~3cm) 多量 炭化物 (φ5~10mm) 若干混入 しまり強 粘性あり
- 3 灰褐色土 炭化物のくす多量

第272図 土壇 (13)



- 第731号土層
1 暗褐色土 炭化物(φ5~12mm)多量 しまり強 粘性あり
2 褐灰色土 炭化物(φ3~5mm)微量 砂粒若干混入 若干粘性あり
3 黒灰色砂質土 粘性なし
- 第732号土層
1 黒褐色土 約9割が炭化材及び炭化材のくず 陶器片等混入 しまり強
2 暗黄色土 炭化物粘土のブロックが少々混入 しまり強
3 暗灰色砂 砂の純層 しまり強
4 暗黄色土 炭化物(φ7~8mm)・炭化物(φ3~8mm)多量
- 第734号土層
1 暗褐色土 炭化物(φ2~5mm)若干含む しまり強 若干粘性あり
2 暗褐色土+黒色土(3:7) 黒色土部分は炭化材 焼土ブロック(φ3~4cm)含む
3 暗黄色土 若干粘性あり
4 灰黄色土 砂が7~8割混じる
- 第747号土層
1 暗褐色土 炭化物(φ3~5mm)多量 しまり強
2 暗黄色土 しまり強
3 褐灰色土 約6割が割れた炭化材 焼土ブロック(約1×2cm)混入 しまり強
4 暗灰色土 炭化物(φ1~3cm)少量 しまり強 粘性あり
- 第749号土層
1 暗灰色土 焼土ブロック(φ1~4cm)・炭化物(φ5~8mm)多量 しまり強
2 赤褐色土 8割強が焼土 水分多量 粘性あり
3 暗黄色砂質土 ザクザクした印象の土
- 第753号土層
1 灰褐色 部分的に酸化して黄褐色を呈する しまりなし (SK601の鑑別)
2 炭化物主体層 木材が腐食して土状になる 灰褐色土ブロック(φ1~2cm)・焼土塊(φ1cm)少量 下位中心に木材含む しまり強
3 暗灰色土 炭化物(φ1~2cm)少量 しまりあり 粘性やや強
4 暗灰色砂質土 木材片多量 しまり・粘性やや弱

0 2m 100

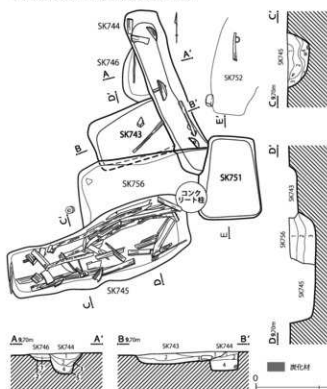
- 第754号土層
1 灰褐色 部分的に酸化して黄褐色を呈する しまりなし (SK601の鑑別)
2 黄灰色砂 炭化物ブロック(φ2~3cm)極めて多量 焼土塊(φ2cm)少量 しまり弱
3 暗褐色土 木材が腐食したもの しまり強 粘性あり
4 黄灰色砂 炭化物(φ2~3cm)少量 木材片多量 しまり弱
- 第755号土層
1 暗褐色土 炭化物(φ1~2mm)やや多量 しまり・粘性あり
2 暗灰色土 炭化物ブロック(φ1~5cm)まばらに含む 酸化鉄粒(φ1cm)少量 しまり・粘性あり
3 暗灰色土 2層より炭化物ブロック(φ2~3cm)多量 焼土塊(φ2~3cm)少量 灰褐色土質土塊(φ2~3cm)少量 しまり弱 粘性あり
4 灰褐色土 灰褐色砂質土塊(φ2~3cm)少量 しまり弱 粘性あり
5 灰褐色土 灰褐色砂質土塊(φ2~3cm)少量 しまり弱 粘性あり
- 第757号土層
1 灰褐色土 炭化物ブロック(φ5cm)・焼土ブロック(φ2~3cm)やや多量 SK755の1層に似た土だが、炭化物・焼土ブロックがより多い 粘性強 しまりあり
2 灰褐色土 焼土ブロック(φ1~7cm)多量 炭化物(φ1~2cm)やや多く含む しまりやや強 粘性あり
3 灰褐色土 炭化物(φ2~5cm)をまばらに含む しまり・粘性弱

第274図 土層(15)

係る建築部材の可能性もある。第329図4・5は寛永通宝四文銭である。このほか、炭化した繊維製品と紙本が出土した。いずれも脆く図化が困難であるため、写真図版115・116に全体と一部の写真を示す。自然科学分析の結果、繊維製品は木綿と麻が混在しており、布団や綿入れ等の製品である可能性が考えられている。また、紙本資料に

ついては楮紙を用いた可能性が指摘されている。詳細な分析結果は第V章に掲載する。紙本資料は、一部が重なって遺存しており、綴じ本のような状態であった可能性もある。紙片の一部を判読した結果を第91表に示した。日付、重量と思われる貫・文、「こん」「紺」の記載があり、一種の帳簿類と思われる。

S K 743・744・745・746・751・756



- 第743号土壌
1 褐色砂 底面に腐った木質残
2 灰褐色土 炭化物(φ2~5mm)数個 腐った木質も若干残る
3 黄色砂 木片を若干含む
- 第744号土壌
1 暗黄褐色土 炭化物(φ3~7mm)若干混入 しまり強 粘性なし
2 黒色土 炭化木材のくず等が堆積した層 しまりやや弱
3 淡黄褐色土 炭化物(φ2~3mm)・砂混入 粘性若干あり
4 灰褐色土 炭化材のくず等が若干混入 粘性あり
5 暗灰色土 若干砂が混入 陶磁片が出土 粘性あり
- 第745号土壌
1 暗黄褐色土 炭化物(φ0.5~1.2cm)若干混入 しまり極めて強 粘性なし
2 黒色土 炭化材等が腐食した土 炭化材も含む
3 黒褐色土 黄褐色土の小ブロック(φ2~4cm)や粘土が混入
4 淡黄褐色土 砂若干混入 水分多し 粘性あり
- 第746号土壌
1 灰褐色土 炭化物(φ3~5mm)数個 しまり強
2 暗灰色土 炭化物(φ0.3~1cm)多量 しまり強 粘性あり
- 第751号土壌
1 黒色土 ザクザクした印象の土 炭化材とそのくずが多数混入
2 暗黄褐色土 炭化物(φ0.8~1.5cm)・砂多量 しまり強
3 暗灰黄色土 炭化物(φ5~8mm)数個 砂多量 しまり強
4 黒色土 ザクザクした印象の土 炭化材のくずが主体 炭土(φ7~8mm)少量
- 第756号土壌
1 灰褐色砂質土 炭化物(φ3~5mm)多量 しまり強 粘性なし
2 暗黄褐色砂質土 粘土、炭化材等が混入 しまり強
3 黒色土 炭化木材層 部分的に2層の土がブロック状に入る

第275図 土壌(16)

第503・504・505号土壌(第266図)

C6-G7、H7・8グリッドから検出され、東側は調査区外に延びる。3基はほぼ並列しており、主軸方向はN-70°-E前後である。覆土はほぼ砂であり、第504・505号土壌最下部には褐色土・暗灰黄色土が薄く堆積する。遺物は主に下層から出土した。第292図439~446に第504・505号土壌出土の陶磁器類を示す。磁器小丸碗や京都信楽系陶器の色絵丸碗があり、18世紀中葉~後葉の様相である。第505号土壌出土遺物として、第310図32・33に軒丸瓦、第327図63に金属製品(柄鏡)、第329図6に銭貨(古寛永)を示す。軒丸瓦には瓦当面に補修孔がみられる。柄鏡には文様とともに、「人見重次作」銘が刻まれる。

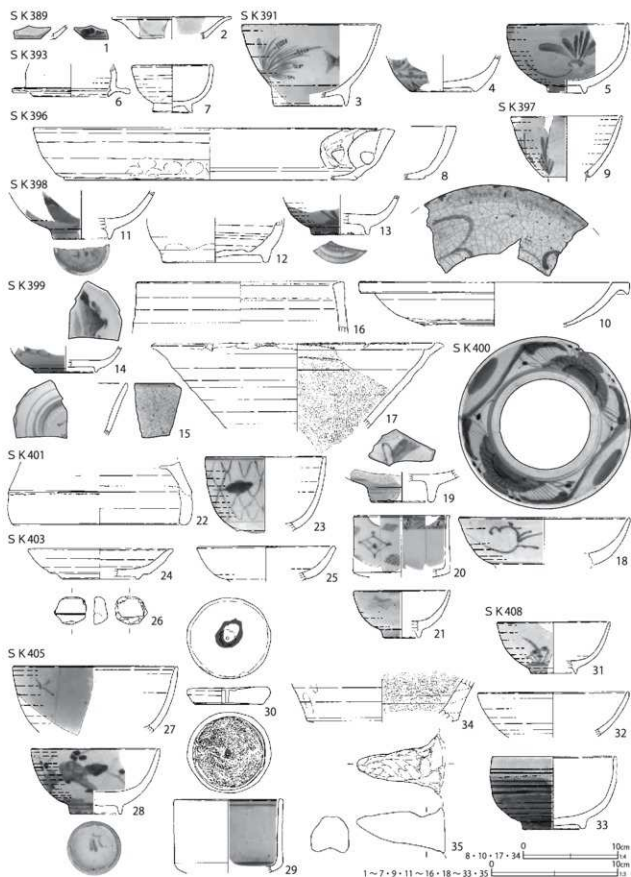
第495・509号土壌(第266図)

C6-H6グリッドに位置する長方形の土壌で、重複関係から第509号土壌が古い。主軸方向はいずれもN-20°-Wである。第291図407~411が

第495号土壌の陶磁器で、407は高台がU字状で高い肥前系磁器の色絵碗、409は中国産陶器天目茶碗である。他に肥前内野山窯系銅緑釉陶器皿や瀬戸美濃系陶器灰釉徳利がみられる。僅か1片だが肥前系磁器筒形碗の破片が出土している。第293図458~468は第509号土壌の陶磁器で、458は内外面青磁釉の磁器碗、459は所謂初期伊万里の皿である。かわらけ(464~466)は厚手で、胎土が砂質で粗いのがみられる。このほか、志戸呂の瓶類破片がみられる。18世紀前葉以前の様相である。瓦片の出土がなく、銭貨(329図10~13)も古寛永と渡来銭から組成されており、古い遺構の印象を受ける。また、出土した砥石(第331図19)も丸ノミ状工具の成形痕が認められ、古手である。第328図64~66は金属製品で、64の小柄には鉄製の柄から刃の一部が残る。

第678号土壌(第269図)

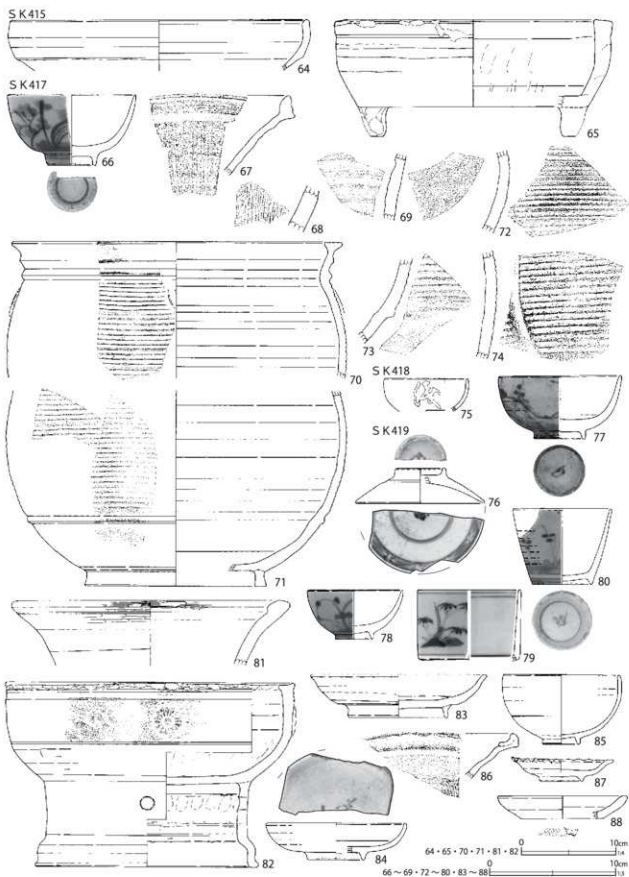
C6-I8、J8グリッドに位置し、重複する



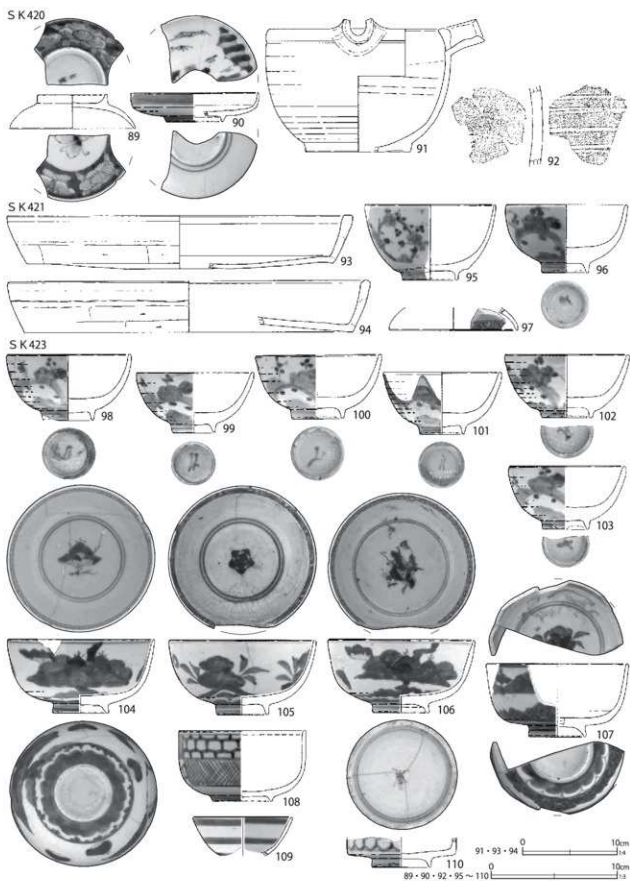
第276図 土坑出土遺物(1)



第 277 図 土壇出土遺物 (2)

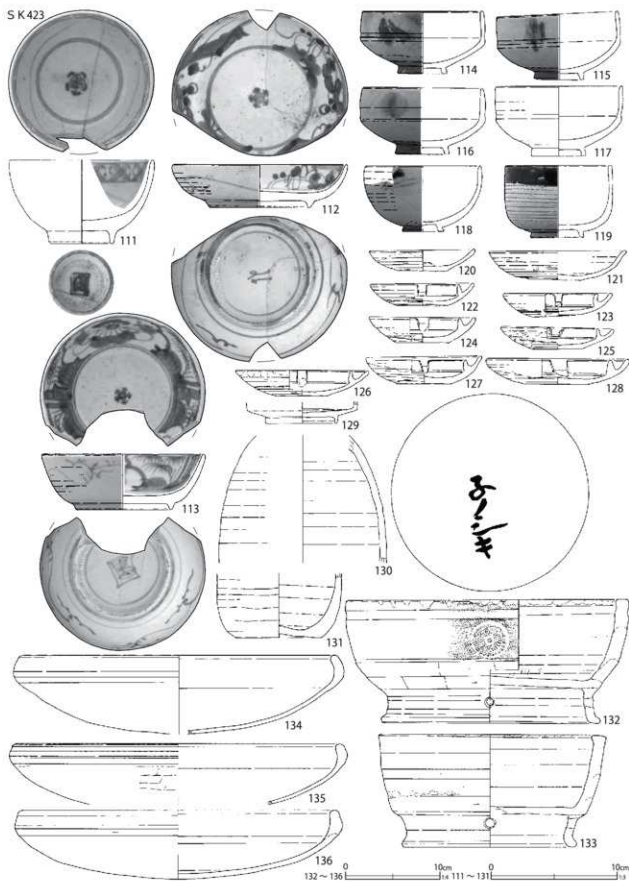


第 278 図 土坑出土遺物 (3)

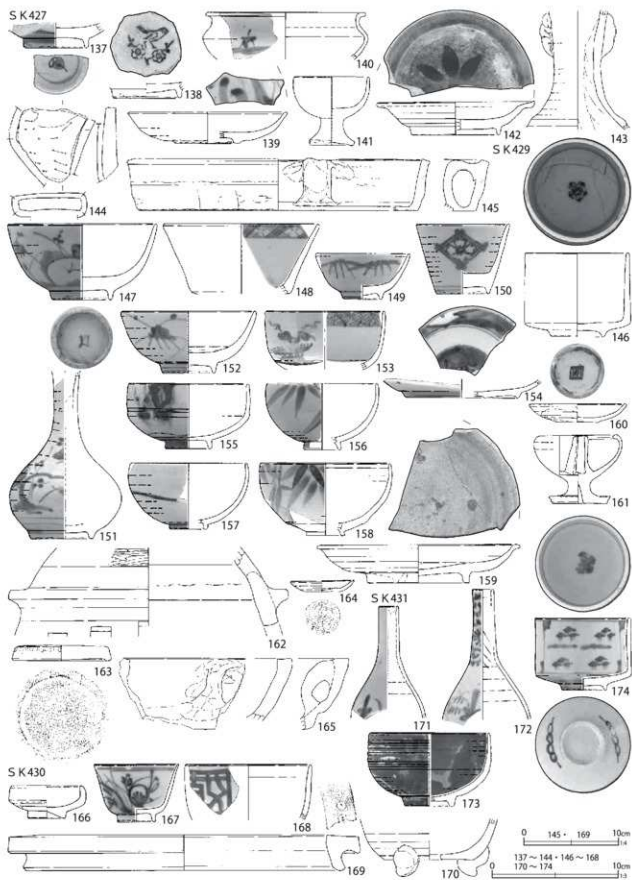


第 279 図 土壇出土遺物 (4)

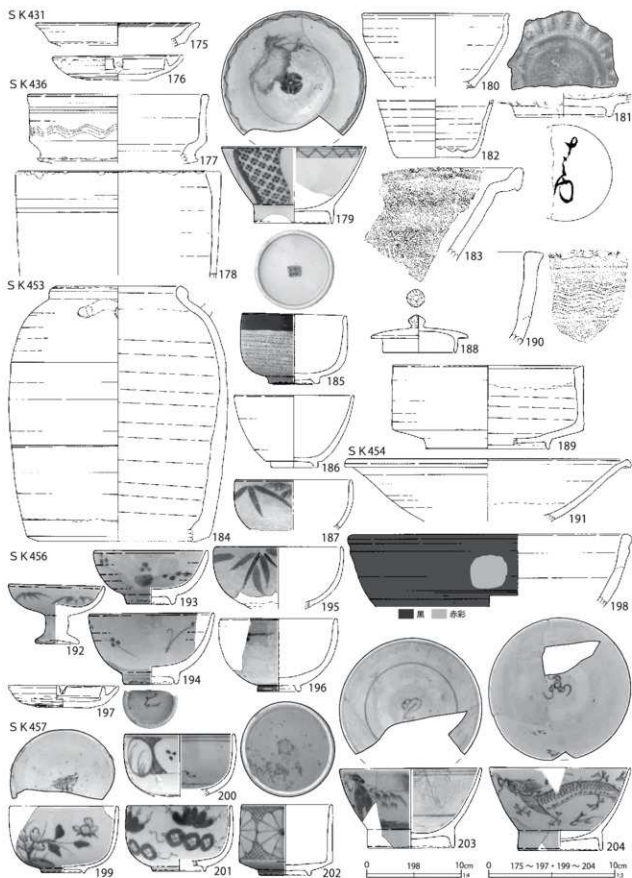
S K 423



第 280 図 土坑出土遺物 (5)

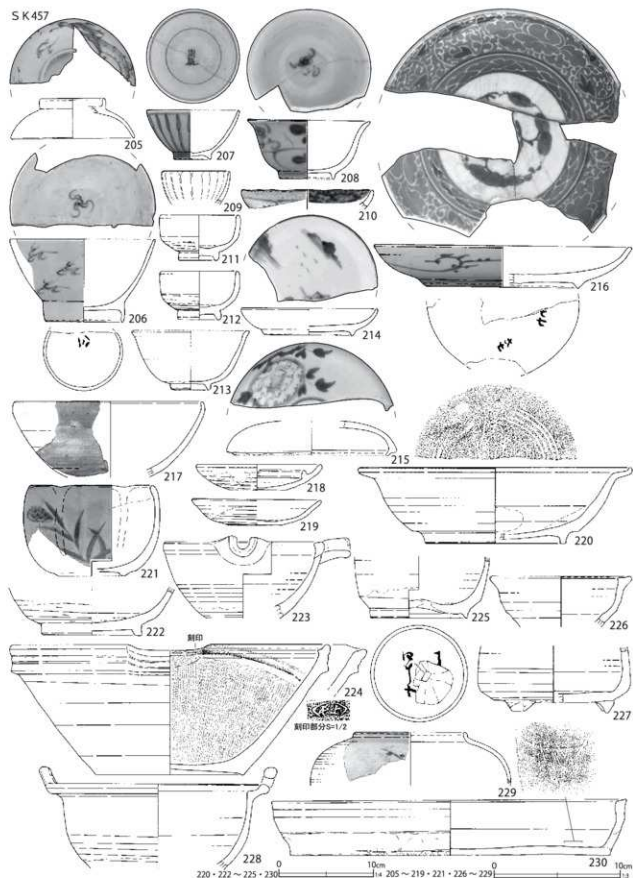


第 281 図 土坑出土遺物 (6)

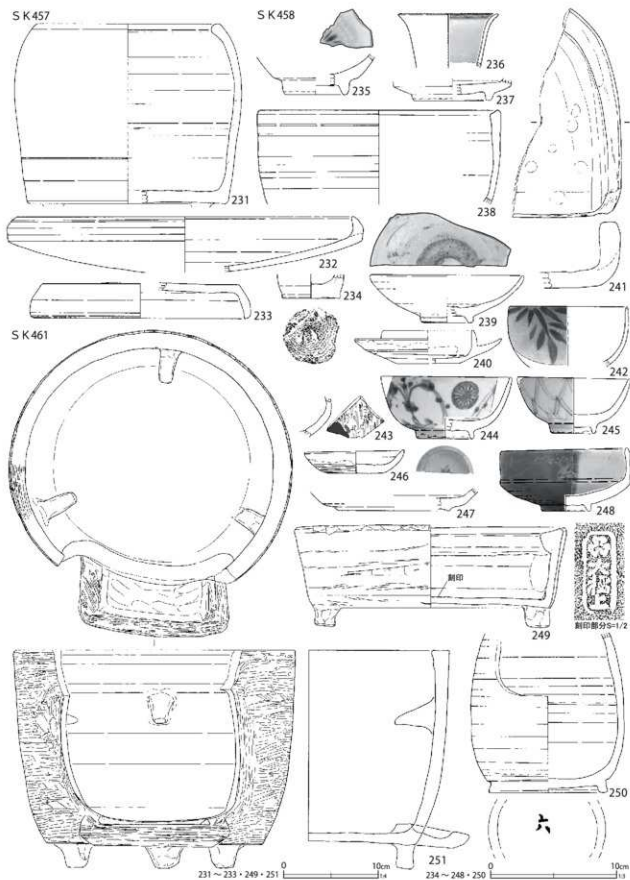


第282図 土坑出土遺物(7)

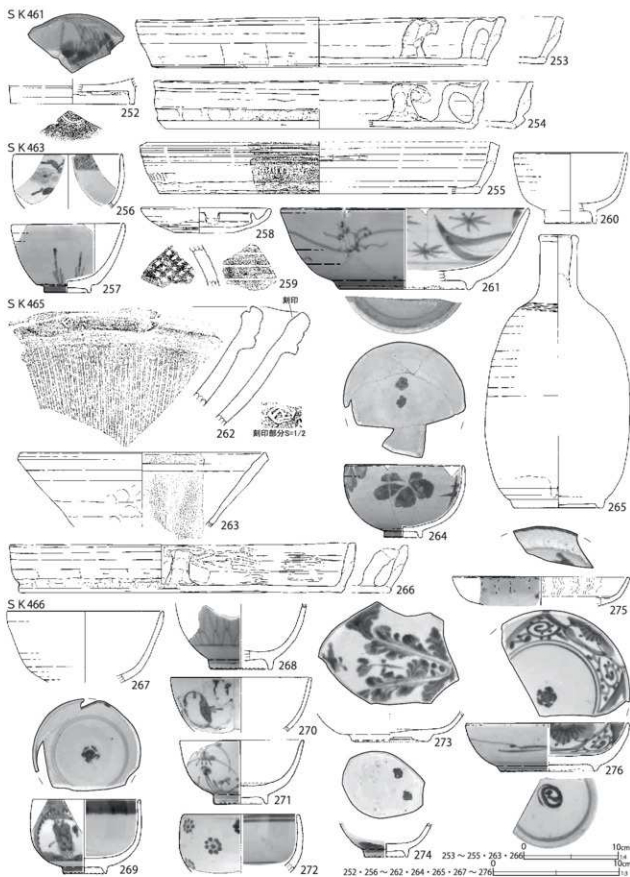
SK457



第283図 土壇出土遺物(8)

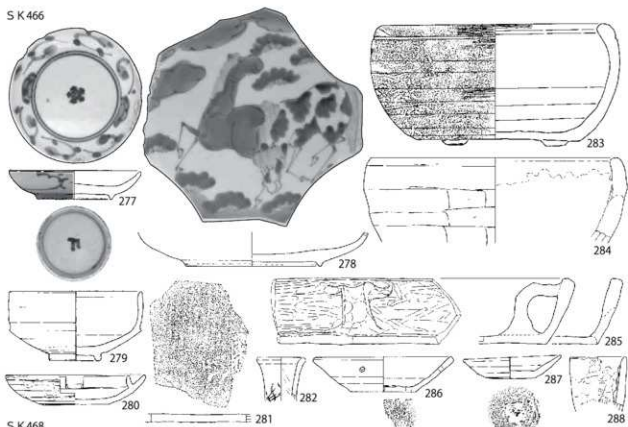


第284図 土壙出土遺物(9)



第 285 図 土壇出土遺物 (10)

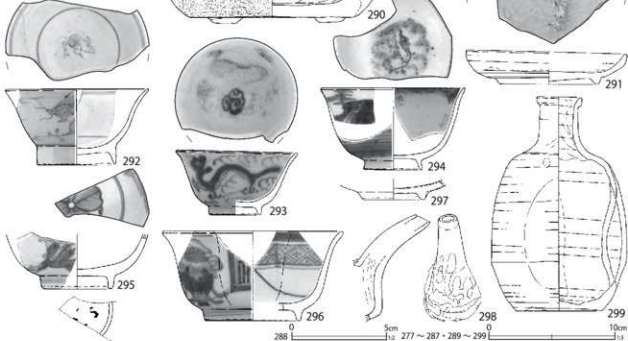
SK 466



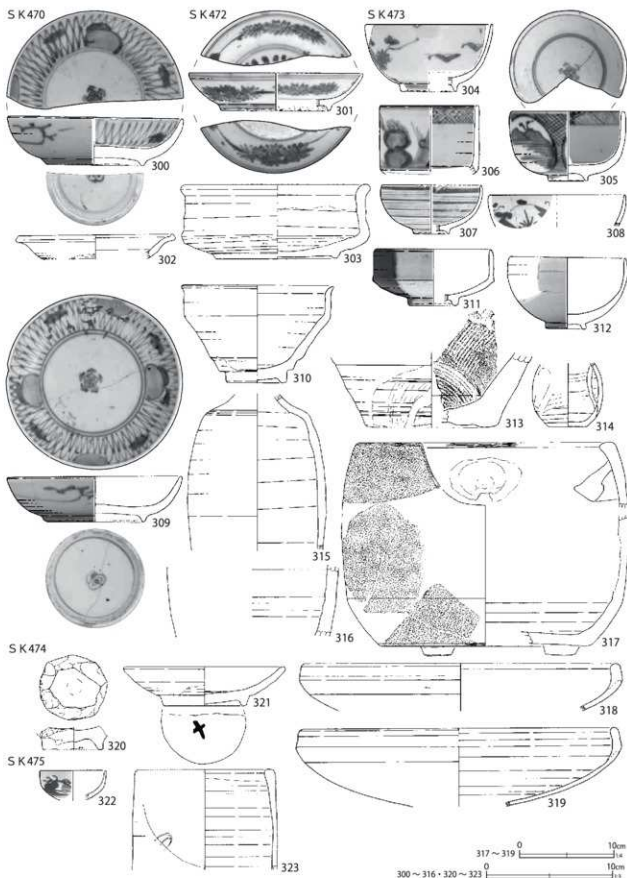
SK 468



SK 469

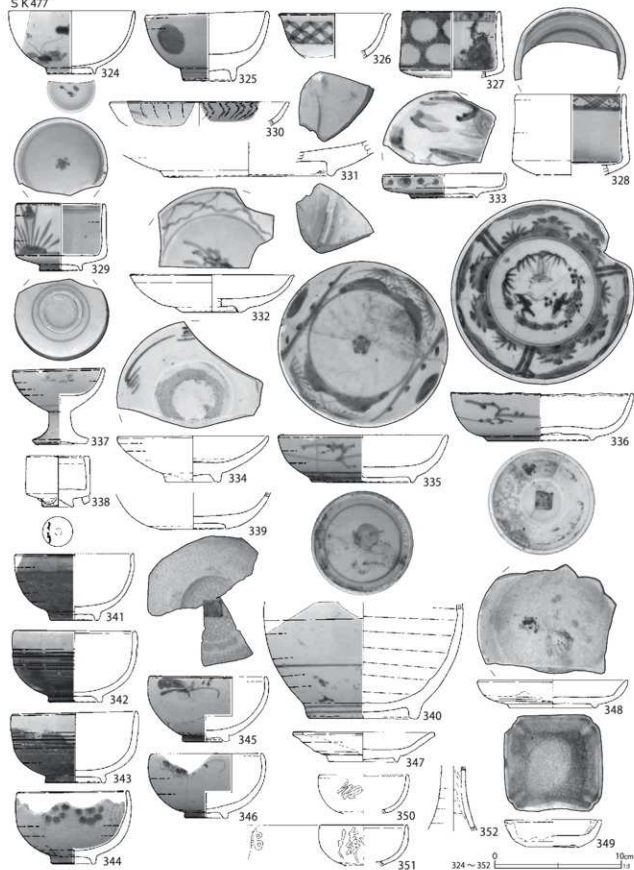


第 286 図 土壙出土遺物 (11)



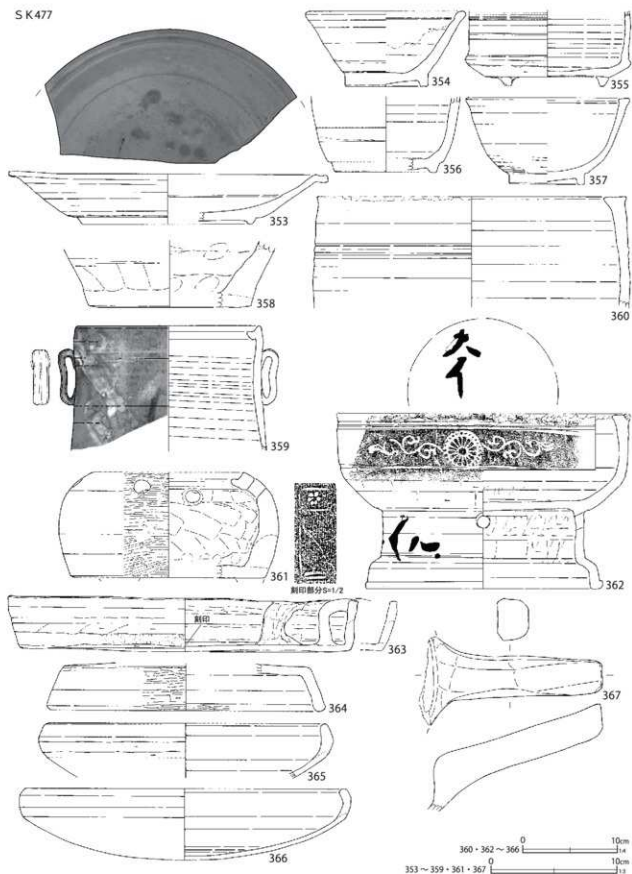
第 287 図 土坑出土遺物 (12)

SK477

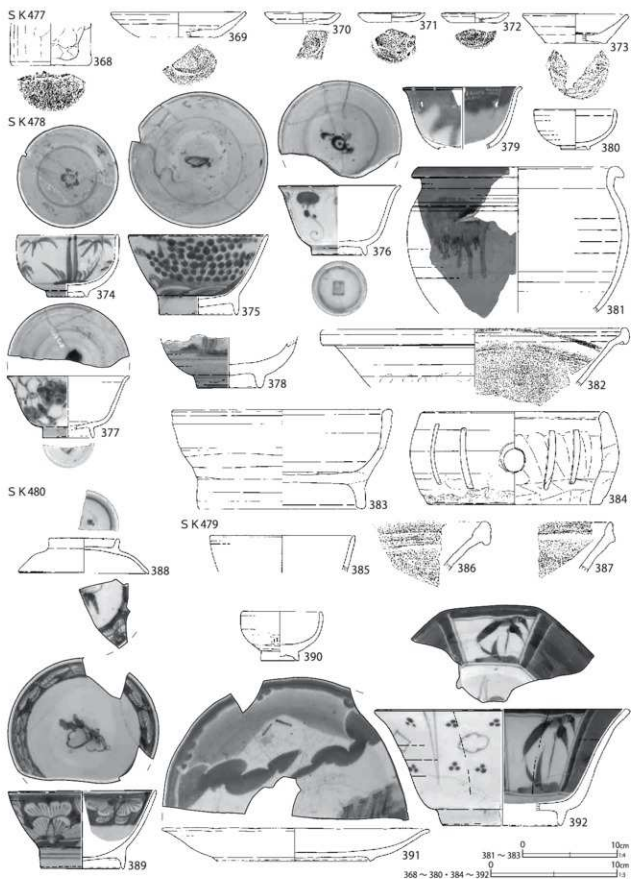


第288図 土壙出土遺物 (13)

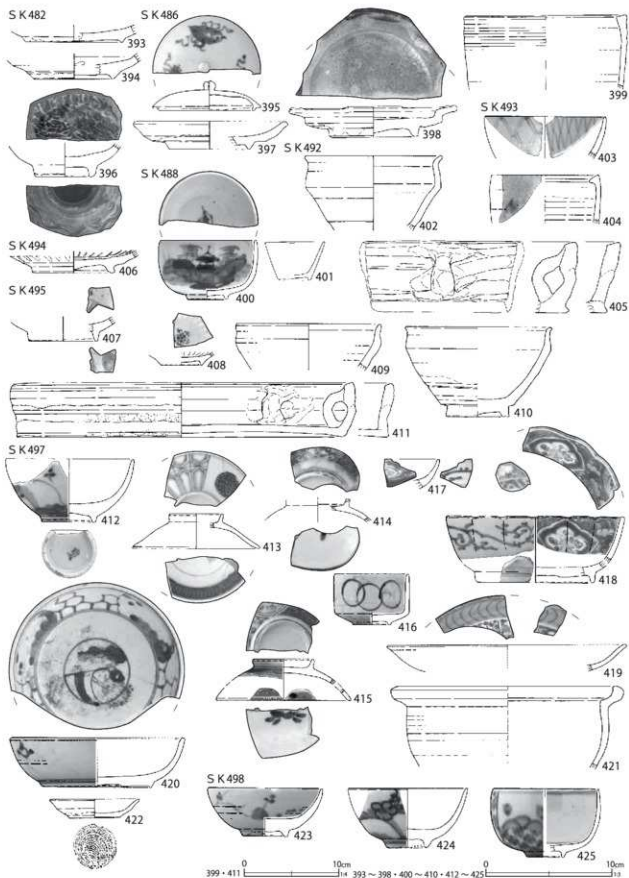
SK477



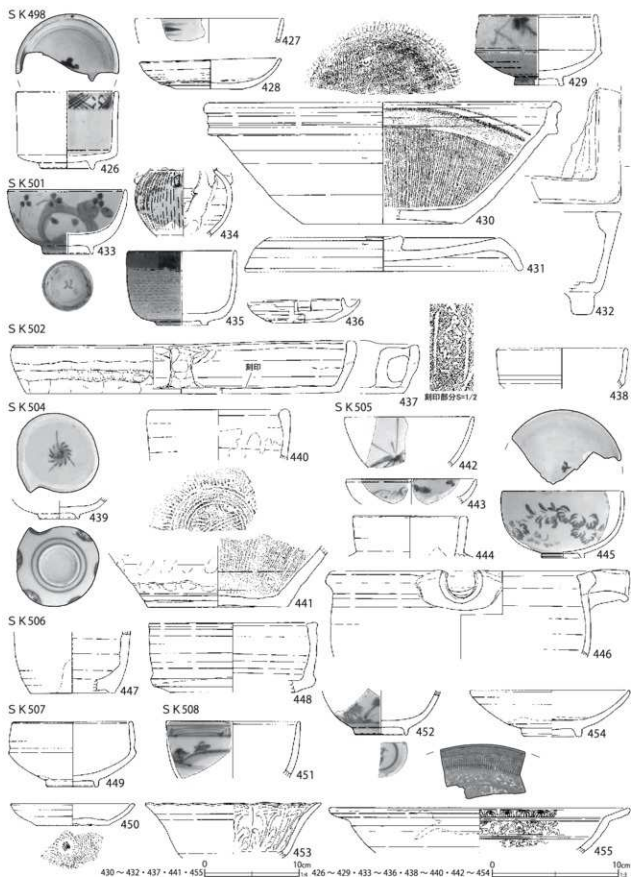
第289図 土壇出土遺物 (14)



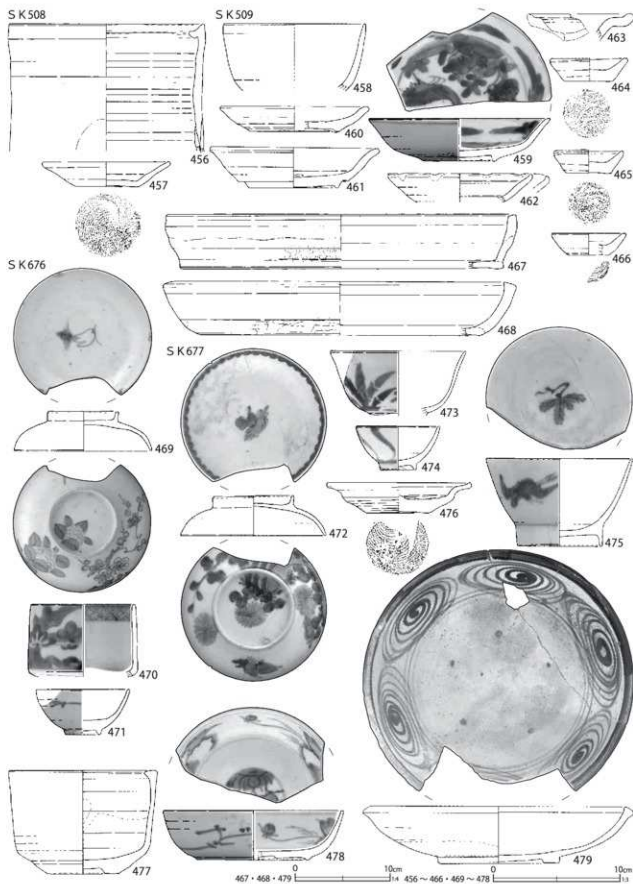
第 290 図 土坑出土遺物 (15)



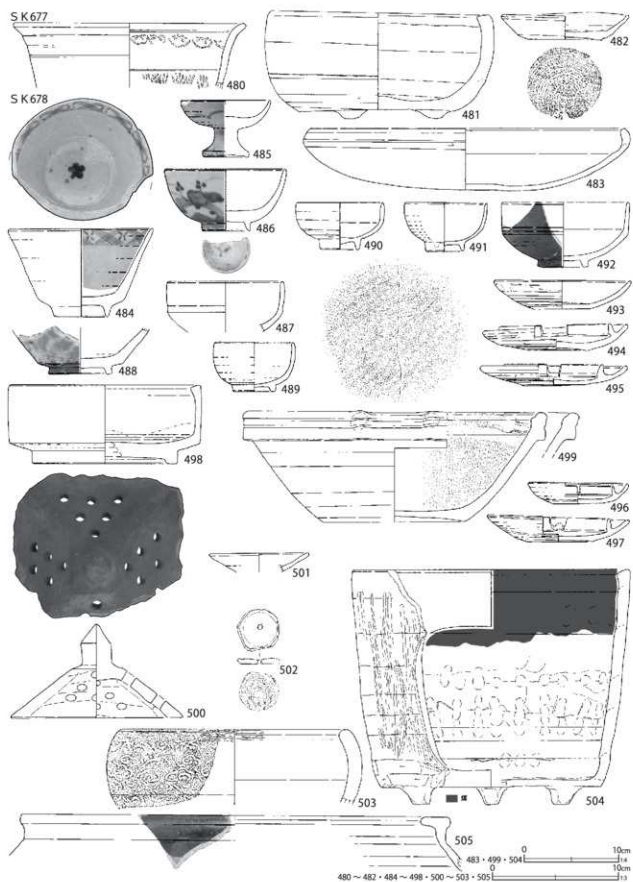
第 291 図 土壇出土遺物 (16)



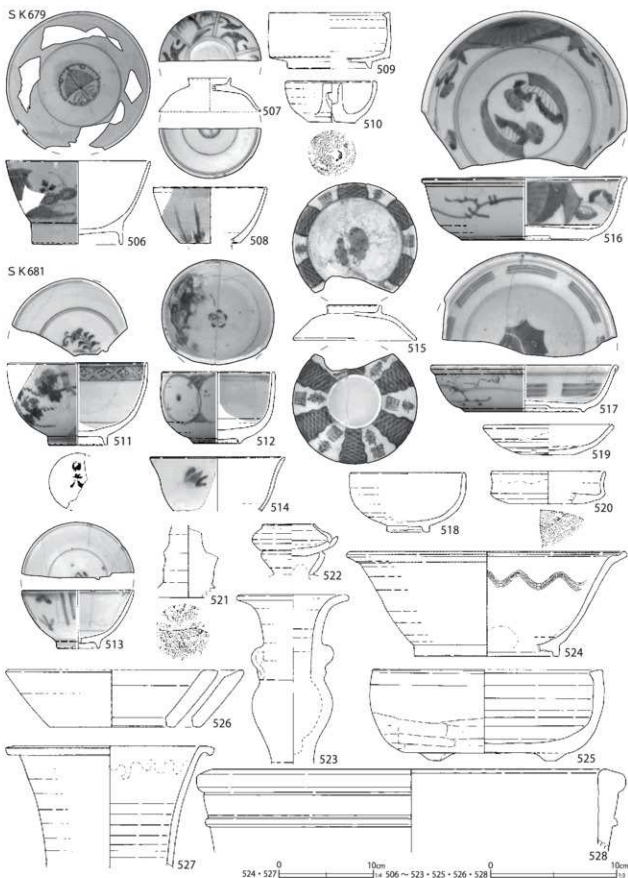
第 292 図 土坑出土遺物 (17)



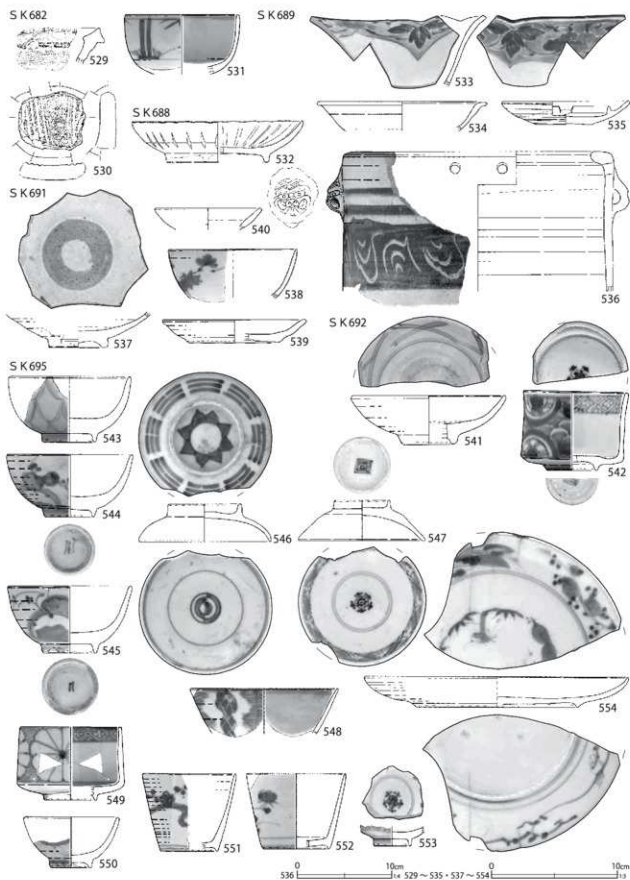
第 293 図 土壇出土遺物 (18)

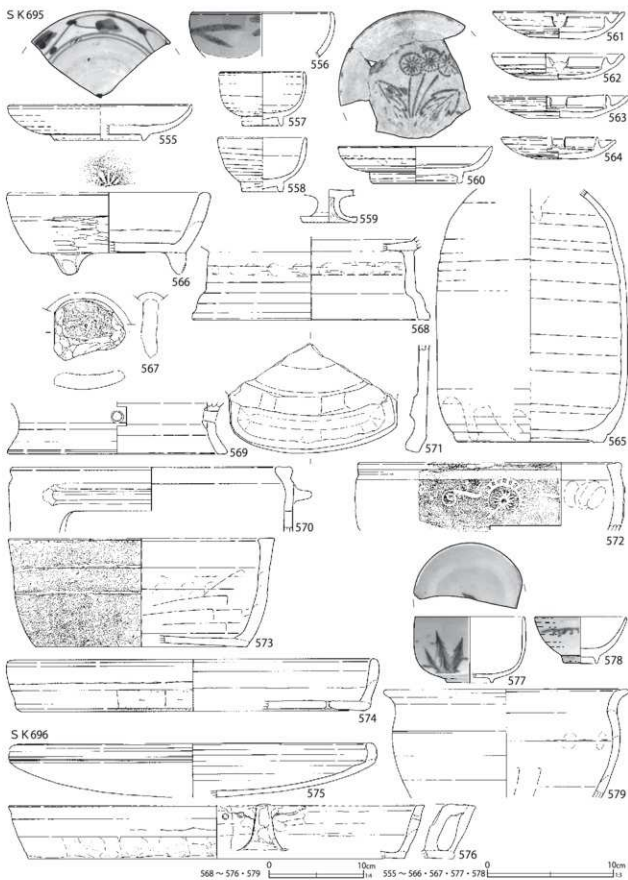


第 294 図 土坑出土遺物 (19)

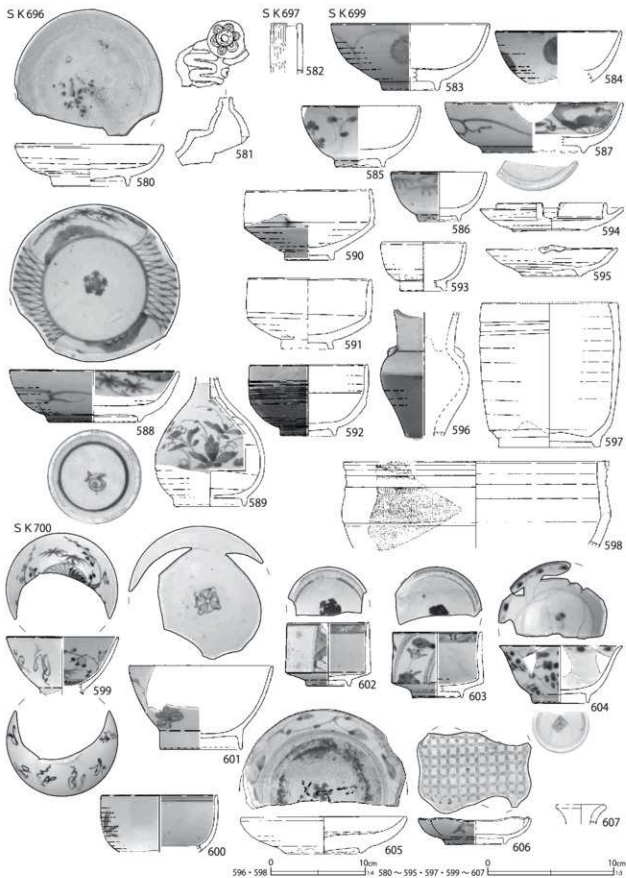


第 295 図 土壇出土遺物 (20)

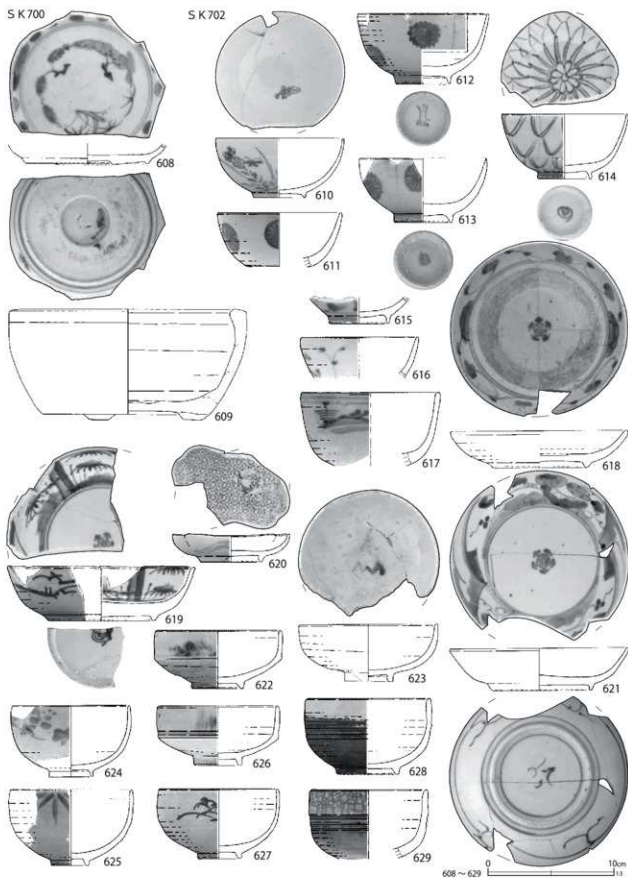




第 297 図 土壇出土遺物 (22)

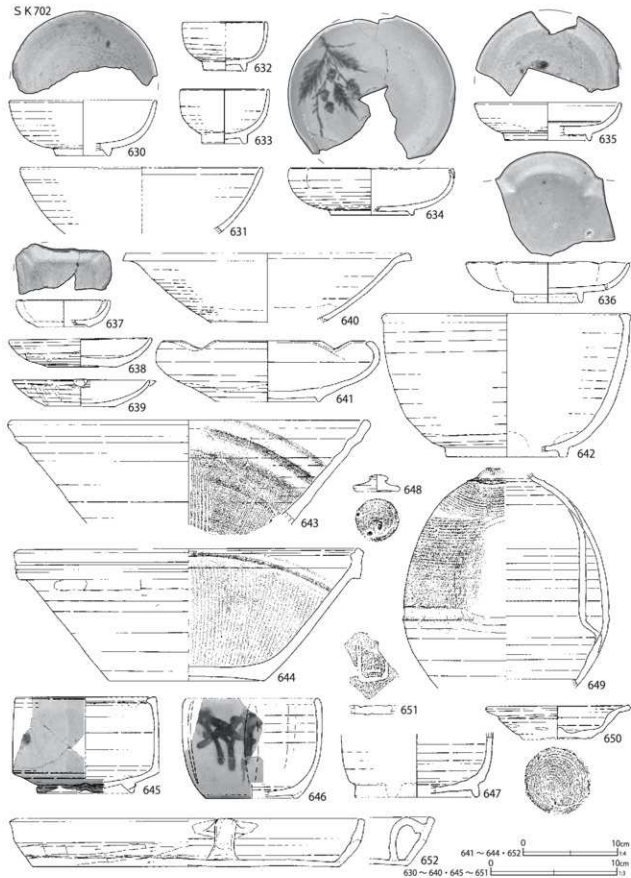


第298図 土坑出土遺物 (23)

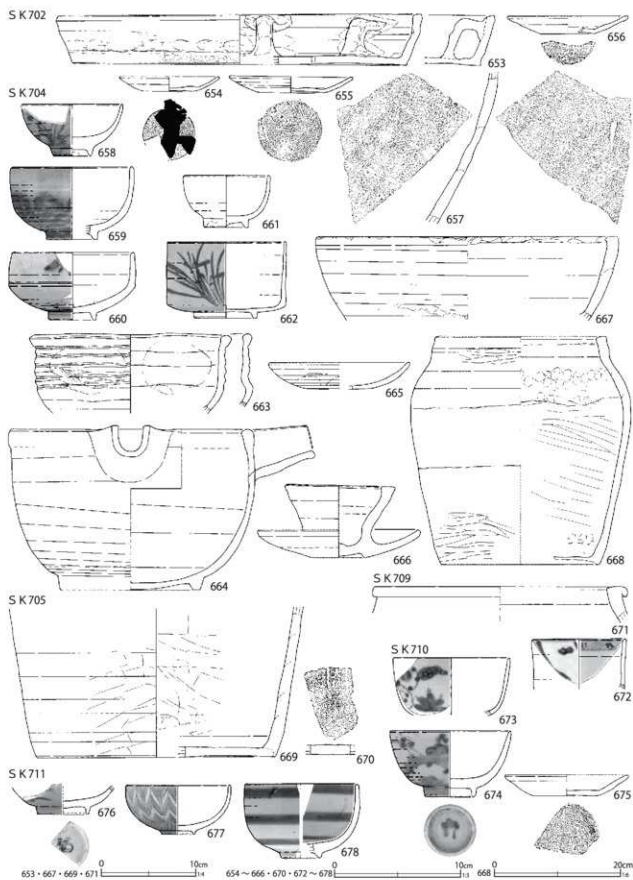


第 299 図 土壇出土遺物 (24)

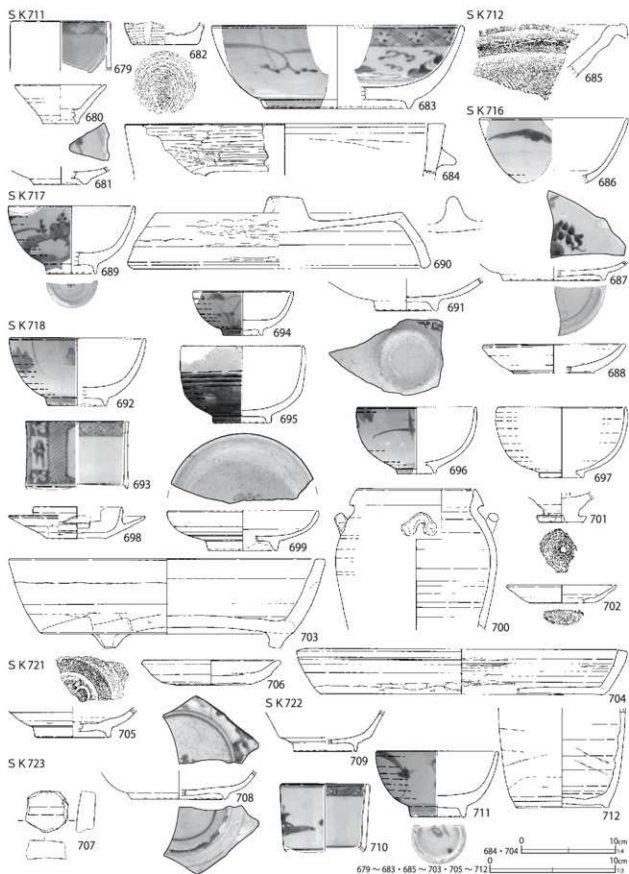
S K 702



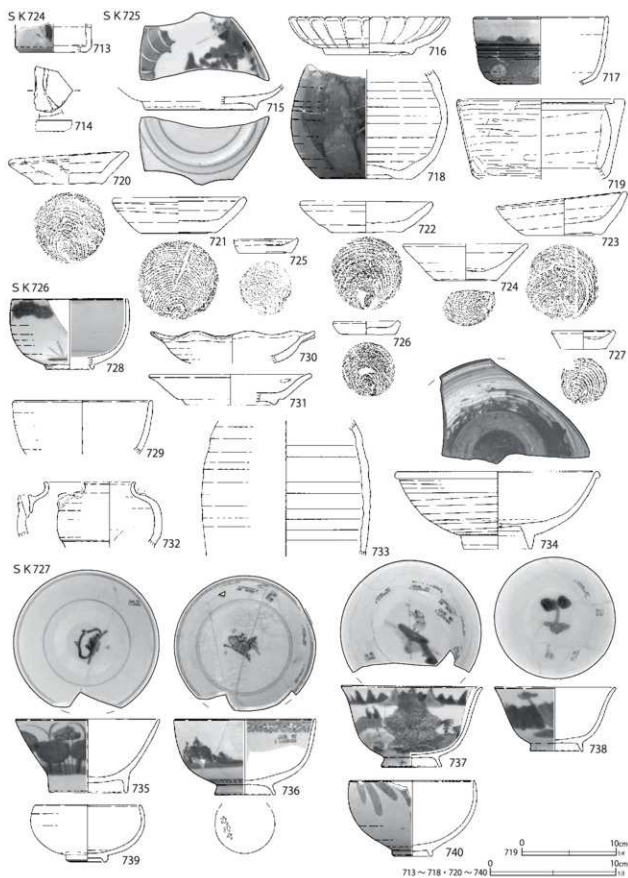
第 300 図 土壙出土遺物 (25)



第 301 図 土坑出土遺物 (26)



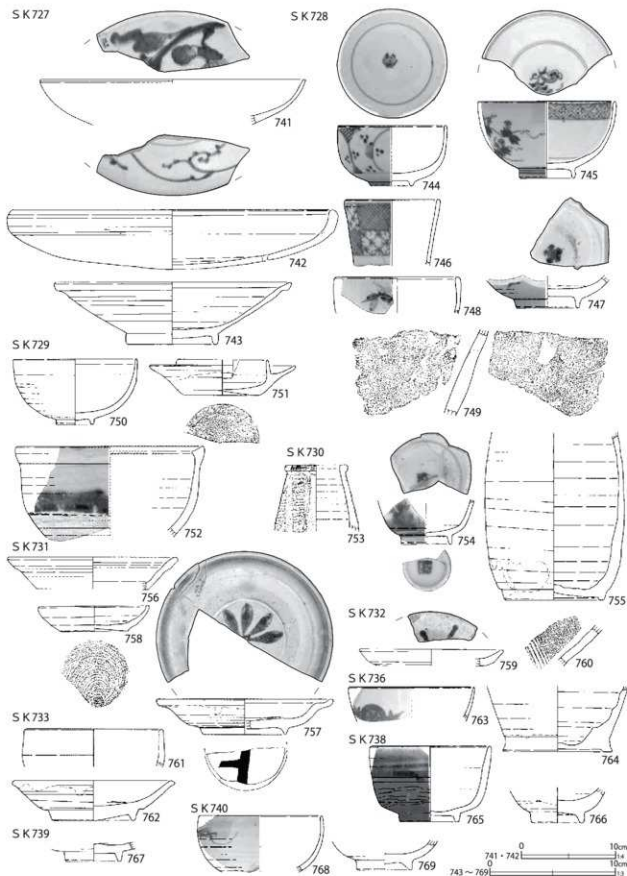
第302図 土坑出土遺物 (27)



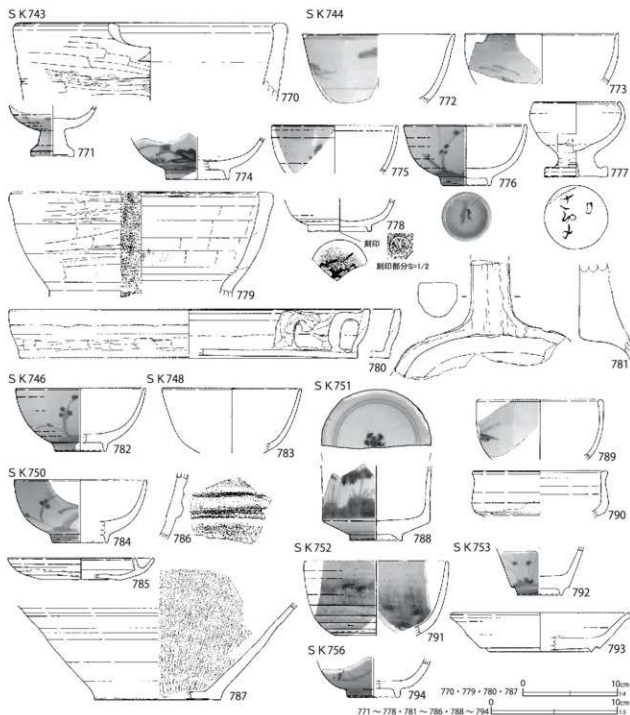
第 303 図 土壇出土遺物 (28)

S K 727

S K 728



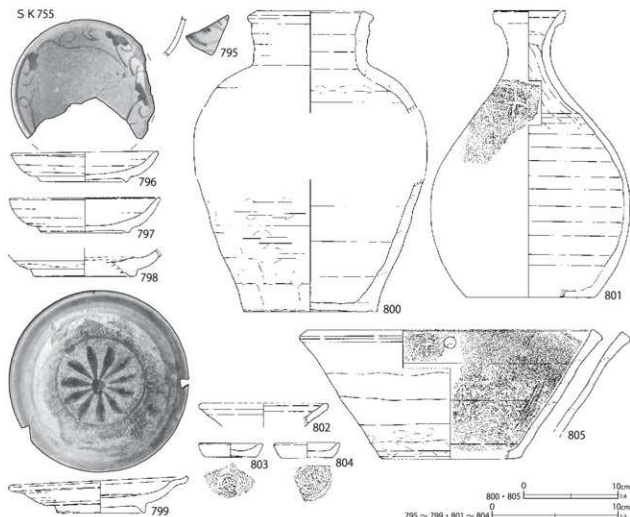
第 304 図 土坑出土遺物 (29)



第305図 土壇出土遺物 (30)

第677・679号土壇との重複関係は不明だが、遺物内容からすると、第678号土壇が古いと考えられる。覆土は中層に腐食木材層が形成される。第294図484～505に陶磁器を示す。493～497に示した瀬戸美濃系陶器柿釉灯明皿がまとまって出土している。484は外面青磁釉の朝顔形に開く磁器碗である。総体的には肥前系磁器の雪輪草花文

碗(486)、筒形碗。波佐見系の粗製皿が多く、小丸碗がこれに続く。陶器ではせんじ碗(487・492)が多い。重複する第679号土壇には磁器広東碗や端反碗蓋(第295図506・507)がみられるので、これに先行する18世紀後葉の遺構と推定される。第308図15・16は軒浅瓦で、15の上面に「瓦や古右衛門/荒木村」と刻書される。荒木村



第 306 図 土壇出土遺物 (31)

第 77 表 土壇出土遺物観察表 (1) (第 276 ~ 306 図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	状態	色調	遺構	備考	図版
1	磁器	皿	—	[1.1]	—	K	5	良好	白	SK389	施釉・染付	78-11
2	磁器	皿	(9.0)	[1.7]	—	K	10	良好	白	SK389	施釉・染付 被熱	78-12
3	磁器	碗	(10.8)	6.5	(5.6)	—	55	良好	白	SK391	肥前系 施釉 外面染付	
4	磁器	德利	—	[2.9]	(5.2)	—	10	良好	白	SK391	肥前系 施釉 外面染付	
5	陶器	碗	(9.4)	5.5	3.0	D	60	良好	灰白	SK391	京都信楽系 施釉 外面色絵 (赤・緑) 被熱	78-13
6	磁器	蓋	—	[2.6]	(6.0)	K	15	良好	灰白	SK393	肥前系 施釉 最大径 (9.4) (短頸蓋)	
7	陶器	坏	(6.1)	3.3	3.1	K	65	良好	灰白	SK393	瀬戸美濃系 灰釉	
8	土師質土器	焙焼	(36.4)	5.6	(30.5)	ADE	15	普通	明赤褐色	SK396	底部スノコ状圧痕 内耳 2 遺存 煤付着	
9	陶器	碗	(8.6)	[4.8]	—	DE	35	良好	灰白	SK397	京都信楽系 施釉 外面鉄絵	
10	陶器	皿	(28.4)	[4.7]	—	IK	20	良好	灰白	SK397	SK405 接合 瀬戸美濃系 灰釉 内面呉須絵	
11	陶器	碗	—	[3.9]	(4.4)	D	15	不良	灰白	SK398	肥前系 施釉 外面染付 やや陶胎 被熱	
12	陶器	德利	—	[3.5]	8.2	IK	45	良好	浅黄	SK398	瀬戸美濃系 外面灰釉 下位拭き取り	
13	磁器	碗	—	[3.2]	(4.3)	—	40	良好	白	SK398	肥前系 施釉 外面染付 被熱	
14	磁器	皿	—	[2.1]	(4.8)	—	25	良好	灰白	SK399	肥前系 施釉・染付	
15	陶器	碗	—	[4.2]	—	EK	5	普通	灰白	SK399	瀬戸美濃系 長石釉	78-14
16	陶器	不明	(16.2)	[4.1]	—	IK	15	良好	灰白	SK399	瀬戸美濃系 灰釉 筒形容器か	
17	陶器	摺鉢	(29.5)	[9.0]	—	K	15	良好	灰白	SK399	瀬戸美濃系 錆釉 内面摺目	
18	磁器	皿	13.6	[3.7]	—	—	70	良好	灰白	SK400	肥前系 施釉・染付 高台部で大きく剥離 (意図的か)	78-15
19	磁器	鉢か	—	[2.4]	(4.8)	—	15	普通	灰白	SK400	肥前系 施釉・染付	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
20	磁器	碗	(7.4)	[4.9]	—	—	25	良好	白	SK400	肥前系 施軸・染付	
21	磁器	坏	(7.4)	3.7	(2.5)	K	35	良好	灰白	SK400	肥前系 施軸 外面染付	
22	瓦質土器	火鉢	(13.2)	[5.0]	—	CEIK	25	普通	灰白	SK401	外面上位ケズリ 脚部	
23	磁器	碗	(9.4)	[6.0]	—	—	20	良好	灰白	SK401	肥前系 施軸 外面染付	79-1
24	陶器	皿	(11.2)	2.4	(6.0)	K	20	良好	褐色	SK403	瀬戸美濃系 長石釉 被熱	
25	陶器	皿	(10.7)	[2.8]	—	D1	10	良好	灰白	SK403	瀬戸美濃系 長石釉 被熱	
26	瓦質土器	焙烙	縦2.3 横2.5 厚1.1	—	—	CDE	5	普通	灰白	SK403	口縁部破片を円盤状製品転用 5.0g	
27	磁器	碗	(12.8)	[5.3]	—	—	10	良好	灰白	SK405	肥前系 施軸 外面染付	79-2
28	磁器	碗	10.1	5.2	3.9	K	65	良好	灰白	SK405	肥前系 施軸 外面染付 被熱	
29	磁器	碗	(8.4)	[5.8]	—	—	30	良好	灰白	SK405	肥前系 施軸 (外面青磁釉) 内面染付	
30	土製品	鉢	6.2	1.4	5.3	DE	100	普通	灰白	SK405	中心部黒変(煤か) 塗磨の跡か 69.3g	79-3
31	磁器	碗	(8.9)	4.1	(3.5)	—	20	良好	白	SK408	肥前系 施軸 外面染付	
32	陶器	碗	(11.8)	[3.6]	—	K	25	良好	にぶい黄褐色	SK408	肥前系 施軸	
33	陶器	碗	9.6	5.7	4.6	K	95	良好	灰白	SK408	瀬戸美濃系 灰・鉄軸部分 煤付着	
34	陶器	播鉢	—	[4.6]	—	DE	5	普通	にぶい黄褐色	SK408	丹波系 内面播目 使用による磨減	
35	瓦質土器	燈台	—	[3.6]	—	—	5	普通	にぶい黄褐色	SK408	内面把手 接合部剥離 やや酸化変色	
36	陶器	播鉢	(33.2)	[5.1]	—	IK	25	良好	にぶい黄褐色	SK408	瀬戸美濃系 柿軸 内面播目	
37	土師質土器	焙烙	(34.8)	[5.3]	(33.2)	CDE	5	普通	にぶい黄褐色	SK409	砂目底 外面煤付着 やや瓦質	
38	瓦質土器	土甕	幅16.7 長[15.0] 高[4.5]	—	—	CHK	90	普通	褐色	SK409	SK391 接合 底部シワ状痕 弱く煤す	79-5
39	瓦質土器	盥	—	[3.6]	—	CIK	30	普通	灰白	SK409	外面回転ケズリ 一部ミガキ 内面墨書「いしや/良左衛門様」 煤す	79-4 94-4
40	磁器	碗	(9.8)	[4.5]	—	—	40	良好	灰白	SK410	肥前系 施軸 外面染付	
41	陶器	こね鉢	(26.0)	[6.0]	—	IK	15	良好	淡黄	SK410	瀬戸美濃系 灰軸	
42	磁器	碗	—	[4.9]	4.2	—	40	良好	白	SK411	肥前系 施軸 外面染付 漆継痕	79-6
43	磁器	坏	(5.8)	2.3	—	—	30	良好	灰白	SK411	肥前系 施軸 外面染付 内面白物質付着	
44	磁器	坏	(7.6)	3.8	(2.3)	—	30	良好	白	SK411	SK415 接合 肥前系 施軸 外面染付	
45	磁器	碗	9.5	4.6	4.3	—	95	良好	白	SK411	肥前系 施軸 外面染付	
46	陶器	香炉	(9.8)	5.8	(9.6)	IK	20	良好	灰白	SK411	瀬戸美濃系 灰軸 内面鉄絵 菊花文 口縁部2次叩打痕	
47	かわらけ	小皿	(5.2)	0.9	3.0	AE	30	普通	にぶい黄褐色	SK411	底部糸切痕 胎土粉質	
48	陶器	灯明皿	10.6	2.0	5.0	DK	55	良好	灰白	SK411	瀬戸美濃系 柿軸	
49	磁器	碗	—	[4.0]	4.0	—	75	良好	白	SK413	肥前系 施軸 外面染付	
50	磁器	碗	(9.4)	5.1	(3.6)	—	45	良好	灰白	SK413	肥前系 施軸 外面染付	
51	陶器	徳利	3.8	[10.2]	—	IK	60	良好	褐色	SK413	瀬戸美濃系 外面灰軸 (尾呂軸)	
52	陶器	皿	(12.4)	2.4	(8.0)	DE	45	良好	灰白	SK413	瀬戸美濃系 灰軸 内面鉄絵 弱く被熱	
53	磁器	碗	—	[6.0]	3.4	K	45	良好	灰白	SK415	肥前系 施軸・染付 弱く被熱	
54	磁器	坏	(7.6)	3.9	(2.6)	—	20	良好	白	SK415	肥前系 施軸 外面染付	
55	磁器	坏	(7.0)	4.7	3.6	—	40	良好	灰白	SK415	肥前系 施軸 外面染付	
56	磁器	碗	(10.4)	5.4	—	—	15	良好	白	SK415	肥前系 施軸 外面染付	
57	磁器	猪口	(7.4)	5.3	3.9	—	40	良好	灰白	SK415	肥前系 施軸 外面染付	
58	陶器	皿	15.4	3.3	5.2	K	70	良好	灰白	SK415	瀬戸美濃系 成型形 輪高台 灰軸 同形別個体2あり	79-8
59	陶器	香炉	(10.3)	5.7	6.7	DE	70	良好	灰白	SK415	瀬戸美濃系 外面灰軸 菊花文しのぎ	
60	陶器	鉢	(42.4)	[7.3]	—	EIK	20	良好	灰	SK415	SK419 接合 丹波系 内面降灰	79-7
61	陶器	播鉢	—	[3.6]	—	DEIK	5	良好	にぶい黄褐色	SK415	丹波系 片口部 内面播目	
62	陶器	播鉢	—	[3.5]	—	DE	5	良好	褐色	SK415	丹波系 内面播目	
63	陶器	半眼鉢	20.8	20.7	13.2	IK	75	良好	にぶい黄褐色	SK415	SK302 接合 瀬戸美濃系 柿軸 内面目勝3	
64	土師質土器	焙烙	(31.2)	[5.3]	—	AIK	10	普通	灰白	SK415	砂目底 胎土粉質 外面煤付着	
65	瓦質土器	火鉢	(29.6)	12.4	(24.2)	CIK	15	普通	灰白	SK415	脚1 遺存 内面火箸取若干	
66	磁器	碗	(10.0)	5.6	3.6	IK	30	良好	灰白	SK417	肥前系 施軸 外面染付	
67	陶器	播鉢	—	[5.1]	—	DEIK	5	良好	にぶい黄褐色	SK417	丹波系 内面播目	
68	陶器	播鉢	—	[3.6]	—	DE	5	良好	褐色	SK417	丹波系 内面播目 外面指頭玉痕	
69	陶器	徳利	—	[4.7]	—	CE	5	良好	にぶい黄褐色	SK417	備前系 外面自然釉 権利302に同一個体	79-11
70	陶器	甕	(34.6)	[14.5]	—	EIK	10	良好	灰白	SK417	丹波系 施軸か 外面施文 環状貼付文	79-9
71	陶器	甕	—	[20.7]	(19.0)	EIK	20	良好	灰白	SK417	SK427・桶313・SE301 接合 丹波系 施軸か 外面施文 70と同一個体	79-10
72	陶器	甕	—	[6.7]	—	EIK	5	良好	灰白	SK417	丹波系 施軸か 外面施文 70と同一個体	79-9
73	陶器	甕	—	[6.7]	—	EIK	5	良好	灰白	SK417	丹波系 施軸か 外面施文 70と同一個体	79-9

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
74	陶器	甕	—	[8.5]	—	EIK	5	良好	灰白	SK417	丹波系 施軸・外面施文 70 と同一個体	79-9
75	陶器	坏	(6.6)	[2.6]	—	K	20	良好	灰白	SK418	京都信楽系 施軸 外面に給付 (緑)	
76	磁器	蓋	(3.8)	2.8	(10.0)	—	40	良好	灰白	SK419	肥前系 施軸 (外面青磁軸)・染付	
77	磁器	碗	9.6	5.0	2.0	—	85	良好	灰白	SK419	肥前系 施軸 外面染付 被熱	
78	磁器	坏	(7.6)	3.9	3.0	—	40	良好	白	SK419	肥前系 施軸 外面染付	
79	磁器	碗	(8.0)	[5.6]	—	—	40	良好	白	SK419	肥前系 施軸・染付	
80	磁器	猪口	(7.6)	6.0	4.5	—	65	良好	灰白	SK419	肥前系 施軸 外面染付	
81	瓦質土器	火鉢	(27.0)	[5.9]	—	ACIK	30	普通	にぶい黄	SK419	口縁部ミガキ やや酸化灰焼成 燻す	
82	瓦質土器	火鉢	29.6	19.3	23.3	CEH	90	良好	灰白 (外側) 褐灰 (中心)	SK419	底部シワ状痕 外面黒色塗布物 菊花文 赤彩 内底面磨耗 やや酸化灰焼成	79-12
83	陶器	皿	(13.5)	3.4	(7.6)	EK	40	良好	灰白	SK419	瀬戸美濃系 灰軸 内面直垂焼痕	
84	陶器	皿	(11.0)	2.9	(4.4)	K	25	良好	灰白	SK419	瀬戸美濃系 灰軸 内面黒線	
85	陶器	碗	9.1	5.5	2.9	D	75	良好	灰白	SK419	京都信楽系 施軸	
86	陶器	播鉢	—	[3.6]	—	—	5	良好	灰白	SK419	瀬戸美濃系 焼軸 内面黒目	
87	陶器	皿	7.8	1.9	3.3	D	95	良好	灰白	SK419	瀬戸美濃系 灰軸	
88	かわらけ	小皿	(10.2)	1.8	(6.4)	CIK	20	普通	にぶい黄橙	SK419	底部糸切痕 胎土砂質	
89	磁器	蓋	(5.4)	2.7	(9.9)	—	30	良好	白	SK420	肥前系 施軸・染付	
90	磁器	皿	(10.0)	2.3	(4.4)	—	30	良好	白	SK420	肥前系 施軸・染付	79-13
91	陶器	片口鉢	(18.8)	13.0	(11.0)	IK	20	良好	灰白	SK420	瀬戸美濃系 外へ内面上位灰軸	
92	土師質土器	壺	—	[6.4]	—	ADH	5	普通	にぶい黄	SK420	真壁系 外面沈線 (葉巻形土器)	79-14
93	瓦質土器	焙烙	(36.4)	5.7	(32.4)	CHK	35	普通	にぶい黄	SK421	砂目底 体部下位ケズリ 外面煤付着	
94	瓦質土器	焙烙	(38.6)	5.4	(34.8)	CHK	10	普通	灰黄	SK421	底部シワ状痕 外面煤付着 燻す	
95	磁器	碗	(10.2)	6.0	(4.3)	—	30	良好	白	SK421	肥前系 施軸 外面染付	79-15
96	磁器	碗	9.4	5.4	3.6	—	80	良好	灰白	SK421	SK422 接合 肥前系 施軸 外面染付	
97	磁器	蓋	—	[1.8]	(10.0)	—	5	良好	灰白	SK421	肥前系 施軸 (外面青磁軸) 内面染付	
98	磁器	碗	(9.8)	5.2	(3.8)	—	75	良好	灰白	SK423	肥前系 施軸 外面染付 少量煤付着	
99	磁器	碗	9.2	4.8	3.3	—	95	良好	灰白	SK423	肥前系 施軸 外面染付	
100	磁器	碗	9.8	5.1	3.9	—	75	良好	灰白	SK423	肥前系 施軸 外面染付	
101	磁器	碗	9.2	4.9	3.5	—	85	良好	灰白	SK423	肥前系 施軸 外面染付	
102	磁器	碗	9.6	5.0	3.8	—	45	良好	灰白	SK423	肥前系 施軸 外面染付 少量煤付着	
103	磁器	碗	9.0	5.0	3.5	—	50	良好	灰白	SK423	肥前系 施軸 外面染付 少量煤付着	
104	磁器	碗	11.4	5.8	4.3	—	95	良好	白	SK423	肥前系 施軸・染付	
105	磁器	碗	11.4	5.9	3.9	—	95	良好	白	SK423	肥前系 施軸・染付	
106	磁器	碗	11.4	5.8	4.2	—	90	良好	白	SK423	肥前系 施軸・染付	
107	磁器	碗	(11.0)	5.8	(4.4)	—	30	良好	白	SK423	肥前系 施軸・染付	
108	磁器	蓋物	9.8	5.6	4.6	—	70	良好	灰白	SK423	肥前系 施軸 外面染付 煤付着	
109	磁器	碗	(7.8)	[3.1]	—	—	30	良好	白	SK423	肥前系 施軸・染付	
110	磁器	碗	—	[2.4]	4.5	—	90	良好	灰白	SK423	肥前系 施軸・染付 少量煤付着	
111	磁器	碗	11.3	6.6	4.8	—	90	良好	灰白	SK423	肥前系 施軸 (外面青磁軸)・染付	
112	磁器	皿	13.5	3.4	7.8	—	75	良好	灰白	SK423	肥前系 施軸・染付 弱く被熱	
113	磁器	皿	12.7	4.4	7.4	—	75	良好	灰白	SK423	肥前系 施軸・染付	
114	陶器	碗	9.2	4.9	3.8	IK	100	良好	灰白	SK423	瀬戸美濃系 灰軸 外面鉄絵 被熱 同形別個体 4 以上あり	
115	陶器	碗	9.4	5.2	3.9	IK	100	良好	灰白	SK423	瀬戸美濃系 灰軸 外面鉄絵	
116	陶器	碗	(9.2)	5.3	4.3	IK	55	良好	灰白	SK423	瀬戸美濃系 施軸 外面貝須絵	
117	陶器	碗	(9.8)	5.5	4.2	IK	60	良好	灰白	SK423	瀬戸美濃系 施軸 外面貝須絵	
118	陶器	碗	8.9	5.2	3.2	IK	95	良好	灰白	SK423	京都信楽系 施軸 外面鉄絵	
119	陶器	碗	8.1	5.7	4.2	EIK	95	良好	灰白	SK423	瀬戸美濃系 鉄・灰軸掛分 外面押型文	
120	陶器	灯明皿	8.1	2.6	3.8	IK	100	良好	灰白	SK423	瀬戸美濃系 柿軸 重焼痕	
121	陶器	灯明皿	10.5	2.3	4.1	EIK	95	良好	にぶい黄橙	SK423	瀬戸美濃系 柿軸 内面重焼痕	
122	陶器	灯明皿	7.9	1.8	4.0	IK	100	良好	灰黄	SK423	瀬戸美濃系 柿軸 重焼痕	
123	陶器	灯明皿	8.4	1.8	4.0	D	100	良好	灰黄	SK423	瀬戸美濃系 柿軸 重焼痕	
124	陶器	灯明皿	8.4	2.0	4.0	K	90	良好	褐灰	SK423	瀬戸美濃系 柿軸 重焼痕	
125	陶器	灯明皿	8.8	1.7	3.8	EI	95	良好	褐灰	SK423	瀬戸美濃系 柿軸 重焼痕	
126	陶器	灯明皿	10.4	2.0	4.1	IK	75	良好	褐灰	SK423	瀬戸美濃系 柿軸 重焼痕	
127	陶器	灯明皿	8.9	2.2	4.3	D	95	良好	灰白	SK423	瀬戸美濃系 柿軸 重焼痕	
128	陶器	灯明皿	11.2	2.0	5.1	E	95	良好	にぶい黄橙	SK423	瀬戸美濃系 柿軸 重焼痕	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
129	陶器	香炉	—	[1.7]	5.4	EIK	70	良好	灰白	SK423	瀬戸美濃系 外面灰軸	
130	陶器	德利	—	[10.1]	—	EIK	25	良好	灰白	SK423	瀬戸美濃系 外面柿輪	
131	陶器	油德利	—	5.1	6.6	IK	50	良好	灰褐色	SK423	瀬戸美濃系 外面柿輪 底部拭き取り	
132	瓦質土器	火鉢	29.2	13.2	22.9	CHI	70	普通	黄灰	SK423	SD302 様合 底部シワ状痕 口縁部叩打痕 やや酸化灰焼成 墨書「子ノシキ」	80-1 94-5
133	瓦質土器	火鉢	23.4	12.0	17.7	CHI	90	普通	淡黄	SK423	やや酸化灰焼成 口縁部二次叩打痕	79-16
134	土師質土器	焙烙	(32.9)	8.3	(34.5)	HIK	40	良好	にぶい黄褐色	SK423	底部シワ状痕 胎土粉質 外・内面煤付着	
135	土師質土器	焙烙	(34.2)	[6.4]	(35.0)	AH	15	良好	にぶい橙	SK423	底部弱いヘラナデ 胎土粉質 外面煤付着	
136	土師質土器	焙烙	(32.8)	(7.3)	(33.6)	AH	40	良好	にぶい橙	SK423	砂目底 胎土粉質 煤付着	
137	磁器	碗	—	[2.0]	(4.8)	—	30	良好	灰白	SK427	肥前系 施軸 外面染付	
138	陶器	皿	—	[1.1]	5.2	K	60	良好	灰白	SK427	瀬戸美濃系 灰軸 内面擦割	
139	磁器	皿	(12.4)	2.5	(5.2)	—	5	良好	灰白	SK427	肥前系 施軸 内面染付 墨付部砂付着	
140	磁器	香炉	(12.4)	[3.7]	—	K	10	良好	灰白	SK427	肥前系 施軸 外面染付	
141	磁器	仏飯器	(5.8)	5.4	3.4	—	60	良好	灰白	SK427	肥前系 施軸	
142	陶器	皿	(12.4)	2.6	6.6	EIK	50	良好	灰白	SK427	瀬戸美濃系 口縁部銅線軸 内面鉄絵	
143	陶器	花生	—	[9.4]	—	DE	70	良好	灰白	SK427	瀬戸美濃系 外面鉄軸	
144	瓦質土器	火鉢	縦5.7 横5.6 厚1.2	—	—	—	5	良好	灰白	SK427	内外面煤す 転用磁具	
145	瓦質土器	焙烙	(32.0)	5.4	(29.4)	CHI	15	普通	褐色	SK427	砂目底 内耳1 遺存 煤す	
146	磁器	碗	8.0	6.6	3.9	—	95	良好	灰白	SK429	肥前系 施軸 (外面青磁軸)・染付	
147	磁器	碗	11.6	6.0	4.6	—	90	良好	白	SK429	肥前系 施軸 外面染付	
148	磁器	碗	(12.0)	[5.5]	—	—	15	良好	灰白	SK429	肥前系 施軸 (外面青磁軸) 内面染付	
149	磁器	杯	(7.2)	3.6	2.9	—	35	良好	灰白	SK429	肥前系 施軸 外面染付	
150	磁器	猪口	7.4	5.5	4.1	—	100	良好	白	SK429	肥前系 施軸 外面染付	
151	磁器	德利	—	[13.2]	4.8	—	95	良好	灰白	SK429	肥前系 外面施軸・染付 弱く被熱	
152	磁器	碗	10.4	4.9	4.0	—	55	良好	灰白	SK429	肥前系 施軸 蛇の目状輪割 煤付着	80-2
153	磁器	碗	9.3	[4.6]	—	—	10	良好	白	SK429	肥前系 施軸・染付 外面色絵	80-3
154	磁器	皿	—	[1.5]	(8.7)	—	25	良好	灰白	SK429	肥前系 施軸・染付	
155	陶器	碗	9.4	5.1	3.5	D	90	良好	灰白	SK429	瀬戸美濃系 灰軸 外面鉄軸流掛	
156	陶器	碗	(8.8)	5.2	(2.8)	K	25	良好	灰白	SK429	京都信楽系 施軸 外面色絵 (緑・赤)	
157	陶器	碗	(9.0)	5.2	(2.9)	IK	25	良好	灰白	SK429	京都信楽系 施軸 外面鉄絵	
158	陶器	碗	(10.2)	5.7	(3.0)	CDE	35	良好	灰白	SK429	京都信楽系 施軸 外面色絵 (緑・赤・青)	
159	陶器	皿	(15.2)	3.0	(7.8)	D	35	良好	灰白	SK429	瀬戸美濃系 灰軸 内面ビン痕 2遺存	
160	陶器	灯明皿	7.4	1.5	3.3	—	100	良好	灰白	SK429	瀬戸美濃系 柿輪	
161	陶器	乗燭	5.9	5.4	4.2	EIK	100	良好	灰白	SK429	瀬戸美濃系 底部糸切痕 (右) 鉄軸	
162	瓦質土器	手焙り	—	[7.0]	—	CIEF	10	良好	褐色	SK429	透孔3遺存 外面上部粗いミガキ 煤す	
163	土師質土器	蓋	7.1	1.2	7.5	AH	95	普通	にぶい橙	SK429	型成形 外面端部弱いシワ状痕 内面布圧痕 (焼痕)	
164	かわらけ	小皿	4.9	0.9	2.8	AH	90	良好	にぶい橙	SK429	底部糸切痕 (左) 胎土粉質	
165	土師質土器	焙烙	—	5.6	—	AH/IK	5	普通	にぶい橙	SK429	内耳1 遺存 外面少量煤付着	
166	陶器	杯	5.6	2.6	2.8	IK	95	良好	灰白	SK430	瀬戸美濃系 灰軸 口唇部叩打痕	80-4
167	磁器	杯	(6.6)	4.6	2.9	—	60	良好	白	SK430	瀬戸美濃系 施軸 外面酸化コバルト染付	
168	陶器	碗	(9.8)	[4.4]	—	E	10	良好	淡黄	SK430	瀬戸美濃系 灰軸 外面上絵付・鉄絵	80-5
169	瓦質土器	電鈔	(30.2)	3.8	(33.3)	DEH	15	普通	褐色	SK430	上面刻印 煤す	
170	陶器	榎木鉢	—	[4.6]	(7.0)	HIK	35	普通	にぶい橙	SK430	白化粧 外面施軸 透孔 (径1.8 cm)	80-6
171	磁器	德利	1.5	[8.8]	—	—	85	良好	白	SK431	肥前系 外面施軸・染付	
172	磁器	德利	1.6	[10.3]	—	K	40	良好	灰白	SK431	肥前系 外面施軸・染付	
173	陶器	碗	9.4	5.8	3.9	DE	45	良好	灰白	SK431	瀬戸美濃系 柿輪・白面	
174	磁器	碗	7.5	5.7	3.5	—	100	良好	灰白	SK431	肥前系 施軸・染付	
175	陶器	皿	(12.8)	[1.8]	—	I	5	良好	灰白	SK431	瀬戸美濃系 緑軸 内面上位密に沈線	80-7
176	陶器	灯明皿	10.1	1.9	4.8	K	100	良好	にぶい黄褐色	SK431	瀬戸美濃系 柿輪	
177	陶器	香炉	(14.2)	[5.5]	—	D	15	良好	灰白	SK436	瀬戸美濃系 灰軸 外面御堂文 口縁部歪む	
178	陶器	半銅鑊	(15.8)	[8.5]	—	—	10	良好	灰白	SK436	瀬戸美濃系 柿輪 口唇部叩打痕	
179	磁器	碗	11.3	6.1	6.1	—	85	良好	灰白	SK436	肥前系 施軸・染付	
180	陶器	天目茶碗	(11.3)	[6.0]	—	IK	25	良好	灰白	SK436	瀬戸美濃系 鉄軸	
181	陶器	皿	—	[1.8]	7.6	K	65	良好	灰白	SK436	瀬戸美濃系 灰軸 内面布目・目跡 墨書「十之内」	94-6
182	土師質土器	焼塩釜	—	[4.7]	6.0	AH/IK	65	普通	にぶい橙	SK436	底部糸切痕 (左) 胎土粉質 大張り	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
183	陶器	擂鉢	—	[7.3]	—	DIK	5	良好	灰白	SK436	瀬戸美濃系 鉄軸 内面描目	
184	陶器	有耳壺	(10.8)	20.1	(12.1)	E	20	良好	灰白	SK453	瀬戸美濃系 外面鉄軸 内・断面煤付着	
185	陶器	碗	8.0	5.6	3.9	I	60	良好	灰白	SK453	瀬戸美濃系 灰・鉄軸排分 外面押型文	
186	陶器	碗	(9.2)	5.7	(3.6)	—	30	良好	灰白	SK453	京都信楽系 施軸	
187	陶器	碗	(9.1)	[4.0]	—	—	20	普通	灰白	SK453	京都信楽系 施軸 外面色絵 (赤・黄・緑)	
188	陶器	蓋	—	2.0	5.7	—	100	普通	灰白	SK453	瀬戸美濃系 外面灰軸 (土脈)	80-8
189	陶器	香炉	(15.0)	6.6	(9.5)	I	25	普通	灰白	SK453	瀬戸美濃系 灰軸	
190	瓦質土器	火鉢	—	[7.3]	—	CI	5	良好	灰黄	SK453	外面櫛歯状文 内面煤付着	
191	陶器	鉢	(22.0)	[5.0]	—	I	20	普通	灰白	SK454	瀬戸美濃系 灰軸	
192	磁器	仏飯器	7.4	4.7	3.4	—	80	普通	灰白	SK456	肥前系 施軸 外面染付	
193	磁器	碗	8.8	3.2	3.5	—	100	普通	灰白	SK456	肥前系 施軸 外面染付	
194	磁器	碗	(9.8)	5.6	4.1	—	45	普通	灰白	SK456	肥前系 施軸 外面染付	
195	陶器	碗	(10.0)	[4.9]	—	I	25	普通	灰白	SK454	京都信楽系 施軸 外面色絵 (赤・緑) 被熱	
196	陶器	碗	(9.0)	5.8	3.4	I	50	良好	灰白	SK456	京都信楽系 施軸 外面鉄絵	
197	陶器	灯明皿	8.5	1.8	3.9	I	100	良好	灰	SK456	瀬戸美濃系 柿軸 底部重燒痕	
198	瓦質土器	火鉢	(29.0)	[7.8]	—	CHI	5	良好	灰黄	SK456	外面黒色塗布物・赤彩 やや酸化変焼成	80-9
199	磁器	碗	[8.5]	5.3	3.3	—	50	良好	白	SK457	肥前系 施軸・染付	
200	磁器	碗	(8.7)	[5.0]	—	—	25	普通	白	SK457	肥前系 施軸・染付	
201	磁器	碗	(8.2)	5.2	(4.0)	—	35	良好	白	SK457	肥前系 施軸 外面染付	
202	磁器	碗	7.0	5.6	3.9	—	100	普通	白	SK457	肥前系 施軸・染付	
203	磁器	碗	11.1	6.2	6.6	—	65	良好	白	SK457	肥前系 施軸・染付 被熱	
204	磁器	碗	11.0	6.5	6.5	—	80	良好	白	SK457	肥前系 施軸・染付	
205	磁器	蓋	(4.9)	3.2	(9.7)	—	40	良好	白	SK457	肥前系 施軸 外面染付	
206	磁器	碗	11.4	6.6	6.1	—	30	良好	白	SK457	肥前系 施軸・染付 焼継痕・焼継印	94-7
207	磁器	碗	7.4	3.9	2.8	—	100	良好	白	SK457	肥前系 施軸・染付	
208	磁器	碗	9.7	4.8	4.1	—	70	良好	白	SK457	瀬戸美濃系 施軸・染付	
209	磁器	坏	(5.2)	[2.7]	—	—	20	普通	白	SK457	肥前系 施軸 花弁状に加飾 口紅	81-1
210	磁器	皿	(10.4)	[1.5]	—	—	10	普通	白	SK457	肥前系 施軸・染付 強く被熱	
211	陶器	坏	6.1	3.6	3.0	I	100	普通	灰白	SK457	瀬戸美濃系 灰軸	
212	陶器	坏	5.9	3.9	3.1	EK	60	普通	灰白	SK457	瀬戸美濃系 灰軸	
213	陶器	碗	(9.0)	4.7	(3.1)	—	25	良好	灰白	SK457	京都信楽系 施軸 貫入多い	
214	磁器	皿	(10.6)	2.1	(6.9)	—	50	良好	白	SK457	肥前系 施軸 内面染付 口紅	
215	磁器	蓋	—	[2.7]	(12.0)	—	30	良好	白	SK457	肥前系 施軸 外面染付	
216	磁器	皿	20.2	3.3	12.0	—	65	普通	白	SK457	肥前系 施軸・染付 焼継痕・焼継印 (赤)	81-2
217	陶器	碗	(14.4)	6.0	—	GHI	5	普通	淡黄	SK457	瀬戸美濃系 内面灰軸 外面刷毛目軸	
218	陶器	灯明皿	9.7	2.1	4.4	I	80	普通	淡黄	SK457	瀬戸美濃系 柿軸 重燒痕	
219	陶器	灯明皿	10.1	2.1	4.2	I	80	普通	淡黄	SK457	瀬戸美濃系 柿軸	
220	陶器	鉢	(29.6)	8.0	(14.8)	I	40	普通	灰白	SK457	瀬戸美濃系 灰軸 緑軸流排 見込印花	
221	陶器	火入れ	9.5	7.2	(5.2)	EI	40	良好	浅黄	SK457	京都信楽系 外面施軸 鉄絵	81-3
222	陶器	片口鉢	—	[5.2]	10.4	ADE	20	普通	灰白	SK457	瀬戸美濃系 鉄軸 高台登付部磨耗	
223	陶器	片口鉢	(16.5)	[8.2]	—	I	20	良好	黄灰	SK457	瀬戸美濃系 灰軸 被熱	
224	陶器	擂鉢	(33.0)	13.8	(15.6)	DE	50	良好	明赤褐	SK457	堺明石系 底部板状圧痕 内面描目 刻印	81-4
225	陶器	半胴壺	—	[6.6]	10.0	HI	25	普通	灰白	SK457	瀬戸美濃系 柿軸 柿鉢鉢底用 墨書「コ / 四十五」	81-6 94-8
226	陶器	蓋物	(10.9)	[4.0]	—	EI	20	良好	灰	SK457	瀬戸美濃系 鉄軸 口縁上端面露胎	81-5
227	陶器	香炉	—	[5.2]	(9.6)	DI	25	普通	灰白	SK457	瀬戸美濃系 鉄軸	81-7
228	陶器	鍋	(16.5)	[8.1]	—	K	25	普通	灰白	SK457	柿軸	
229	陶器	土瓶	(8.5)	[4.3]	—	I	5	普通	灰白	SK457	京都信楽系 小 施軸 外面鉄絵	
230	瓦質土器	焙烙	(37.4)	6.0	(33.7)	CI	25	普通	浅黄橙	SK457	底部シワ状痕 外面煤付着 内底面に刃 ならし状痕跡 やや酸化変焼成	
231	土師質土器	火酒壺	(19.2)	[19.1]	20.8	AI	25	普通	橙	SK457	砂目底 脚欠失 胎土粉質 若干煤付着	
232	土師質土器	焙烙	(35.4)	[5.8]	(37.3)	CH	30	良好	にぶい黄橙	SK457	底部シワ状痕 外面煤付着	
233	瓦質土器	蓋	—	[3.8]	(22.0)	CI	10	普通	灰	SK457	上面シワ状痕 つまみ欠失部周囲ヘラナゲ 痕跡 (火酒壺)	
234	土師質土器	焼壺	—	[1.9]	4.5	AI	30	普通	にぶい黄橙	SK457	底部糸切痕 (左) 胎土粉質	
235	磁器	碗	—	[3.3]	(4.8)	—	5	普通	灰白	SK458	肥前系 施軸 (外面青緑軸) 内面染付	81-8

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
236	磁器	坏	(7.8)	[4.2]	—	—	20	良好	白	SK458	肥前系 施軸 (外面青磁軸) 内面染付口紅	81-9
237	磁器	碗	—	[1.7]	(6.0)	K	5	普通	灰白	SK458	肥前系 施軸 (初期伊万里様式)	81-10
238	陶器	片口鉢	(18.8)	[7.4]	—	I	15	良好	灰黄	SK458	瀬戸美濃系 灰軸	
239	磁器	皿	(12.0)	4.8	(4.0)	—	30	普通	灰白	SK458	肥前系 施軸 内面染付	
240	陶器	灯明皿	(7.1)	2.6	(5.0)	D	25	良好	にぶい、橙	SK458	志戸呂系 施軸	
241	瓦質土器	十能	幅 [8.6]	長 [16.5]	高 5.3	CI	30	普通	灰白	SK458	砂目底 全面灰化	
242	陶器	碗	(9.2)	[4.7]	—	I	20	普通	灰白	SK458	京都信楽系 施軸 外面色絵 (緑・赤・青)	
243	磁器	水滴	—	[3.2]	—	—	5	普通	白	SK461	肥前系 外面施軸 色絵	81-11
244	磁器	碗	(10.1)	4.9	(4.3)	—	40	普通	灰白	SK461	肥前系 施軸 外面染付	
245	磁器	碗	(8.8)	4.3	3.3	—	60	普通	灰白	SK461	肥前系 施軸 外面染付	
246	陶器	灯明皿	7.7	1.8	4.4	I	70	良好	灰白	SK461	瀬戸美濃系 枅軸 外面下位拭き取り 内面重焼痕 煤付着	
247	陶器	皿	—	[1.7]	(8.6)	K	5	良好	灰白	SK461	瀬戸美濃系 灰軸 (総軸) 見込ビン痕	81-12
248	陶器	碗	10.0	4.9	3.8	K	95	良好	灰黄	SK461	瀬戸美濃系 灰・鉄軸併用	
249	瓦質土器	火鉢	28.4	10.6	24.6	CI	70	普通	灰白	SK461	底部シワ状痕 内面刻印 口唇二次叩打	81-13
250	陶器	手焙り	—	[12.6]	9.2	E	35	普通	灰白	SK461	瀬戸美濃系 鉄軸 (枅軸) 墨書「六」	81-14 94-9
251	瓦質土器	炬燵	29.5	23.0	22.4	CF	85	普通	灰白	SK461	底部シワ状痕 外面ミガキ 内面煤付着	82-1
252	陶器	鉢	—	[2.0]	(9.7)	I	10	良好	灰白	SK461	肥前系 内面施軸・鉄軸 高台内刻印	
253	瓦質土器	焙烙	38.6	5.2	35.6	CHI	75	普通	灰白	SK461	砂目底 やや酸化炭焼成 外面煤付着	82-2
254	瓦質土器	焙烙	35.2	5.1	32.3	CI	30	普通	灰白	SK461	底部シワ状痕 底部煤す	
255	瓦質土器	焙烙	(36.3)	5.4	(33.8)	CEFH	5	普通	黄灰	SK461	内面強いナゲ 一部ミガキ 外面ノッキング状のケズリ痕	
256	磁器	碗	(8.5)	[4.3]	—	—	5	良好	白	SK463	肥前系 施軸 外面色絵 (茶・桃) 内面染付	82-3
257	陶器	碗	(8.8)	5.5	3.6	K	40	普通	灰白	SK463	京都信楽系 施軸 外面鉄軸	
258	陶器	灯明皿	10.0	2.1	4.8	I	100	良好	灰白	SK463	瀬戸美濃系 枅軸 重焼痕	
259	陶器	蓋集類	—	[3.3]	—	DI	5	良好	にぶい、黄橙	SK463	外面沈線 内面格子状叩き痕 拓器質	82-4
260	磁器	碗	(8.8)	5.6	4.0	—	40	良好	白	SK465	肥前系 施軸	82-5
261	磁器	鉢	(19.3)	6.4	(10.0)	—	30	普通	灰白	SK465	肥前系 施軸・染付	
262	陶器	播鉢	—	[9.3]	—	DE	10	良好	橙	SK465	堺明石系 内面播目 片口部刻印	
263	陶器	播鉢	(25.8)	[7.9]	—	DEK	10	良好	橙	SK465	丹波系 内面播目	
264	陶器	碗	(9.2)	5.7	3.0	K	60	普通	灰白	SK465	京都信楽系 施軸・色絵	82-6
265	陶器	徳利	2.5	21.5	7.2	I	90	普通	灰白	SK465	瀬戸美濃系 外面施軸・頭部縁軸流掛	82-7
266	瓦質土器	焙烙	(36.2)	5.3	(33.9)	CFH	20	普通	灰白	SK465	SK466 接合 底部シワ状痕 内面体部・ 底部ミガキ 刻印の一部 煤す	
267	磁器	碗	(12.1)	[5.6]	—	—	20	良好	白	SK466	肥前系 青磁軸	82-8
268	磁器	碗	—	[5.2]	(4.8)	—	20	普通	白	SK466	肥前系 施軸 外面染付	82-9
269	磁器	碗	(8.2)	5.8	3.2	—	70	良好	白	SK466	肥前系 施軸・染付 漆継痕	
270	磁器	碗	(11.0)	[4.3]	—	—	15	良好	白	SK466	肥前系 施軸 外面染付	
271	磁器	碗	(9.6)	5.0	4.0	—	60	普通	灰白	SK466	肥前系 施軸 蛇の目状軸剥 外面染付	
272	磁器	碗	(9.0)	[4.6]	—	—	20	普通	灰白	SK466	肥前系 施軸・染付	
273	磁器	皿	—	[2.4]	5.7	K	50	普通	白	SK466	肥前系 施軸 内面染付 (初期伊万里)	82-11
274	磁器	碗	—	[2.7]	3.2	—	25	普通	白	SK466	肥前系 施軸・上絵付 被熱	82-10
275	磁器	皿	(13.8)	[2.3]	—	—	10	普通	白	SK466	肥前系 施軸・染付 口紅	82-12
276	磁器	皿	(12.7)	3.8	(7.4)	—	45	普通	灰白	SK466	肥前系 施軸・染付	
277	磁器	皿	10.3	2.3	5.7	—	95	普通	白	SK466	肥前系 施軸・染付	
278	磁器	皿	—	[2.7]	10.5	—	70	普通	白	SK466	肥前系 施軸 外面染付 高台内ハリ支根	
279	陶器	碗	(10.2)	5.5	3.9	I	45	普通	灰白	SK466	瀬戸美濃系 灰軸	
280	陶器	灯明皿	10.8	2.4	5.1	H	100	良好	灰白	SK466	瀬戸美濃系 枅軸 重焼痕	
281	瓦質土器	焙烙	—	—	—	C	5	普通	灰白	SK466	底部シワ状痕 内面刻印 煤す	
282	陶器	徳利	(3.5)	[3.5]	—	I	5	良好	灰	SK466	備前系 外面に火だすき状の付着物	
283	瓦質土器	火鉢	(17.4)	9.6	12.7	AHI	70	不良	にぶい、黄橙	SK466	砂目底・スノコ状圧痕 口縁部ミガキ 外面風文 煤す	82-13
284	瓦質土器	火鉢	(19.1)	[6.8]	—	CFH	20	不良	灰黄	SK466	内面剥離 やや酸化炭焼成	
285	瓦質土器	焙烙	—	5.2	—	CFH	5	普通	にぶい、黄橙	SK466	底部シワ状痕 内面ミガキ 煤す	
286	かわらけ	小皿	(10.6)	(2.8)	(5.1)	CHI	10	普通	灰白	SK466	底部糸切痕 二次穿孔 4以上 胎土砂質 接点無い口縁部と底部より園土覆元	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
287	かわらけ	小皿	7.7	1.9	4.0	AI	70	普通	橙	SK466	底部糸切痕(左) 口縁部煤付着	
288	土器	埴壇	(2.8)	[2.9]	—	E	15	普通	灰白	SK466	内面浮状付着物 外面ガラス化 還元	82-14
289	磁器	碗	(9.3)	5.2	(3.3)	—	45	普通	灰白	SK468	肥前系 施釉 外面染付 内面煤微量付着	
290	瓦質土器	火鉢	(17.0)	9.9	(12.2)	ADI	25	良好	にぶい黄橙	SK468	底部弱くヘラナデ 外面施文 焼す	82-15
291	陶器	皿	12.6	2.7	7.7	IK	70	良好	灰白	SK468	瀬戸美濃系 施釉 内面磨蝕	
292	磁器	碗	(11.1)	6.0	6.0	—	45	良好	白	SK469	肥前系 施釉・染付	83-1
293	磁器	碗	9.5	5.1	4.0	—	70	良好	白	SK469	瀬戸美濃系 施釉・染付 被熱	
294	磁器	碗	(11.2)	(6.4)	4.5	—	50	良好	白	SK469	肥前系 施釉・染付 接点のない上下破片から図上復元	
295	磁器	碗	—	[4.3]	(5.4)	—	10	良好	白	SK469	肥前系 施釉・染付 焼継痕・焼跡印(赤)	
296	磁器	鉢	—	7.0	(7.3)	—	20	良好	白	SK469	肥前系 施釉・染付 焼継痕	
297	陶器	皿	—	[1.6]	4.8	DK	15	普通	灰白	SK469	瀬戸美濃系 灰釉	83-2
298	陶器	土瓶	—	[8.5]	—	HI	5	普通	にぶい黄橙	SK469	施釉土器質 黒色釉(剥離多い)	83-3
299	陶器	徳利	3.4	16.9	6.7	I	100	普通	灰白	SK469	瀬戸美濃系 外面磨蝕・底部拭き取り	
300	磁器	皿	(13.7)	3.8	(7.4)	—	50	普通	白	SK470	肥前系 施釉・染付	
301	磁器	皿	(13.6)	3.0	(8.3)	—	25	良好	白	SK472	中国景德鎮型系 施釉・染付 漆継痕	83-4
302	陶器	皿	(12.0)	[1.9]	—	I	5	良好	灰褐	SK472	肥前系 薬灰釉	83-6
303	陶器	香炉	14.0	5.9	9.5	EI	55	普通	灰黄	SK472	瀬戸美濃系 数輪 内底面直焼痕	83-5
304	磁器	碗	(9.9)	5.3	(4.2)	K	35	良好	白	SK473	肥前系 施釉 外面染付	
305	磁器	碗	8.7	5.5	(3.1)	—	60	普通	白	SK473	肥前系 施釉・染付	
306	磁器	碗	(7.6)	[5.4]	—	—	20	普通	白	SK473	肥前系 施釉・染付	
307	磁器	坏	(7.8)	3.9	(2.8)	—	45	普通	白	SK473	肥前系 施釉・色絵(赤)	83-7
308	磁器	碗	(10.6)	[2.5]	—	—	5	良好	白	SK473	肥前系 施釉 外面染付 色絵(赤・黒)	
309	磁器	皿	13.7	3.6	7.5	—	100	普通	白	SK473	肥前系 施釉・染付	
310	陶器	天目茶碗	11.7	7.7	4.5	K	65	普通	灰白	SK473	瀬戸美濃系 長石釉(白天目)	83-8
311	陶器	碗	(9.0)	4.5	(3.5)	D	40	普通	灰白	SK473	瀬戸美濃系 灰・鉄釉部分	
312	陶器	碗	9.0	5.7	3.0	I	65	良好	灰灰	SK473	京都信楽系 施釉 外面鉄絵	
313	陶器	搥鉢	—	[5.9]	(10.1)	IK	5	普通	にぶい黄橙	SK473	瀬戸美濃系 磨蝕 内面磨目	
314	陶器	徳利	—	[5.1]	2.9	I	40	良好	赤	SK473	備前系 底部回転ケズリ 絵土	83-9
315	陶器	徳利	—	[12.4]	—	HI	35	良好	灰白	SK473	瀬戸美濃系 外面鉄絵	
316	陶器	瓶類	—	[5.6]	—	I	5	良好	灰白	SK473	瀬戸美濃系 外面鉄絵 被熱して発泡	
317	瓦質土器	火鉢	(26.5)	(22.5)	(21.7)	AHI	15	不良	黄灰	SK473	SK471 接合 外面施文 焼す 接点無い3破片より図上復元	83-10
318	土師質土器	焙烙	(32.7)	[5.0]	(34.0)	AM	15	普通	にぶい橙	SK473	砂目底 胎土粉質 外面煤付着	
319	土師質土器	焙烙	(32.8)	[8.3]	(34.3)	AHK	30	普通	にぶい黄橙	SK473	砂目底 胎土粉質 外面煤付着	
320	磁器	碗	—	[1.9]	4.7	—	10	普通	灰白	SK474	肥前系 青磁釉 円盤状製品転用 45g	83-11
321	陶器	皿	(12.4)	3.1	6.5	I	40	良好	灰白	SK474	瀬戸美濃系 灰釉 内面直焼痕 口縁部煤付着 墨書	
322	磁器	坏	(5.0)	[2.4]	—	—	20	良好	白	SK475	肥前系 施釉 外面色絵(赤)	83-12
323	陶器	香炉	(10.6)	[8.0]	—	HK	20	良好	浅黄橙	SK475	京都信楽系 数輪 外面細い簡描文様	83-13
324	磁器	碗	(9.8)	5.0	3.6	—	40	良好	白	SK477	肥前系 施釉 外面染付	83-14
325	磁器	碗	9.5	5.5	4.0	—	65	普通	灰白	SK477	肥前系 施釉 外面染付	83-15
326	磁器	坏小	(8.4)	[3.5]	—	—	25	普通	白	SK477	肥前系 施釉 外面染付	83-16
327	磁器	碗	(7.6)	[5.3]	—	—	30	普通	白	SK477	肥前系 施釉・染付	
328	磁器	碗	(8.3)	[6.4]	—	—	35	普通	白	SK477	肥前系 施釉(外面青磁釉) 内面染付 煤少量付着	
329	磁器	碗	6.8	5.3	3.1	—	65	普通	白	SK477	肥前系 施釉・染付	
330	磁器	皿	(13.9)	[1.9]	—	—	5	普通	白	SK477	肥前系 施釉・染付 口紅	84-2
331	磁器	皿	—	[2.8]	(12.8)	—	5	普通	灰白	SK477	肥前系 施釉・染付(初期伊万里様式)	84-3
332	磁器	皿	(12.7)	3.0	(4.9)	—	35	普通	白	SK477	肥前系 施釉 内面染付(初期伊万里様式)	84-4
333	磁器	皿	(9.6)	1.9	5.2	—	30	普通	白	SK477	肥前系 施釉・染付	84-5
334	磁器	皿	(11.7)	3.6	4.2	—	50	普通	灰白	SK477	肥前系 施釉 内面染付 外面煤付着	
335	磁器	皿	13.0	3.7	7.7	—	95	普通	白	SK477	肥前系 施釉・染付 若干煤付着	
336	磁器	皿	14.2	3.9	8.2	—	90	良好	白	SK477	肥前系 施釉・染付 高台内「間江」銘	
337	磁器	仏飯器	7.1	5.9	4.0	—	70	良好	白	SK477	肥前系 施釉 外面染付	
338	磁器	香炉	4.7	4.0	2.1	—	100	良好	白	SK477	肥前系 施釉(外面青磁釉) 墨書	84-6 94-10
339	磁器	蓋物小	—	[2.9]	5.2	—	20	良好	白	SK477	SK356 接合 肥前系 施釉 外面染付	84-7

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	国版
340	磁器	徳利	—	[9.2]	8.2	—	20	普通	灰白	SK477	肥前系 外面施軸・染付	
341	陶器	碗	(9.2)	5.2	3.8	I	55	良好	明褐色	SK477	瀬戸美濃系 鉄軸・ワノフ軸流掛 硬質	
342	陶器	碗	9.4	5.6	4.2	HI	65	普通	灰白	SK477	瀬戸美濃系 灰・鉄軸掛分	
343	陶器	碗	9.7	5.7	4.7	I	90	普通	灰白	SK477	瀬戸美濃系 灰・鉄軸掛分 煤付着	
344	陶器	碗	(8.6)	5.7	3.4	IK	70	普通	灰白	SK477	瀬戸美濃系 灰軸 外面呉須絵	84-8
345	陶器	碗	9.0	5.2	3.3	I	80	良好	黄灰	SK477	京都信楽系 施軸 外面鉄絵	
346	陶器	碗	8.6	5.1	3.3	I	90	良好	灰白	SK477	京都信楽系 施軸 外面鉄絵	
347	陶器	皿	10.8	2.3	5.2	E	80	良好	灰	SK477	瀬戸美濃系 灰軸 外面煤付着	
348	陶器	皿	(11.6)	2.2	6.6	DIK	50	良好	灰白	SK477	瀬戸美濃系 灰軸 内面目跡3・濃絵	
349	陶器	皿	7.5	2.1	3.9	HI	75	普通	灰白	SK477	瀬戸美濃系 型成形 灰軸	85-1
350	陶器	坪	(6.9)	[3.1]	—	K	15	良好	灰白	SK477	京都信楽系 施軸 外面上絵付(赤)	84-9
351	陶器	坪	(6.9)	[3.3]	—	K	30	良好	灰白	SK477	京都信楽系 施軸 外面上絵付(緑)	84-10
352	磁器	徳利	—	[5.0]	—	—	5	普通	灰白	SK477	肥前系 外面施軸	
353	陶器	皿	(24.8)	4.2	(13.3)	I	25	良好	灰白	SK477	瀬戸美濃系 灰軸 内面緑軸散らし	85-2
354	陶器	無柄罌	(12.1)	6.0	(6.4)	GAK	40	普通	灰白	SK477	瀬戸美濃系 柿軸	85-3
355	陶器	香炉	—	[6.0]	9.5	DI	25	良好	灰白	SK477	瀬戸美濃系 外面灰軸	
356	陶器	徳利	—	[6.1]	—	I	10	良好	灰白	SK477	瀬戸美濃系 外面灰軸 底部拭き取り	
357	陶器	片口鉢	(12.6)	6.8	5.9	I	55	良好	灰白	SK477	瀬戸美濃系 灰軸 煤付着	
358	陶器	茶壺類	—	[5.3]	(12.6)	D	5	良好	灰	SK477	常滑 外面自然釉	
359	陶器	水指か	(14.3)	[9.8]	—	I	20	良好	灰白	SK477	瀬戸美濃系 柿軸 脚穿孔2 内面墨書「ス」	85-4
360	陶器	半胴壺	(32.3)	[11.8]	—	DEHI	10	普通	灰白	SK477	瀬戸美濃系 柿軸 口縁部二次叩打	
361	瓦質土器	火鉢	(11.8)	[8.3]	(14.8)	CI	25	良好	暗灰	SK477	底部シワ状痕 外面ミガキ 透孔 燻す	85-5
362	瓦質土器	火鉢	30.4	18.5	24.6	CH	70	良好	にぶい黄橙	SK477	底部シワ状痕 脚穿孔2 内面墨書「ス」・脚外面墨痕 やや酸化炎焼成	85-6 94-13
363	瓦質土器	焙烙	37.1	5.7	35.0	CHI	60	普通	灰黄	SK477	底部シワ状痕 内面叩打・横円形炭化物 灰 外面煤付着	85-7
364	瓦質土器	蓋	(19.3)	[3.7]	(21.3)	CHI	10	普通	浅黄橙	SK477	上面弱くヘラナデ	
365	土師質土器	焙烙	(29.5)	[5.7]	(30.1)	CI	10	良好	灰黄	SK477	砂目底 体部下位ケズリ	
366	土師質土器	焙烙	33.8	7.6	34.0	AH	50	普通	にぶい黄橙	SK477	砂目底 胎土質 煤付着	
367	瓦質土器	十能	—	[8.5]	—	CHI	25	良好	淡黄	SK477	底部シワ状痕 やや酸化炎焼成	85-8
368	土師質土器	埴土壺	—	[3.4]	(6.0)	EG	15	普通	にぶい黄橙	SK477	型成形か 内面指頭圧痕	85-9
369	かわらけ	小皿	(10.5)	2.0	(5.7)	AHI	20	普通	にぶい橙	SK477	底部糸切痕(左) 胎土質	
370	かわらけ	小皿	(5.8)	1.9	(4.1)	AI	25	普通	にぶい黄橙	SK477	底部糸切痕(左) 中央に二次穿孔	
371	かわらけ	小皿	(5.1)	1.8	(4.0)	AH	40	普通	にぶい橙	SK477	底部糸切痕(左) 胎土質	
372	かわらけ	小皿	(5.1)	1.8	(3.6)	AHI	40	普通	にぶい橙	SK477	底部糸切痕(左) 胎土質	
373	かわらけ	小皿	(8.0)	2.3	4.7	CEHI	55	普通	にぶい橙	SK477	底部糸切痕(右)	
374	磁器	碗	7.9	4.9	3.1	—	90	普通	白	SK478	肥前系 施軸・染付	
375	磁器	碗	10.9	6.3	6.1	—	90	普通	白	SK478	肥前系 施軸・染付	
376	磁器	碗	9.5	5.5	4.0	—	65	良好	白	SK478	瀬戸美濃系 施軸・染付	
377	磁器	碗	(9.6)	4.9	3.9	—	40	良好	白	SK478	瀬戸美濃系 施軸・染付	
378	陶器	碗	—	[4.0]	5.1	GI	25	普通	黄灰	SK478	肥前系 施軸 陶胎染付	
379	陶器	碗	(9.1)	[4.9]	—	—	25	良好	灰白	SK478	京都信楽系 施軸 口縁部緑軸	
380	陶器	坪	6.1	3.2	2.2	—	95	良好	灰白	SK478	京都信楽系 施軸	
381	陶器	雙(28.8)	—	[15.5]	—	DIH	15	良好	灰白	SK478	瀬戸美濃系 柿軸・鉄軸流掛 被熱	
382	陶器	播鉢	(31.8)	[6.2]	—	DE	10	良好	にぶい黄橙	SK478	丹波系 内面描目	
383	瓦質土器	火鉢	22.6	10.5	17.0	EHI	80	良好	灰白	SK478	底部ヘラナデ 被熱 赤変(橙色)	85-10
384	瓦質土器	器台	(14.1)	7.3	(13.4)	CFH	20	良好	灰白	SK478	底部シワ状痕 内孔・長方形孔 燻す	85-11
385	磁器	碗	(11.3)	[2.9]	—	—	5	普通	灰白	SK479	肥前系 青磁軸	
386	陶器	播鉢	—	[3.9]	—	DEI	5	良好	灰	SK479	丹波系 内面描目	
387	陶器	播鉢	—	[4.0]	—	DEG	5	良好	灰	SK479	備前系か 内面描目	
388	磁器	蓋	(5.3)	2.3	(10.1)	—	25	良好	白	SK480	肥前系 施軸・染付	
389	磁器	碗	11.5	6.2	6.5	—	60	良好	白	SK480	肥前系 施軸・染付	85-12
390	陶器	坪	(6.1)	3.9	2.9	E	65	普通	灰白	SK480	京都信楽系か 灰軸 一部窪み 樹菌状文	
391	磁器	皿	(20.6)	2.7	12.1	—	40	普通	白	SK480	肥前系 施軸 内面染付	
392	磁器	鉢	(19.5)	9.1	(9.2)	—	30	良好	白	SK480	肥前系 施軸・染付	
393	陶器	皿	—	[1.4]	(7.6)	I	5	普通	灰白	SK482	瀬戸美濃系 長石軸	85-13
394	陶器	皿	—	[2.0]	(6.0)	EG	5	良好	灰黄褐	SK482	肥前系 蔵灰軸 内面目跡(胎土目)	85-14

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
395	磁器	蓋	—	2.3	7.4	—	50	良好	白	SK486	肥前系 施軸 外面染付	
396	陶器	碗	—	[2.2]	(4.5)	I	15	良好	灰	SK486	肥前系 刷毛目軸	
397	陶器	皿	(11.6)	2.2	(6.3)	EI	20	普通	灰白	SK486	瀬戸美濃系 灰軸	
398	陶器	皿	(12.8)	2.4	6.2	I	40	普通	灰白	SK486	瀬戸美濃系 灰軸 口縁部鉄軸	85-15
399	陶器	半割壺	(17.0)	[7.9]	—	DE	10	良好	黄灰	SK486	瀬戸美濃系 柿軸	
400	磁器	碗	(7.4)	4.7	3.1	—	50	良好	灰	SK488	肥前系 施軸・染付	
401	磁器	猪口	4.7	3.1	2.4	—	45	普通	白	SK488	肥前系 施軸	
402	陶器	天目茶碗	(10.6)	[5.9]	—	DI	15	普通	灰白	SK492	瀬戸美濃系 長石軸(白天目)	
403	磁器	碗	(9.4)	[3.3]	—	—	5	普通	灰白	SK493	肥前系 施軸・染付	
404	陶器	香炉	(8.4)	[3.8]	—	IK	5	良好	黄灰	SK493	瀬戸美濃系 外面灰軸・須領絵	
405	瓦質土器	焙烙	—	5.6	—	CFH	5	普通	灰白	SK493	底部シワ状痕 内耳1遺存 燻す 煤付着	
406	陶器	皿	—	[1.8]	6.3	I	20	普通	灰白	SK494	瀬戸美濃系 灰軸	
407	磁器	碗	—	[2.0]	(5.3)	—	5	普通	灰	SK495	肥前系 施軸・色絵	86-1
408	磁器	皿	—	[1.1]	(3.2)	—	20	普通	灰白	SK495	肥前系 施軸 内面染付	86-2
409	陶器	天目茶碗	(11.2)	[3.6]	—	IK	10	良好	黄灰	SK495	中国産 鉄軸	86-3
410	陶器	天目茶碗	(11.3)	7.2	4.8	DMK	50	普通	淡黄	SK495	瀬戸美濃系 鉄軸	86-4
411	瓦質土器	焙烙	(35.5)	5.8	(34.2)	CEHI	50	普通	灰白	SK495	底部シワ状痕 外面煤付着 燻す	86-5
412	磁器	碗	(10.0)	5.0	4.1	—	50	普通	灰白	SK497	肥前系 施軸 外面染付	
413	磁器	蓋	(4.1)	2.8	(10.0)	—	25	良好	白	SK497	肥前系 施軸・染付	
414	磁器	蓋	—	[2.0]	—	—	10	良好	白	SK497	肥前系 施軸 内面染付 外面色絵 被熱	86-6
415	磁器	蓋	(4.7)	(3.2)	(10.5)	—	15	良好	白	SK497	肥前系 施軸 内面染付 外面色絵	86-7
416	磁器	碗	5.7	4.0	2.7	—	100	普通	白	SK497	肥前系 施軸 外面染付 煤付着	
417	磁器	皿	—	[2.3]	—	—	5	普通	白	SK497	肥前系 施軸・染付 内面色絵(金・赤他) 被熱	86-10
418	磁器	皿	(14.0)	(5.2)	(9.1)	—	15	良好	白	SK497	肥前系 施軸・染付 内面色絵 被熱	86-8
419	磁器	皿	(18.5)	[2.1]	—	—	5	良好	白	SK497	肥前系 施軸 内面染付・色絵	86-9
420	磁器	皿	13.6	3.9	8.5	—	65	普通	灰白	SK497	肥前系 施軸・染付 煤付着	
421	陶器	鍋	(17.2)	[6.5]	—	K	20	普通	灰白	SK497	柿軸	
422	陶器	灯明皿	6.9	1.5	3.4	I	70	良好	灰	SK497	志戸呂系 底部糸切痕(右) 鉄軸	
423	磁器	碗	8.9	3.8	3.5	—	100	普通	灰白	SK498	肥前系 施軸 外面染付	
424	磁器	碗	9.3	4.7	3.1	—	65	良好	白	SK498	肥前系 施軸 外面染付 少量煤付着	
425	磁器	碗	(8.2)	5.4	(2.9)	—	35	良好	白	SK498	肥前系 施軸・染付	
426	磁器	碗	7.8	6.2	4.0	—	50	普通	灰白	SK498	肥前系 施軸(外面青磁軸) 内面染付	
427	磁器	碗	(11.5)	[1.9]	—	—	5	普通	白	SK498	肥前系 施軸 外面色絵(赤・青・緑)	86-11
428	陶器	灯明皿	11.0	2.5	5.3	I	80	普通	灰黄	SK498	瀬戸美濃系 柿軸 重使痕	
429	陶器	碗	9.2	5.6	3.8	I	55	普通	灰白	SK498	瀬戸美濃系 灰軸 外面須領絵・鉄絵	
430	陶器	播鉢	(36.4)	12.9	(16.8)	DE	30	良好	明赤褐	SK498	堺明石系 砂目底 内面播目	
431	土師瓦土器	蓋	24.1	3.7	28.7	ACH	80	普通	にぶい黄橙	SK498	外面砂目	86-12
432	瓦質土器	火鉢	—	10.8	—	—	10	普通	灰白	SK498	底部シワ状痕 外面燻す	
433	磁器	碗	9.2	5.1	3.7	—	95	普通	白	SK501	肥前系 施軸 外面染付 内底面二次叩打	
434	磁器	蓋	—	[5.5]	—	—	25	普通	白	SK501	SK197接合 肥前系 外面施軸・染付 瓜状にしのぎ 把手欠失 型成形	86-13
435	陶器	碗	(8.5)	5.9	4.0	IK	55	良好	灰白	SK501	瀬戸美濃系 鉄軸 外面押型文	
436	陶器	灯明皿	6.7	1.9	4.9	EI	45	良好	黄灰	SK501	瀬戸美濃系 柿軸 重使痕	
437	瓦質土器	焙烙	36.1	5.6	33.3	CFH	45	普通	にぶい黄橙	SK502	底部シワ状痕 内底面刻印「大極上」 外面煤付着 やや焼化変成	86-14
438	陶器	碗	(10.0)	[3.2]	—	D	5	良好	灰白	SK502	瀬戸美濃系 灰軸 外面須領絵一部残存	
439	磁器	碗	—	[1.7]	3.1	—	20	良好	白	SK504	肥前系 施軸・染付	
440	磁器	香炉	10.6	[4.1]	—	—	25	普通	灰白	SK504	肥前系 外面青磁軸	
441	陶器	播鉢	—	[6.5]	(14.8)	DEG	15	良好	にぶい橙	SK504	丹波系 内面播目	
442	磁器	碗	(10.1)	[4.0]	—	—	5	普通	白	SK505	肥前系 施軸 外面染付	
443	磁器	皿	(10.1)	[2.0]	—	—	5	良好	白	SK505	肥前系 施軸・色絵	86-15
444	陶器	蓋物	(8.9)	[3.2]	—	I	不明	普通	灰白	SK505	瀬戸美濃系 灰軸	87-1
445	陶器	碗	(9.4)	5.3	(3.3)	I	30	良好	灰白	SK505	京都信楽系 施軸・色絵	87-2
446	陶器	片口鉢	20.3	[7.0]	—	EI	30	良好	灰白	SK505	瀬戸美濃系 灰軸	
447	陶器	徳利	—	[4.9]	(6.8)	IK	5	普通	灰白	SK506	瀬戸美濃系 外面灰軸	87-3
448	陶器	香炉	(12.8)	[5.5]	—	D	20	普通	灰白	SK506	瀬戸美濃系 灰軸	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
449	陶器	碗	(9.3)	5.2	(4.0)	K	40	普通	灰白	SK507	瀬戸美濃系 灰軸	
450	かわらけ	小皿	(9.6)	1.7	(5.6)	CH	20	普通	灰黄	SK507	底部糸切痕(左) 胎土砂質 接点無い2破片から図上復元	
451	磁器	碗	(10.4)	[4.5]	—	—	10	普通	白	SK508	肥前系 施軸 外面染付 (初期伊万里様式)	87-4
452	磁器	鉢	—	[4.5]	(3.9)	—	15	良好	白	SK508	肥前系 施軸 外面染付	
453	磁器	鉢	(13.8)	[4.3]	—	—	10	良好	白	SK508	肥前系 施軸 内面陽刻文 弱く被熱	87-5
454	陶器	皿	(12.5)	3.8	4.4	K	35	普通	浅黄橙	SK508	肥前系 内面黒縁軸 外面透明軸 弱く被熱	
455	陶器	鉢	(31.1)	[4.8]	—	IK	10	良好	にぶい橙	SK508	肥前系 施軸 内面黄斑(三島手)	
456	陶器	水指か	(15.1)	[10.1]	—	DI	10	良好	淡黄	SK508	瀬戸美濃系 結軸 灰軸底排 体部凹み	87-6
457	かわらけ	小皿	9.9	1.8	5.0	A	70	普通	にぶい橙	SK508	底部糸切痕 胎土粉質	
458	磁器	碗	(10.9)	[5.3]	—	—	10	普通	青磁軸	SK509	肥前系 青磁軸	
459	磁器	皿	(14.0)	3.3	(5.4)	—	40	良好	白	SK509	肥前系 施軸・染付(初期伊万里)	87-7
460	陶器	皿	(11.3)	2.0	(7.0)	I	35	普通	灰白	SK509	瀬戸美濃系 長石軸 目跡	87-10
461	陶器	皿	13.0	3.2	7.0	I	80	良好	黄灰	SK509	瀬戸美濃系 灰軸 内面ビン痕3	87-11
462	陶器	皿	(11.1)	[2.3]	—	K	5	良好	黄灰	SK509	瀬戸美濃系 灰軸	87-8
463	陶器	鉢	—	[2.2]	—	IK	5	普通	灰白	SK509	瀬戸美濃系 灰軸	87-9
464	かわらけ	小皿	5.8	1.8	3.8	EH	95	普通	にぶい橙	SK509	底部糸切痕(右) 胎土砂質	
465	かわらけ	小皿	5.4	1.8	3.4	EH	100	普通	にぶい橙	SK509	底部糸切痕(右) 胎土砂質	87-12
466	かわらけ	小皿	(5.7)	1.7	(3.2)	EH	30	普通	にぶい橙	SK509	底部糸切痕	
467	瓦質土器	焙烙	(36.2)	5.7	(33.2)	CH	10	普通	灰黄褐色	SK509	底部シワ状痕 外面煤付着 燻土	
468	土師質土器	焙烙	(34.4)	5.7	(29.2)	ADCH	10	普通	明赤褐	SK509	底部板目状凹痕 外面煤付着	
469	磁器	蓋	5.3	3.1	10.6	—	90	良好	白	SK676	肥前系 施軸・染付	
470	磁器	碗	(8.0)	[5.7]	—	—	40	良好	白	SK676	SK677 接合 肥前系 施軸・染付	
471	磁器	坏	7.1	3.6	2.5	—	70	良好	白	SK676	肥前系 施軸 外面染付	
472	磁器	蓋	6.1	3.2	11.2	—	90	良好	白	SK677	肥前系 施軸・染付	
473	磁器	碗	(10.5)	[5.1]	—	—	25	良好	白	SK677	肥前系 施軸 外面染付	
474	磁器	碗	6.5	3.5	2.6	—	50	良好	灰白	SK677	肥前系 施軸 外面染付	
475	磁器	碗	11.2	6.9	6.5	—	70	良好	白	SK677	肥前系 施軸・染付 弱く被熱	
476	陶器	蓋	(11.0)	2.4	5.1	HIK	70	普通	にぶい橙	SK677	瀬戸美濃系か 底部糸切痕(左)	
477	磁器	香炉	11.2	8.1	5.6	—	65	良好	白	SK677	肥前系 青磁軸	
478	磁器	皿	(14.0)	3.9	(8.6)	—	35	良好	白	SK677	肥前系 施軸・染付	
479	陶器	皿	26.4	6.0	12.4	—	90	良好	灰白	SK677	SK676・679 接合 瀬戸美濃系 灰軸 内面鉄絵・墨書	87-13
480	陶器	鉢	(18.0)	[5.1]	—	I	10	良好	灰白	SK677	瀬戸美濃系 緑軸 内面スタンプ文 木樋601に同一個体(第101図16)	87-16
481	瓦質土器	火鉢	17.2	8.4	12.3	CHH	90	良好	にぶい橙	SK677	底部ヘラナデ やや酸化灰焼成 外面黒色塗布物	87-17
482	かわらけ	小皿	10.0	2.1	5.8	CHIK	95	良好	にぶい黄橙	SK677	底部糸切痕(左) 胎土砂質	87-15
483	土師質土器	焙烙	33.0	6.6	—	EH	70	普通	浅黄橙	SK677	砂目底 体部外面煤付着	87-14
484	磁器	碗	11.2	6.9	4.0	—	80	良好	灰白	SK678	肥前系 施軸(外面青磁軸) 内面染付	
485	磁器	仏飯器	6.8	4.5	3.5	—	85	良好	灰白	SK678	肥前系 施軸 外面染付	
486	磁器	碗	9.4	4.9	3.7	—	45	良好	灰白	SK678	肥前系 施軸 外面染付 弱く被熱	
487	陶器	碗	9.0	[4.0]	—	IK	20	良好	灰白	SK678	瀬戸美濃系 灰軸	
488	陶器	碗	—	[3.6]	4.9	CD	60	良好	浅黄橙	SK678	肥前系 刷毛目跡	88-4
489	陶器	坏	6.1	3.9	3.3	IK	45	良好	黄灰	SK678	瀬戸美濃系 灰軸	
490	陶器	坏	6.6	3.7	2.8	EIK	65	良好	灰白	SK678	瀬戸美濃系 灰軸	
491	陶器	坏	6.4	3.9	2.9	D	55	良好	灰白	SK678	瀬戸美濃系 灰軸	
492	陶器	碗	(9.8)	5.1	4.0	EIK	45	良好	灰白	SK678	瀬戸美濃系 灰・鉄軸掛分	
493	陶器	灯明皿	10.6	2.3	4.5	K	80	良好	褐色	SK678	瀬戸美濃系 結軸 内面重焼痕	
494	陶器	灯明皿	8.5	2.0	4.7	IK	100	良好	灰白	SK678	瀬戸美濃系 結軸	
495	陶器	灯明皿	7.7	1.9	4.9	DE	85	良好	灰白	SK678	瀬戸美濃系 結軸 重焼痕	
496	陶器	灯明皿	7.7	1.7	3.8	K	90	良好	褐色	SK678	瀬戸美濃系 結軸 重焼痕	
497	陶器	灯明皿	10.9	1.9	5.2	I	90	良好	灰白	SK678	瀬戸美濃系 結軸 重焼痕	
498	陶器	香炉	(14.8)	6.2	(11.4)	DIK	40	良好	灰白	SK678	瀬戸美濃系 灰軸	88-5
499	陶器	播鉢	30.7	11.8	15.0	DE	95	良好	淡赤橙	SK678	埋明石系 底部凹部ヘラケズリ 内面播目	
500	瓦質土器	瓦盤	高7.4 一辺(13.4)	—	—	CHIK	80	普通	暗灰	SK678	透孔各面6 燻土 内面煤付着	88-2

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
501	施軸土器	小皿	(7.6)	[1.5]	—	I	10	良好	橙	SK678	透明軸 胎土粉質	
502	かわらけ	小皿	—	[0.5]	(3.0)	AH	35	普通	灰黄	SK678	底部糸切痕(左) 穿孔	
503	瓦質土器	火鉢	(17.8)	[5.9]	—	HK	15	普通	褐灰	SK678	口縁部・外面ミガキ	
504	瓦質土器	燈台	29.0	24.8	23.0	CFH	55	普通	にぶい黄橙	SK678	SK468 接合 底部シワ状痕 外面ミガキ 遺構 内面上位煤多量に付着	88-6
505	陶器	甕	(33.7)	[4.2]	—	DHK	5	良好	にぶい黄橙	SK678	外面鉄化粧 施軸	88-3
506	磁器	碗	11.1	6.6	6.9	—	85	良好	白	SK679	肥前系 施軸・染付	
507	磁器	蓋	(3.2)	2.7	(7.9)	—	40	良好	白	SK679	肥前系 施軸・染付	
508	陶器	碗	(8.7)	[4.4]	—	I	15	良好	灰白	SK679	京都信楽系 施軸 外面鉄絵	
509	陶器	香炉	(9.4)	4.4	(6.4)	EK	30	良好	灰白	SK679	瀬戸美濃系 外面鉄絵	88-7
510	施軸土器	甕	6.8	3.3	3.7	IK	90	普通	橙	SK679	底部糸切痕(左)・穿孔 透明軸 灯芯煤付着	88-8
511	磁器	碗	(10.8)	6.5	(4.6)	—	20	良好	白	SK681	肥前系 施軸・染付 焼線・焼印(赤)	
512	磁器	碗	8.7	5.7	3.8	—	75	良好	白	SK681	肥前系 施軸・染付 内面煤付着	
513	磁器	碗	(8.8)	4.6	(3.2)	—	45	良好	白	SK681	肥前系 施軸・染付	
514	磁器	碗	(10.5)	[4.3]	—	—	15	良好	白	SK681	肥前系 施軸 外面染付	
515	磁器	蓋	4.1	2.8	9.5	—	90	良好	白	SK681	肥前系 施軸・染付	
516	磁器	皿	15.8	5.0	9.8	—	65	良好	白	SK681	肥前系 施軸・染付	
517	磁器	皿	(14.4)	3.7	(9.3)	—	45	良好	白	SK681	肥前系 施軸・染付	
518	陶器	碗	(8.8)	4.7	3.3	E	45	良好	灰	SK681	京都信楽系 施軸	
519	陶器	灯明皿	9.9	2.4	4.2	EIK	95	良好	灰白	SK681	瀬戸美濃系 柿輪 内底面重焼痕 煤付着	
520	陶器	灯火具	(8.8)	2.6	(5.6)	DEK	10	良好	にぶい橙	SK681	底部糸切痕 柿輪	
521	陶器	灯火具	—	[5.8]	—	DEK	30	良好	にぶい橙	SK681	底部糸切痕 外面鉄絵	88-10
522	陶器	灯火具	4.0	[4.4]	—	IK	30	良好	赤褐	SK681	鉄輪 脚部穿孔2	88-11
523	陶器	花生	8.4	[13.3]	—	CEK	80	良好	灰白	SK681	瀬戸美濃系 鉄輪・長石軸散らし	88-12
524	陶器	鉢	(28.8)	11.1	(15.0)	DE	25	良好	灰白	SK681	瀬戸美濃系 灰輪・緑釉流掛 内面細描文 煤付着	
525	瓦質土器	火鉢	17.8	7.2	12.2	HK	95	良好	にぶい橙	SK681	底部一方向へナナデ やや酸化変成 口縁部煤付着	88-9
526	土師質土器	器台	(16.4)	4.5	(9.8)	AHK	25	良好	にぶい橙	SK681	口縁部内面に半円形のえぐり 内面被熱	
527	陶器	横木鉢	(19.0)	[12.9]	—	K	25	良好	灰白	SK681	瀬戸美濃系 外面鉄絵	88-13
528	瓦質土器	火鉢	(31.2)	[6.5]	—	ALJK	5	普通	褐灰	SK681	遺構	
529	陶器	播鉢	—	[2.9]	—	HK	5	普通	灰白	SK682	瀬戸美濃系 鉄輪	
530	陶器	播鉢	縦4.5 横3.2 厚1.6	—	—	IK	5	良好	灰白	SK682	瀬戸美濃系 鉄輪 円盤状製品転用 叩打面の一部に研磨痕 48g	
531	磁器	碗	(8.7)	[4.7]	—	K	15	普通	白	SK682	肥前系 施軸・染付	
532	磁器	皿	(13.2)	3.3	(7.9)	EI	20	良好	灰白	SK688	瀬戸美濃系 灰輪 内面布圧痕 高台内目跡	
533	磁器	鉢	—	[5.6]	—	—	10	良好	白	SK689	SK681 接合 肥前系 施軸・染付	
534	陶器	皿	(12.6)	[2.3]	—	EIK	15	良好	にぶい黄橙	SK689	瀬戸美濃系 鉄輪 (にぶい赤褐色)	89-1
535	陶器	灯明皿	9.8	1.9	4.5	IK	90	良好	灰	SK689	瀬戸美濃系 柿輪 重焼痕	
536	陶器	火鉢	24.0	[14.8]	—	DE	40	良好	灰白	SK689	瀬戸美濃系 灰輪 鉄化粧 外面鉄絵	89-2
537	磁器	皿	—	[2.3]	4.5	IK	70	良好	灰白	SK691	肥前系 施軸 内面染付	
538	磁器	碗	(10.0)	[3.9]	—	—	10	良好	灰白	SK691	肥前系 施軸 外面染付	
539	陶器	皿	(10.8)	1.8	7.0	—	10	良好	灰白	SK691	瀬戸美濃系 長石軸	
540	かわらけ	皿	(8.0)	[1.7]	—	ACHK	30	普通	にぶい黄橙	SK691	胎土粉質	
541	磁器	皿	(12.0)	3.9	(3.8)	—	40	良好	灰白	SK692	肥前系 施軸 内面染付	
542	磁器	碗	8.0	6.2	3.9	—	40	良好	白	SK692	肥前系 施軸・染付	
543	磁器	碗	(9.4)	5.2	4.0	—	45	良好	灰白	SK695	肥前系 施軸 外面染付	
544	磁器	碗	9.8	5.0	3.8	—	85	良好	灰白	SK695	肥前系 施軸 外面染付 少量煤付着	
545	磁器	碗	9.4	5.3	4.0	—	95	良好	白	SK695	肥前系 施軸 外面染付	
546	磁器	蓋	5.5	3.0	10.2	—	95	良好	白	SK695	肥前系 施軸・染付 少量煤付着	
547	磁器	蓋	4.2	3.2	9.8	—	85	良好	白	SK695	肥前系 施軸 (外面青磁輪)・染付	
548	磁器	碗	(11.6)	[3.6]	—	—	15	良好	灰白	SK695	肥前系 施軸・染付	
549	磁器	碗	(7.8)	5.8	(4.0)	—	20	良好	白	SK695	肥前系 施軸・染付	
550	磁器	坏	(7.4)	4.0	3.1	K	40	普通	灰白	SK695	肥前系 施軸 外面染付 軸ムラ激しい	
551	磁器	猪口	(7.3)	6.1	(4.5)	—	35	良好	灰白	SK695	肥前系 施軸 外面染付	
552	磁器	猪口	(7.7)	6.0	(5.1)	—	30	良好	白	SK695	肥前系 施軸 外面染付	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
553	磁器	碗	—	[1.4]	2.8	—	75	良好	灰白	SK695	肥前系 施軸・染付	
554	磁器	皿	(20.8)	2.4	(12.7)	—	30	良好	灰白	SK695	肥前系 施軸・染付 高台内ハリ支板3 遺存	
555	磁器	皿	(14.2)	2.8	(7.0)	—	25	良好	灰白	SK695	肥前系 施軸 内面染付	
556	陶器	碗	(10.8)	[3.6]	—	K	25	良好	灰白	SK695	京都信楽系 施軸 外面鉄絵	
557	陶器	杯	6.1	4.3	3.0	I	70	良好	灰白	SK695	京都信楽系 施軸	
558	陶器	杯	6.8	4.3	3.1	IK	100	良好	灰白	SK695	京都信楽系か 灰軸 弱く被熱	89-3
559	陶器	仏飯器	—	[2.6]	4.2	EIK	85	良好	灰白	SK695	瀬戸美濃系 外面灰軸	89-4
560	陶器	皿	12.0	2.9	6.9	DE	65	良好	灰白	SK695	瀬戸美濃系 灰軸 内面鉄絵	89-5
561	陶器	灯明皿	10.2	2.1	4.5	K	100	良好	にぶい、桃	SK695	瀬戸美濃系 柿軸 重焼痕	
562	陶器	灯明皿	10.0	2.1	4.2	E	100	良好	灰白	SK695	瀬戸美濃系 柿軸 重焼痕	
563	陶器	灯明皿	(10.9)	1.8	5.2	IK	75	良好	灰白	SK695	瀬戸美濃系 柿軸 重焼痕	
564	陶器	灯明皿	8.7	1.7	3.5	D1	80	良好	桃灰	SK695	瀬戸美濃系 柿軸 重焼痕	
565	陶器	德利	—	[20.0]	11.5	IK	60	良好	桃灰	SK695	瀬戸美濃系 外面灰軸・底部拭き取り	
566	瓦質土器	火鉢	(15.4)	6.5	(12.1)	CIK	25	普通	灰白	SK695	砂目底 外面ミガキ 内底面菊花文	
567	陶器	播磨	縦4.8 横5.5 厚1.1	—	—	E	5	良好	灰白	SK695	瀬戸美濃系 餅軸 砥具転用	
568	瓦質土器	火鉢	—	[8.9]	(24.8)	ACIK	20	普通	灰白	SK695	脚下部部へ内面下位煤付着	
569	瓦質土器	火鉢	—	[5.5]	(23.0)	CDE	10	普通	灰白	SK695	脚部穿孔 やや酸化灰焼成	
570	瓦質土器	根鉢	(29.4)	[6.8]	—	CEIK	15	普通	灰白	SK695	外面煤す 意部幅は任意値還元	
571	瓦質土器	根鉢	—	[2.5]	—	CIK	10	普通	にぶい黄橙	SK695	砂目底 上面煤付着 やや酸化灰焼成 最大長11.6 幅17.6 厚2.4	
572	瓦質土器	火鉢	(27.0)	[7.2]	—	CDEF	20	普通	にぶい黄橙	SK695	外面菊花文スタンプを赤彩 口縁部に黒 色塗布物 やや酸化灰焼成	89-7
573	瓦質土器	火鉢	(27.8)	[11.5]	(22.0)	CHIK	20	普通	にぶい橙	SK695	底部スノコ状圧痕 外面刺突文 やや酸化灰焼成 煤す 脚欠失	89-6
574	瓦質土器	焙烙	(37.6)	5.5	(36.0)	CI	10	普通	灰白	SK695	底部シワ状痕 外面煤付着 二次穿孔1	
575	土師質土器	焙烙	(37.0)	[5.2]	—	CHI	25	良好	灰白	SK696	砂目底 外面煤付着 内面円形炭化物痕	
576	瓦質土器	焙烙	(44.0)	5.6	(40.0)	HIK	20	普通	灰白	SK696	底部シワ状痕 体部煤す 補修痕2	
577	磁器	碗	(8.2)	5.2	(3.5)	—	40	良好	白	SK696	肥前系 施軸・染付	
578	磁器	杯	7.0	3.7	2.6	—	85	良好	灰白	SK696	肥前系 施軸 外面染付	
579	土師質土器	火鉢か	(25.0)	[11.5]	—	CDE	5	良好	灰白	SK696	内外面若干煤付着	
580	陶器	皿	11.4	3.3	5.6	EI	70	良好	灰白	SK696	瀬戸美濃系 灰軸 内面鉄絵	
581	陶器	水漬	長 [3.9] 幅 [3.7] 高 [3.8]	—	—	K	40	良好	浅黄橙	SK696	京都信楽系 型成形 外面施軸 口径0.6	
582	土師質土器	燗台	(2.2)	[4.0]	—	AIK	10	普通	にぶい橙	SK697	外面ミガキ 内面銀色塗布物 胎土粉質	
583	磁器	碗	(12.3)	5.3	(4.4)	—	40	良好	灰白	SK699	肥前系 施軸 蛇の目状軸刺 外面染付	
584	磁器	碗	(9.8)	[4.1]	—	—	25	良好	灰白	SK699	肥前系 施軸 外面染付	
585	磁器	碗	(9.1)	4.8	3.6	—	70	良好	灰白	SK699	肥前系 施軸 外面染付	
586	磁器	杯	(7.3)	3.9	3.1	—	45	良好	灰白	SK699	肥前系 施軸 外面染付	
587	磁器	皿	(13.8)	4.0	(8.0)	—	20	良好	灰白	SK699	肥前系 施軸・染付	
588	磁器	皿	13.3	4.2	7.2	—	75	良好	白	SK699	肥前系 施軸・染付	
589	磁器	德利	—	[10.2]	5.4	—	70	良好	白	SK699	肥前系 外面施軸・染付 漆継痕	
590	陶器	碗	(9.7)	5.6	3.9	EIK	70	良好	灰白	SK699	瀬戸美濃系 灰軸 外面鉄絵・呉須絵	
591	陶器	碗	(9.4)	5.6	4.0	EIK	75	良好	灰白	SK699	瀬戸美濃系 灰軸	
592	陶器	碗	9.1	5.6	4.2	D	95	良好	灰白	SK699	SK702 接合 瀬戸美濃系 鉄・鉄軸掛分	
593	陶器	杯	(6.4)	3.9	(3.6)	K	35	良好	灰白	SK699	京都信楽系 灰軸	
594	陶器	灯明皿	8.7	2.2	5.6	IK	95	良好	灰白	SK699	瀬戸美濃系 柿軸 重焼痕	
595	陶器	灯明皿	(10.2)	2.4	4.7	I	60	良好	灰白	SK699	瀬戸美濃系 鉄軸 内面ビン痕3	89-8
596	陶器	花生	—	[9.8]	—	IK	85	良好	灰白	SK699	瀬戸美濃系 外面灰・鉄軸掛分	
597	陶器	半胴壺	14.2	15.3	10.5	EK	55	良好	灰白	SK699	瀬戸美濃系 鉄軸 被熱	
598	瓦質土器	火鉢	(27.2)	[9.1]	—	CHIK	5	普通	淡赤橙	SK699	外面施文 被熱	
599	磁器	碗	(8.8)	[4.6]	—	—	45	良好	白	SK700	肥前系 施軸・色絵(赤・緑・紫・黒) 「山/男/なら/こひと/夜/百味口」 路 口紅(上絵付)	89-10
600	磁器	碗	(8.9)	[4.5]	—	—	25	良好	白	SK700	肥前系 施軸・染付	
601	磁器	碗	(11.2)	6.6	6.3	—	45	良好	白	SK700	肥前系 施軸・染付	
602	磁器	碗	(6.5)	5.0	(3.3)	—	40	良好	白	SK700	肥前系 施軸・染付	
603	磁器	碗	(7.0)	5.2	(4.0)	—	40	良好	灰白	SK700	肥前系 施軸・染付	
604	磁器	碗	(9.6)	4.6	4.3	—	40	良好	白	SK700	瀬戸美濃系 施軸・染付	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
605	磁器	皿	(12.9)	2.9	5.8	—	50	良好	灰白	SK700	肥前系 施軸 内面染付・釘書 煤付着	89-11
606	磁器	皿	9.1	1.9	4.8	—	80	良好	白	SK700	肥前系 型成形 施軸 内面型紙摺絵染付	89-9
607	磁器	瓶	(3.6)	[1.6]	—	—	10	良好	白	SK700	肥前系 青磁系 少量煤付着	
608	磁器	皿	—	[1.6]	9.4	—	80	良好	白	SK700	肥前系 施軸・染付	
609	土師質土器	大鉢	(18.6)	8.8	13.0	AGHK	45	普通	にぶい・橙	SK700	底部ヘラナゲ 胎土粉質	
610	磁器	碗	10.0	4.7	3.9	—	90	良好	白	SK702	肥前系 施軸・色絵(赤・青・緑・金)	89-12
611	磁器	碗	(9.6)	[4.3]	—	—	35	良好	灰白	SK702	肥前系 施軸 外面染付	
612	磁器	碗	10.2	5.6	4.2	—	70	良好	白	SK702	肥前系 施軸 外面染付	
613	磁器	碗	(9.8)	5.1	4.6	—	45	良好	灰白	SK702	肥前系 施軸 外面染付 同文別個体1あり	
614	磁器	碗	(9.8)	5.1	4.0	—	55	良好	灰白	SK702	肥前系 施軸・染付	
615	磁器	碗	—	[2.1]	(4.6)	—	25	良好	白	SK702	肥前系 施軸 外面染付	
616	磁器	碗	(9.0)	[3.3]	—	—	35	良好	灰白	SK702	肥前系 施軸 外面染付	
617	陶器	碗	(10.6)	[5.8]	—	—	30	良好	灰	SK702	肥前系 施軸 外面染付 胎染染付	89-13
618	磁器	皿	13.9	3.0	7.2	—	95	良好	灰白	SK702	肥前系 施軸 内面染付	
619	磁器	皿	(14.6)	4.3	(8.3)	—	30	良好	灰白	SK702	肥前系 施軸・染付	
620	磁器	皿	(9.2)	2.2	(4.8)	—	75	良好	灰白	SK702	肥前系 型成形 施軸 内面型紙摺絵染付	
621	磁器	皿	13.9	3.3	7.2	—	90	良好	灰白	SK702	肥前系 施軸・染付 同文別個体4あり	
622	陶器	碗	9.6	4.6	3.9	K	75	良好	灰白	SK702	瀬戸美濃系 灰軸 外面員須絵・鉄絵	
623	陶器	碗	(10.8)	4.5	3.7	DE	75	良好	灰白	SK702	瀬戸美濃系 灰軸 内面員須絵	
624	陶器	碗	9.0	5.6	3.4	I	55	良好	灰白	SK702	京都信楽系 施軸 色絵(緑・赤・青)	89-14
625	陶器	碗	(9.4)	6.0	2.9	—	30	良好	灰白	SK702	京都信楽系 施軸 外面色絵(緑)	90-2
626	陶器	碗	(9.3)	4.7	3.8	EIK	55	良好	灰白	SK702	瀬戸美濃系 灰軸 外面員須絵	
627	陶器	碗	9.4	5.5	3.3	K	90	良好	灰白	SK702	京都信楽系 施軸 外面鉄絵	
628	陶器	碗	(9.6)	6.0	4.8	I	35	良好	灰白	SK702	瀬戸美濃系 灰・鉄軸併分	
629	陶器	碗	(9.0)	[5.4]	—	DE	30	良好	灰白	SK702	瀬戸美濃系 灰・鉄軸併分 外面下位軸下に鉄化粧 被熱	
630	陶器	碗	(11.4)	4.4	(4.4)	EIK	45	良好	灰白	SK702	瀬戸美濃系 灰軸 内面員須絵	
631	陶器	鉢	(18.8)	—	—	DE	25	良好	灰白	SK702	瀬戸美濃系 灰軸 接点無い3片あり	90-4
632	陶器	坪	6.4	3.9	3.3	EIK	70	良好	灰白	SK702	瀬戸美濃系 灰軸	
633	陶器	坪	6.8	4.3	3.4	K	95	良好	灰白	SK702	瀬戸美濃系 灰軸 底部墨絵	
634	陶器	皿	12.6	3.7	6.5	IK	70	良好	灰白	SK702	京都信楽系 施軸 内面絵付(青・茶)	90-5
635	陶器	皿	(11.2)	3.0	(6.7)	IK	40	良好	灰白	SK702	瀬戸美濃系 灰軸 内面摺絵	
636	陶器	皿	(12.8)	3.3	5.2	—	55	良好	褐灰	SK702	瀬戸美濃系 灰軸(輪高台型皿)	
637	陶器	皿	(7.4)	2.1	(4.1)	K	25	良好	白	SK702	瀬戸美濃系 型成形 灰軸	
638	陶器	灯明皿	11.1	2.2	5.3	I	80	良好	灰白	SK702	瀬戸美濃系 柿軸 内面直焼痕	
639	陶器	灯明皿	10.7	2.1	5.4	IK	85	良好	灰	SK702	瀬戸美濃系 柿軸 舌状把手1	90-6
640	陶器	鉢	(22.0)	[5.5]	—	DE	35	良好	灰白	SK702	瀬戸美濃系 灰軸	
641	陶器	鉢	(21.4)	6.4	11.0	EIK	60	良好	灰白	SK702	瀬戸美濃系 灰軸 内面目跡4	
642	陶器	こね鉢	(25.4)	15.2	(12.6)	DE	50	良好	灰白	SK702	瀬戸美濃系 灰軸 内面目跡	
643	陶器	摺鉢	(37.6)	[11.0]	—	DI	20	普通	灰白	SK702	瀬戸美濃系 柿軸 内面目跡	
644	陶器	摺鉢	35.8	15.0	16.4	AEX	85	良好	赤褐	SK702	SK009 接合 堺明石系 底部ヘラナゲ 摺目	
645	陶器	香炉	(10.9)	7.6	7.4	IK	50	良好	灰白	SK702	瀬戸美濃系 外面反軸・鉄絵	90-7
646	陶器	香炉	(10.2)	7.9	7.2	EK	20	良好	にぶい・橙	SK702	京都信楽系 外面施軸・緑軸流布・鉄絵	90-3
647	陶器	德利	—	[5.0]	(9.7)	EIK	35	良好	灰白	SK702	瀬戸美濃系 外面鉄絵	
648	陶器	蓋	1.5	1.3	3.4	IK	100	普通	にぶい・黄橙	SK702	瀬戸美濃系 下面糸切痕 外面つまみ部鉄絵	90-8
649	陶器	德利	—	[17.0]	—	IK	35	良好	灰	SK702	備前系 外面塗土 体部凹ます	90-9
650	陶器	蓋	11.0	2.7	5.5	HI	80	良好	灰白	SK702	瀬戸美濃系 底部糸切痕(右) 柿軸 下面抜き取り	90-10
651	瓦質土器	焙烙	—	[0.7]	—	IK	5	良好	灰白	SK702	砂目底 内面刷印	
652	瓦質土器	焙烙	36.7	5.1	32.6	CEHK	90	普通	にぶい・橙	SK702	底部シワ状痕 外面煤付着	
653	瓦質土器	焙烙	38.4	5.3	35.5	CEL	65	普通	灰白	SK702	底部シワ状痕 二次穿孔1 体部未貫通の二次穿孔1 僅す	
654	かわらけ	小皿	(7.8)	1.2	4.1	ACHIK	45	不良	にぶい・黄橙	SK702	底部糸切痕(左) 墨書 胎土粉質	
655	かわらけ	小皿	(9.6)	1.4	(5.4)	DE	55	良好	にぶい・橙	SK702	底部糸切痕(左)	
656	かわらけ	小皿	(9.4)	1.4	(4.4)	AHK	45	良好	にぶい・橙	SK702	底部糸切痕	
657	土師質土器	壺	—	[12.0]	—	ADEHK	5	普通	にぶい・橙	SK702	真壁系 内面指頭瓦痕	90-11

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
658	陶器	碗	7.8	4.1	2.8	K	80	良好	灰白	SK704	肥前系 施軸 外面染付 弱く被熱	
659	陶器	碗	(9.4)	5.7	(4.1)	IK	40	良好	灰白	SK704	瀬戸美濃系 灰・鉄軸部分 弱く被熱	
660	陶器	碗	(9.4)	5.4	3.6	D	55	良好	灰白	SK704	瀬戸美濃系 灰軸 弱く被熱	
661	陶器	坪	6.7	4.1	3.4	K	55	良好	灰	SK704	瀬戸美濃系 灰軸 煤付着	
662	陶器	鉢	9.2	6.0	4.9	D	80	良好	灰白	SK704	京都信楽系 施軸 外面鉄胎 煤付着	
663	陶器	鉢	(15.1)	[6.3]	—	—	40	良好	明褐色	SK704	瀬戸美濃系 柿軸 白磁状 体部凹む	90-12
664	陶器	片口鉢	19.0	13.0	11.0	EK	90	良好	灰白	SK704	瀬戸美濃系 外面灰軸 被熱	91-1
665	陶器	灯明皿	(10.7)	2.1	(5.2)	IK	25	良好	灰	SK704	瀬戸美濃系 柿軸 直焼痕	
666	陶器	灯火具	8.2	5.7	4.0	IK	55	良好	灰白	SK704	瀬戸美濃系 灰軸 被熱	
667	瓦質土器	火鉢	(30.0)	[8.9]	—	DE	25	普通	にぶい赤褐色	SK704	口縁部二次叩打 被熱 赤化	
668	瓦質土器	甕	(26.0)	36.6	(25.0)	CEHI	20	普通	灰白	SK704	外面強いヘラナデ 口縁部煤付着	91-2
669	瓦質土器	甕	—	15.8	(25.0)	CFIK	30	普通	灰	SK705	砂目底 外面丁寧なヘラナデ 遺す	91-3
670	瓦質土器	焙烙	縦(5.9) 横(4.0) 厚(0.7)	—	—	EHIK	5	普通	褐色	SK705	底部シワ状底 内面刻印「大極上」	
671	土師質土器	埴輪	(26.2)	[3.8]	—	ADEHIK	5	普通	にぶい赤褐色	SK709	真壁系 内面黒色物質付着	91-4
672	磁器	碗	(7.0)	[4.0]	—	—	20	良好	灰白	SK709	肥前系 施軸・染付	
673	磁器	碗	(9.0)	[4.6]	—	—	20	良好	白	SK710	肥前系 施軸 外面染付	
674	磁器	碗	9.5	5.2	3.8	—	95	良好	灰白	SK710	肥前系 施軸 外面染付	
675	かわらけ	小皿	(9.6)	1.7	(5.2)	ADEHIK	20	普通	にぶい褐色	SK710	底部糸切痕(左)	
676	磁器	碗	—	[2.3]	(4.0)	—	15	良好	白	SK711	肥前系 施軸 外面染付	91-5
677	磁器	碗	8.1	3.9	2.6	—	65	良好	白	SK711	肥前系 施軸 外面染付	
678	磁器	碗	(8.6)	5.6	(2.0)	—	20	良好	白	SK711	肥前系 施軸・染付	
679	磁器	碗	(7.6)	[4.0]	—	—	25	良好	灰白	SK711	肥前系 施軸(外面青磁軸) 内面染付	
680	磁器	坪	(7.0)	3.1	(2.3)	—	30	良好	白	SK711	肥前系 施軸	
681	磁器	皿	—	[1.4]	(4.2)	—	15	良好	白	SK711	肥前系 施軸 内面染付 (初期伊万里様式)	
682	陶器	灰落し	—	[1.8]	5.1	DE	80	良好	灰白	SK711	瀬戸美濃系 外面鉄・灰軸部分 施文	
683	磁器	鉢	(19.8)	6.6	(11.2)	—	15	良好	灰白	SK711	肥前系 施軸・染付	
684	瓦質土器	埴輪	(33.8)	[5.5]	—	CIK	10	良好	褐色	SK711	外面ミガキ 窓部幅は任意値で復元図示	
685	陶器	播鉢	—	[4.2]	—	I	5	良好	灰白	SK712	瀬戸美濃系 柿軸 内面窪目	
686	磁器	碗	11.6	[5.2]	—	—	5	良好	白	SK716	肥前系 施軸 外面染付	
687	磁器	皿	—	[1.1]	(8.0)	—	20	良好	灰白	SK716	肥前系 施軸・染付	91-6
688	陶器	皿	11.0	2.3	6.3	—	30	良好	灰白	SK716	瀬戸美濃系 長石軸 内面ビン痕1遺存	
689	磁器	碗	(9.8)	5.4	(3.9)	—	35	良好	白	SK717	肥前系 施軸 外面染付	
690	瓦質土器	蓋	(19.5)	5.7	(23.0)	CDHIK	55	普通	浅黄褐色	SK717	上面ヘラナデ 板状のつまみ 外面ミガキ やや酸化変成	91-7
691	陶器	皿	—	[2.6]	4.6	D	35	良好	灰白	SK717	瀬戸美濃系 施軸 内底面露胎 外面糸須絵(文字)	91-8
692	磁器	碗	(10.6)	5.4	(4.5)	—	45	良好	白	SK718	肥前系 施軸 外面染付	
693	磁器	碗	(8.0)	[5.4]	—	—	25	良好	灰白	SK718	肥前系 施軸・染付 漆継痕	
694	磁器	碗	7.8	3.5	3.0	—	35	良好	灰白	SK718	肥前系 施軸 外面染付	
695	陶器	碗	(9.5)	6.1	4.6	EK	85	良好	灰白	SK718	瀬戸美濃系 灰・鉄軸部分	
696	陶器	碗	(9.2)	5.3	(3.0)	K	20	良好	灰白	SK718	京都信楽系 施軸 外面色絵(赤・緑)	
697	陶器	碗	(10.0)	5.6	(3.4)	DE	20	良好	灰白	SK718	京都信楽系 施軸	
698	陶器	灯明皿	(6.9)	2.5	4.6	AIK	75	良好	にぶい褐色	SK718	志戸呂系 鉄軸	
699	陶器	皿	(11.8)	3.1	(5.2)	IK	35	良好	灰白	SK718	瀬戸美濃系 灰軸 内面擦輪(青)	
700	陶器	有耳甕	(9.4)	[11.2]	—	IK	35	良好	黄灰	SK718	瀬戸美濃系 外面灰軸 耳1遺存	
701	陶器	乗櫓	—	[2.4]	(3.5)	IK	70	良好	灰白	SK718	瀬戸美濃系 鉄軸	
702	かわらけ	小皿	(8.6)	1.4	(5.4)	ARIK	15	普通	灰黄褐色	SK718	底部糸切痕 胎土粉質	
703	瓦質土器	火鉢	(24.8)	7.1	(20.0)	CHIK	30	普通	にぶい褐色	SK718	砂目底 脚1遺存 やや酸化変成	
704	瓦質土器	焙烙	(33.1)	4.8	(30.0)	CDE	20	普通	灰白	SK718	底部シワ状底 内面粗いミガキ	
705	陶器	皿	—	[2.4]	(6.0)	EK	25	良好	灰白	SK721	瀬戸美濃系 長石軸 陰刻花文	
706	陶器	皿	(10.7)	2.0	5.6	K	50	良好	灰白	SK721	瀬戸美濃系 長石軸(志戸丸皿) 内面ビン痕・底部目跡各2遺存	
707	土師質土器	火鉢	縦3.3 横3.3 厚1.5	—	—	EK	5	普通	にぶい褐色	SK723	外面赤色塗料 胎土粉質 円板状製品転用 15.9g	
708	磁器	皿	—	[2.3]	7.3	—	15	良好	白	SK723	肥前系 施軸・染付 被熱	
709	磁器	鉢	—	[3.2]	(5.0)	—	15	良好	灰白	SK722	肥前系 施軸	
710	磁器	碗	(7.0)	5.4	—	—	20	良好	灰白	SK722	肥前系 施軸・染付	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
711	磁器	碗	9.4	5.3	4.1	—	65	良好	白	SK722	肥前系 施釉 外面染付	
712	陶器	德利	—	[7.9]	7.3	I	75	良好	灰白	SK722	瀬戸美濃系 外面灰釉 下位抜き取り	
713	陶器	香炉	—	[2.3]	(5.2)	IK	10	良好	にぶい黄橙	SK724	京都信楽系か 外面施釉・鉄絵 被熱	
714	陶器	皿	腹 [3.6]	横 [3.0]	厚 0.9	HK	5	良好	灰白	SK724	肥前系 外面灰釉 転用磁具	
715	磁器	皿	—	[2.0]	(8.6)	—	30	良好	白	SK725	肥前系 施釉・染付	91-9
716	陶器	皿	12.4	3.0	7.0	IK	70	良好	灰白	SK725	瀬戸美濃系 長石釉 被熱	91-10
717	陶器	碗	(10.4)	[5.4]	—	I	15	良好	灰白	SK725	瀬戸美濃系 灰・鉄軸掛分 外面に既に灰釉散らし	
718	陶器	瓶	—	[8.7]	7.2	K	60	良好	灰黄	SK725	瀬戸美濃系 外面鉄軸・灰釉流掛	91-12
719	瓦質土器	火鉢	17.5	[8.5]	(14.7)	CHK	20	普通	暗灰	SK725	外面ミガキ 長方形火鉢の短辺か	
720	かわらけ	小皿	8.9	2.3	5.3	CI	95	良好	灰白	SK725	底部糸切痕 (右)	91-11
721	かわらけ	小皿	10.3	3.0	6.0	CHI	95	普通	灰白	SK725	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	91-11
722	かわらけ	小皿	10.0	2.5	5.6	EHK	70	普通	にぶい黄橙	SK725	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	91-11
723	かわらけ	小皿	10.1	3.5	5.9	C	85	普通	灰白	SK725	底部糸切痕 (左) 胎土砂質 口縁部歪む	91-11
724	かわらけ	小皿	(9.8)	2.9	(4.8)	CEPHK	30	普通	にぶい黄橙	SK725	底部糸切痕 (右) 胎土砂質 見込湯巻状ナデ	91-11
725	かわらけ	小皿	4.9	1.2	4.2	ACHH	95	普通	灰白	SK725	底部糸切痕 (右)	91-11
726	かわらけ	小皿	5.0	1.1	4.4	ACEIK	100	普通	にぶい黄橙	SK725	底部糸切痕 (右)	91-11
727	かわらけ	小皿	4.7	1.5	3.6	EK	95	普通	灰白	SK725	底部糸切痕 (右)	91-11
728	磁器	碗	(9.0)	5.6	(3.6)	—	35	良好	白	SK726	肥前系 施釉・染付	
729	陶器	碗	(10.8)	[4.3]	—	DE	10	良好	灰白	SK726	瀬戸美濃系 灰釉	
730	陶器	皿	(12.8)	[2.4]	—	E	35	良好	灰白	SK726	瀬戸美濃系 灰釉 口縁部ヒズ状	91-13
731	陶器	皿	(12.6)	2.4	(6.8)	EK	15	良好	灰白	SK726	瀬戸美濃系 灰釉 内面器内での付着物	
732	陶器	水注	(3.8)	[5.2]	—	K	30	良好	灰白	SK726	瀬戸美濃系 鉄軸 (双耳水注)	92-1
733	陶器	瓶	—	[10.8]	—	IK	20	良好	灰	SK726	瀬戸美濃系 外面柿釉	92-2
734	陶器	片口鉢	(15.8)	6.1	(5.4)	I	30	良好	褐灰	SK726	肥前系 施釉 内面刷毛目録	91-14
735	磁器	碗	11.2	5.8	5.9	—	90	良好	白	SK727	肥前系 施釉・染付	
736	磁器	碗	11.1	6.0	4.6	—	90	良好	灰白	SK727	肥前系 施釉・染付 焼継痕・焼継印 (白)	92-3
737	磁器	碗	11.0	6.4	4.6	—	75	良好	白	SK727	肥前系 施釉・染付	
738	磁器	碗	9.5	5.1	4.0	—	100	良好	白	SK727	瀬戸美濃系 施釉・急須内を染付	
739	陶器	碗	(8.2)	4.5	3.1	EK	55	良好	灰	SK727	瀬戸美濃系 施釉	
740	陶器	碗	(9.8)	6.0	2.9	K	50	良好	灰白	SK727	京都信楽系 施釉 外面色絵 (緑・赤)	
741	磁器	皿	(27.9)	[4.8]	—	—	20	良好	白	SK727	肥前系 施釉・染付	
742	土師質土器	焙烙	33.9	6.3	33.3	CD	90	普通	淡橙	SK728	底部シワ状痕 二次穿孔1 外面煤付着	
743	陶器	鉢	18.6	4.9	7.1	EIK	90	良好	灰白	SK728	瀬戸美濃系 灰釉	
744	磁器	碗	8.6	4.8	3.3	—	95	良好	灰白	SK728	SK729 接合 肥前系 施釉・染付	
745	磁器	碗	(10.8)	6.1	(4.2)	—	35	良好	白	SK728	肥前系 施釉・染付	
746	磁器	猪口	7.4	[5.3]	—	—	80	良好	白	SK728	肥前系 施釉・染付 焼継痕	
747	磁器	碗	—	[2.6]	(5.0)	—	20	良好	灰白	SK728	肥前系 施釉・染付	
748	陶器	碗小	(9.6)	[2.9]	—	—	10	良好	白	SK728	京都信楽系か 施釉 外面給付 胎土磁質	92-4
749	土師質土器	壺	—	[6.9]	—	ADIEK	5	普通	にぶい赤褐	SK728	真壁系	
750	陶器	碗	(9.7)	5.2	2.9	E	50	良好	灰白	SK729	京都信楽系 施釉	
751	陶器	灯明皿	(7.0)	2.8	(6.0)	EK	40	良好	灰	SK729	志戸呂系 底部糸切痕 (右) 鉄軸	
752	陶器	片口鉢	(14.8)	[7.2]	—	K	20	良好	灰白	SK729	瀬戸美濃系 灰釉 外面緑釉流掛	
753	陶器	灰落し	(4.7)	[5.3]	—	EK	25	良好	灰白	SK730	瀬戸美濃系 外面灰・鉄軸掛分 施文	
754	磁器	碗	—	[3.5]	(3.8)	—	35	良好	白	SK730	瀬戸美濃系 施釉・染付	
755	陶器	德利	—	[13.3]	7.8	IK	75	良好	灰白	SK730	瀬戸美濃系 外面灰釉 底部抜き取り	
756	陶器	皿	(13.4)	[2.5]	—	K	5	良好	灰白	SK731	瀬戸美濃系 灰釉	
757	陶器	皿	13.8	2.8	6.6	K	55	良好	灰白	SK731	SK757 接合 瀬戸美濃系 内面灰釉・鉄絵 重焼痕 口縁部緑釉 墨書	
758	かわらけ	小皿	8.8	2.0	5.3	CHK	75	普通	にぶい橙	SK731	底部糸切痕 (左) 胎土砂質	92-6
759	陶器	皿	(11.4)	[1.3]	—	K	10	良好	灰白	SK732	瀬戸美濃系 長石釉 内面鉄絵 (志野)	
760	陶器	掻鉢	—	[3.4]	—	K	—	良好	灰白	SK732	瀬戸美濃系 精輪 内面隈目	
761	陶器	碗	(10.6)	[3.0]	—	D	5	良好	灰白	SK733	瀬戸美濃系 灰釉 被熱 (せんじ碗)	
762	陶器	皿	(12.1)	3.2	(6.1)	IK	35	良好	灰白	SK733	瀬戸美濃系 灰釉 内面直重焼痕	
763	磁器	碗	(9.8)	[2.8]	—	—	5	良好	白	SK736	肥前系 施釉 外面染付	

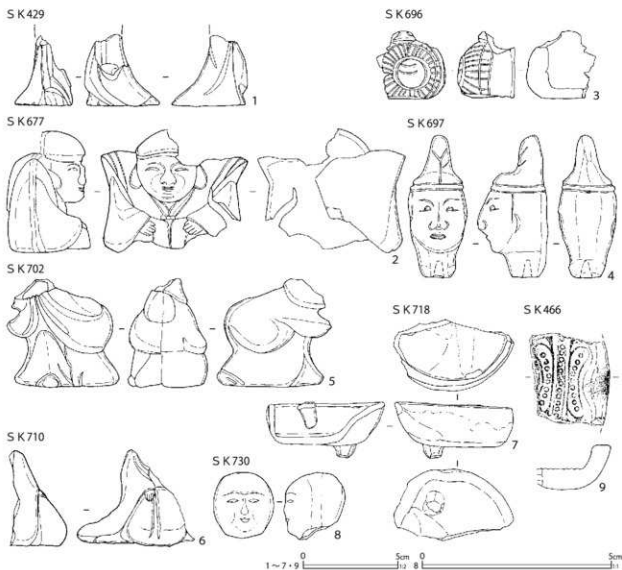
番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	図版
764	陶器	瓶か	—	[5.2]	(8.6)	IK	30	良好	灰白	SK736	瀬戸美濃系 外面灰釉	
765	陶器	碗	(9.3)	6.0	4.7	E	30	良好	灰白	SK738	瀬戸美濃系 灰釉 外面鉄化粧・ヘラナデ	
766	陶器	碗	—	[2.6]	(3.8)	I	35	良好	にぶい橙	SK738	産地不詳 内面透明釉 外面鉄釉	92-7
767	陶器	皿	—	[1.4]	4.3	K	70	良好	にぶい黄橙	SK739	肥前系 施軸 蛇の目状軸刺	92-8
768	陶器	碗	(9.6)	[4.5]	—	IK	30	良好	灰白	SK740	京都信楽系 施軸 外面鉄絵	
769	陶器	碗	—	[2.3]	(4.2)	K	30	良好	灰黄	SK740	肥前系 施軸	
770	瓦質土器	火鉢	(26.7)	[8.2]	—	CEI	10	普通	灰白	SK743	体部中位に二次的な傷・線刺 焼す	92-9
771	磁器	仏飯器	—	[4.0]	3.4	—	75	良好	白	SK743	肥前系 施軸 外面染付	
772	磁器	碗	(12.0)	[5.4]	—	—	20	良好	白	SK744	肥前系 施軸 外面染付 (初期伊万里様式)	92-10
773	磁器	碗	(12.0)	[4.0]	—	—	5	良好	灰白	SK744	肥前系 施軸 外面染付	92-11
774	磁器	碗	—	[3.4]	(4.8)	—	30	良好	白	SK744	肥前系 施軸 外面染付 蛇の目状軸刺	
775	磁器	碗	(9.8)	[3.8]	—	—	15	良好	白	SK744	肥前系 施軸 外面染付	
776	磁器	碗	9.5	4.8	3.8	—	40	良好	灰白	SK744	肥前系 施軸 外面染付	
777	陶器	甕燗	(6.5)	5.9	5.0	EHK	60	良好	灰白	SK744	瀬戸美濃系 底部糸切痕 (右) 墨書「十三文」 柿輪 芯立欠失	92-12 94-12
778	陶器	碗	—	[2.6]	(5.0)	K	40	良好	灰白	SK744	京都信楽系 施軸 刻印「善」墨書「天下」	94-11
779	瓦質土器	火鉢	(26.0)	[11.1]	—	CEFH	20	普通	浅黄橙	SK744	外面ミガキ 内面火管状口 口縁部二次叩打痕 焼す	
780	瓦質土器	焙烙	(38.0)	5.2	(35.2)	CEHIK	35	普通	にぶい橙	SK744	底部シワ状痕 内底面ミガキ 底部接点なく図上還元 酸化炎焼成済み	
781	瓦質土器	十徳	長 [9.5] 幅 [13.4] 高 [4.0]	—	—	CHIK	30	普通	にぶい橙	SK744	底部シワ状痕 内底面ミガキ 底部接点なく図上還元 酸化炎焼成済み	
782	磁器	碗	(10.0)	5.0	(4.0)	—	35	良好	灰白	SK746	肥前系 施軸 外面染付	
783	磁器	碗	(10.8)	[5.1]	—	—	25	良好	白	SK748	肥前系 施軸	92-14
784	磁器	碗	(10.2)	5.0	(4.0)	—	25	良好	白	SK750	肥前系 施軸 外面染付	
785	陶器	灯明皿	(11.3)	1.7	(6.2)	IK	40	良好	灰白	SK750	瀬戸美濃系 柿輪 外面重使痕	
786	陶器	甕	—	[5.3]	—	DE	5	良好	灰白	SK750	肥前系か	92-15
787	陶器	播鉢	—	[10.3]	(13.2)	IK	20	良好	にぶい橙	SK750	丹波系 内面描目	
788	磁器	碗	—	[5.9]	4.1	—	40	良好	灰白	SK751	肥前系 施軸・染付	
789	陶器	碗	(9.5)	[4.7]	—	—	15	良好	白	SK751	京都信楽系か SK728(748) と同一個体	92-5
790	陶器	香炉	(10.4)	[3.7]	—	IK	10	良好	灰	SK751	瀬戸美濃系 鉄軸	
791	陶器	碗	(11.1)	[5.9]	—	IK	15	良好	灰白	SK752	瀬戸美濃系 灰釉 (尾呂釉)	
792	磁器	坪	—	[3.8]	3.5	—	65	良好	灰白	SK753	肥前系 施軸 外面染付	
793	陶器	皿	13.9	3.1	7.9	—	40	良好	灰白	SK753	瀬戸美濃系 灰釉 内面目跡 2 遺存	92-16
794	磁器	碗	—	[3.1]	(3.9)	—	25	良好	灰白	SK756	肥前系 施軸 外面染付 (初期伊万里様式)	
795	磁器	碗	—	[3.2]	—	—	5	良好	白	SK755	中国漳州窯系 施軸 外面染付	93-1
796	陶器	皿	11.4	2.3	6.7	DEK	55	良好	灰白	SK755	SK732 接合 瀬戸美濃系 長石軸 内面鉄絵 ビン痕 2 遺存 被熱	93-2
797	陶器	皿	11.7	2.7	6.8	—	95	良好	灰白	SK755	瀬戸美濃系 長石軸 被熱 煤付着	93-3
798	陶器	皿	—	[2.2]	(8.0)	EK	20	良好	灰	SK755	瀬戸美濃系 灰釉 蛇の目状軸刺 被熱	93-5
799	陶器	皿	14.0	2.6	6.6	DEK	95	良好	灰白	SK755	瀬戸美濃系 長石軸 口縁部緑釉 内面鉄絵・直重使痕 被熱	93-4
800	陶器	壺	(11.3)	—	14.0	IK	20	良好	灰褐	SK755	SK732・749・757 接合 常滑 砂目底 口縁部へ胴部自然軸	93-7 7.8
801	陶器	瓶	5.4	22.5	(10.1)	EK	75	良好	灰	SK755	SK732・757 接合 肥前系 刻文	93-6
802	かわらけ	小皿	(9.8)	[1.9]	—	CHIK	10	普通	にぶい黄橙	SK755	胎土粉質	
803	かわらけ	小皿	(4.8)	1.1	(4.1)	CHIK	55	普通	にぶい黄橙	SK755	底部糸切痕 (右)	93-10
804	かわらけ	小皿	(5.0)	1.2	(4.0)	ACHIK	35	普通	にぶい黄橙	SK755	底部糸切痕 (右)	93-11
805	土師質土器	播鉢	(30.0)	13.7	(14.2)	ADE	35	普通	灰	SK755	真壁系 穿孔・片口各 1 へら記号「+」	93-9

は行田市荒木と考えられ、明治期から瓦生産の記録がある（埼玉県立民俗文化センター1986）。第321図150〜158には木製品、第328図67〜71には金属製品を示す。第329図14は寛永通宝四文銭で裏は11波である。重複遺構からの混入でなければ、遺構の時期も1769年以降となる。第331図

20・21は砥石で、いずれもノコギリ状工具痕がみられる。

第689・690号土壌（第270図）

C 6-J 8 グリッドに位置する 2 基の遺構で、重複関係から第689号土壌が古い。北側は広い攪乱に壊され、本来の形状は不明だが、各々不整円



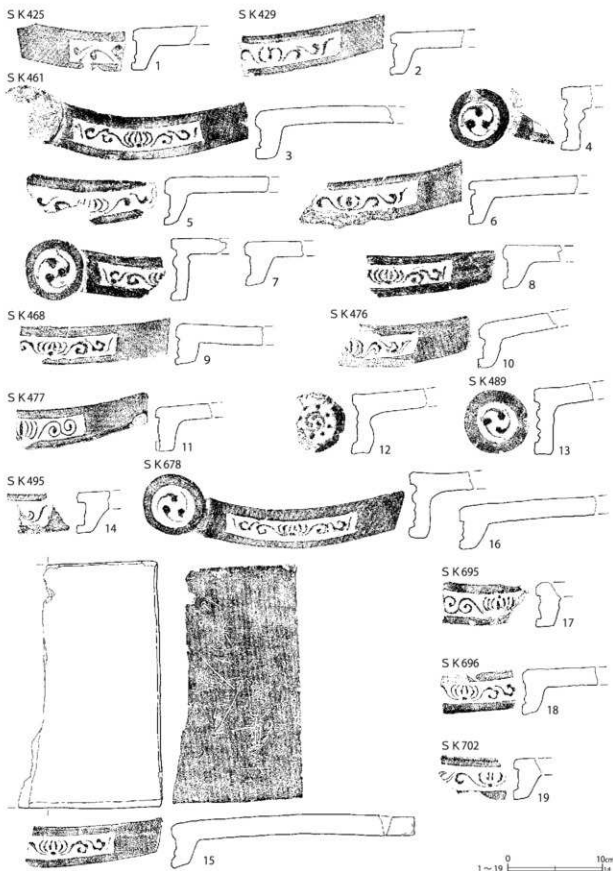
第307図 土壇出土遺物(32)

第78表 土壇出土遺物観察表(2)(第307図)

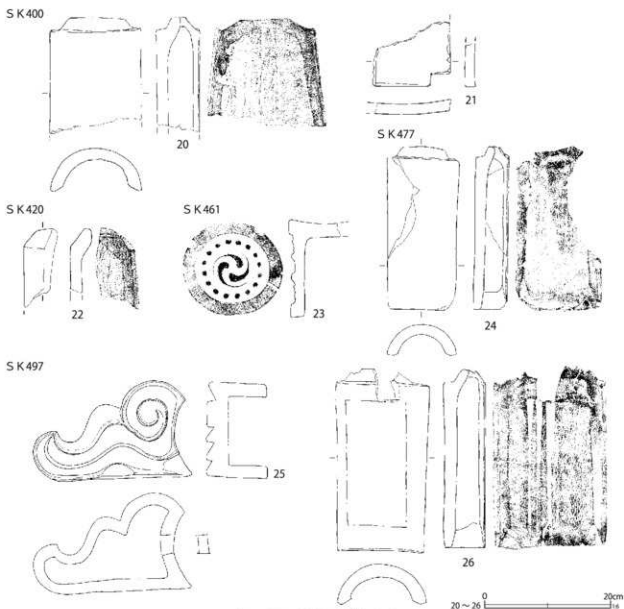
番号	種別	器種	幅	長さ	厚さ	重さ	胎土	焼成	色調	遺構	備考	図版
1	土製品	人形	幅3.9	高[3.7]	厚2.9	16.9	A	普通	にじみ黄橙	SK429	太夫 中空 前後合型成形 江戸在地系	97-7
2	土製品	人形	7.8	[6.3]	4.5	39.1	CH	良好	橙	SK677	福助 前後合型成形 中空 江戸在地系	97-9
3	土製品	人形	[3.7]	[3.6]	[3.7]	15.9	A	普通	にじみ黄橙	SK696	大黒(依部分) 中空 前後合型成形	97-10
4	土製品	人形	最大幅3.1	高[5.5]	厚3.7	61.0	—	良好	橙	SK697	中実 体部別作り 手捻り	97-11
5	土製品	人形	幅5.6	高[5.6]	厚4.1	59.7	AI	良好	にじみ黄橙	SK702	前後合型成形 中空	97-12
6	土製品	人形	[6.2]	[5.1]	—	21.0	A	良好	灰黄	SK710	姉様 前後合型成形 中空	97-13
7	土製品	箱庭道具	長[6.3]	器高2.2	—	23.5	—	良好	灰白	SK718	水盤か 緑軸・赤色軸 外面布目痕 京都系	97-14
8	土製品	人形	[1.6]	[1.7]	[1.6]	3.3	A	良好	橙	SK730	頸部 中実 下部穿孔(貫通せず) 前後合型成形 江戸在地系	97-15
9	土製品	型か	[4.2]	[4.8]	高2.4	—	AHI	普通	にじみ黄橙	SK466	面型か 内面陽刻状文様	97-8

形、楕円形の土壇であったと考えられる。覆土は
いずれも木材片が多く含まれ、木製品も良好に遺
存していた。第296図533~536は第689号土壇の
陶磁器である。総体的には両遺構とも磁器小丸碗

が多く、第689号土壇に広東碗がみられるので、
18世紀末頃の近接した時期に帰属するものであ
ろう。第322・323図169~188に両遺構から出土
した木製品を示す。このうち169の箱と174~176



第 308 図 土壇出土遺物 (33)



第309図 土壌出土遺物(34)

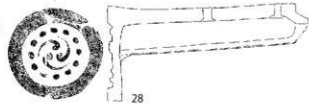
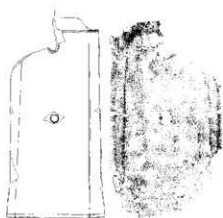
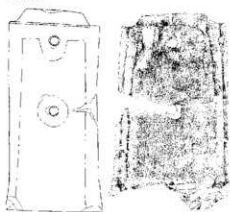
の箱枕は第689号土壌中央部からまとまって出土した。169は底面を裏にして出土しており、外底面全体に墨書がみられたが、退色が進み字画を追いつない。第328図76は第689号土壌の火打金、77・78は第690号土壌の火格子(目皿)と釘である。第331図23は第690号土壌の火打石で、墨書とみられる墨痕が残る。第333図2～6は第690号土壌のガラス製筭であり、螺旋状の細かい刻みが残る。

第702号土壌(第271図)

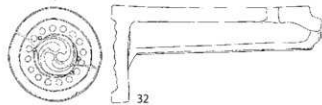
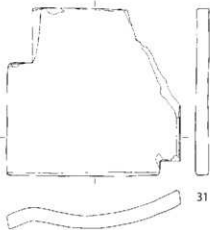
D6-A7グリッドに位置し、西側は調査区

外に延びる。第700～702号土壌は重複し合いながら検出され、古い順から第702→701→700号土壌の新旧関係にある。また、第698・699号土壌より古い。覆土上層に陶磁器を多く含むが、遺存する深さから、上面はかなり削平されているとみられる。第299～301図610～657に陶磁器を示す。総体的には肥前系磁器のコンニャク判染付(612・613・616)が多く、梅樹文碗(611)が少量加わる。皿は波佐見系の粗製皿(618・619・621)が主体である。陶器では瀬戸美濃系陶器せんじ碗(622・626)が主体

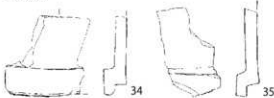
S K497



S K505



S K678



0 20cm
27 ~ 35 1/16

第310図 土壇出土遺物 (35)

第79表 土壌出土遺物観察表(3) (第308～310図)

番号	種別	器種	長さ	幅	厚さ	高さ	径	胎土	色調	遺構	備考	図版
1	瓦	軒棧瓦か	[6.7]	[12.0]	1.9	[5.0]	—	EKI	灰	SK425	表面光沢あり	99-12
2	瓦	軒棧瓦	[10.4]	[15.8]	1.7	[5.3]	—	HKI	灰	SK429		99-13
3	瓦	軒棧瓦	[15.9]	[26.3]	1.8	[5.1]	—	AEC	灰	SK461	表面光沢あり	99-14
4	瓦	軒棧瓦	[3.1]	[11.5]	2.3	[6.7]	6.4	ECH	黒褐	SK461	右巻	
5	瓦	軒棧瓦	[12.4]	[19.2]	1.7	5.0	—	CH	灰	SK461	表面光沢あり	99-15
6	瓦	軒棧瓦	[13.5]	[17.6]	1.9	[5.2]	—	HK	暗灰	SK461		99-16
7	瓦	軒棧瓦	[8.4]	[15.9]	1.7	[4.9]	6.5	IH	暗灰	SK461	右巻	99-17
8	瓦	軒棧瓦	[7.2]	[14.4]	1.7	[4.6]	—	IH	暗灰	SK461		99-18
9	瓦	軒棧瓦	[10.5]	[16.7]	2.0	[4.0]	—	HI	灰	SK468	表面光沢あり	100-1
10	瓦	軒棧瓦	[11.7]	[14.0]	1.8	[6.0]	—	CH	暗灰	SK476		100-2
11	瓦	軒棧瓦	[5.9]	[14.2]	1.6	[5.0]	—	EH	暗灰	SK477		100-3
12	瓦	軒棧瓦	[8.0]	[7.2]	2.1	[7.1]	6.4	EBK	灰	SK477	左巻 8 珠	100-4
13	瓦	軒棧瓦	[8.2]	[9.8]	1.9	[7.6]	7.0	EH	灰	SK489	右巻	
14	瓦	軒棧瓦	[3.5]	[6.6]	1.9	[4.5]	—	EH	灰	SK495		100-5
15	瓦	軒棧瓦	26.1	[15.2]	2.1	5.6	—	ECH	灰	SK678	表面へラ書き「瓦や古右衛門／荒木村」	100-14
16	瓦	軒棧瓦	[18.6]	29.2	1.9	[5.6]	6.8	C	暗灰	SK678	右巻	100-13
17	瓦	軒棧瓦	[2.7]	—	(1.5)	—	—	E	灰	SK695	表面光沢あり	100-15
18	瓦	軒棧瓦	[8.1]	[10.2]	1.9	[5.1]	—	C	灰	SK696	表面光沢あり	100-16
19	瓦	軒棧瓦	[2.9]	—	(1.7)	—	—	H	灰	SK702	表面光沢あり	100-17
20	瓦	丸瓦	[18.2]	14.4	2.0	—	—	CG	灰	SK400		
21	瓦	棧瓦	[10.3]	[12.4]	1.6	—	—	IC	黒褐	SK400		
22	瓦	丸瓦	[12.4]	[5.1]	1.8	—	—	CH	暗灰	SK420		99-11
23	瓦	軒丸瓦	[8.1]	15.8	2.1	[14.7]	15.2	EH	灰	SK461	右巻 16 珠	
24	瓦	丸瓦	25.9	(11.4)	1.6	—	—	E	灰	SK477	表面光沢あり	
25	瓦	丸瓦	9.9	25.0	3.5	16.0	—	AE	—	SK497	孔 1	100-6
26	瓦	丸瓦	29.2	14.9	2.1	—	—	HK	暗灰	SK497		100-9
27	瓦	軒丸瓦	32.2	15.3	1.8	15.2	15.4	EK	—	SK497	右巻 12 珠 穿孔 2	100-7
28	瓦	軒丸瓦	31.3	15.5	2.1	15.3	15	E	オリーブ灰	SK497	右巻 12 珠 穿孔 2	100-8
29	瓦	丸瓦	[6.7]	[6.5]	1.3	—	—	—	にぶい黄橙	SK497	被熱による火ぶくれ 型み	100-10
30	瓦	丸瓦	[14.0]	[4.6]	1.8	—	—	K	にぶい黄橙	SK497	被熱による火ぶくれ	100-11
31	瓦	棧瓦	26.5	27.7	2.1	—	—	EI	灰	SK497		
32	瓦	軒丸瓦	33.4	15.4	2.2	15.3	15.5	EC	灰	SK505	右巻 16 珠 焼成前穿孔 1 二次穿孔 (植修孔穿孔瓦当面の割れを針金で繋ぐ)	100-12
33	瓦	軒丸瓦	—	—	(2.3)	(11.8)	12.1	AEH	暗灰	SK505	右巻 12 珠	
34	瓦	道具瓦	[12.9]	[13.4]	1.8	—	—	CDE	灰	SK678		
35	瓦	道具瓦	[14.2]	[10.1]	1.9	—	—	C	灰	SK678		

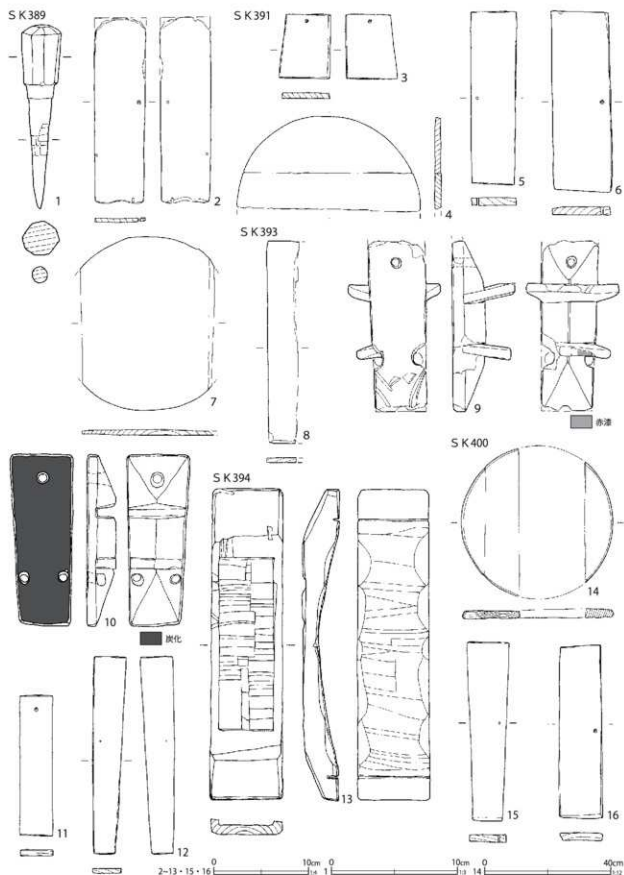
で、腰鉢碗 (628・629) がこれに次ぐ。輪弁鉢 (640) や口縁部に歪ませる鉢 (641) も複数個体がある。大振りの柿軸灯明皿が 2 点認められる (638・639)。京都信楽系陶器では色絵半球碗 (624・625) のほか、鉄絵や青瓦須で絵付する皿 (634) や香炉 (646) が加わる。概ね 18 世紀中葉の様相である。このほか、第 307 図 5 の土製人形、第 308 図 19 の軒瓦、第 328 図 87 の雁首銭、第 332 図 42 の磨石を図示した。

第704号土壌 (第271図)

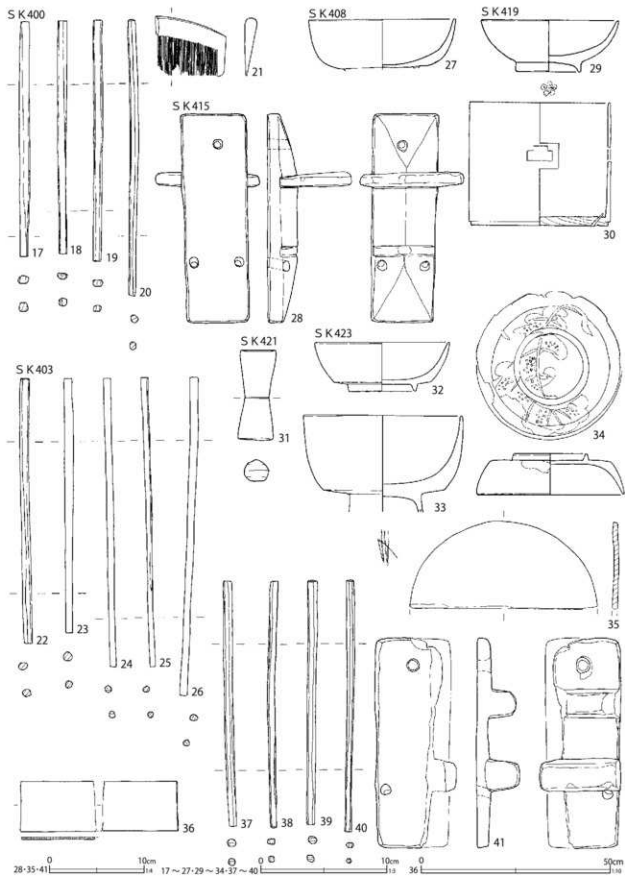
D 6-A 8 グリッドから検出された長さ 3.4m の

長方形土壌である。主軸方向は N-18°-W であり、近接する第 604 号建物跡の梁行方向とほぼ一致する。覆土に焼土塊を多量に含み、火災処理に係る土壌と考えられるが、瓦類の包含は 2 点のみであった。

第 301 図 658～668 に陶磁器を示す。665 の瀬戸美濃系陶器柿軸灯明皿が最新期で、他に、同種の受皿と肥前系磁器の薄手で湾曲が弱い小丸碗が出土している。18 世紀中～後葉の様相を示す。建築部材の釘類も一定量出土している (第 328 図 90～94)。

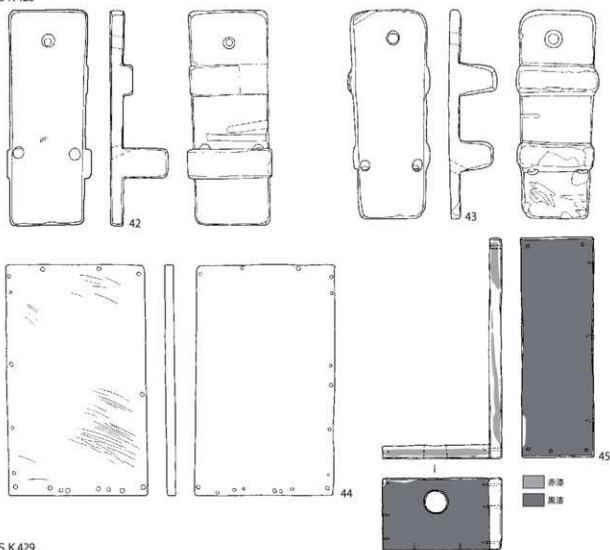


第311図 土坑出土遺物 (36)

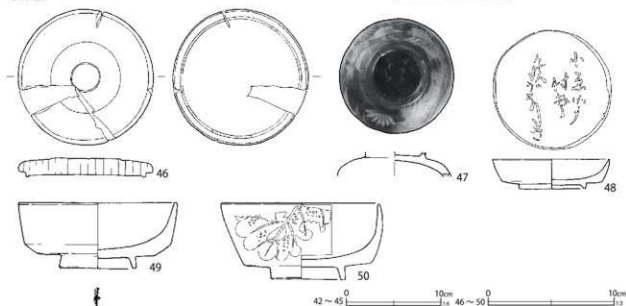


第 312 図 土壙出土遺物 (37)

SK423

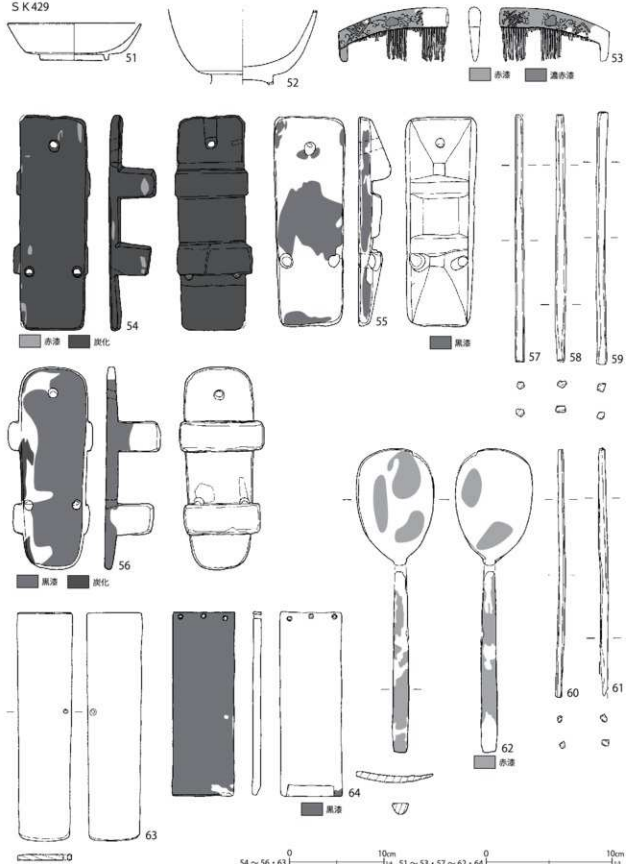


SK429



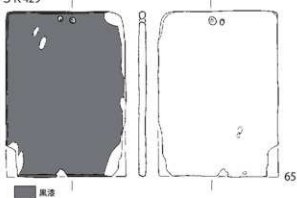
第313図 土壇出土遺物 (38)

S K 429

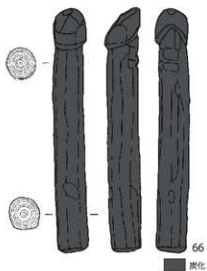


第 314 図 土壙出土遺物 (39)

S K 429

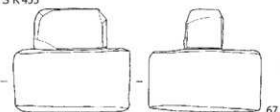


黒漆



炭化

S K 455

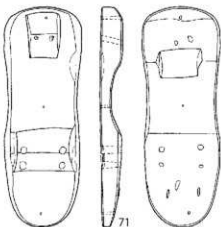
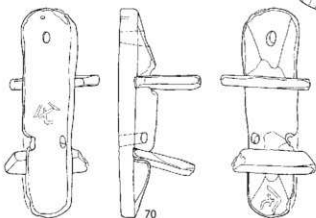
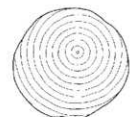
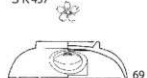


S K 456

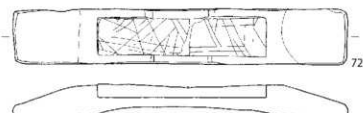
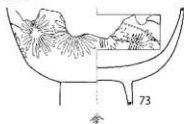


赤漆
黒漆

S K 457

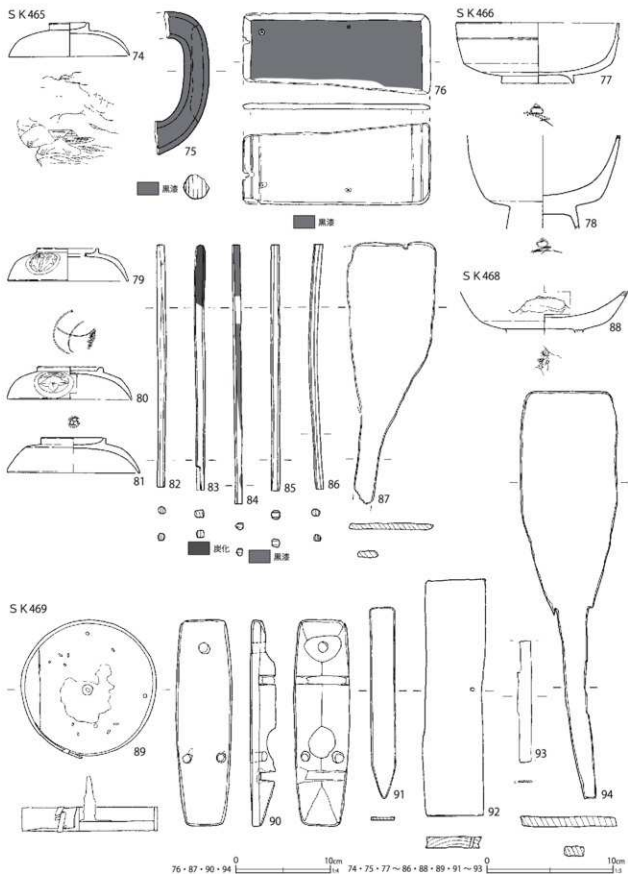


S K 465

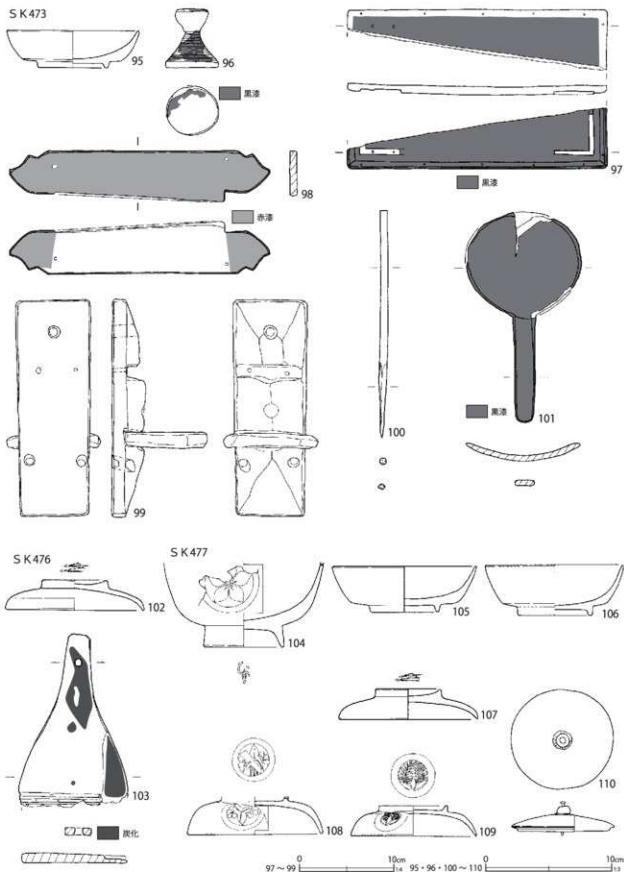


0 10cm 0 10cm 0 10cm 0 10cm
66 15 70 ~ 72 14 65 ~ 67 ~ 69 ~ 73 13

第 315 図 土 墳 出 土 遺 物 (40)

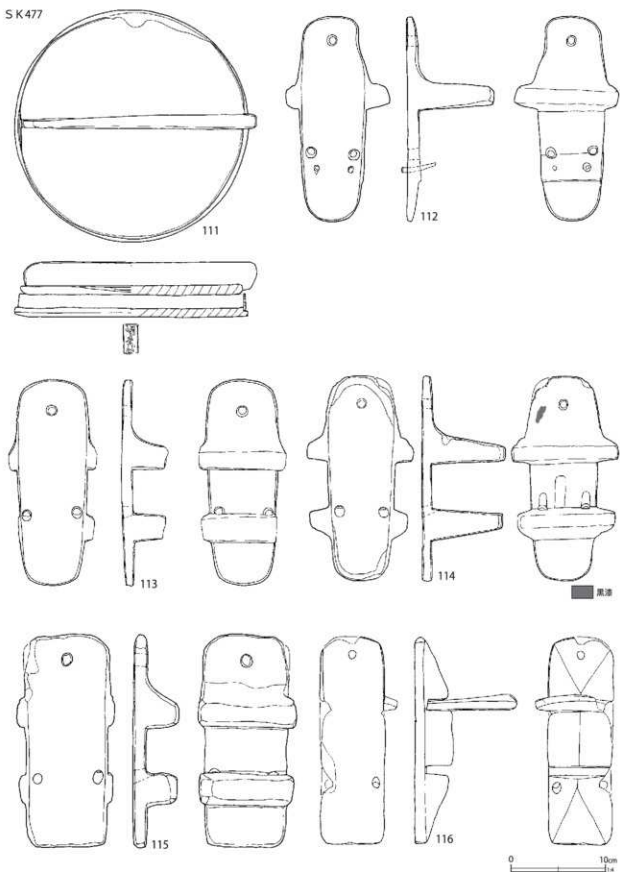


第 316 図 土壙出土遺物 (41)

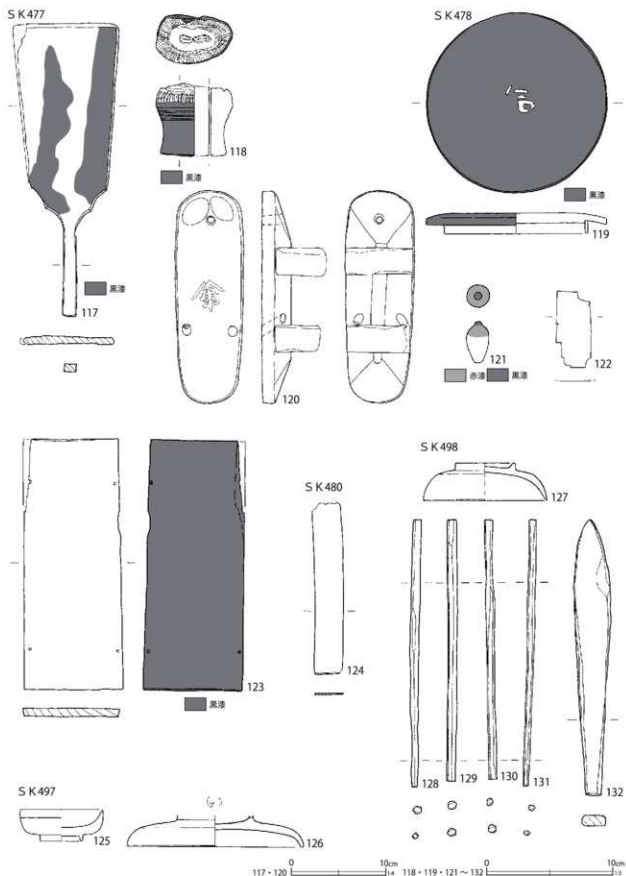


第317図 土坑出土遺物(42)

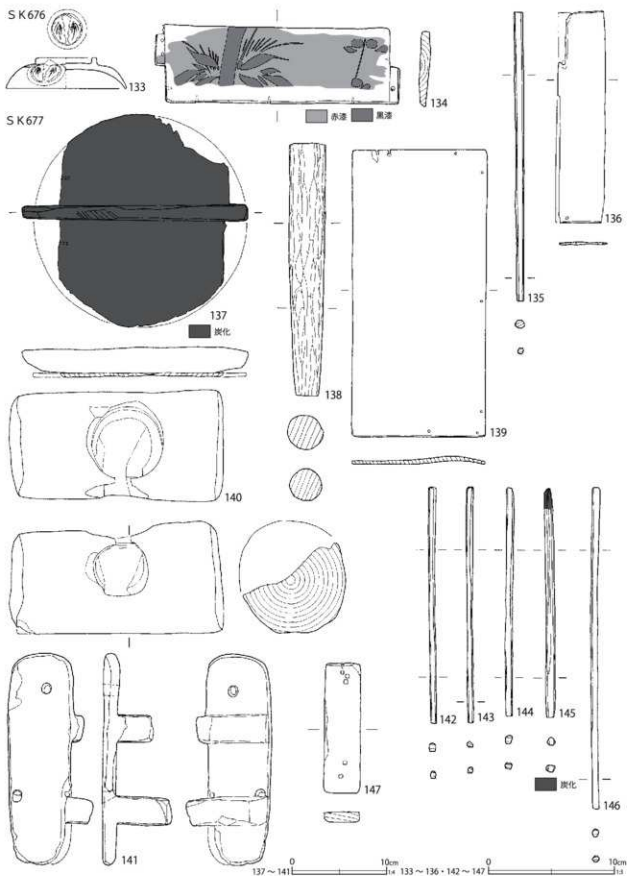
SK477



第318図 土壙出土遺物 (43)

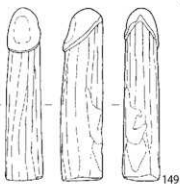
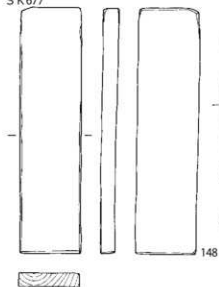


第 319 図 土坑出土遺物 (44)

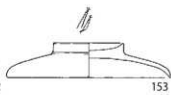
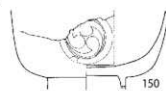


第320図 土壙出土遺物(45)

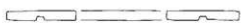
S K 677



S K 678



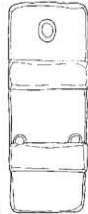
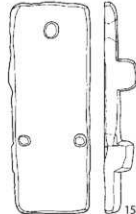
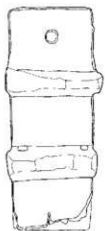
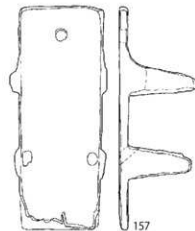
赤漆 黒漆



黒漆

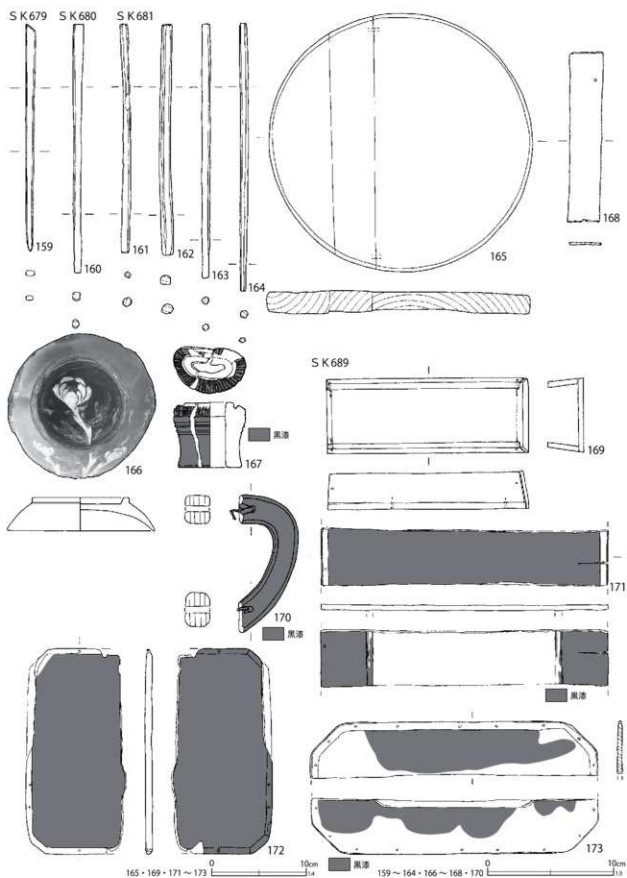


赤漆

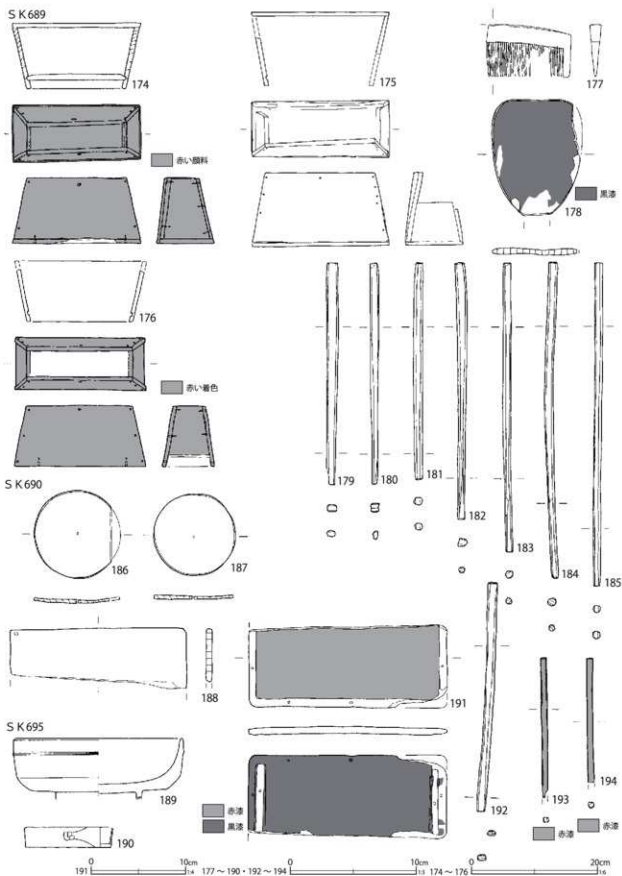


148・155・157・158 0 10cm 149・154・156 0 10cm

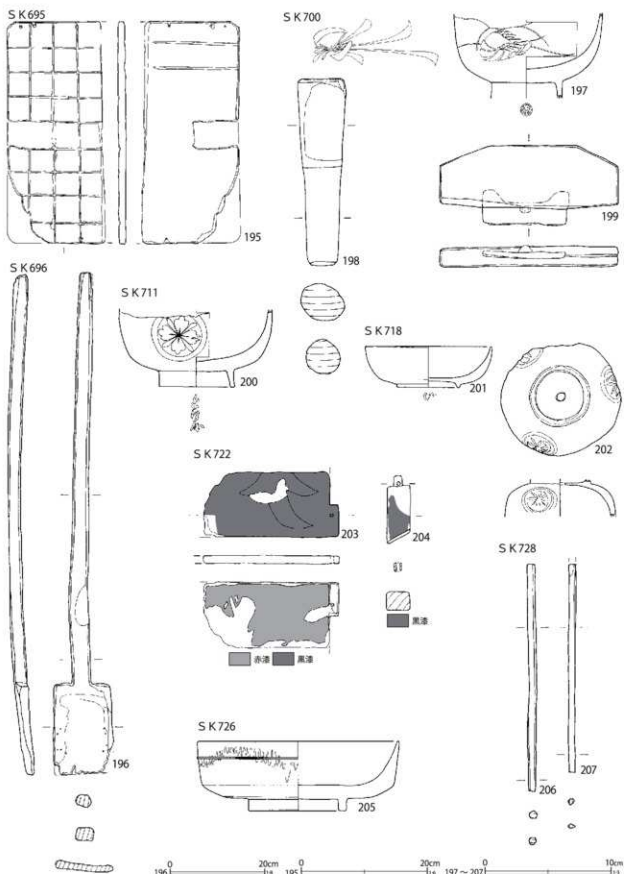
第 321 図 土壇出土遺物 (46)



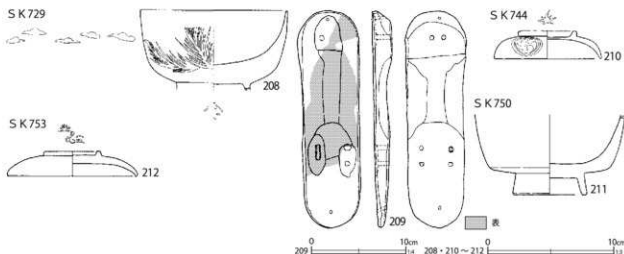
第 322 図 土坑出土遺物 (47)



第 323 図 土壌出土遺物 (48)



第 324 図 土壙出土遺物 (49)



第 325 図 土壇出土遺物 (50)

第 80 表 土壇出土遺物観察表 (4) (第 311 ~ 325 図)

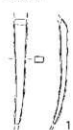
番号	種別	器種	長さ	幅	厚さ	口径/径	高さ	遺構	備考	図版
1	木製品	栓	14.5	3.1	2.7	—	—	SK389	—	104-4
2	木製品	木札	19.6	5.4	0.4	—	—	SK389	墨書 表「江ハすいー八口百円」裏「くりはし」	
3	木製品	木札	6.8	5.3	0.6	—	—	SK391	墨書 表「赤札」裏「口印」	
4	木製品	蓋	—	—	0.7	(19.4)	—	SK391	墨書「(やまに「一」) 正横」	
5	木製品	木札	18.3	4.8	0.8	—	—	SK391	墨書「(一に「キ」) 栗橋/いせや長次郎殿 松田」	
6	木製品	木札	19.0	6.3	0.9	—	—	SK391	墨書「(やまに「キ」) 栗橋/伊勢屋長二郎殿 嶋屋半兵衛」	
7	木製品	蓋	—	—	0.6	18.3	—	SK391	墨書「(記号) 大橋口口 五升入」	104-5
8	木製品	木札	21.3	[3.4]	0.5	—	—	SK393	墨書「いせ屋長次郎殿行」	
9	木製品	下駄	[18.1]	5.9	—	—	6.7	SK393	陰卯下駄 裏の底部赤漆か	
10	木製品	下駄	18.1	6.6	—	—	[3.1]	SK393	陰卯下駄 表面全面炭化	
11	木製品	木札	14.8	3.5	0.6	—	—	SK394	墨書 (第 91 表参照)	
12	木製品	木札	20.8	3.4	0.5	—	—	SK394	表裏墨書 (第 91 表参照)	
13	木製品	砥石台	33.0	7.7	—	—	3.9	SK394	凹部 18.2 × 5.8cm	
14	木製品	桶	—	—	2.7	(47.6)	—	SK400	底板 墨書「初荷」	
15	木製品	木札	18.9	4.4	0.8	—	—	SK400	墨書 (第 91 表参照)	
16	木製品	木札	18.3	4.5	0.8	—	—	SK400	墨書 (第 91 表参照)	
17	木製品	箸	18.6	0.8	0.7	—	—	SK400	—	
18	木製品	箸	18.4	0.7	0.6	—	—	SK400	—	
19	木製品	箸	19.0	0.7	0.5	—	—	SK400	—	
20	木製品	箸	21.8	0.7	0.6	—	—	SK400	—	
21	木製品	棚	4.6	[5.6]	1.0	—	—	SK400	—	
22	木製品	箸	20.9	0.7	0.7	—	—	SK403	—	104-6
23	木製品	箸	20.1	0.7	0.7	—	—	SK403	—	
24	木製品	箸	22.8	0.6	0.5	—	—	SK403	—	
25	木製品	箸	22.9	0.6	0.5	—	—	SK403	—	
26	木製品	箸	25.1	0.7	0.6	—	—	SK403	—	
27	木製品	漆碗	—	—	—	11.5	[4.0]	SK408	内面赤漆 外面黒漆	
28	木製品	下駄	22.1	7.0	—	—	8.9	SK415	陰卯下駄 ケンボナシ 裏 前面はキハダ	104-7
29	木製品	漆碗	—	—	—	(10.5)	4.0	SK419	内外面赤漆 口縁部、底部黒漆 高台内文様	
30	木製品	曲物	—	—	—	11.2	9.7	SK419	柄杓か 側板に凸形の孔	
31	木製品	不明品	7.1	2.9	—	—	—	SK421	輪股か	
32	木製品	漆碗	—	—	—	10.6	3.9	SK423	内外面赤漆	
33	木製品	漆碗	—	—	—	12.6	[7.6]	SK423	内外面赤漆 高台内文様	
34	木製品	漆碗蓋	—	—	—	(11.5)	3.2	SK423	内面黒漆 外面薄緑漆に赤・黒・金で文様	104-11
35	木製品	曲物	—	—	0.6	(20.0)	—	SK423	蓋 墨書 (第 91 表参照)	
36	木製品	木札	13.2	[20.1]	0.5	—	—	SK423	表裏面墨書 (第 91 表参照)	
37	木製品	箸	19.4	0.7	0.6	—	—	SK423	ヒノキ	
38	木製品	箸	19.5	0.7	0.6	—	—	SK423	ヒノキ	

番号	種別	器種	長さ	幅	厚さ	口径/径	高さ	底径	遺構	備考	図版
39	木製品	箸	19.3	0.8	0.6	—	—	—	SK423	ヒノキ科	
40	木製品	箸	19.3	0.6	0.4	—	—	—	SK423	ヒノキ	
41	木製品	下駄	22.1	(8.0)	—	—	4.2	—	SK423	連歯下駄	
42	木製品	下駄	22.7	8.1	—	—	6.2	—	SK423	連歯下駄	
43	木製品	下駄	22.1	7.5	—	—	5.2	—	SK423	連歯下駄	
44	木製品	箱	24.4	14.7	1.0	—	—	—	SK423	外周に木釘残る(径4mm) ノコギリ痕	
45	木製品	引出し	23.3	[12.8]	—	—	7.6	—	SK423	外面黒漆 上面赤漆	104-10
46	木製品	蓋	—	—	—	—	1.5	—	SK429	全面黒漆	104-12
47	木製品	漆碗蓋	—	—	—	—	[2.0]	—	SK429	内面赤漆 外面黒漆に文様	
48	木製品	漆碗	—	—	—	9.2	2.3	5.3	SK429	内面赤漆に金で文字 外面緑漆	104-13
49	木製品	漆碗	—	—	—	12.4	5.1	6.0	SK429	内外面赤漆 高台内文字	104-14
50	木製品	漆碗	—	—	—	12.4	6.0	5.8	SK429	内面黒漆 外面緑漆に赤・黒・金で文様	104-15
51	木製品	漆碗	—	—	—	(10.4)	2.9	(5.4)	SK429	内外面赤漆 割れ口炭化	105-1
52	木製品	漆碗	—	—	—	—	[6.1]	—	SK429	内外面赤漆	
53	木製品	柳	4.3	[8.2]	1.0	—	—	—	SK429	赤漆 濃赤漆で文様と「壽」	105-2
54	木製品	下駄	22.8	7.1	—	—	5.0	—	SK429	連歯下駄 赤漆 全面炭化	
55	木製品	下駄	22.2	7.4	—	—	[3.4]	—	SK429	陰印下駄 黒漆	105-3
56	木製品	下駄	21.4	7.2	—	—	5.7	—	SK429	連歯下駄 黒漆 一部炭化	105-4
57	木製品	箸	19.5	0.7	0.6	—	—	—	SK429		
58	木製品	箸	19.6	0.8	0.5	—	—	—	SK429		
59	木製品	箸	20.0	0.8	0.7	—	—	—	SK429		
60	木製品	箸	19.6	0.6	0.6	—	—	—	SK429		
61	木製品	箸	[19.6]	0.7	0.6	—	—	—	SK429		
62	木製品	杓子	(24.0)	受部幅6.1厚0.5柄幅1.2厚1.9				—	SK429	赤漆	
63	木製品	木札	24.1	5.8	0.6	—	—	—	SK429	表裏面黒漆 (第91表参照)	
64	木製品	箱	14.5	4.9	0.6	—	—	—	SK429	側板 黒漆	
65	木製品	箱	13.1	9.4	0.5	—	—	—	SK429	表面側面黒漆	
66	木製品	陶物形	32.1	—	4.1	—	—	—	SK429	完形品 全面炭化	105-5
67	木製品	工具	8.2	9.2	8.7	—	—	—	SK455		105-6
68	木製品	杓子	16.8	受部幅6.0厚1.0柄幅1.3厚1.1				—	SK456	受部表面赤漆 他黒漆	
69	木製品	漆碗蓋	—	つまみ径4.8		9.2	2.9	—	SK457	内面赤漆 外面黒漆 三方家紋 高台内文様	
70	木製品	下駄	22.0	5.9	—	—	8.7	—	SK457	陰印下駄 鼻緒残存 後印(ヤツに「七」)	
71	木製品	下駄	23.3	8.1	—	—	2.3	—	SK457	無眼下駄 裏面種鉄釘	
72	木製品	砥石台	35.4	5.9	—	—	3.1	—	SK457	砥石残存	105-7
73	木製品	漆碗	—	—	—	—	[7.7]	—	SK465	内外面赤漆 黒漆で文様 高台内黒漆で文字	
74	木製品	漆碗蓋	—	つまみ径2.9		9.5	2.6	—	SK465	内外面赤漆 内面金で文様	
75	木製品	湯桶	11.2	4.2	[1.9]	—	—	—	SK465	把手 黒漆 端面漆接着痕	105-8
76	木製品	膳	19.7	[8.5]	0.6	—	—	—	SK465	表面黒漆	
77	木製品	漆碗	—	—	—	12.8	4.8	5.5	SK466	内外面赤漆 高台内金で文様	105-9
78	木製品	漆碗	—	—	—	—	[7.4]	—	SK466	内外面赤漆 高台内金で文様 割れ口炭化	
79	木製品	漆碗蓋	—	つまみ径4.9		9.6	2.6	—	SK466	内面赤漆 外面黒漆 三方とつまみ内家紋	
80	木製品	漆碗蓋	—	つまみ径5.1		9.8	2.5	—	SK466	内外面赤漆 三方家紋 つまみ内赤漆で文様	
81	木製品	漆碗蓋	—	つまみ径5.0		10.4	2.8	—	SK466	内外面赤漆 つまみ内金で文様	
82	木製品	箸	19.1	0.7	0.6	—	—	—	SK466		
83	木製品	箸	19.4	0.8	0.6	—	—	—	SK466	一部炭化	
84	木製品	箸	20.5	0.6	0.6	—	—	—	SK466	黒漆	
85	木製品	箸	19.4	0.7	0.7	—	—	—	SK466		
86	木製品	箸	19.4	0.6	0.5	—	—	—	SK466		
87	木製品	羽子板	[27.6]	[9.3]	0.7	—	—	—	SK466		
88	木製品	漆碗	—	—	—	—	[3.3]	—	SK468	内面赤漆 外面黒漆 赤で家紋 高台内赤漆で文字	
89	木製品	燈籠	—	—	—	10.7	1.9	—	SK469	鉄芯・鉄釘残存 鉄芯長3.6cm	105-10
90	木製品	下駄	21.7	5.9	—	—	[2.6]	—	SK469	陰印下駄	
91	木製品	籠	15.0	1.9	0.2	—	—	—	SK469		
92	木製品	木札	18.6	4.8	0.9	—	—	—	SK469	黒書(第91表参照) 釘穴1	
93	木製品	木札	9.6	[1.1]	0.05	—	—	—	SK469	黒書「式拾遺」	
94	木製品	羽子板	42.9	10.2	1.1	—	—	—	SK469		105-11
95	木製品	漆碗	—	—	—	10.4	2.9	5.6	SK473	内外面赤漆 口縁部・底部黒漆	
96	木製品	不明品	—	—	—	—	4.6	4.2	SK473	黒漆 側面に筋模様	105-12

番号	種別	器種	長さ	幅	厚さ	口径/径	高さ	底径	遺構	備考	図版
97	木製品	膳	27.5	[6.4]	[0.9]	—	—	—	SK473	全面黒漆 脚残存	
98	木製品	調度品	(5.5)	27.6	0.8	—	—	—	SK473	赤漆	
99	木製品	下駄	22.8	7.9	—	—	10.1	—	SK473	陰印下駄 ケンボナシ風	
100	木製品	箸	18.0	0.6	0.6	—	—	—	SK473	端部加工	
101	木製品	杵子	16.5	受部幅	9.0 厚 0.4 柄幅	1.6 厚 0.4	—	—	SK473	黒漆 裏面端部炭化	105-13
102	木製品	漆桶蓋	—	つまみ径 5.2	—	10.8	2.3	—	SK476	内外面赤漆 口縁部・つまみ縁黒漆 つまみ内文様	105-14
103	木製品	刷毛	[13.6]	8.6	0.8	—	—	—	SK476	一部炭化	105-15
104	木製品	漆桶	—	—	—	—	[6.8]	6.2	SK477	内面赤漆 外面黒漆 赤漆で家紋 高台内赤漆で文字「ひの」	
105	木製品	漆桶	—	—	—	11.3	3.6	5.4	SK477	内外面赤漆	106-1
106	木製品	漆桶	—	—	—	10.7	4.0	5.7	SK477	内外面赤漆	
107	木製品	漆桶蓋	—	つまみ径 5.0	—	10.8	2.4	—	SK477	内外面赤漆 口縁部・つまみ縁黒漆 つまみ内文様	
108	木製品	漆桶蓋	—	—	—	10.5	[3.0]	—	SK477	内外面赤漆 三方とつまみ内家紋	
109	木製品	漆桶蓋	—	つまみ径 5.4	—	9.8	2.4	—	SK477	内面赤漆 外面黒漆 三方とつまみ内家紋	106-3
110	木製品	蓋	—	—	—	7.2	2.7	—	SK477	上面赤漆 下面黒漆 金具・玉付 玉径 1.1cm	106-2
111	木製品	曲物	—	—	—	23.8	2.4	24.7	SK477	底板裏に焼印(福口編) 蓋径 23.3 高 3.4cm	106-4
112	木製品	下駄	21.6	6.7	—	—	9.1	—	SK477	連歯下駄	
113	木製品	下駄	21.7	7.2	—	—	[4.9]	—	SK477	連歯下駄	
114	木製品	下駄	21.6	6.9	—	—	8.8	—	SK477	連歯下駄 黒漆 トリネコ風	
115	木製品	下駄	22.5	9.1	—	—	4.8	—	SK477	連歯下駄	
116	木製品	下駄	21.7	6.8	—	—	10.6	—	SK477	陰印下駄	
117	木製品	羽子板	31.1	(11.3)	0.9	—	—	—	SK477	黒漆	106-6
118	木製品	傘	5.8	6.0	3.9	—	—	—	SK477	ろくろ 表面・底部黒漆 柄残存	
119	木製品	曲物	—	—	—	11.4	1.6	—	SK478	蓋 黒漆 焼印 径 14.2cm	106-5
120	木製品	下駄	22.4	7.2	—	—	[6.8]	—	SK478	陰印下駄 焼印	
121	木製品	浮子	3.2	—	—	1.8	—	—	SK478	赤漆 上端黒漆	
122	木製品	木札	[6.0]	[2.6]	[0.1]	—	—	—	SK478	墨書 (第 91 表参照)	
123	木製品	木札	19.7	7.8	0.6	—	—	—	SK478	墨書「権左衛門」裏面黒漆	
124	木製品	木札	[13.5]	2.5	0.1	—	—	—	SK480	墨書「□□六貫六百口」	
125	木製品	漆桶	—	—	—	6.5	2.5	3.3	SK497	内外面赤漆 口縁部に金	106-7
126	木製品	漆桶蓋	—	—	—	13.7	[2.5]	—	SK497	内外面赤漆 つまみ内文様	
127	木製品	漆桶蓋	—	つまみ径 4.5	—	9.6	3.0	—	SK498	内面赤漆 外面黒漆	106-8
128	木製品	箸	21.1	0.7	0.6	—	—	—	SK498	—	
129	木製品	箸	20.6	0.8	0.7	—	—	—	SK498	—	
130	木製品	箸	20.4	0.7	0.6	—	—	—	SK498	—	
131	木製品	箸	21.0	0.6	0.5	—	—	—	SK498	—	
132	木製品	匙	21.8	2.8	0.8	—	—	—	SK498	—	
133	木製品	漆桶蓋	—	つまみ径 4.8	—	9.4	2.4	—	SK676	内面赤漆 外面黒漆 三方とつまみ内赤漆で家紋	
134	木製品	箱	6.1	19.3	0.8	—	—	—	SK676	表裏面赤漆 黒漆で文様	106-9
135	木製品	箸	22.8	0.7	0.6	—	—	—	SK676	—	
136	木製品	木札	16.5	3.8	0.2	—	—	—	SK676	墨書「御曲」	118-15
137	木製品	蓋	—	—	—	22.4	3.2	—	SK677	炭化 つまみ長 23.9cm	106-10
138	木製品	不明品	26.7	3.8	3.7	—	—	—	SK677	—	
139	木製品	箱	30.4	14.2	0.5	—	—	—	SK677	墨書「[]/清水武左衛門殿」	118-11
140	木製品	角材	22.7	11.8	(11.2)	—	—	—	SK677	竹樋のジョイント部か	106-11
141	木製品	下駄	22.3	6.5	—	—	7.3	—	SK677	連歯下駄 プナ風近似種	
142	木製品	箸	18.7	0.6	0.7	—	—	—	SK677	—	
143	木製品	箸	18.6	0.5	0.5	—	—	—	SK677	—	
144	木製品	箸	18.0	0.6	0.7	—	—	—	SK677	—	
145	木製品	箸	18.1	0.7	0.7	—	—	—	SK677	一部炭化	
146	木製品	箸	25.4	0.6	0.7	—	—	—	SK677	—	
147	木製品	木札	10.2	2.8	0.8	—	—	—	SK677	墨書「橋屋庄兵衛」木釘 5	
148	木製品	木札	26.0	6.4	1.5	—	—	—	SK677	表裏面墨書 (第 91 表参照)	
149	木製品	陽物形	13.6	2.9	3.3	—	—	—	SK677	—	
150	木製品	漆桶	—	—	—	—	[6.3]	—	SK678	内面赤漆 外面黒漆 対面に赤で家紋	106-13
151	木製品	漆桶	—	—	—	—	[2.7]	4.9	SK678	内外面赤漆 高台内家紋	
152	木製品	漆桶蓋	—	—	—	—	[2.4]	—	SK678	内面赤漆 外面黒漆 三方家紋 つまみ内文様	
153	木製品	漆桶蓋	—	つまみ径 5.3	—	12.8	2.7	—	SK678	内外面赤漆 つまみ内文様	106-12
154	木製品	膳小	[7.9]	[18.9]	0.7	—	—	—	SK678	表裏面赤漆 黒漆で文様	106-14

番号	種別	器種	長さ	幅	厚さ	口径/径	高さ	底径	遺構	備考	図版
155	木製品	膳か	[7.8]	24.7	1.0	—	—	—	SK678	脚板 表裏面黒漆	106-15
156	木製品	箸	[8.4]	0.5	0.4	—	—	—	SK678	赤漆	
157	木製品	下駄	23.4	8.8	—	—	8.2	—	SK678	連歯下駄 クリ	107-1
158	木製品	下駄	22.2	7.6	—	—	3.5	—	SK678	連歯下駄 コナラ属コナラ節	
159	木製品	簀か	17.9	0.8	0.5	—	—	—	SK679	漆塗の下地	107-2
160	木製品	箸	19.6	0.8	0.7	—	—	—	SK680	—	
161	木製品	箸	18.0	0.7	0.7	—	—	—	SK681	—	107-4
162	木製品	箸	18.2	0.9	0.8	—	—	—	SK681	—	
163	木製品	箸	20.0	0.6	0.6	—	—	—	SK681	—	107-3
164	木製品	箸	21.1	0.6	0.6	—	—	—	SK681	—	
165	木製品	桶	—	—	2.4	21.3	—	—	SK681	蓋 墨書 (第91表参照)	107-2
166	木製品	漆桶蓋	つまみ径 7.6	—	—	(11.4)	2.6	—	SK681	内面赤漆 外面黒漆 金で文様	
167	木製品	糸	5.1	5.7	—	—	—	—	SK681	ろくろ 外面黒漆	107-4
168	木製品	木札	13.7	2.7	0.2	—	—	—	SK681	墨書「半五郎分」	
169	木製品	箱	7.9	21.3	—	—	3.8	—	SK689	—	107-3
170	木製品	湯桶	10.8	4.6	1.9	—	—	—	SK689	把手 黒漆 樹皮紐残存	
171	木製品	膳	[6.1]	30.5	0.5	—	—	—	SK689	黒漆 裏面脚の接合痕	107-5
172	木製品	膳	21.7	[10.6]	0.7	—	—	—	SK689	表裏面黒漆	
173	木製品	膳	5.8	30.4	0.5	—	—	—	SK689	黒漆 脚の根元残存	107-6
174	木製品	箱枕	9.2	20.6	—	—	10.5	—	SK689	外面赤色塗料	
175	木製品	箱枕	9.1	22.1	—	—	11.8	—	SK689	—	107-7
176	木製品	箱枕	8.4	21.1	—	—	9.7	—	SK689	外面赤色塗料	
177	木製品	柳	[6.7]	4.2	0.9	—	—	—	SK689	—	107-8
178	木製品	杓子	[9.0]	(7.1)	0.5	—	—	—	SK689	黒漆	
179	木製品	箸	17.5	0.9	0.6	—	—	—	SK689	—	118-16
180	木製品	箸	17.4	0.7	0.7	—	—	—	SK689	—	
181	木製品	箸	17.1	0.7	0.6	—	—	—	SK689	—	107-9
182	木製品	箸	20.2	0.8	0.7	—	—	—	SK689	赤漆	
183	木製品	箸	22.8	0.7	0.6	—	—	—	SK689	赤漆	107-10
184	木製品	箸	25.0	0.7	0.6	—	—	—	SK689	上下辺に釘孔 裏面にも刻み	
185	木製品	箸	25.5	0.6	0.6	—	—	—	SK689	赤漆	107-12
186	木製品	曲物	—	—	0.4	6.9	—	—	SK690	底板	
187	木製品	曲物	—	—	0.4	6.4	—	—	SK690	底板	107-13
188	木製品	木札	[4.8]	13.9	0.5	—	—	—	SK690	墨書「揚(物)わん 人前□□」	
189	木製品	漆桶	—	—	—	13.1	[4.8]	—	SK695	内外面赤漆 口縁部黒漆	107-11
190	木製品	曲物	—	—	—	7.0	1.6	6.6	SK695	底板・側板	
191	木製品	膳	[8.8]	21.0	0.7	—	—	—	SK695	表面赤漆 裏面黒漆 裏面脚の接合痕	107-12
192	木製品	箸	18.0	0.8	0.5	—	—	—	SK695	赤漆	
193	木製品	箸	[11.0]	0.5	0.4	—	—	—	SK695	赤漆	107-13
194	木製品	箸	[9.8]	0.5	0.5	—	—	—	SK695	赤漆	
195	木製品	付棋盤	35.4	[15.8]	1.2	—	—	—	SK695	上下辺に釘孔 裏面にも刻み	107-14
196	木製品	鍋	105.8	身幅 12.8 厚 1.8 柄幅 4.0 厚 2.8	—	—	—	—	SK696	—	
197	木製品	漆桶	—	—	—	[6.7]	—	—	SK700	内面赤漆 外面黒漆 対面赤漆文様 高台内赤漆文様	107-12
198	木製品	栓	14.7	3.3	2.9	—	—	—	SK700	刀部残存	
199	木製品	火打ち金	6.4	14.1	1.6	—	—	—	SK700	刀部残存	107-13
200	木製品	漆桶	—	—	—	[6.1]	6.0	—	SK711	内面赤漆 外面黒漆 三方家紋 高台内文文	
201	木製品	漆桶	—	—	—	10.0	3.2	5.0	SK718	赤漆 高台内文文	107-11
202	木製品	漆桶蓋	—	—	—	—	3.0	—	SK718	内外面赤漆 三方家紋 つまみ内円孔	
203	木製品	箱	[5.2]	[10.6]	6.0	—	—	—	SK722	側板 表面黒漆 裏面赤漆	107-13
204	木製品	調度品	5.3	1.8	1.5	—	—	—	SK722	黒漆 上部円孔	
205	木製品	漆桶	—	—	—	(15.8)	5.5	7.7	SK726	内外面黒漆 外面赤漆で被状に文様	107-11
206	木製品	箸	18.0	0.6	0.6	—	—	—	SK728	—	
207	木製品	箸	[16.5]	0.5	0.5	—	—	—	SK728	—	107-14
208	木製品	漆桶	—	—	—	(11.5)	[6.3]	—	SK729	内外面黒漆 対面に文様 高台内赤で「ヤマに□」	
209	木製品	下駄	22.9	5.9	—	—	2.0	—	SK729	無眼下駄 表残存 ヤツ属複雑管束亜属	107-11
210	木製品	漆桶蓋	—	つまみ径 (4.1)	—	(8.3)	2.2	—	SK744	内外面赤漆 三方家紋 つまみ内文様	
211	木製品	漆桶	—	—	—	[6.3]	5.8	—	SK750	内外面赤漆 一部炭化	107-14
212	木製品	漆桶蓋	—	つまみ径 4.4	—	10.1	2.0	—	SK753	内外面赤漆 つまみ内文様	

SK391



SK398

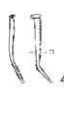


2

3



4



5



6



SK403



7



8

SK413



SK417



11



12

SK423

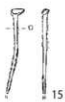


13

SK427



14



15

SK429



16



17

SK436



18

SK456



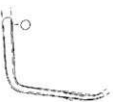
19



20



21

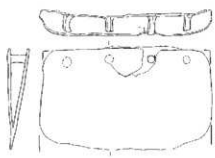


22

SK457



23



24

SK466



25



26



0

5cm

1:2



27



28



30



29



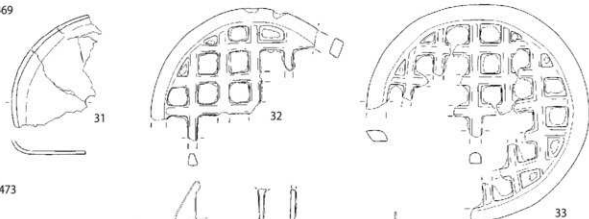
0

10cm

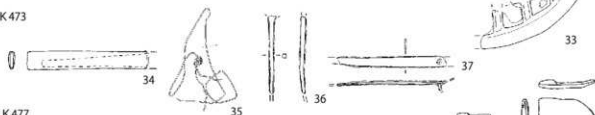
1:3

第326図 土坑出土遺物 (51)

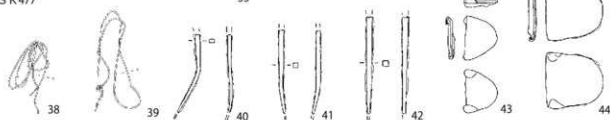
SK469



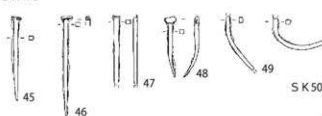
SK473



SK477



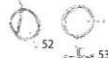
SK478



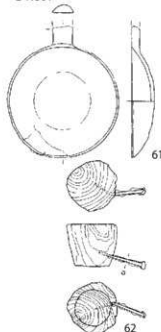
SK480



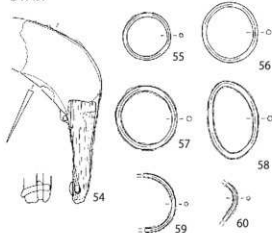
SK496



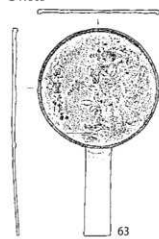
SK501



SK497



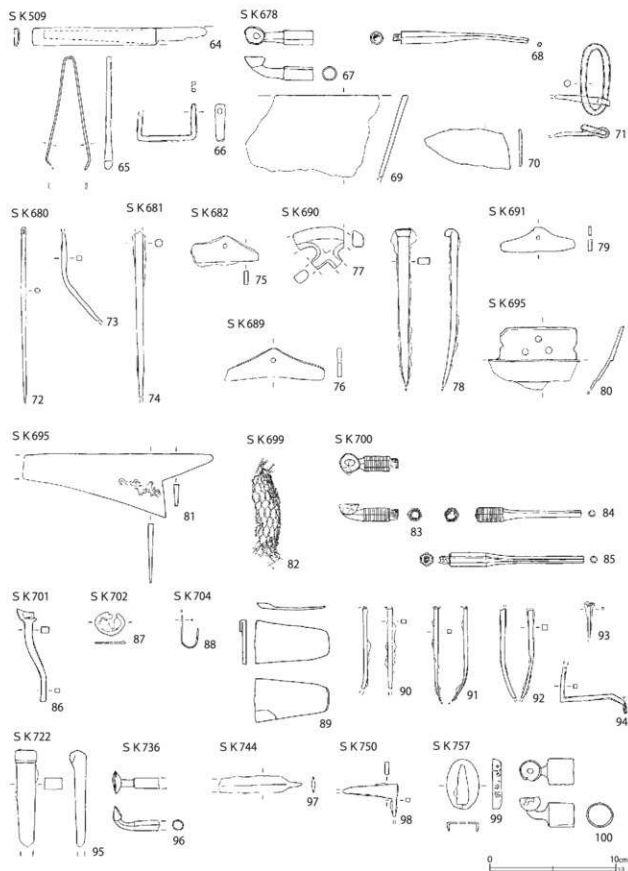
SK505



0 10cm

0 5cm

第 327 图 土坑出土遺物 (52)



第 328 図 土壇出土遺物 (53)

第81表 土壌出土遺物観察表(5)(第326～328図)

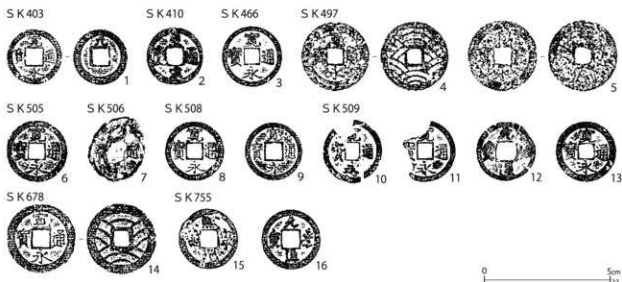
番号	種別	器種	法量	遺構	備考	図版
1	鉄製品	釘	長[8.2] 幅0.7 厚0.5 重13.3	SK391		
2	鉄製品	環釘	長6.1 幅0.2 厚0.5 重6.4	SK398		109-1
3	鉄製品	釘	長[8.3] 幅0.4 厚0.4 重11.3	SK398		
4	鉄製品	釘	長[5.2] 幅0.3 厚0.3 重2.6	SK398		
5	鉄製品	釘	長[7.5] 幅0.4 厚0.3 重3.7	SK398		
6	鉄製品	釘	長[7.3] 幅0.3 厚0.2 重2.5	SK398		
7	鉄製品	釘	長[7.6] 幅0.5 厚0.4 重6.7	SK403		
8	鉄製品	釘	長[3.5] 幅0.4 厚0.3 重2.1	SK403		
9	鉄製品	把手	縦0.7 横[7.0] 厚0.2 高3.5 重7.8	SK413		109-1
10	鉄製品	釘	長[9.7] 幅0.4 厚0.4 重6.9	SK417		
11	鉄製品	釘	長[5.5] 幅0.4 厚0.4 重3.2	SK417		
12	鉄製品	釘	長[3.4] 幅0.3 厚0.3 重1.5	SK417		
13	鉄製品	火箸	長[17.8] 幅0.5 厚0.5 重23.1	SK423		110-1
14	鉄製品	釘	長[4.3] 幅0.3 厚0.3 重1.2	SK427		
15	鉄製品	釘	長[6.6] 幅0.3 厚0.3 重4.2	SK427		
16	鉄製品	釘	長[11.0] 幅0.4 厚0.4 重11.3	SK429		
17	鉄製品	釘	長[6.2] 幅0.4 厚[0.3] 重9.2	SK429		
18	銅製品	簪	長11.5 幅0.9 厚0.2 重7.7	SK436		109-1
19	銅製品	煙管	長4.2 火皿径1.6 小径0.9 重5.9	SK456	雁首 藤字残存	109-2
20	鉄製品	把手	縦[4.0] 横[8.2] 厚0.4 重6.6	SK456	引出の把手	
21	鉄製品	釘	長[6.1] 幅1.0 厚0.5 重15.4	SK456		
22	鉄製品	火箸	長[8.0] 厚0.7 重16.8	SK456		
23	銅製品	簪	長[13.4] 厚0.3 重7.8	SK457		
24	鉄製品	銀先	縦[8.2] 横[13.5] 厚0.3 重180.6	SK457		109-1
25	銅製品	針金	縦[3.5] 横[3.1] 厚0.1 重0.6	SK466		
26	銅製品	針金	縦[3.4] 横2.2 厚0.1 重0.1	SK466		
27	鉄製品	釘	長[7.8] 幅1.0 厚0.4 重9.3	SK466		
28	鉄製品	釘	長[6.2] 幅0.4 厚0.4 重3.9	SK466		
29	鉄製品	不明	長[11.9] 幅0.4 厚0.4 重9.9	SK466		
30	鉄製品	不明	縦[2.0] 横[7.1] 厚0.2 重9.4	SK466		
31	銅製品	容器	縦[8.9] 横[7.2] 厚0.3 重86.1	SK469		109-1
32	鉄製品	火格子	縦[10.6] 横[13.2] 厚0.2 重213.4	SK469		110-3
33	鉄製品	火格子	縦17.2 横17.6 厚0.8 重534.5	SK469		110-3
34	銅製品	小柄	長[9.7] 幅1.4 最大厚0.5 重24.2	SK473	内部に鉄製の柄残存	109-1
35	銅製品	針金	縦[8.3] 横[5.4] 厚0.1 重1.3	SK473		
36	鉄製品	釘	長[6.1] 幅0.3 厚0.3 重4.2	SK473		
37	鉄製品	不明	縦[8.7] 横0.8 厚0.1 重6.0	SK473		
38	銅製品	針金	縦[5.8] 横[3.2] 厚0.1 重1.5	SK477		
39	銅製品	針金	縦[8.0] 横[3.7] 厚0.1 重1.4	SK477		
40	鉄製品	釘	長[6.2] 幅0.4 厚0.3 重3.4	SK477		
41	鉄製品	釘	長[6.7] 幅0.4 厚0.4 重3.3	SK477		
42	鉄製品	釘	長[7.7] 幅0.5 厚0.4 重7.0	SK477		
43	鉄製品	帯金具	長2.7 幅3.4 厚0.2 重5.9	SK477		109-1
44	鉄製品	帯金具	長4.5 幅4.5 厚0.2 重18.7	SK477		
45	鉄製品	釘	長6.6 幅0.4 厚0.3 重2.6	SK478		
46	鉄製品	釘	長7.9 幅0.3 厚0.3 重4.3	SK478		
47	鉄製品	釘	長[5.5] 幅0.4 厚0.3 重3.0	SK478		
48	鉄製品	釘	長4.7 幅0.3 厚0.3 重1.5	SK478		
49	鉄製品	釘	長[4.3] 幅0.3 厚0.4 重2.3	SK478		
50	鉄製品	釘	長[5.0] 幅0.4 厚0.4 重3.1	SK478		
51	鉄製品	鋸	長[6.0] 幅0.7 厚0.2 重6.4	SK480		
52	銅製品	針金	縦[3.5] 横[2.4] 厚0.1 重1.2	SK496		
53	銅製品	針金	縦[2.7] 横[2.6] 厚0.1 重0.7	SK496		
54	鉄製品	鎌	長[14.6] 刃幅4.5 背幅0.5 重71.1	SK497	目釘あり 柄の木質残存	109-1
55	銅製品	輪金具	径3.8 厚0.3 重6.3	SK497		
56	銅製品	輪金具	縦4.8 横4.4 厚0.35 重9.9	SK497		

番号	種別	器種	法量	遺構	備考	図版
57	銅製品	輪金具	縦5.0 横4.8 厚0.4 重13.7	SK497		109-1
58	銅製品	輪金具	縦最大6.2 横4.0 厚0.4 重14.2	SK497		
59	銅製品	輪金具	縦4.6 横[2.6] 厚0.3 重4.8	SK497		
60	銅製品	輪金具	縦[3.1] 横[1.2] 厚0.3 重1.6	SK497		
61	鉄製品	杵子	縦8.9 横[10.4] 厚0.3 重94.0	SK501		109-1
62	鉄製品	釘	長4.0 幅0.25 厚0.25 重14.8(合計)	SK501	木栓に打ち込んだ釘	
63	銅製品	柄鉤	長11.0 鏡面 径6.4 厚0.15 柄 幅1.3 厚0.1	SK505	南天鏡 「人見重次作」銘あり	110-6
64	銅製品	小柄	長[13.8] 幅1.4 厚0.4 重36.2	SK509	鉄製の柄へ刀残存	109-1
65	鉄製品	毛抜き	長9.0 幅0.1 厚0.5 重6.3	SK509		109-1
66	鉄製品	不明	縦[2.9] 横[4.2] 幅0.3 厚0.8 重10.0	SK509	把手か	
67	銅製品	煙管	長5.5 火皿縦[1.4] 横[1.4] 小口径1.1 重7.4	SK678	雁首	109-2
68	銅製品	煙管	長10.0 小口径1.0 口径径0.4 重8.5	SK678	吸口 羅字残存	109-2
69	鉄製品	不明	縦[6.4] 横[10.6] 厚0.4 重85.7	SK678		
70	鉄製品	不明	縦[3.2] 横[6.9] 厚0.2 重12.9	SK678		
71	鉄製品	吊金具	縦5.6 横[4.4] 厚0.5 重12.5	SK678		
72	鉄製品	針	長13.9 厚0.4 重5.6	SK680		
73	鉄製品	釘	長[7.0] 幅0.4 厚0.4 重3.7	SK680		
74	鉄製品	火箸	長[13.0] 厚0.6 重15.9	SK681		
75	鉄製品	火打金	長[2.0] 幅[5.3] 厚0.3 重12.3	SK682		
76	鉄製品	火打金	長[2.2] 幅[7.9] 厚0.3 重18.9	SK689		109-1
77	鉄製品	火格子	縦[3.3] 横[4.0] 最大厚1.1 重37.3	SK690		
78	鉄製品	釘	長[12.5] 幅0.9 厚0.5 重24.2	SK690		
79	鉄製品	火打金	長[1.9] 幅[5.9] 最大厚0.3 重7.8	SK691		
80	鉄製品	鍋	縦[5.0] 横[7.2] 最大厚0.4 重44.5	SK695		109-1
81	鉄製品	刃物	長[15.0] 刃長[11.3] 刃幅4.7 背幅0.4 重52.0	SK695	陰刻文様	109-1
82	銅製品	金剛	縦[8.5] 横[2.3] 厚0.1 重5.9	SK699		109-1
83	銅製品	煙管	長4.0 火皿縦1.5 横1.6 小口径1.2 横1.0 重7.5	SK700	雁首 羅字残存	109-2
84	銅製品	煙管	長8.2 小口径1.0 横1.1 口径径0.5 重9.6	SK700	吸口 83と同一個体か	109-2
85	銅製品	煙管	長10.6 小口径1.1 横1.0 口径径0.5 重13.5	SK700	吸口 羅字残存	109-2
86	銅製品	不明	長[7.4] 幅0.6 厚0.5 重11.6	SK701		
87	銅製品	雁首銭	径1.9×2.4 厚0.2 重1.4	SK702		
88	銅製品	不明	長[2.7] 厚0.1 重0.3	SK704	釣針か	109-1
89	鉄製品	帯金具	縦3.5 横5.9 最大厚0.5 重14.8	SK704		
90	鉄製品	釘	長[6.5] 幅0.4 厚0.3 重4.5	SK704		
91	鉄製品	釘	長[7.5] 幅0.3 厚0.3 重3.3	SK704		
92	鉄製品	釘	長[7.2] 幅0.4 厚0.4 重4.3	SK704		
93	鉄製品	釘	長[2.7] 幅0.2 厚0.2 重1.0	SK704		
94	鉄製品	釘	長[5.3] 幅0.3 厚0.3 重6.5	SK704		
95	鉄製品	釘	長[7.7] 幅1.4 厚0.9 重34.5	SK722		
96	銅製品	煙管	長[3.7] 火皿縦1.8 横0.2 小口径0.9 重4.6	SK736	雁首	109-2
97	鉄製品	鍔	長[6.6] 幅[1.3] 最大厚0.3 重4.4	SK744		109-1
98	鉄製品	不明	長[4.3] 横1.0 厚0.3 重7.8	SK750		
99	銅製品	縁	縦4.0 横2.5 幅0.7 厚0.1 重7.5	SK757	花文陰刻	109-1
100	銅製品	煙管	長4.3 火皿径1.7 小口径2.1 重16.2	SK757	雁首	109-2

第721号土壌 (第272図)

D6-A8グリッドから検出された平面柄鉤形の土壌である。第604号建物跡の記述で触れたように焼土遺構と類似するが、被熱痕跡はまったく認められない。長さ2.30m、幅1.79mで、主軸方向はN-60°-Eである。覆土中層に粘土が貼られたような層(第4層)があり、以下は互層状に炭

化物の薄層が認められた。粘土層以下は下部構造(掘方)の可能性があり、防湿を意図した構造ではないかとの印象を受けた。舌状張り出し部の基部には石が片側2個ずつ配されているが、これは粘土層より下部に据えられていた。遺物は極めて少なく、17世紀代の陶磁器細片が僅かに出土したのみである(第302図705・706)。



第329図 土坑出土遺物(54)

第82表 土坑出土遺物観察表(6)(第329図)

番号	種別	器種	法量	遺構	備考	図版
1	銅製品	銭貨	径22.1 厚0.9 重1.8	SK403	寛永通宝(新) 背元	
2	銅製品	銭貨	径23.0 厚1.1 重2.5	SK410	皇宋通宝	
3	銅製品	銭貨	径24.1 厚1.2 重3.5	SK466	寛永通宝(古)	
4	銅製品	銭貨	径27.5 厚1.4 重4.3	SK497	寛永通宝 西文銭(裏渡・11 渡)	
5	銅製品	銭貨	径28.2 厚1.4 重4.4	SK497	寛永通宝 西文銭(裏渡)	
6	銅製品	銭貨	径24.8 厚1.0 重2.7	SK505	寛永通宝(古)	
7	銅製品	銭貨	径26.3 厚5.0 重3.6	SK506	寛永通宝 被熱	
8	銅製品	銭貨	径23.7 厚0.9 重2.1	SK508	寛永通宝(古)	
9	銅製品	銭貨	径22.9 厚0.8 重2.3	SK508	寛永通宝(新)	
10	銅製品	銭貨	径25.4 厚1.2 重1.9	SK509	寛永通宝(古)	
11	銅製品	銭貨	径24.7 厚1.2 重1.7	SK509	寛永通宝(古)	
12	銅製品	銭貨	径23.8 厚1.0 重2.1	SK509	元祐通宝	
13	銅製品	銭貨	径24.0 厚1.1 重2.3	SK509	寛永通宝(古)	
14	銅製品	銭貨	径28.0 厚1.1 重4.5	SK678	寛永通宝 西文銭(裏渡)	
15	銅製品	銭貨	径24.1 厚1.0 重1.8	SK755	順寧元宝	
16	銅製品	銭貨	径23.9 厚0.9 重2.4	SK755	元豊通宝	

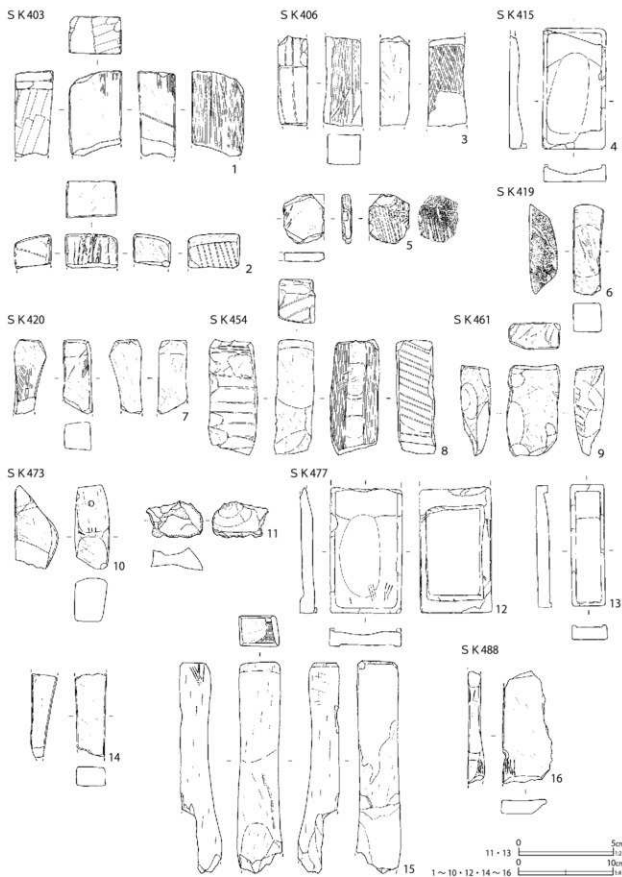
第725号土坑(第272図)

D6-B8グリッドに位置する円形の土坑で、厚手のかわけ(第303図720~727)がまとめて出土した。第303図717に示した瀬戸美濃系陶器腰鉋碗が最新期の遺物で、鉄軸部に光沢は無い。18世紀前半に遡り得る遺構である。

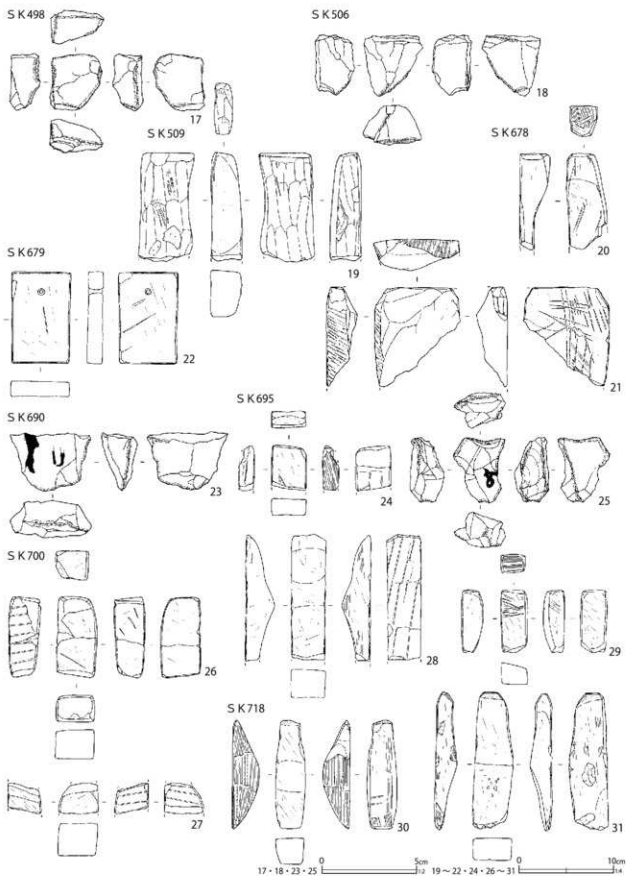
第755号土坑(第274図)

D6-B8・9グリッドに位置する不整楕円形の土坑であり、第732・731・757号土坑と重複する。各遺構の土層が以通っており重複関係の把握が難しかったが、出土遺物も勘案して全ての土坑より古いと捉えた。栗橋宿本陣跡でも最も古い遺物様相を示す遺構である。第306図に陶磁器を示

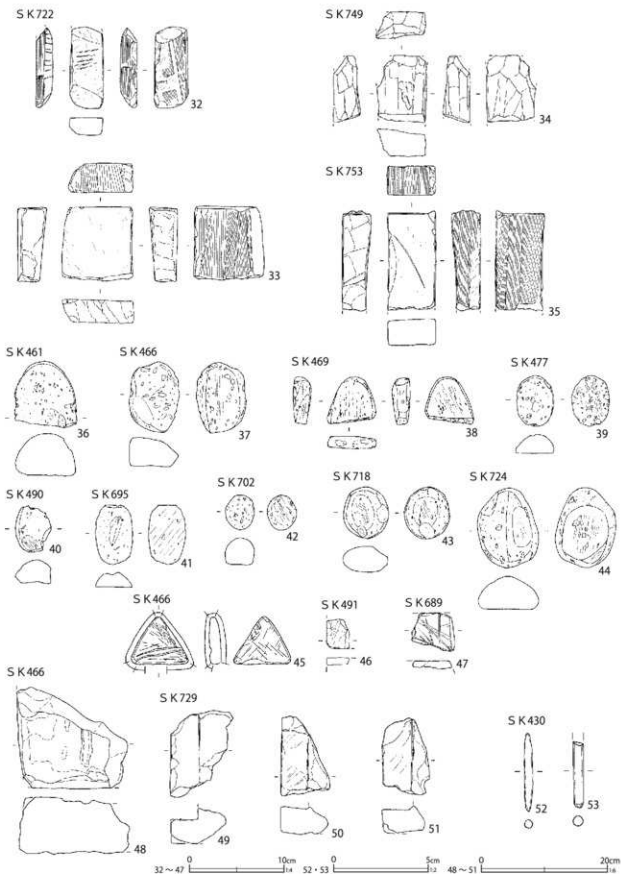
す。795は唯一の磁器で漳州窯系である。796・797は所謂志野皿、799は所謂志野織部皿である。798は灰釉で見込みの蛇の目状軸刺部が盛り上がる。800は常滑壺、801はへら記号のある備前焼瓶類で、第732号土坑にいくつかの破片が混在していた。805は雲母を多量に含む常陸系土器の播鉢で内面播目は剥落が顕著である。片口と対称の位置に焼成前穿孔が、口縁部内面にへら記号が認められる。以上の陶磁器・土器は煤の付着が顕著で、被熱しているものと考えられる。陶磁器から17世紀前葉に帰属する遺構と考えられる。このほか、銭貨2点(第329図15・16)が出土しており、いずれも渡来銭であった。



第 330 図 土壌出土遺物 (55)



第 331 図 土壙出土遺物 (56)



第 332 図 土壇出土遺物 (57)

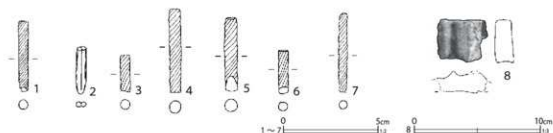
第83表 土壌出土遺物観察表(7)(第330～332図)

番号	種別	器種	長さ	幅	厚さ	重さ	石材	遺構	備考	図版
1	石製品	砥石	[9.0]	5.5	4.0	355.1	流紋岩	SK403	使用面2 平ノミ・ノコギリ痕	113-2
2	石製品	砥石	[3.6]	5.5	3.9	135.3	流紋岩	SK403	使用面3 幅広い工具痕 刃物傷多い	113-2
3	石製品	砥石	9.5	4.1	3.0	216.1	流紋岩	SK406	使用面1 平ノミ・ノコギリ痕 被熱し赤化	113-2
4	石製品	硯	[12.7]	6.6	1.8	194.0	ホルンフェルスか	SK415	墨堂は深い	114-2
5	石製品	砥石	[5.3]	[4.3]	1.0	32.0	粘板岩	SK415	裏面幅広い工具痕 円板状に再加工か	113-2
6	石製品	砥石	9.6	3.0	3.0	136.1	流紋岩	SK419	使用面3 幅広い工具痕か	113-2
7	石製品	砥石	[7.8]	3.0	3.4	104.2	流紋岩	SK420	使用面4 櫛歯状痕 刃物傷	113-2
8	石製品	砥石	[12.0]	[4.0]	[5.1]	[415.8]	流紋岩	SK454	使用面1 幅広い工具・ノコギリ痕	113-2
9	石製品	砥石	9.6	5.4	3.2	232.9	粘板岩	SK461	使用面3 幅広い工具痕	113-2
10	石製品	砥石	[8.9]	3.7	4.6	180.2	流紋岩	SK473	穿孔 刃物傷	113-2
11	石製品	火打石	1.9	3.0	1.1	6.2	玉髄	SK473		114-2
12	石製品	硯	[13.3]	7.5	[1.7]	297.0	粘板岩	SK477	両面加工	114-2
13	石製品	硯	6.4	1.8	[0.7]	18.0	粘板岩	SK477	使用面なし 墨堂見られない	114-2
14	石製品	砥石	8.8	3.3	2.7	109.9	流紋岩	SK477		113-2
15	石製品	砥石	22.4	4.7	3.2	596.0	粘板岩	SK477	ノコギリ痕 刃物傷	113-2
16	石製品	砥石	11.9	5.2	1.7	128.1	粘板岩	SK488	側面に平円形孔 使用面3 刃物傷	113-2
17	石製品	火打石	3.0	2.8	1.6	16.6	玉髄	SK498		114-2
18	石製品	火打石	3.2	3.1	2.1	20.8	玉髄	SK506	使用は部分的	114-2
19	石製品	砥石	11.5	5.7	3.2	375.0	流紋岩	SK509	使用面1 丸ノミ痕 刃物傷	113-2
20	石製品	砥石	[10.2]	4.1	3.2	170.4	粘板岩	SK578	使用面4 完形 幅広い工具痕 刃物傷	113-3
21	石製品	砥石	[10.5]	9.1	[3.3]	[302.0]	ホルンフェルス	SK578	使用面1 幅広い工具・ノコギリ痕 刃物傷	113-3
22	石製品	砥石	9.7	6.2	1.6	158.9	砂岩	SK679	穿孔 粗砥	113-3
23	石製品	火打石	3.1	4.3	1.9	22.8	玉髄	SK690	墨書あり 側縁下端部は使用により丸み帯びる	114-2
24	石製品	砥石	[4.7]	3.7	1.7	[48.9]	流紋岩	SK695	使用面3	113-3
25	石製品	火打石	3.4	2.7	1.8	15.4	玉髄	SK695	墨痕あり 稜の再生後打面使用	114-2
26	石製品	砥石	8.5	4.2	3.3	194.0	流紋岩	SK700	使用面4 完形 幅広い工具痕 刃物傷	113-3
27	石製品	砥石破片	3.2	4.2	3.6	66.5	流紋岩	SK700	使用面2 幅広い工具痕	113-3
28	石製品	砥石	13.4	3.6	3.0	208.4	流紋岩	SK700	使用面3 平ノミ・櫛歯状痕	113-3
29	石製品	砥石	6.6	2.8	2.3	67.0	流紋岩	SK700	使用面4 ノコギリ痕 刃物傷	113-3
30	石製品	砥石	11.5	3.2	2.8	130.1	流紋岩(紙沢)	SK718	使用面2 完存 櫛歯状痕	
31	石製品	砥石	14.5	4.1	2.3	187.3	流紋岩(紙沢)	SK718	使用面4 完存 櫛歯状痕	113-3
32	石製品	砥石	8.5	3.5	1.8	82.0	流紋岩(紙沢)	SK722	使用面1 櫛歯状痕	113-3
33	石製品	砥石	7.8	7.4	3.0	329.7	ホルンフェルス	SK722	使用面1 完存 ノコギリ痕 被熱	113-3
34	石製品	砥石	[7.1]	5.2	2.8	132.5	火成岩	SK749	使用面なし 被熱か	113-3
35	石製品	砥石	[10.3]	5.0	3.0	301.1	流紋岩(紙沢)	SK753	使用面1 ノコギリ・平ノミ痕	113-3
36	石製品	磨石	[7.0]	[6.5]	[4.4]	[87.3]	角閃石ダイサイト	SK461	一部に擦痕	111-1
37	石製品	磨石	7.5	5.4	3.1	28.6	角閃石ダイサイト	SK466	擦痕	111-1
38	石製品	磨石	5.0	5.3	2.0	25.4	角閃石ダイサイト	SK469	良い使い込む 両面に擦痕	111-1
39	石製品	磨石	5.4	4.0	2.0	11.8	角閃石ダイサイト	SK477	背面に擦痕有	111-1
40	石製品	磨石	[5.0]	[3.9]	[2.5]	[25.4]	角閃石ダイサイト	SK490	部分的に擦痕	111-1
41	石製品	磨石	6.2	4.0	1.5	21.1	角閃石ダイサイト	SK695	片面(平らな面)擦痕	111-1
42	石製品	磨石	3.6	3.2	2.8	16.2	角閃石ダイサイト	SK702	擦痕	111-1
43	石製品	磨石	5.5	4.8	2.7	33.1	角閃石ダイサイト	SK718	両面に擦痕	111-1
44	石製品	磨石	8.5	6.5	4.5	114.6	角閃石ダイサイト	SK724	両面に擦痕	111-1
45	土製品	砥具	6.0	5.0	1.2	30.0	胎土 C	SK466	互転用	113-7
46	土製品	砥具	[3.1]	[2.4]	[0.7]	8.1	胎土 I	SK491	灰白 使用面3面遺存 互転用	114-3
47	土製品	砥具	[4.0]	[4.5]	[0.9]	12.7	胎土 AK	SK689	灰白 表面刃物傷 互転用 二側面・裏面遺存	114-3
48	石製品	石材	[17.6]	[16.3]	高9.2	1987.0	凝灰岩(大谷石)	SK466	切石材 表裏に僅かにツルハシ状工具痕 煤付着	113-6
49	石製品	石材	[13.8]	[10.1]	[5.7]	401.0	凝灰岩(大谷石)	SK729	平坦面に僅かに平ノミ状工具痕 固化個体を含め8破片あり	114-4
50	石製品	石材	[12.8]	[7.9]	[4.5]	328.0	凝灰岩(大谷石)	SK729	平坦面に僅かに平ノミ状工具痕	114-4
51	石製品	石材	[12.2]	[7.5]	—	287.0	凝灰岩(大谷石)	SK729	平坦面に僅かに平ノミ状工具痕	114-4
52	石製品	石筆	4.1	0.5	0.4	1.3	滑石	SK430	両端が尖る	
53	石製品	石筆	[3.4]	0.6	0.6	2.6	滑石	SK430		

SK488 SK690

SK700

SK430



第333図 土壇出土硝子製品 (58)

第84表 土壇出土遺物観察表 (8) (第333図)

番号	種別	器種	長さ	幅	厚さ	重さ	遺構	備考	図版
1	硝子製品	筭	[3.7]	0.5	0.5	2.1	SK488	中実 白濁特に強い 透明 らせん状に細い刻み	114-5
2	硝子製品	筭	[2.5]	0.5	0.3	0.8	SK690	中実 透明	114-5
3	硝子製品	筭	[2.0]	0.5	0.5	1.6	SK690	中実 透明 らせん状に細い刻み	114-5
4	硝子製品	筭	[4.4]	0.6	0.6	4.4	SK690	中実 透明 らせん状に細い刻み	114-5
5	硝子製品	筭	[3.6]	0.6	0.6	4.2	SK690	中実 透明 らせん状に細い刻み	114-5
6	硝子製品	筭	[2.3]	0.5	0.5	1.4	SK690	中実 透明 らせん状に細い刻み	114-5
7	硝子製品	筭	[4.2]	0.5	0.5	2.4	SK700	棒状 らせん状に細い刻み 下方に向い僅かに細くなる 表面白濁 透明	114-5
8	土製品	土壁材	[3.5]	[3.9]	[1.7]	—	SK430	灰白色 木舞状の痕跡	

以上に挙げた以外にも注目される土壇と出土遺物があるが、詳細は各図版と観察表を参照されたい。

(8) ビット (第264・334図)

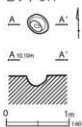
ビットは2基検出されたが、他の遺構との関連性は捉えられなかった。位置、規模等の基本的な情報は第85表に、遺構図と出土遺物は第334図に示す。なお、第315号ビットの遺構図については、重複する第429号土壇とともに第264図に示す。

第85表 第二面ビット一覧表

単位: m

番号	グリッド	平面形	長軸	短軸	深さ	備考
311	C6-H4	円形	0.34	0.28	0.16	
315	C6-G6	円形	0.37	0.33	0.20	SK429より古

ビット 311



ビット 315



第334図 ビット・出土遺物

第86表 ビット出土遺物観察表 (第334図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考
1	かわらけ	小皿	(9.1)	[1.8]	—	ACK	20	良好	にびい橙	P315	胎土粉質 硬質

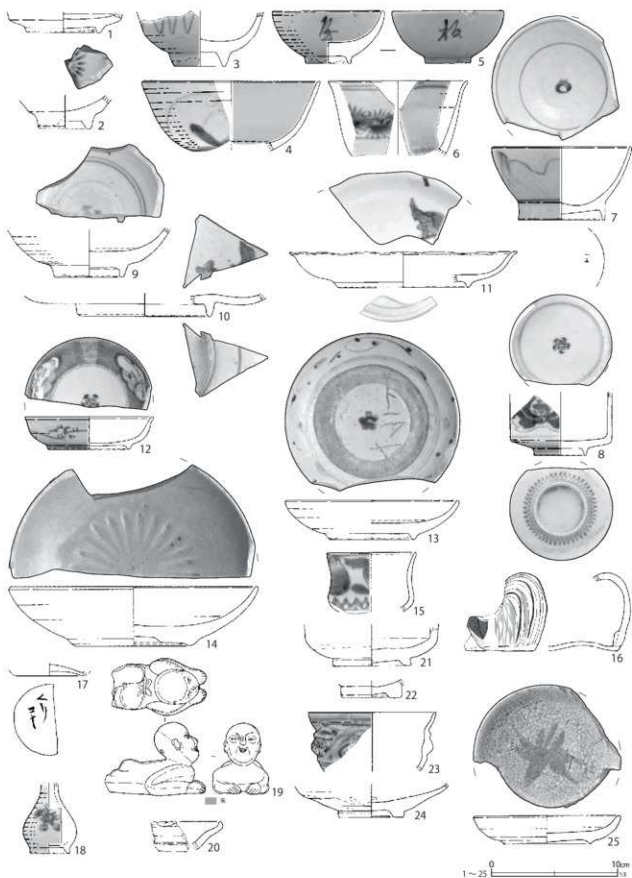
(9) グリッド出土遺物

第335～340図に第二面までの掘削時、あるいは遺構確認作業に伴って出土した遺物を示した。

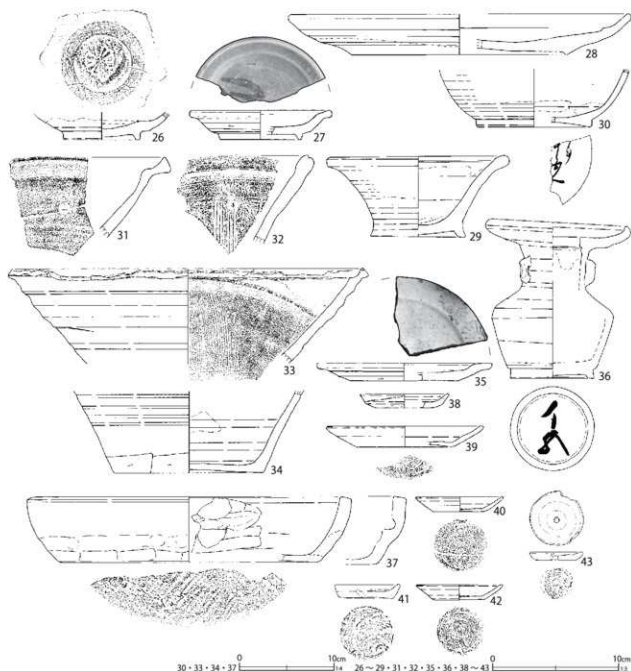
第335・336図は陶磁器である。

1～14は肥前系磁器の碗・皿類で、1・2・3・6・10は17世紀代に遡るものである。5は「板屋」染付銘の小碗である。11は薄手でやや質の良い皿である。4・9は大振りの碗で、いずれも内面見込み部は蛇の目状釉刺される。13は「トラヤ」釘書き銘を持つ皿である。同様の皿は、第一面グリッド (第226図18)、第700号土壇 (第298図605) から出土している。8・12は染付に上絵付が施される筒形碗と皿である。14は肥前佐佐見系の青磁皿で内面に菊花状文が陰刻される。16は色絵の磁器水滴と考えられ、鶏を象る。

20～36は陶器である。20・21・24は肥前系陶器で17世紀前半の製品と考えられる。20は折縁の小皿、21は腰が張る碗、24は見込部に目跡(砂目)が確認される。25～27は17世紀代の瀬



第 335 図 グリッド出土遺物 (1)



第336図 グリッド出土遺物（2）

戸美濃系陶器の小皿類である。22は天目茶碗底部と考えられるが、高台が幅広である。23は大堀相馬系の碗である。31～33は播鉢で、31・33が瀬戸美濃系、32は丹波系である。いずれも17世紀のものである。33は口縁部に二次叩打痕が顕著である。34は壺甕類と考えられる。胎土から丹波系と推定した。内面には赤く鉄化粧状の塗付物が認められる。

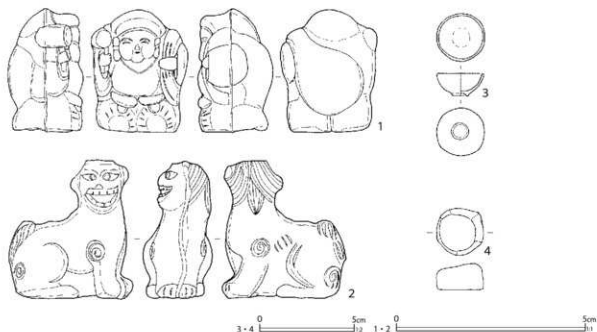
37～43は土器類である。37は金雲母を多量に含む常陸系の土器焙烙で、内耳の位置がやや高い。38は手づくねのかわけで、胎土は粗い。39はやや大振りのかわりけで、器壁は薄く、器形は江戸在地系土器に準ずる。このタイプのものは栗橋宿跡ではほとんど出土していない。40・42は薄手のかわりけで江戸在地系のものと類似する。43は底部中央に穿孔がある。

第87表 グリッド出土遺物観察表(1)(第335～336図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	遺構	備考	
1	磁器	碗	—	[1.7]	5.6	—	20	良好	白	C6-G6	肥前系 施軸 高台畳付砂付着	
2	磁器	碗	—	[2.7]	4.0	—	10	良好	灰白	C6-G6	肥前系 施軸 (外面青磁軸) 内面染付	
3	磁器	碗	—	[4.0]	4.0	—	30	良好	灰白	C6-H5	肥前系 施軸 (底部露胎) 外面染付	
4	磁器	碗	(13.8)	[5.5]	—	—	25	良好	灰白	確認面	肥前系 施軸・染付 内面蛇の目状軸刺	
5	磁器	碗	8.5	4.2	3.4	—	100	普通	灰白	C6-J7	肥前系 施軸 外面染付「板紙」	93-13
6	磁器	碗	(10.8)	[5.9]	—	—	10	良好	灰白	掘削面	肥前系 施軸・染付	
7	磁器	碗	(10.8)	5.8	6.6	—	65	良好	灰白	二面上	肥前系 施軸・染付 焼練痕・焼練印(赤)	94-14
8	磁器	碗	—	[5.0]	4.0	—	55	良好	白	C6-H5	肥前系 施軸・染付 外面色絵	93-14
9	磁器	碗	—	[3.8]	5.4	—	15	良好	白	確認面	肥前系 施軸・染付 内面蛇の目状軸刺	
10	磁器	皿	—	[1.8]	(10.2)	—	5	良好	白	D6-A7	肥前系 施軸・染付	
11	磁器	皿	(18.0)	2.8	(10.2)	—	15	良好	灰白	D6-B10	肥前系 施軸・染付	
12	磁器	皿	(10.0)	2.6	6.2	—	45	良好	灰白	C6-H5	肥前系 施軸・染付 外面色絵 漆練痕	93-12
13	磁器	皿	13.4	3.1	6.5	—	85	良好	白	D6-B10	肥前系 施軸 内面染付 釘書「トラヤ」 煤付着	94-15
14	磁器	皿	(19.4)	4.7	(8.8)	—	45	良好	灰白	C6-H7	肥前系 青磁軸 内面陰刻状花文	
15	磁器	蓋物	(7.0)	[4.7]	—	—	25	良好	白	D6-A9	肥前系 施軸 外面染付	
16	磁器	水漬	—	6.2	—	—	15	良好	白	C6-H5	肥前系 型成形 底部内外面布圧痕 外面施軸・色絵	
17	磁器	燗徳利	—	[0.9]	(5.3)	—	5	良好	白	D6-B9	瀬戸美濃系 外面施軸 墨書「くり/こ な」焼練印(赤)	94-16
18	磁器	徳利	—	[5.6]	3.0	—	95	良好	灰白	確認面	肥前系 施軸・染付	
19	磁器	童人形	高 [4.6] 長 8.0 重 78.5	幅 4.5	—	—	80	良好	白	確認面	瀬戸美濃系 外面施軸・上絵付	
20	陶器	皿	—	[2.2]	—	IK	5	良好	褐灰	D6-B8	肥前系 施軸 内底面沈線	
21	陶器	碗	—	[3.3]	6.0	IK	20	良好	灰白	D6-B10	瀬戸美濃系 鉄軸	93-15
22	陶器	碗	—	[1.4]	4.6	K	80	良好	灰白	C6-16	瀬戸美濃系 鉄軸 天目茶碗の可能性あり	94-1
23	陶器	碗	(10.0)	[4.7]	—	IK	20	良好	灰白	D6-A8	大塚組馬系 施軸	
24	陶器	皿	—	[2.7]	5.0	K	90	良好	灰黄	確認面	肥前系 施軸 内面目跡5(砂目)	94-2
25	陶器	皿	11.4	2.2	6.7	GH	60	良好	灰白	C6-H7	瀬戸美濃系 長石軸 内面陰絵	
26	陶器	皿	—	[2.2]	6.0	K	70	良好	灰白	D6-A8	瀬戸美濃系 長石軸 内面陰刻菊文	
27	陶器	皿	(10.8)	2.3	(6.4)	EK	35	良好	灰白	確認面	瀬戸美濃系 内面鉄軸・鉄線 口縁部銅 緑軸	
28	陶器	皿	(26.4)	3.2	(19.0)	EIK	20	良好	灰黄	確認面	瀬戸美濃系 鉄軸 底部拭き取り 目跡 内面ピン痕	
29	陶器	燗徳利	(13.8)	6.4	7.4	DEH	70	良好	灰白	確認面	瀬戸美濃系 鉄軸	
30	陶器	こね鉢	—	[6.2]	(11.7)	I	5	良好	灰白	C6-H6	瀬戸美濃系 灰軸 内面目跡 墨書「コ ノ十五人」	94-17
31	陶器	播鉢	—	[6.3]	—	EK	5	良好	灰白	D6-A8	瀬戸美濃系 精軸	
32	陶器	播鉢	—	[7.0]	—	EIK	5	良好	にぶい赤褐	C6-G5	丹波系 内面播目	
33	陶器	播鉢	(37.4)	[10.1]	—	HIK	20	良好	灰白	D6-B8	瀬戸美濃系 精軸 内面播目 口縁部二次使用(叩打・研磨)	
34	陶器	甕か	—	[8.7]	(15.6)	DEH	25	良好	淡黄	D6-A8	丹波系か 内面鉄化粒状に赤い 外面自然粒か	94-3
35	陶器	蓋	(13.6)	1.4	(8.4)	DE	20	良好	灰白	確認面	瀬戸美濃系 外面灰軸・擦絵	
36	陶器	花生	10.6	12.4	6.5	IK	100	良好	浅黄橙	二面上	瀬戸美濃系 外面灰軸 墨書「イ五」	94-18
37	土師質土器	焙烙	(32.2)	7.0	(27.4)	AEIK	20	普通	にぶい赤褐	C6-H6	底部スノコ状圧痕 外面煤付着	
38	かわらけ	小皿	(6.8)	1.1	(4.0)	CDKH	20	普通	橙	確認面	非クロコ成形	
39	かわらけ	小皿	(12.0)	1.7	(7.3)	CI	35	普通	灰白	D6-A9	底部糸切痕(左)	
40	かわらけ	小皿	6.7	1.2	4.2	ACEH	95	普通	にぶい橙	D6-A9	底部糸切痕(左) 胎土粉質	
41	かわらけ	小皿	5.2	1.1	4.3	ACI	100	良好	にぶい黄橙	確認面	底部糸切痕(右) 胎土粉質	
42	かわらけ	小皿	6.6	1.2	3.8	AHIK	90	普通	にぶい橙	D4-A9	底部糸切痕(左) 胎土粉質	
43	かわらけ	小皿	4.2	0.7	—	AHI	95	良好	橙	確認面	底部糸切痕・穿孔 胎土粉質	

第337図には、土製品の人形、極小の磁器、瓦
転用品を一括して示す。1は大黒を象る土製品の
人形で、ほぼ完存する。中実と思われる。2は京

都信楽系の人形で、狛犬を象る。やはり中実と思
われる。3は極小の磁器坏で、紅坯とされるもの
である。4は瓦を転用した円盤状の製品で、側面



第337図 グリッド出土遺物(3)

第88表 グリッド出土遺物観察表(2)(第337図)

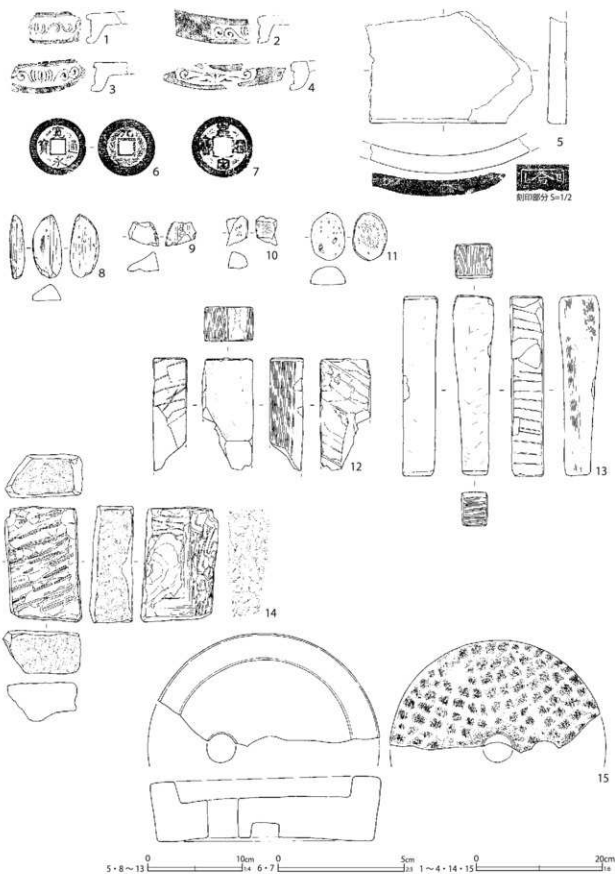
番号	種別	器種	幅	長さ	厚さ	重さ	胎土	焼成	色調	遺構	備考	図版
1	土製品	人形	2.6	3.3	2.0	12.7	AH1	良好	橙	C6-F6	大黒 前後合型成形 中実 江戸在地系	97-16
2	土製品	人形	3.2	3.6	1.8	14.7	—	良好	灰白	C6-F6	狛犬 合型成形 中実 京都系	97-17
3	磁器	坏	2.6	1.2	0.8	2.7	—	良好	白	表採	缸坏 施釉	—
4	瓦製品	転用品	径2.5	厚1.0~1.4	7.2	—	—	—	—	C6-G5	叩打後に裏面・側縁弱く研磨	114-3

は叩打の後、一部を研磨する。表面は瓦の当初の面を残し、裏面は破面を一部研磨する。研磨は整形、調整痕か、あるいは砥面としての利用か判断し難い。

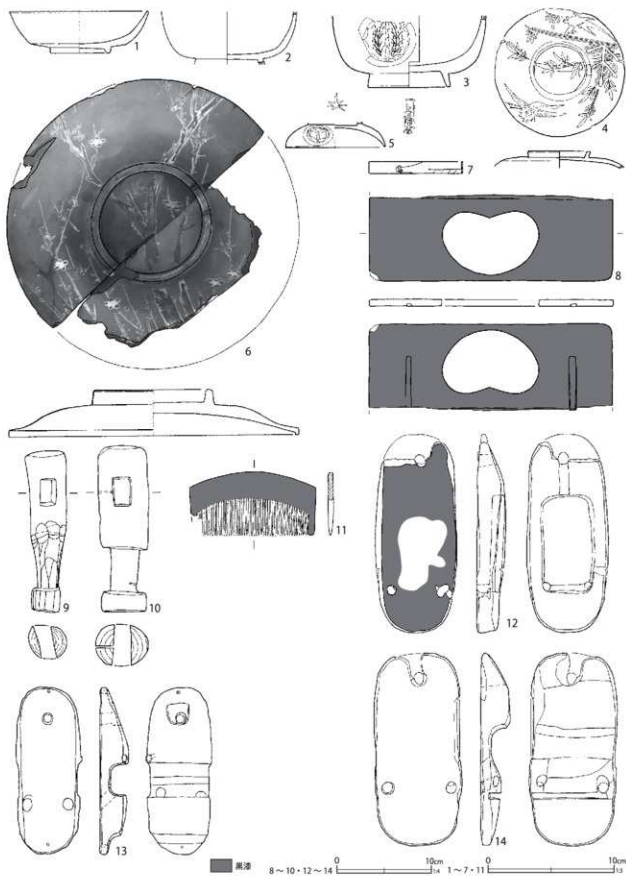
第338図には瓦類・銭貨・石製品を一括して示す。1～5は瓦で、1～4は軒瓦、5は刻印のある平瓦(ないし棧瓦)である。2・3は中心飾り両側の子葉が大きく渦を巻き、第477・695号土壇の瓦当文(第308図11・17)と類似する。5の刻印は、第一面の第667号土壇の刻印(第199・200図139～146)と同じものである。6・7は銭貨である。6は寛永通宝で背文文字「元」、7は皇宋通宝である。8～15は石製品である。8～11は角閃石デイスサイト製の磨石である。根根川流域の中～近世遺跡から多く出土するが、詳細な用途は不明である。12・13は砥石で、ノコギリ状工具痕と刃幅の広い工具による加工痕が認められ

る。14は切石材で全面に加工痕がある。刃幅の広いチョウナ状の工具とツルハシ状工具、さらに研磨痕も認められる。15は安山岩製石臼だが、下面の目が格子状で特異である。

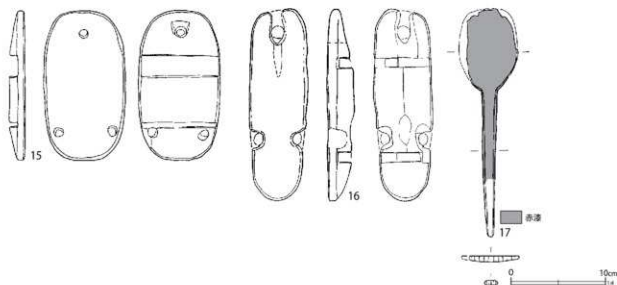
第339・340図には木製品を示す。9・10はクルリボウ部材と考えられる。「クルリボウ」は「フリボウ」ともよばれ、脱穀や麦打ちに用いる民具の地方名である。『広辞苑』では「からざお」の呼び名で「穀竿・連枷」の漢字が当てられている。埼玉県内の民具例については、大館勝治氏により集成され、基礎的な分析が行われている(大館1986)。大館氏は県内全域の事例を集成し、形態的特徴からA～D型の4つに分類した。この4分類の各所を照らし合わせてみると、広辞苑で「柁(くくる)」と説明されている部位に該当するものとみられる。現状ではこれらを脱穀や麦打ちに用いた「穀竿」の一部材と考えておく。



第 338 図 グリッド出土遺物 (4)



第339図 グリッド出土遺物(5)



第340図 グリッド出土遺物(6)

第89表 グリッド出土遺物観察表(3)(第338図)

番号	種別	器種	長さ	幅	厚さ	重さ	色調/石材	遺構	備考	図版
1	瓦	軒椀瓦	[5.5]	[8.4]	1.9	—	色調: にぶい黄緑	C6-F5	胎土EH	
2	瓦	軒椀瓦か	[6.6]	[13.0]	1.5	—	色調: 灰	C6-H7	高[4.9] 表面光沢あり 胎土EH	
3	瓦	軒椀瓦	[9.6]	[13.2]	2.0	—	色調: 灰	C6-18	高[4.6] 胎土EH	
4	瓦	軒椀瓦	[3.1]	[19.5]	(1.6)	—	色調: 褐灰	D6-B9	高[5.2] 表面光沢あり 胎土AK	
5	瓦	平瓦	[11.7]	[17.7]	1.8	—	色調: 灰	D6-B10	刻印あり 胎土EK	
6	銅製品	銭貨	径22.9	—	1.0	2.4	—	C6-18	寛永通宝(新) 背元	
7	銅製品	銭貨	径22.9	—	1.0	2.4	—	二面一括	皇宋通宝	
8	石製品	磨石	6.7	2.2	1.7	13.2	角閃石ダイサイト	D6-A7	磨痕	111-1
9	石製品	磨石	[2.5]	[3.2]	[1.5]	5.7	角閃石ダイサイト	C6-17	磨痕	111-1
10	石製品	磨石	[3.0]	[2.3]	[1.7]	4.1	角閃石ダイサイト	C6-17	磨痕	111-1
11	石製品	磨石	5.0	3.8	2.0	21.3	角閃石ダイサイト	D6-B10	磨痕	111-1
12	石製品	砥石	[11.9]	5.4	3.6	353.4	流紋岩	C6-F5	使用面1 幅広工具・ノコギリ痕	
13	石製品	砥石	19.0	4.3	3.6	495.2	流紋岩	C6-F6	使用面3 幅広工具・ノコギリ痕	
14	石製品	切石材	18.5	11.6	6.8	1983.0	砂岩	C6-H7	ツルハシ状・チョウナ状工具痕	
15	石製品	石臼	径34.0	—	高9.4	7700.0	安山岩	C6-G6	上臼 芯受・供給孔各1 目が格子状	114-1

第90表 グリッド出土遺物観察表(4)(第339～340図)

番号	種別	器種	長さ	幅	厚さ	口径/径	高さ	底径	遺構	備考	図版
1	木製品	漆碗	—	—	—	10.8	3.3	4.7	C6-G6	内外面黒漆 割れ口欠化	
2	木製品	漆碗	—	—	—	—	[4.2]	—	D6-B9	内面赤漆 外面黒漆	
3	木製品	漆碗	—	—	—	—	[5.8]	6.5	C6-G6	内面赤漆 外面黒漆 家紋 高台内文平	
4	木製品	漆碗蓋	つまみ径(4.8)	—	—	—	[1.3]	—	C6-G6	内面赤漆 外面黒漆 文様	
5	木製品	漆碗蓋	つまみ径(4.3)	—	—	7.8	[2.0]	—	C6-G6	内面赤漆 外面黒漆 家紋 つまみ内文様	
6	木製品	漆碗蓋	つまみ径(9.2)	—	—	22.8	3.6	—	C6-H6	内面黒漆 外面赤漆 金で文様	
7	木製品	曲物	—	—	—	7.4	0.9	—	D6-B9	側板厚0.1cm 底板厚0.3cm	
8	木製品	膳か	[9.0]	25.8	0.7	—	—	—	D6-A7	全面黒漆	
9	木製品	クルリボウ	17.1	4.3	3.4	—	—	—	D6-A7	板 方形孔2.9×1.6cm	
10	木製品	クルリボウ	17.4	5.2	4.2	—	—	—	D6-B10	板 方形孔3.0×2.0cm	
11	木製品	櫛	10.0	5.0	0.4	—	—	—	—	黒漆	
12	木製品	下駄	(20.9)	8.6	—	—	2.9	—	C6-18	割り下駄 黒漆	
13	木製品	下駄	17.6	6.8	—	—	2.9	—	C6-J8	割り下駄	
14	木製品	下駄	20.3	9.1	—	—	[3.1]	—	C6-J8	後は蓋歯	
15	木製品	下駄	15.7	8.7	—	—	[1.7]	—	C6-J8	陰卯下駄	
16	木製品	下駄	20.3	6.0	—	—	[2.8]	—	C6-18	陰卯下駄	
17	木製品	杓子	24.1	—	受部幅(6.1) 厚0.6 柄幅1.6 厚1.5	—	—	—	D6-A7	赤漆 裏面一部炭化	

3. 文字資料

栗橋宿本陣跡の調査では、陶磁器・木製品・瓦・石製品・炭化物（練墨・紙本資料）等に文字が墨書、刻書された遺物が認められた。

これらのうち陶磁器については、文字数が少なく文意もとりにくいものが多いので、各遺物実測図・写真図版に示し、判読が可能だった積文については観察表の中に示した。

瓦については、ヘラ書きが第二面第678号土壌出土遺物に認められ「瓦や吉右衛門/荒木村」と判読される（第308図15）。

石製品については、石塔破片に年号とみられる銘文の一部「享□」（第63図6）、一部の硯に刻書、火打石に墨書が認められた。火打石については石材の特性上、墨痕の遺存が悪く、文字は判読し難かった。このほか、炭化した練墨が第一面第307号土壌（第222図1・2）から出土しており、崩された文字が認められるが、これも遺存状態が

不良で判読できなかった。

木製品については、かなり墨書や焼印の資料が認められた。特に木札類はその性格上、比較的長文の文字が墨書されており、判読が可能なものを第91表（原文は全て縦書き）に示した。また、一部の赤外線写真を写真図版117・118に示した。これらの中には、「伊勢屋長二郎」に係る史料が含まれ、他の史料と対比が可能である。

特殊な史料として、第497号土壌から出土した炭化した文書がある。全体が炭化しており、極めて脆く、全体を保存処置しながら文字をおこすべくであるが、報告書作成の時間内では処置が難しい。このため、判読が可能な文字がみられる紙片を数点選び、積文を作成した。対象とした紙片は写真図版116に、積文を第91表（原文は全て縦書き）に示した。なお、積文の作成にあたっては、久喜市教育委員会・久喜市立郷土資料館より協力を得た。

第91表 文字資料積文

番号	遺構	器種	長さ	幅	厚さ	積文	種別	図版
1	SB310	桶板材	17.5	7.8	1.2	記号：半（16枚中4枚に墨書）	56-6	117-1
2	SB310	桶板材	8.4	5.2	0.9	くりはし 山本 いせや長二郎殿	56-7	117-2
3	SE310	下駄	22.2	6.6	2.2	七銭	91-5	117-3
4	木樋 601	箱	25.7	12.2	1.2	會社	106-25	117-4
5	SK605	木札	17.5	5.5	0.4	栗橋 大橋権右衛門	207-60	117-5
6	SK605	木札	22.5	6.4	0.6	部（焼印あり）	207-61	117-6
7	SK648	木札	19.4	5.8	1.2	（表）一世界一渡木 彦個 一口スキ 老目	208-75	117-7
8	SK668	漆器皿	13.3	10.4	0.5	令（被熱）	209-86	117-8
9	一面一括	木札	9.2	6.1	0.7	八坂神社□□（朱印あり）（D6-B9グッド）	232-5	117-9
10	SK389	木札	19.6	5.4	0.4	（表）江戸ハナハナ一八口百円（裏）くりはし	311-2	117-10
11	SK391	木札	18.3	4.8	0.7	半 栗橋 いせや長次郎殿 松田	311-5	117-11
12	SK391	木札	6.8	5.3	0.6	（表）赤札（裏）□印	311-3	117-12
13	SK391	木札	19.0	6.3	0.9	半 栗橋 伊勢屋長二郎殿 嶋屋半兵衛	311-6	117-13
14	SK391	蓋	18.4	14.2	0.5	大橋□□ 五升入	311-7	117-14
15	SK391	蓋	19.5	10.0	0.7	正 正嗣	311-4	117-15
16	SK393	木札	21.4	3.2	0.6	いせ屋長二郎殿行	311-8	117-16
17	SK394	木札	14.9	3.5	0.5	（表）下総理や 田中四郎兵衛殿 三郎兵衛 いせ屋 （裏）くりはし いせや長二郎殿 いせ屋	311-12	117-17
18	SK394	木札	14.9	3.5	0.6	皆掛廿貳貫五百 屋裏	311-11	117-18
19	SK400	木札	18.2	4.5	0.9	全 栗橋 嶋屋彦三郎殿 因ト	311-16	117-19
20	SK400	木札	8.9	4.4	1.0	八月十日 嶋屋彦三郎殿 万や忠右衛門	311-15	118-1
21	SK400	桶	45.8	17.7	2.5	初荷	311-14	118-2 F

番号	遺構	器種	長さ	幅	高さ	釈文	押図	図版
22	SK423	木札	20.2	13.2	0.5	(表) 三銭也 □也 □□ □□也 □□也 □□ □□	312-36	118-3
23	SK423	曲物	径 19.9	径 9.2	2.8	△	312-35	118-4
24	SK429	木札	24.0	5.8	0.6	(表) 武州栗橋 崎西屋傳右衛門殿 綿屋惣右衛門 (裏) 太物□□	314-63	118-5
25	SK469	木札	18.8	4.8	0.8	栗橋 伊勢屋長治郎殿行 万屋喜四郎	316-92	118-6
26	SK469	木札	9.9	1.3	0.05	武拾勾	316-93	118-7
27	SK478	木札	19.8	7.8	0.6	榎左衛門 (片面黒漆塗り)	319-123	118-8
28	SK480	木札	13.5	2.5	0.1	□□六貫六百□	319-124	118-9
29	SK677	木札	10.2	2.9	0.8	(表) 橋屋庄兵衛 (釘痕跡あり)	320-147	118-10
30	SK677	箱	30.6	14.5	0.4	(表) [] 清水武左衛門殿 (炭化)	320-130	118-11
31	SK677	木札	26.0	6.4	1.4	(表) 栗 鈴本文之助 京都 橋 可川為右衛門 (裏) □□□□ 天神宮 □水尾 □□朗	321-148	118-12
32	SK681	木札	13.5	2.7	0.2	半五部分	322-168	118-13
33	SK689	桶	径 28.0	径 27.7	2.2	極上 白粉包 有□屋 平右衛門 	322-165	118-14
34	SK676	木札	16.5	3.5	0.2	御油	320-136	118-15
35	SK690	木札	3.9	4.8	0.5	揚(物)わん 人前 □□	323-188	118-16
36	SK478	木札	6.2	2.8	0.05	[]代 金三分ト七百五(九)	319-122	-
37	SK601		51.7	15.4	1.1	桐生	-	-
38	SK497	紙本	-	-	-	□貫式百文糸ひす 白銀百□□	-	116-6
39	SK497	紙本	-	-	-	□貫百□ 老貫六百□文こん □拾紋付	-	116-7
40	SK497	紙本	-	-	-	廿七日 □貫式文 纏十 老貫九百文 鼠□	-	116-8
41	SK497	紙本	-	-	-	五一 一貫百文澤 百文□□	-	116-9
42	SK497	紙本	-	-	-	引金五分 引金五分 老貫百□拾	-	116-10
43	SK497	紙本	-	-	-	□貫六百元 同 □貫百五拾文白□	-	116-11
44	SK497	紙本	-	-	-	〆 老貫八百五拾樹 十 老貫七百三拾文 □金式分	-	116-12
45	SK497	紙本	-	-	-	廿五日 □貫五百文ア□白□紋 同十二本	-	116-13

4. 出土遺物一覧と遺構の時期

出土した遺物の点数・重量と各遺構の想定される時期を一覧表にまとめた。

出土した瓦は、発掘調査中に水洗い・乾燥・分類を行い、点数と重量を記録した(第92・93表)。表中の瓦の分類は、「平瓦」が棧瓦・平瓦、「軒瓦」が軒丸瓦・軒棧瓦・軒平瓦、「道具瓦」が冠瓦・伏間瓦・熨斗瓦である。このうち、軒瓦・道具瓦と、平瓦類で縦横いずれかの一边が残っているもの、隅の切れ込みが残る棧瓦を回収し、整理作業で抽出、実測を行った。

整理作業で扱った全ての遺物については、点数と重量を第94表に掲載した。出土した貝類については、種類と個体数を第95表に掲載した。

各遺構の推定時期については、第96表に掲載した。陶磁器様相からの推定であり、陶磁器量や伝世期間の問題から若干の誤差が想定される。少ない遺物から判断した場合は()、遺構重複から判断した場合は[]を付した。表中に示した時期区分と想定時期は、次のように設定した。

- ・栗橋1期…17世紀前半
- ・栗橋2期…17世紀後半～18世紀初頭
- ・栗橋3期…18世紀前葉～中葉(第2四半期後半～第3四半期前半)、肥前磁器波佐見系碗・瀬戸美濃陶器腰鉢碗・せんじ碗で組成
- ・栗橋4期…18世紀後葉(第3四半期後半～第4四半期前半)、肥前磁器外面青磁釉碗各種、筒形碗、瀬戸美濃陶器柿釉灯明皿の出現
- ・栗橋5期…18世紀後葉～19世紀初頭(18世紀第

4四半期後半～19世紀第1四半期)肥前磁器広東碗、一部に大振りの端反碗あり

- ・栗橋6期…19世紀前葉(第1四半期後半)瀬戸美濃系磁器の出現
- ・栗橋7期…19世紀前葉～中葉(第2四半期中心)磁器湯呑形碗、陶器青緑釉土瓶等多い
- ・栗橋8期…19世紀中葉(第3四半期)磁器卵殻手坏、型押寿文皿の出現
- ・栗橋9期…19世紀中葉～後葉 酸化コバルト染付磁器の出現以降

『栗橋宿跡Ⅰ』報告中で援用した東大構内遺跡群の時期区分との対比は、概ね次のとおりである。

栗橋1・2期=東大Va期以前(～1720年代)、栗橋3期=東大Vb期(1730～40年代)、栗橋4期=東大VIa・b期(1750～1770年代)、栗橋5期=東大VII期(1780年～1800年代初頭)、栗橋6期=東大VIIIa期(1800～10年代)、栗橋7期=東大VIIIb・c期(1820～40年代)、栗橋8期=東大VIIId期(1850～60年代)、栗橋9期=東大IX期である。

第97・98表には主要土壌の陶磁器組成を示した。分類にあたっては東京大学校内遺跡群の分類(東京大学埋蔵文化財調査室1999・2011)を参照し、器種の判別が可能な破片数と底部破片数をカウントした。底部破片数は一部の遺存があれば1点とカウントしており、直接に個体数を示すものではない。第一面の火災処理に係る土壌12基と、第一面で陶磁器数が多かった第605・654号土壌、第二面で陶磁器数が多かった12基の組成表を示した。

第92表 第一面瓦計測表

遺構	平		丸		軒		道具瓦		鬼瓦		刻印瓦		総重量	総破片数
	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数		
SB301	51570	548	3755	26	25	1							55350	575
SB302	227270	2939	9755	86	5770	43	365	2	3455	19			246615	3089
SB303	98925	1837	7650	91	2260	17	735	6	250	2			109820	1953
SB304	20520	310	2065	25			540	3					23125	338
SB305	324990	5238	10500	106	4000	54	2150	11	1400	18			343940	5427
SB306	31500	1912	170	7	450	9			90	2			32210	1930
SB307a	61630	946	1325	11	1310	9	920	4	30	1			65215	971
SB307b	435701	12162	22345	285	94840	101	3215	41	3577	38			559678	12627

遺構	平		丸		軒		道具瓦		鬼瓦		刻印瓦		総重量	総破片数
	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数		
SB308	19450	651	54	1									19504	652
SB309	10730	127	385		7	830	3						11945	137
SB310	36400	636	15800	127	2250	19							54450	782
SB311	5200	59											5200	59
SB312	200	1											200	1
SB313	40130	3181	1200	7	2600	5			120	1			44050	3194
SB314	21675	187	310	4	80	1	990	6	500	3			23555	201
SB601	9660	95	50	1	170	1							9880	97
SB602	26190	289	710	9	520	5							27420	303
SB605	4100	46	1220	4	400	4							5720	54
基礎 303	43500	1241	1300	16	680	7	550	7					46030	1271
基礎 304	27457	1019	240	4	170	3							27867	1026
基礎 307	165	2											165	2
基礎 308	670	16											670	16
基礎 311	302250	5756	11150	124	4400	57	920	10	1110	17			319830	5840
瓦敷 301	50250	744	850	9	1760	10							52860	763
桶 301	380	4	180	1									560	5
桶 302	150	8											150	8
桶 303	58	2											58	2
桶 304	3400	41	155	1									3555	42
桶 305	6076	38											6076	38
桶 307	381	7											381	7
桶 309	105	1											105	1
桶 310	1	1											1	1
桶 312	582	8											582	8
桶 316	2497	17	415	1									2912	18
桶 321	1650	20											1650	20
桶 325	1750	20			50	1							1800	21
桶 334	3350	44											3350	44
桶 602	730	2											730	2
桶 603	90	1											90	1
桶 604	5550	62	180	1	480	2							6210	65
桶 605	600	5											600	5
桶 606	2200	20											2200	20
桶 608	400	2											400	2
桶 608 底板 下	730	10											730	10
桶 611	1480	14											1480	14
桶 613	230	2											230	2
桶 619	86	1											86	1
桶 620	90	1											90	1
SE301	2500	24											2500	24
SE302	64035	464	2855	23	846	9	270	2	215	1			68221	499
SE306	397	4											397	4
SE308	61983	401	780	4	250	2	480	2	6300	10			69793	419
SE309	2740	19											2740	19
SE310	21	1											21	1
杭列 303	17435	123	475	5	35	1							17945	129
杭列 304	630	7											630	7
杭列 306	3111	27	95	1	120	1							3326	29
杭列 308	310	4											310	4

道標	平		丸		軒		道具瓦		鬼瓦		翫印瓦			
	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	総重量	総破片数
杭列 601	1183	15	190	3									1373	18
杭列 603	680	6											680	6
木樋 301	2100	21	160	2									2260	23
木樋 601	30150	340	2900	14	80	1							33130	355
木樋 602	3971	42	165	1									4136	43
SD301	34706	268	2920	16	340	2							37966	286
SD602					91	1							91	1
SD603	4219	110	535	1									4754	111
SD604	1000	13											1000	13
焼土遺構 301	435	11	150	1									585	12
焼土遺構 302	7100	34	190	1	2550	7							9840	42
焼土遺構 303	9424	53	455	3									9879	56
焼土遺構 602	240	4											240	4
焼土遺構 604	411	2	350	2									761	4
SK301	1025550	3620	2705	143	1440	20	8600	12	1265	5			1039560	3800
SK302	18520	103	125	2	370	1	1150	1					20165	107
SK303	18870	142	2200	13	124	3	455	1			785	2	22434	161
SK304	12039	130	1500	9	425	2							13964	141
SK305	1040	6	45	1									1085	7
SK306	3200	27	380	2	560	2							4140	31
SK307	246801	1958	4400	11	4400	7	3600	13	2350	2			261551	1991
SK308	299745	2029	14650	57	8400	31							322795	2117
SK310	15620	153	330	3	435	2							16385	158
SK311	1012392	7901	21800	172	4857	40	6850	35					1045899	8148
SK312	914950	7533	38900	266	1154	8	7400	40	5850	1			968254	7848
SK313	7230	28	228	1	2600	5							10058	34
SK314	2405400	16189	72460	473	225810	221	13088	47	2162	4			2718860	16940
SK315	18686	372	755	10	378	6	160	2					19979	390
SK316	8255	375	60	2	280	9			35	1			8630	387
SK317	570	5											570	5
SK318	13358	100	130	1	36	1							13524	102
SK319	45	2											45	2
SK320	1500	15											1500	15
SK321	51585	306	3600	18	568	3	6450	8	1076	1			63279	336
SK322	810	16	70	1									880	17
SK323	19460	230	460	5	425	3	70	1	100	1			20515	240
SK325	16	2											16	2
SK326	42450	445	2800	25	60	1			300	3			45610	474
SK327	147	2											147	2
SK328	25650	250	30	1	350	5	165	1					26195	257
SK329	1100	20	200	2									1300	22
SK330	49520	361	4900	26	268	2							54688	389
SK332	2500	49	167	2									2667	51
SK333	136	4											136	4
SK335	376	5	555	1	540	2							1471	8
SK336	2721	30	192	1									2913	31
SK338	10450	61	391	3	196	1							11037	65
SK339	17969	124	2173	18									20142	142
SK340	11500	83	1150	7			3350	3					16000	93
SK341	77305	1446	3300	32	450	8	200	2			330	1	81565	1489
SK342	8150	85			47	1	110	2					8307	88

遺構	平		丸		軒		蓮瓦		鬼瓦		刻印瓦		総重量	総破片数
	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数		
SK343	165450	1713	21900	111	2950	37	860	8	845	10			192005	1879
SK344	1250	12			298	1							1548	13
SK345	100652	702	8860	48	990	5	2800	7					113302	762
SK347	100550	759	9900	47	725	5	2800	7	236	1			114211	819
SK348	20957	187	723	6	290	1							21970	194
SK349	876	17											876	17
SK351	180	4											180	4
SK352	7353	45	933	3	226	2	244	1					8756	51
SK353	2316	30	411	3									2727	33
SK354	2300	15	40	1			415	1					2755	17
SK355	2750	21	281	1									3031	22
SK357	13318	148	1719	12	278	2							15315	162
SK358	4529	51	1016	7									5545	58
SK359	2750	53											2750	53
SK360	48645	741	480	2	576	8							49701	751
SK361	134200	1284					1150	5					135350	1289
SK362	771441	5718	39800	231	4250	31	5050	18	2132	48			822673	6046
SK363	410000	5095	13750	105	5050	78	875	4	300	3			429975	5285
SK366	7770	51	540	3	465	2							8775	56
SK367	3200	15	40	1									3240	16
SK368	4350	60											4350	60
SK369	920	9											920	9
SK370	8043	68	1300	2									9343	70
SK371	2400	21			170	1							2570	22
SK373	26150	389	1250	9	310	4							27710	402
SK374	9650	146	160	1	85	1							9895	148
SK376	1655	6											1655	6
SK377	172770	942	4000	13	710	7							177480	962
SK378	183155	1939	4300	22	2810	30							190265	1991
SK379	14753	133	1800	7									16553	140
SK380	22700	160	1760	6	40	1							24500	167
SK381	6375	36	1190	3			48	1					7613	40
SK382	75280	438	4100	19	5370	17							84750	474
SK383	10100	118	360	3	55	1							10515	122
SK384	7750	61	800	5	710	3							9260	69
SK385	150	6											150	6
SK386	120	3											120	3
SK387	13650	109	115	1	820	2	435	1					15020	113
SK388	1419	23	397	3									1816	26
SK437	9225	74	240	2	420	4	120	1					10005	81
SK438	5550	46	314	1									5864	47
SK439	38220	240	110	1	7650	25	130	1					46110	267
SK440	610	3											610	3
SK441	290	35	415	3									705	38
SK442	12100	125	20500	11	1310	5	440	1					34350	142
SK443	53484	245	8320	30			2280	2	450	2			64534	279
SK444	730	11	110	1	200	1							1040	13
SK445a/b	23930	437	380	3	620	4	230	1					25160	445
SK446	660	8											660	8
SK449	100	1											100	1
SK450	7650	75	120	1	190	2							7960	78

道橋	平		丸		軒		道具瓦		鬼瓦		廻印瓦		総重量	総破片数
	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数		
SK451	6950	68	1250	3	1670	6							9870	77
SK510	3850	33	1150	7									5000	40
SK511	2450	32	1185	2									3635	34
SK512	9422	109	1150	6									10572	115
SK601	194950	1316	1010	8	320	1	2700	6					198980	1331
SK602	138600	771	940	5	2900	5							142440	781
SK603	21300	93	4100	18	1570	4							26970	115
SK605	24552	229	1815	10	1275	5	1830	4					29472	248
SK606	5764	64			675	2							6439	66
SK611	7475	68	260	1	520	5			140	1			8395	75
SK612	5110	57	200	2	30	1							5340	60
SK613	2350	19	205	1	190	1							2745	21
SK614	3407	31	190	2			465	1					4062	34
SK617	1600	12											1600	12
SK618	3400	33	155	2	110	1							3665	36
SK620	2751	32	390	1									3141	33
SK621	2900	41	74	1									2974	42
SK622	230	1			2000	2							2230	3
SK623	210	2											210	2
SK624	785	7			40	1							825	8
SK625	2661	49	70	1									2731	50
SK626	90	3											90	3
SK627	890	9											890	9
SK628	480	6											480	6
SK629	400	7											400	7
SK631	2500	31	160	2	15	1							2675	34
SK632	2050	35	235	1									2285	36
SK634	2500	35	406	5	140	1							3046	41
SK635	2500	25	260	1									2760	26
SK638	430	5											430	5
SK639	30	1											30	1
SK640	730	11											730	11
SK641	550	11	49	1									599	12
SK642	660	13	600	4									1260	17
SK643	350	3											350	3
SK644	438	10	31	1									469	11
SK645	476	8											476	8
SK647	2850	49			600	1							3450	50
SK649	511019	5262	16210	84	30443	140							557672	5486
SK650	3100	26											3100	26
SK651	450	6											450	6
SK652	8500	90											8500	90
SK653	80	1											80	1
SK654	17652	242	320	2	850	7			720	1			19542	252
SK655	19675	141	1530	7	2212	5	100	1	2110	3			25627	157
SK657	740	16			80	1							820	17
SK658	3080	32			90	1							3170	33
SK659	800	4											800	4
SK660	9160	102	310	3	230	1							9700	106
SK661	351	5											351	5

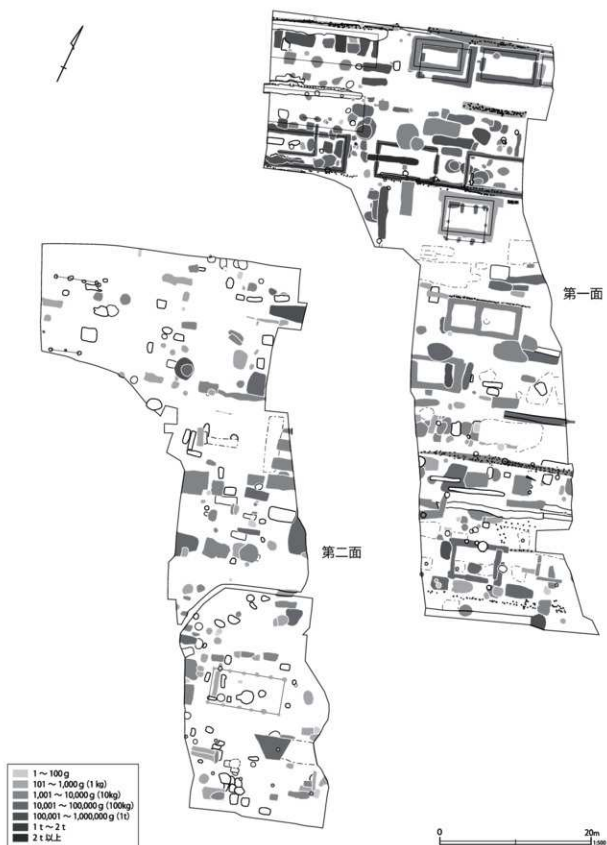
遺構	平		丸		軒		道具瓦		鬼瓦		刻印瓦		総重量	総破片数
	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数		
SK662	960	23											960	23
SK664	174470	2,212	4150	33	4850	19	700	3	730	4	9980	33	194880	2304
SK666	5200	46	150	1	220	1							5570	48
SK667	12161	109	420	2	480	3	100	1					13161	115
SK668	5266	77	250	3	20	1	180	1					5716	82
SK670	110	1											110	1
SK671	1600	32	120	2	70	1							1790	35
SK672	200	2			90	1							290	3
SK673	15	2											15	2
SK674	350	2					180	1					530	3
SK675	1710	5	45	1									1755	6
SK758	1050	24											1050	24
SX601	9140	84	1040	3	100	1			280	5			10560	93
pit301	320	3	50	1									370	4
pit303	295	2											295	2
pit304	100	2											100	2

第93表 第二面瓦計測表

遺構	平		丸		軒		道具瓦		鬼瓦		刻印瓦		総重量	総破片数
	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数		
SB604	2120	34	310	1	140	1	160	1					2730	37
桶328	6600	65	400	4	260	1							7260	70
桶329	600	5											600	5
桶330	33	2											33	2
桶332	390	4											390	4
桶625	250	2											250	2
桶626	260	2											260	2
桶627	40	1											40	1
桶628	140	4											140	4
桶629	20	1											20	1
SE303	180	5	100	1	70	1							350	7
SE304	11778	96	160	1									11938	97
SE305	660	6											660	6
SE307	1930	14			390	1							2320	15
SE311	1800	16											1800	16
SE312	3420	36			190	1							3610	37
SE313	1008	17			70	1							1078	18
SD302	1610	11			150	1							1760	12
SK389	150	3											150	3
SK391	1620	6											1620	6
SK392	120	1											120	1
SK394	70	1											70	1
SK398	170	2											170	2
SK400	1330	13	1158	3									2488	16
SK402	70	2											70	2
SK403	870	9											870	9
SK405	4800	19											4800	19
SK408	35	1											35	1
SK409	270	5											270	5
SK412	40	1											40	1
SK414	450	1											450	1

道橋	平		丸		軒		道具瓦		鬼瓦		刻印瓦		総重量	総破片数
	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数		
SK415	410	8											410	8
SK417	430	7											430	7
SK418	330	5											330	5
SK419	385	6											385	6
SK420	9392	71	2,040	12	120	1	170	1	240	1			11962	86
SK423	2600	15											2600	15
SK424	1730	21											1730	21
SK425	1360	18	620	3	250	1							2230	22
SK427	123475	1118	810	5	143	4	290	1					124718	1128
SK428	820	15											820	15
SK429	2600	30			472	13							3072	43
SK430	60	3											60	3
SK431	390	5											390	5
SK433	190	1											190	1
SK435	290	1											290	1
SK436	6900	42											6900	42
SK453	904	7											904	7
SK454	130	3											130	3
SK455	900	14	110	1									1010	15
SK456	840	8											840	8
SK457	1900	31											1900	31
SK458	830	10											830	10
SK461	19278	169	160	1	3794	9							23232	179
SK462	410	2											410	2
SK463	895	15	12	1									907	16
SK464	77	2											77	2
SK465	726	8	190	1									916	9
SK466	11228	112											11228	112
SK468	4300	44			90	1							4390	45
SK469	24872	179	2400	11	350	2	610	1					28232	193
SK471	148	1											148	1
SK473	2910	34	210	1			80	1					3200	36
SK474	1370	11											1370	11
SK475	370	9											370	9
SK476	870	11			360	1							1230	12
SK477	26598	220	1780	10	450	3			690	1			29518	234
SK478	75	2											75	2
SK480	3440	49	10	1									3450	50
SK483	40	1											40	1
SK485	200	2											200	2
SK486	1010	6											1010	6
SK488	2779	31	850	3									3629	34
SK489	3060	52			250	1							3310	53
SK491	10	1											10	1
SK495	80	1			80	1							160	2
SK496	650	5	60	1	30	1							740	7
SK497	364805	2509	42520	211	1070	6	3150	8	3150	6			414695	2740
SK501	180	1	180	1									360	2
SK502	19950	197	960	2	650	4							21560	203
SK503	1230	3											1230	3

遺構	平		丸		軒		道瓦		鬼瓦		刻印瓦		総重量	総破片数
	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数		
SK504	730	7	800	1									1530	8
SK505	5920	17	2000	1	1210	2							9130	20
SK506	1340	27											1340	27
SK507	1340	5											1340	5
SK508	3780	11											3780	11
SK676	207	3											207	3
SK677	937	16			110	2							1047	18
SK678	17950	164	810	4	2200	5	720	2					21680	175
SK679	150	4	70	1									220	5
SK680	240	3											240	3
SK681	490	8	480	3									970	11
SK682	310	3											310	3
SK689	1831	26			520	1							2351	27
SK690	202	8											202	8
SK692	610	4	540										1150	4
SK695	19589	225	1500	7	210	3							21299	235
SK696	910	9	120	1	150	1							1180	11
SK697	1360	7											1360	7
SK698	680	6											680	6
SK699	640	11											640	11
SK700	2250	31											2250	31
SK701	80	2											80	2
SK702	1200	17	250	1	80	1							1530	19
SK704	120	2											120	2
SK710	480	7											480	7
SK711	968	7	600	1									1568	8
SK712	60	1											60	1
SK717	140	2											140	2
SK718	209	6	44	2									253	8
SK719	80	1											80	1
SK722			24	1									24	1
SK725	330	2											330	2
SK726	1000	10											1000	10
SK727	440	9											440	9
SK728	6400	76											6400	76
SK729	520	6											520	6
SK730	2599	21			150	1							2749	22
SK742	290	6											290	6
SK743	580	5											580	5
SK744	180	4											180	4
SK745	1440	5											1440	5
SK750	2275	12											2275	12
SK751	70	1											70	1
SK752	200	3											200	3
SK753	1380	12											1380	12
SK756	40	1			430	2							470	3
pl1315	40	2											40	2



第 341 図 瓦総重量別遺構分布図

第94表 出土遺物一覧表

陶器土器の()は底面破片数、金属製品の()は数量、木製品の()は建築部材数である。

遺構	磁器		陶器		土器		瓦		土製品		漆製品		銅製品		石製品		木製品		その他
	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	
SE301	139(53)	29823.0	165(52)	5993.0	56(27)	3215.0	575	55350	0	-	17	108.9	7(1)	54.8	3(1)	140.7	-	-	石材(94.5g)、事石、煙管2含、硝子製丹1(10.6g)目録222.7g
SE302	36(21)	1283.0	37(19)	3254.0	24(13)	1465.0	3089	246615	0	-	3	110.3	0	-	1	1.9	-	-	硝子(断片)230.6g
SE303	50(17)	1044.0	37(8)	990.0	19(7)	590.0	1953	109820	0	-	0	-	0	-	2	366.5	2(個)	-	硝子(断片)13.1g
SE304	7(4)	238.0	6(3)	310.0	7(2)	207.0	338	23125	0	-	1	21.3	0	-	0	-	1	-	木製品は漆器片
SE305	58(16)	1199.0	101(12)	3773.0	35(15)	805.5	5427	343040	1	2.5	17(3)	45.8	4(3)	8.3	2	162.2	1	-	土製品はミニチュア煙管1含、木製品は漆器、骨製(12.5g)漆器14(30g)
SE306	13(2)	141.0	33(1)	1260.0	19(7)	432.0	1930	32210	0	-	9	363.8	0	-	1	108.4	1	-	木製品は面付底版
SE307a	112(30)	1715.0	163(38)	5251.0	67(36)	3797.0	971	65215	0	-	9	72.0	3(2)	6.5	3	333.8	-	-	硝(87.0g)、煙管1含
SE307b	67(16)	646.0	81(21)	2880.0	36(5)	1508.0	12627	559678	0	-	4	24.4	6(2)	70.0	0	-	4	-	煙管1含、木製品は箸2、丸板、下駄
SE308	0	-	0	-	1(1)	57.0	652	19504	0	-	0	-	1(1)	1.5	0	-	-	-	煙管1含
SE309	8(6)	168.0	19(5)	1908.0	13(7)	1743.0	137	11945	0	-	1	2.9	0	-	0	-	-	-	目録0.8g、硝子(断片)9.9g
SE310	48(16)	893.0	35(11)	1246.0	7(6)	556.0	782	54150	0	-	6	65.5	6(3)	8.5	1	23.0	7	-	木製品に花、把手、漆面含、目録0.6g
SE311	14(3)	282.0	20(7)	481.0	5(4)	127.0	59	5200	0	-	2	25.8	0	-	1	168.7	5	-	木製品に花、把手、漆面含、目録0.6g
SE312	0	-	0	-	0	-	1	200	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	煙管1含、目録19.1g、漆器2(60g)
SE313	18(10)	674.0	35(16)	1506.0	1(1)	32.0	3194	44050	0	-	5	99.2	2	9.8	2	53.7	5	-	煙管1含、硝子製丹2(6.6g)目録21.4g、硝子(断片)11.3g、骨製68.9g
SE314	204(76)	7032.0	152(53)	9276.0	45(23)	5764.0	201	23555	0	-	9	68.9	7(4)	12.4	2	100.6	8	-	木製品は漆器(板敷)硝子製丹(17.5g)
S6001	93(34)	2110.0	258(50)	7462.0	33(9)	2491.0	97	9880	0	-	2	114.2	1(1)	1.5	2	178.0	1	-	木製品は漆器(板敷)硝子製丹(17.5g)
S6002	75(18)	1195.0	71(23)	1840.0	29(9)	721.0	303	27420	1	4.2	6	21.2	2(2)	3.0	1	11.2	1	-	木製品は漆器(東側下部基部出土)
S6005	43(14)	156.0	9(0)	9.0	2(0)	1085.0	54	5720	0	-	2	15.7	0	-	0	-	-	-	木製品は漆器(東側下部基部出土)
基礎303	0	-	2(1)	116.0	0	-	1271	46030	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	木製品は漆器(東側下部基部出土)
基礎304	1(0)	3.0	2(0)	72.0	0	-	1026	27867	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	木製品は漆器(東側下部基部出土)
基礎305	2(0)	7.0	0	9.0	2(0)	20.0	0	-	0	-	1	1.7	0	-	0	-	-	-	木製品は漆器(東側下部基部出土)
基礎306	1(0)	5.0	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	木製品は漆器(東側下部基部出土)
基礎307	0	-	0	-	0	-	2	165	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	木製品は漆器(東側下部基部出土)
基礎308	2(0)	11.0	4(1)	62.0	4(2)	25.0	16	670	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	木製品は漆器(東側下部基部出土)
基礎309	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	木製品は漆器(東側下部基部出土)
基礎311	29(7)	846.6	56(16)	763.1	15(2)	435.0	5903	318860	0	-	6	97.2	0	-	1	2995.0	0	-	木製品は漆器(東側下部基部出土)
基礎316	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	木製品は漆器(東側下部基部出土)

遺構	礎石		陶器		土器		瓦		土製品		銅製品		鉄製品		木製品		その他
	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	
基礎 601	3(2)	-	4(2)	-	3(2)	0	0	-	0	-	1	4.7	0	-	0	-	-
瓦敷 301	25(4)	283.4	22(6)	763.1	14(8)	333.8	763	5286.0	-	-	-	-	1	0.6	1	26.0	-
礎 301	4(1)	27.1	3(1)	62.9	0	-	5	56.0	0	-	1	39.0	0	-	1	41.1	木製品は銅
礎 302	3(0)	31.5	2(0)	6.6	0	-	8	150	0	-	0	0	0	-	0	-	-
礎 303	0	-	0	-	1(0)	6.5	2	58	0	-	0	0	0	-	0	-	-
礎 304	0	-	1(0)	23.6	2(1)	6.8	42	3555	0	-	0	0	0	-	0	-	-
礎 305	0	-	0	-	1(0)	6.3	38	6076	0	-	0	-	37(2)	55.5	0	-	木製品は銅 銅子製管 1(2.0g)
礎 306	0	-	1(0)	24.8	0	-	0	-	0	-	11(1)	26.5	0	-	0	-	-
礎 307	3(3)	39.7	8(1)	136.8	3(1)	83.6	7	381	0	-	0	0	-	0	-	7.9	-
礎 308	2(1)	275.2	6(2)	271.6	7(2)	40.0	0	-	1	16.9	12(5)	32.5	9(2)	8.0	1	9.2	-
礎 309	1(0)	7.2	2(0)	14.0	1(1)	1.8	1	105	0	-	0	0	-	1	0.5	0	-
礎 310	0	-	2(1)	1.5	1(0)	6.9	1	1	0	-	0	0	-	0	0	-	-
礎 311	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	-	0	0	-	-
礎 312	1(0)	1.8	3(3)	203.5	1(0)	12.0	7	582	0	-	2	12.0	7(2)	45.8	0	-	煙管 5 本 骨組 1.3g
礎 313	3(1)	77.5	2(1)	122.4	1(1)	11.9	0	-	0	-	0	0	-	0	0	-	煙木体は底板 5 枚 + 側板 24 で構成小
礎 314	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	-	0	0	-	-
礎 315	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	-	0	0	-	-
礎 316	6(2)	106.1	5(1)	143.0	3(2)	67.2	18	2912	0	-	0	0	-	0	1	5.3	-
礎 317	1(1)	47.3	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	-	0	0	-	銅子製管 1(28.4) 骨組 17.0g
礎 321	1(0)	4.6	5(3)	87.4	1(1)	13.3	29	1650	0	-	2(1)	9.5	2(2)	3.0	3	72.8	木製品は銅、銅、銅毛等
礎 322	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	-	0	0	-	銅子製管 3(14.6) 骨組 0.7g
礎 323	3(0)	35.9	4(0)	22.8	1(1)	50.4	0	-	0	-	8	32.0	2	81.5	0	-	木製品は下敷 (炭化) 骨組 7.9g
礎 325	6(3)	325.0	4(2)	30.0	5(4)	207.5	21	1800	0	-	0	0	-	1(1)	1.5	0	-
礎 326	3(3)	266.5	1(1)	29.2	1(1)	224.9	0	-	0	-	2(2)	3.0	0	-	0	-	木製品は銅、漆、漆、漆
礎 334	0	-	0	-	0	-	44	3850	0	-	0	0	-	0	0	-	木製品は刀柄 (櫛方出土)、櫛 (炭化)
礎 601	0	-	1(0)	11.8	0	-	0	-	0	-	12	141.0	0	-	0	-	-
礎 602	0	-	0	-	0	-	2	730	0	-	0	0	-	0	0	-	-
礎 603	4(1)	87.8	4(1)	45.3	0	-	1	90	0	-	0	0	-	0	-	0	-
礎 604	14(8)	654.6	5(1)	111.6	2(2)	1711.4	65	6210	0	-	0	0	-	0	-	0	-
礎 605	4(0)	22.6	4(0)	29.6	0	-	5	600	0	-	2	2.0	8(8)	12.0	0	-	煙底板材は底板 42 cm厚 3 cm

遺構	破片数	重量	陶器	破片数	重量	土器	破片数	重量	瓦	土製品	数量	重量	銅製品	数量	重量	鋼製品	数量	重量	石製品	数量	重量	木製品	数量	その他
棟 605	20(7)	317.7	8(5)	389.1	2(0)	62.9	20	2200	0	-	2	30.0	1	4.0	0	-	-	-	-	-	-	2	-	総計 18.8g 陶器 6.6g は底版下出土 硝子製算 1(1.2g) 貝類 6.6g、骨類 9.3g、
棟 606 底版下	2(0)	-	1(0)	2.0	0	-	0	-	0	-	0	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	瓦 10 点は底版下出土 貝類 28.9g
棟 607	0	-	1(0)	2.0	0	-	0	-	0	-	0	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	棟底版係 42.8 cm 木製品は栓
棟 608	6(1)	92.1	7(2)	97.8	5(0)	36.3	12	1130	0	-	2	4.0	6	1.0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	木製品に櫛 1 含
棟 609	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	底版係 41.5 cm 櫛子 (櫛 2+) 2.0g
棟 610	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	底版係 92.1 cm 土櫛、櫛管 2 含 骨類 0.5g
棟 611	6(3)	281.8	1(1)	1005.3	0	-	14	1480	0	-	9	34.0	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	底版係 41 cm 一部炭化
棟 613	3(1)	79.0	1(0)	1.2	0	-	2	230	0	-	0	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	底版係 41 cm 硝子製算 3(8.4g)
棟 617	16(9)	313.8	14(5)	251.4	16(12)	324.8	0	-	1	19.0	14	106.0	4(2)	18.8	0	-	-	-	-	-	-	-	-	木製品は下敷 2、櫛 1、漆器 3、漆器 2 他
棟 618	1(1)	42.8	3(1)	96.3	0	-	0	-	0	-	4(1)	15.5	4(4)	6.0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	底版材係 62 × 50 cm 厚 2.5 cm
棟 619	19(6)	214.4	22(8)	1524.3	2(0)	58.7	1	86	1	6.2	9	76.0	5(3)	9.5	2	96.5	3	96.5	2	96.5	3	96.5	3	土器は本体埋没のみ
棟 620	0	-	1(0)	11.9	0	-	1	90	0	-	0	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	木製品は栓、下敷、櫛、櫛管 1.8g
棟 621	14(7)	474.9	9(8)	546.8	5(3)	1001.5	0	-	0	-	0	-	1(1)	1.5	1	259.6	10	259.6	1	259.6	10	259.6	10	木製品は下敷 2、櫛 1、漆器 3、漆器 2 他
棟 622	2(1)	17.6	3(1)	26.8	1(0)	650.2	0	-	0	-	1	4.0	7(7)	10.5	1	38.2	2	38.2	1	38.2	2	38.2	2	底版材係 62 × 50 cm 厚 2.5 cm
埋政第 601	0	-	0	-	0	-	9(1)	6000.0	0	-	0	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	土器は本体埋没のみ
SE201	6(0)	29.5	6(2)	277.5	1(1)	15.1	24	2500	0	-	0	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	木製品は栓、下敷、櫛、櫛管 1.8g
SE202	23(6)	349.5	13(6)	563.4	2(0)	172.0	499	68221	0	-	2	25.0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	漆喰 5(15.7)
SE206	3(0)	48.8	2(1)	38.9	2(2)	171.0	4	307	0	-	5	70.5	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	右製品は底石
SE206 榎方	51(20)	1630.0	42(16)	1937.3	18(5)	1336.9	83	13880	0	-	6	38.7	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	木製品に櫛材含 櫛子 (櫛、櫛管) 2.1g
SE208	23(8)	670.6	8(4)	227.6	2(1)	71.6	419	69703	0	-	6	339.0	1	2.0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	漆喰 5(15.7)
SE209	17(10)	481.3	17(3)	1008.5	6(1)	991.9	19	2740	0	-	1	2.0	1	200.0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	右製品は底石
SE310	21(0)	738.0	18(5)	237.7	10(2)	782.1	1	21	0	-	1	17.0	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	木製品に櫛材含 櫛子 (櫛、櫛管) 2.1g
杭列 301	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	井戸枠材 17 片 (4010g)
杭列 302	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	土製品は瓦目類
杭列 303	3(1)	66.6	4(1)	38.1	2(0)	37.2	129	17945	0	-	0	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	土製品は瓦目類
杭列 304	2(0)	10.9	7(2)	117.6	8(2)	320.2	7	630	0	-	0	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	土製品は瓦目類
杭列 305	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	土製品は瓦目類
杭列 306	3(2)	26.7	10(3)	176.3	1(0)	236.3	29	3326	0	-	0	-	1(1)	1.5	0	-	-	-	-	-	-	-	-	土製品は瓦目類
杭列 308	6.5	219.7	219.7	180.1	4	310	1	9.2	1	15.3	0	-	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	土製品は瓦目類
杭列 309	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	土製品は瓦目類
杭列 310	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	土製品は瓦目類
杭列 601	44(22)	1557.3	39(19)	1043.0	18(5)	1338.3	18	1373	2	7.8	6(1)	91.4	18(17)	26.0	4	524.5	4	524.5	4	524.5	4	524.5	4	土製品は瓦目類

遺構	礎部		隅部		土部		瓦		土製品		陶製品		銅製品		石製品		木製品	その他
	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量		
板瓦 603	4(4)	233.7	4(1)	76.8	0	-	6	680	0	-	0	0	0	0	-	0	-	-
木樋 301	4(1)	5.4	8(6)	114.1	1(0)	6.7	23	2260	0	-	0	0	0	0	-	0	-	硝子製品 1(3.6g)
木樋 302	0	-	1(0)	18.4	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0	-	0	-	種子 (純) 2.9g
木樋 303	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0	-	-
木樋 601	29(21)	828.0	56(17)	8244.5	19(1)	2963.7	355	33130	1	4.4	0	-	1(1)	1.5	1	158.6	5	木製品に下駄2枚、石製品は花崗岩石材、土製品はミニチュア タイル 1(12.7g)
木樋 602	20(7)	345.1	23(6)	1320.7	8(2)	163.7	43	4136	3	33.1	3	53.5	9(9)	13.5	0	-	-	土製品はミニチュア 種子 (純) 1(0.6g)
木樋 603	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0	-	土製品は玩具 種子 (純 8×) 1(5.2g)
竹樋 601	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0	-	銅製品は硬管
SK001	59(14)	592.3	63(19)	786.1	15(6)	247.5	286	37966	0	-	2	13.0	2(1)	11.8	0	-	4	煙管 1(0.3g)、寛永通宝1 寛永通宝2 木製品に湯、鍋含む 種子 (純 6)、胡蝶 1(11.1g)
SK601	17(5)	468.3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0	-	寛永通宝1 含
SK602	10(7)	753.3	11(3)	179.6	15(11)	1596.6	1	91	0	-	0	-	1(1)	1.5	0	-	-	煙管 1(0.3g) 皇宗通宝1 寛永通宝2 含
SK603	29(6)	235.3	46(14)	1878.0	24(9)	3301.5	111	12654	0	-	14	95.0	2(2)	3.0	4	706.0	1	土器材 12(491.8g)
SK604	13(1)	39.5	27(4)	239.4	6(1)	52.5	13	1000	0	-	3	23.1	0	-	1	79.7	-	硝子製品 1(1.9g)
粘土遺構 301	0	-	0	0	0	0	12	585	0	-	0	0	0	0	-	0	-	-
粘土遺構 302	0	0	0	0	0	0	42	9840	0	-	0	0	0	0	-	0	-	-
粘土遺構 303	0	0	0	0	0	0	56	9879	0	-	0	0	0	0	-	0	-	-
粘土遺構 601	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0	-	-
粘土遺構 602	1(1)	14.9	4(1)	48.9	2(1)	56.3	4	240	0	-	0	0	0	0	-	0	-	-
粘土遺構 603	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0	-	-
粘土遺構 604	2(0)	6.2	2(1)	12.9	2(0)	28.3	4	761	0	-	0	0	0	0	-	0	-	-
SK301	257(123)	3023.9	82(21)	2568.5	19(7)	6212.3	3800	1030560	0	-	9	341.0	14(2)	38.0	4	6038.6	6	木製品に下駄1、板材4、タガ1含む 布紐 227.5g、土器 33(5976g)
SK302	60(18)	960.7	19(5)	1369.0	4(1)	28.3	107	20165	1	3.6	0	-	0	-	2	600.9	-	土製品はミニチュア、石製品は石室1 (1.2g)と石材(砂岩切石)
SK303	18(5)	207.5	10(6)	112.4	3(1)	115.6	161	22334	0	-	0	-	1	4.0	0	-	1	木製品は障子
SK304	19(8)	394.0	25(5)	1042.0	34(7)	284.9	141	13664	1	2.1	10(1)	31.5	34(3)	48.5	3	6.9	1	土製品は玩具、石製品に石室 2(2.8g) 含 硝子製品 1(3.1g) 種子 1(0.4g)
SK305	5(2)	200.2	10(4)	157.7	0	-	7	1085	0	-	3	11.0	0	0	-	0	-	-
SK306	12(3)	158.7	6(0)	150.6	2(0)	7.7	31	4140	0	-	0	-	5	1.0	0	-	10	木製品細小 種子 (純 9 断面 5×) 9.2g
SK307	7(4)	39.6	13(2)	1026.5	5(4)	46.0	1991	261551	0	-	6(1)	30.5	4(4)	6.0	1	39.0	-	石製品は硯 ケルナル片 1(23.3g) 焼け た瓦塊 11(4700g) 漆片(740g) 神聖2

遺構	礎石		陶器		土器		瓦		土製品		鉄製品		銅製品		石製品		木製品		その他
	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	
SK308	64(20)	1328.2	21(6)	1789.9	10(3)	695.9	2117	3279.5	0	-	18	174.0	9	35.5	2	350.0	-	-	石製品に破 (39.0g) 含 土器 194(2547g)
SK309	0	-	2(0)	20.7	0	-	0	-	0	-	0	-	1(1)	1.5	0	-	-	-	土器 6(1490g)
SK310	2(1)	21.5	0	-	0	-	158	1638.5	0	-	1	9.0	0	-	0	-	-	-	石製品に石材 (1970.7g) 含 銅器 (1.5g)
SK311	110(40)	2342.7	55(15)	443.6	11(5)	3279.3	8148	104589.9	0	-	16	71.0	11(1)	98.5	2	22007.7	-	-	鉄鍋瓦 14(6350) 土器 145(38114g)
SK312	84(28)	1216.5	7(3)	1113.4	10(7)	906.9	7848	96825.4	0	-	22	134.0	32(1)	432.5	3	868.4	-	-	種子 (銅瓦 390g) 2.4g
SK313	0	-	0	-	0	-	34	10058	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	石製品に破 (163.0g) 含 土器 95(13790g) 重量 83.0g
SK314	18 (9)	802.4	38(11)	431.1	14(4)	1378.3	16940	271886.0	0	-	16	153.0	1	0.5	2	7312.7	-	-	焼けた瓦 14(6730g) 土器 122(16200g)
SK315	8(2)	95.2	15(3)	294.1	3(0)	42.2	390	1997.9	0	-	29	119.0	2(1)	18.5	1	11.2	-	-	燗貫 (117.0g) を含
SK316	1(0)	3.1	7(0)	126.7	1(0)	132.7	387	8630	0	-	54	142.0	8	13.0	1	1.1	-	-	
SK317	1(1)	18.5	1(0)	3.3	0	-	5	570	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	
SK318	3(0)	8.4	13(0)	53.0	12(6)	127.0	102	13524	0	-	2	8.0	0	-	0	-	-	-	
SK319	1(0)	5.3	2(1)	31.5	1(0)	84.7	2	45	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	
SK320	1(0)	0.8	2(0)	1.9	1(0)	1.6	15	1500	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	
SK321	1(0)	1.5	1(0)	11.3	0	-	336	6327.9	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	
SK322	1(0)	1.7	14(3)	208.6	1(0)	2.3	17	880	0	-	0	-	2(1)	2.5	1	18.7	-	-	
SK323	8(2)	165.0	19(7)	583.3	3(1)	441.4	240	20515	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	石製品は石管 種子 (南広 2g) 0.1g 未通
SK325	0	-	3(1)	4.9	0	-	2	16	0	-	1	6.0	0	-	1	1.9	-	-	
SK326	3(0)	28.0	4(0)	136.0	1(0)	26.4	474	45010	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	
SK327	3(2)	2.4	12(5)	58.8	8(1)	43.2	2	147	0	-	1	64.0	0	-	0	-	-	-	
SK328	2(0)	22.9	7(1)	133.8	1(0)	26.3	257	26195	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	種子 製作 (16.0g)
SK329	1(0)	3.4	3(0)	195.5	0	-	22	1300	0	-	3	238.0	0	-	0	-	-	-	
SK330	1(0)	2.1	7(2)	316.3	3(0)	143.3	389	54688	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	目録 30.0g
SK332	3(0)	11.8	2(0)	43.4	4(0)	8.9	51	2667	0	-	1	4.0	0	-	0	-	-	-	
SK333	6(2)	692.8	16(7)	317.5	1(0)	51.4	4	136	0	-	0	-	0	-	1	27.6	1	-	木製品は、ナ
SK334	0	-	0	-	1(0)	40.8	0	-	0	-	1	14.0	0	-	0	-	-	-	
SK335	3(2)	83.5	3(2)	112.7	5(4)	2454.5	8	1471	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	
SK336	10(1)	78.9	14(6)	520.6	42(15)	3225.2	31	2913	0	-	11	57.0	1(1)	1.5	1	64.0	-	-	石製品は硯
SK337	1(1)	33.8	2(0)	5.9	1(0)	8.3	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	
SK338	10(3)	84.6	10(4)	114.1	13(7)	476.6	65	11037	0	-	12	102	0	-	0	-	-	-	土器 1 (21.9g)

遺構	礎部		隅部		土部		瓦		土製品		陶製品		石製品		木製品	その他			
	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量					
SK339	22(6)	369.0	12(3)	491.8	11(4)	1015.4	142	20142	0	-	0	-	0	-	1	374.5	5	木製品は漆板材3, 下駄, 漆器	
SK340	24(6)	797.3	28(8)	770.2	5(1)	182.5	93	16000	0	-	1	3.0	0	-	0	-	-		
SK341	32(12)	685.6	40(19)	1174.3	17(3)	634.4	1489	81835	0	-	5	33.0	2	6.0	0	-	-		
SK342	2(0)	8.2	1(0)	1.4	1(1)	30.3	88	8307	0	-	0	-	0	-	0	-	-		
SK343	47(13)	695.9	44(10)	2952.3	19(11)	870.0	1879	192005	0	-	18	147.0	6(1)	3.5	1	14.7	1	木製品は曲板底版(長2m) 土壁1(33.5g)	
SK344	9(6)	239.7	3(2)	175.5	0	-	13	1548	0	-	0	-	0	-	0	-	-		
SK345	42(12)	730.7	47(18)	1995.6	10(3)	372.3	762	113302	0	-	0	-	1	15.0	2	77.4	8	木製品に著, 漆板含 硝子製品1(8.5g)	
SK347	5(1)	95.0	7(3)	699.1	5(5)	153.8	819	114211	1	4.4	0	-	1	18.0	0	-	2	木製品は漆板 土製品はミニチュア	
SK348	4(2)	13.3	4(1)	57.2	6(1)	130.8	194	21970	0	-	1	15.0	0	-	1	18.1	-	貝類 244.1g	
SK349	3(0)	11.3	6(3)	529.5	0	-	17	876	0	-	0	-	0	-	0	-	-		
SK351	3(0)	9.1	1(0)	2.2	0	-	4	180	0	-	0	-	0	-	0	-	-		
SK352	1(0)	2.6	2(0)	44.7	0	-	51	8756	0	-	0	-	0	-	0	-	-		
SK353	16(9)	272.9	40(13)	2108.5	6(6)	310.2	33	2727	0	-	0	-	0	-	3(1)	9.1	1	漆板 1(12.3g) 硝子 (鏡) 1(4.9g)	
SK354	3(0)	6.8	1(0)	1.8	2(0)	22.4	17	2755	0	-	1	1.0	0	-	0	-	-		
SK355	2(0)	23.6	4(0)	41.8	2(0)	4.0	22	3031	0	-	1	1.0	0	-	0	-	1(1)	木製品は不整形材(長90cm) 貝類0.5g	
SK357	9(7)	502.7	11(5)	251.5	10(0)	207.4	162	15315	0	-	0	-	2	11.0	1	27.0	7	木製品に含む 硝子 (分析参照) 8.6g	
SK358	19(11)	1718.2	18(6)	701.6	10(3)	95.2	58	5545	2	11.5	3	30.0	13(1)	4.5	0	-	2	木製品は漆板下駄, 漆製品 貝類60.8g	
SK359	0	-	0	-	0	-	53	2730	0	-	0	-	0	-	1	7.0	0	-	
SK360	20(8)	353.0	2(1)	81.1	0	-	751	49701	0	-	19	86.0	3(1)	106.1	0	-	10	煙管 1(10.6g) 含 被熱燻しい瓦あり	
SK361	8(2)	49.5	9(2)	336.6	0	-	1289	135350	0	-	10	108.0	11	86.0	0	-	-	土壁 24(1783g)	
SK362	4(2)	108.3	14(5)	91.9	4(1)	101.6	6046	822673	0	-	54	274.0	0	-	2	7857.6	-	布類 1589.8g 土壁 13(896g)	
SK363	6(1)	54.9	35(8)	7586.2	2(1)	657.8	5285	429975	0	-	21	216.0	1(1)	1.5	0	-	-	-	
SK364	5(1)	17.1	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	1	6.4	-	-	
SK366	2(1)	13.3	0	-	1(1)	21.9	56	8775	0	-	4	42.0	0	-	0	-	-	-	
SK367	3(0)	27.1	2(1)	30.6	2(1)	555.2	16	3240	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	
SK368	1(0)	2.8	1(0)	41.9	0	-	60	4350	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	
SK369	0	-	0	-	0	-	9	920	0	-	1	17.0	0	-	0	-	1	木製品は桶蓋 (一部炭化)	
SK370	20(11)	337.4	13(2)	792.0	13(1)	66.8	70	9343	0	-	0	-	0	-	0	-	1	硝子製品 2(3.5g) 硝子 (鏡) 2(5.6g) 骨 類 5(2.1g)	
SK371	2(0)	43.8	2(0)	9.4	10(0)	175.3	22	2570	0	-	0	-	0	-	1	13.8	-	-	
SK372	2(0)	8.6	2(1)	14.2	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	1	18.5	-	-	板板岩破片含 土壁 12(759g)

通称	基礎		陶器		土器		瓦		土製品		鉄製品		銅製品		石製品		その他
	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	
SK373	1(0)	-	8(4)	166.5	1(1)	42.1	402	2771.0	0	-	6	27.0	1	9.1	0	-	銅製品は保管
SK374	5(1)	53.1	2(0)	6.5	3(1)	-	148	989.5	0	-	0	-	0	-	0	-	-
SK375	0	-	2(0)	28.1	1(0)	51.3	0	-	0	-	1	3.0	0	-	0	-	-
SK376	8(2)	388.4	11(2)	82.3	17(4)	1496.5	6	1655	0	-	18	191.0	3	24.0	2	289.0	磨管 2(9.0g) 含
SK377	33(11)	755.3	37(17)	2949.3	20(5)	3012.6	962	17748.0	0	-	5	83.0	1(1)	1.5	1	564.0	石製品は硯
SK378	65(17)	1188.7	66(16)	4652.4	23(12)	1005.7	1991	19026.5	0	-	4	30.0	1	1.0	1	15.2	木製品は灰化材と漆黒 土壁 3(1000g)
SK379	25(8)	657.6	14(4)	282.4	14(2)	425.7	140	16553	0	-	9	61.0	1(1)	1.5	0	-	土壁 17(363g)
SK380	13(4)	353.9	13(2)	448.8	1(0)	38.4	167	2450.0	0	-	0	-	1	1.0	0	-	種子 (重 219.8g)
SK381	4(1)	138.9	2(0)	17.9	2(0)	4.9	40	761.3	0	-	0	-	0	-	0	-	木製品は用途不明部材
SK382	48(11)	1280.4	25(13)	4109.3	27(16)	888.6	474	8475.0	0	-	1	2.0	3(1)	12.5	1	263.2	木製品に箸 2 含 種子 (重 212.4g)
SK383	31(10)	725.5	9(1)	197.4	6(5)	385.9	122	1051.5	0	-	2	194.0	1	57.0	1	223.6	-
SK384	0	-	3(2)	217.3	8(8)	1127.9	69	926.0	0	-	1	3.0	1(1)	1.5	0	-	-
SK385	1(0)	1.1	3(0)	22.2	0	-	6	150.0	0	-	4	17.0	0	-	0	-	-
SK386	1(0)	3.0	1(0)	4.8	0	-	3	120.0	0	-	0	-	0	-	0	-	-
SK387	10(22)	473.2	30(10)	1515.4	3(3)	996.7	113	15020.0	0	-	2	40.0	1(1)	1.5	1	878.9	木製品にしゃもじ 1、鏝 2、杓 4 含 石製品は硯 硝子製品 1(6.8g) 貝類 17.4g 種子 341.2g
SK388	8(3)	137.1	9(4)	295.8	5(1)	1177.9	26	1816	0	-	0	-	0	-	0	-	木製品は漆黒蓋 土管片 1 混入
SK437	3(0)	23.6	3(0)	73.9	1(0)	331.4	81	1000.5	0	-	0	-	0	-	0	-	-
SK438	10(2)	176.8	7(4)	178.1	5(2)	1721.9	47	5864	1	6.3	0	-	0	-	0	-	-
SK439	5(2)	73.2	6(2)	271.9	3(1)	-	267	4611.0	0	-	8	118.0	0	-	1	80.0	土製品はミニチュア 鍔 1(30g) 貝類 2.8g
SK440	5(3)	136.5	6(2)	1098.6	3(1)	2084.2	3	610	0	-	0	-	0	-	0	-	-
SK441	20(10)	698.6	16(6)	1270.4	10(4)	1156.6	38	705	0	-	0	-	0	-	0	-	-
SK442	87(35)	2225.7	64(13)	3305.9	21(6)	3047.8	142	3435.0	0	-	7	187.0	3(1)	118.5	3	882.3	硝子製品 11(136.1g) 貝類 34.0g
SK443	54(20)	1549.3	15(9)	418.0	25(4)	4825.8	279	6453.4	0	-	1	9.0	0	-	0	-	煉瓦 1(295.5g) 硝子製品 3(123.0g)
SK444	16(7)	434.1	10(1)	976.6	8(4)	1373.2	13	1040	0	-	0	-	1	20.0	0	-	硝子製品 1(5.6g)
SK450	192(61)	5691.7	98(20)	8434.6	59(30)	5561.9	445	2516.0	2	8.1	3	159.0	1	0.5	0	-	木製品に鍔含 土製品はミニチュア 1(3.7g) 玩具類 1 硝子製品 3(138.9g)
SK446	6(1)	32.4	10(2)	473.7	2(0)	91.4	8	660	0	-	0	-	0	-	0	-	-
SK447	1(0)	14.8	1(0)	44.1	1(0)	18.8	0	-	0	-	4	43.0	0	-	1	78.1	-
SK448	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-
SK449	11(2)	46.1	2(0)	41.0	0	-	1	100	0	-	0	-	0	-	0	-	-

遺構	礎部		隅部		土部		瓦		土製品		彫製品		銅製品		石製品		木製品	その他
	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量		
SK450	74(28)	2697.8	61(19)	2944.4	15(3)	641.4	78	7960	0	-	0	-	0	-	2	808.2	1	石製品に埋、右口合 硝子製品(3.0g)
SK451	34(17)	1323.0	42(8)	586.0	7(1)	1783.7	77	9870	0	-	0	-	0	-	1	225.4	7(1)	木製品に漆繪2 合 硝子製品(16.0g)
SK452	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	土製品はミニチュア(10.0g)と玩具(1.9g) 硝子製品(3192.8g)
SK510	15(13)	797.0	11(1)	500.3	8(2)	476.8	40	5900	2	11.9	1	12.0	0	-	0	-	-	-
SK511	7(3)	790.9	15(3)	658.9	5(1)	180.1	34	3635	0	-	0	-	0	-	1	1.5	0	-
SK512	14(2)	103.9	9(2)	129.3	6(0)	100.7	115	10572	0	-	7	50.0	1(1)	1.5	0	-	-	-
SK601	22(20)	1656.5	5(3)	1605.3	16(5)	1680.2	1331	198980	1	6.2	0	-	9(9)	13.5	0	-	1	木製品は漆繪 土製品はミニチュア
SK602	18(7)	329.1	12(1)	2076.3	3(2)	116.8	781	142440	2	7.1	1(1)	1.5	3(3)	4.5	0	-	-	陶器のうち3000g等は常滑焼
SK603	20(17)	1141.2	1(1)	41.3	1(0)	52.9	115	26970	1	2.0	0	-	1(1)	1.5	0	-	5	土製品はミニチュア(12.3g)と玩具(4.8g)
SK604	2(0)	38.2	5(3)	242.1	2(2)	46.0	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-
SK605	119(84)	6197.9	135(53)	7548.6	39(13)	8528.9	248	29472	3	36.7	4	22.0	3(2)	8.8	3	164.9	40	土製品はミニチュア(101.6g)と玩具2(9.0g) 合 石製品に埋(172.0g)、銅製品に焼青(115.6g) 合 硝子(14.1g)
SK606	26(13)	1163.3	37(12)	2529.7	0	-	66	6439	1	13.6	2	31.0	4(4)	6.0	0	-	-	陶器にミニチュア(11.4g) 合 土製品は玩具 硝子製品(217.0g)
SK608	0	-	3(1)	162.0	7(1)	571.7	0	-	0	-	0	-	0	-	1	5.8	0	漆青 合 木製品は漆物底(径8.2cm)
SK609	12(7)	343.4	5(2)	148.9	0	-	0	-	2	4.4	1	70.0	0	-	0	-	-	土製品はミニチュア(102.0g)と玩具(10.8g)
SK610	17(9)	274.1	16(2)	769.6	13(2)	457.3	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	1	木製品は化粧した漆器
SK611	57(29)	1651.1	62(17)	5916.5	20(3)	3188.6	75	8395	4	25.4	0	-	0	-	2	182.0	1	土製品はミニチュア(108.3g)と玩具(307.1g) 硝青 合 石製品に花崗石片(170.7g) 合 木製品は漆物底2 板材2 土製品は玩具
SK612	21(7)	500.1	32(3)	515.2	21(2)	1238.9	60	5340	2	11.9	1(1)	1.5	0	-	0	-	4	陶器にミニチュア(16.5g) 合 土製品は玩具
SK613	19(9)	565.0	29(3)	622.5	3(2)	54.4	21	2745	1	12.9	0	-	1(1)	1.5	0	-	-	木製品は漆器底材(板状)
SK614	14(2)	164.4	13(3)	429.1	5(1)	142.9	34	4062	0	-	5	32.0	0	-	0	-	1	木製品は漆器底材(板状)
SK616	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-
SK617	23(6)	658.3	51(9)	967.7	9(1)	292.7	12	1000	1	17.0	12	54.0	0	-	2	329.0	-	土製品は玩具、石製品に埋(147.0g) 合 土製品は玩具、銅製品は漆青 漆瓦
SK618	24(13)	788.8	41(10)	1693.3	14(4)	1259.7	36	3665	1	8.2	3	9.0	1	6.9	3	599.7	1	土製品は玩具、銅製品は漆青 漆瓦(1171.2g) 硝子(重約45.0g)
SK620	33(7)	403.4	36(9)	1838.7	29(1)	1126.8	33	3141	1	7.4	1	26.0	2	9.5	0	-	2	銅製品は焼青 瓦類(13.5g、骨類0.5g)
SK621	8(3)	356.5	9(2)	132.5	7(0)	426.6	42	2974	0	-	0	-	0	-	0	-	3	木製品は漆繪1、漆蓋2(漆化)
SK622	0	-	0	-	0	-	3	2230	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-
SK623	6(3)	171.2	13(1)	359.7	3(0)	28.6	2	240	1	6.8	1	5.0	4	9.0	0	-	3	土製品は玩具 硝子(377.1g)
SK624	7(3)	176.9	8(1)	38.4	5(2)	106.1	8	825	0	-	0	-	2(2)	3.0	2	31.5	-	硝子(10.6g被熱あり)

遺構	礎石		陶器		土器		瓦		土製品		鉄製品		銅製品		石製品		木製品	その他
	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量		
S6625	7(1)	129.7	7(3)	279.5	5(4)	132.2	50	2731	0	-	2	25.0	0	-	0	-	-	-
S6626	0	-	5(0)	36.3	2(1)	12.8	3	90	0	-	10	66.0	0	-	0	-	6	木製品は桶材のみ 種子 (横 11.9g)
S6627	6(2)	88.5	4(1)	122.4	1(0)	22.3	9	890	1	6.2	1	2.0	0	-	0	-	-	土製品は玩具
S6628	8(1)	68.8	1(1)	257.9	0	-	6	480	0	-	2	7.0	0	-	1	456	-	石製品は硯
S6629	4(1)	56.7	9(3)	50.3	3(1)	29.8	7	400	0	-	4	54.0	0	-	0	-	-	-
S6630	3(1)	22.9	12(2)	94.8	0	-	0	0	0	-	3	24.0	0	-	0	-	-	土壁 (9.7g)
S6631	20(8)	303.2	10(2)	85.4	5(0)	288.8	34	2675	1	7.9	8	103.0	0	-	0	-	-	土製品はミニチュア
S6632	16(5)	140.6	16(2)	687.7	2(0)	111.0	36	2285	1	4.2	13	239.0	0	-	0	-	1	土製品はミニチュア 漆喰 (120g) 瓦と 漆管) 貝殻 22.3g 種子 (横 418.3g)
S6634	23(10)	725.5	17(3)	475.5	10(4)	785.8	41	3046	0	-	2	23.0	0	-	1	163.4	4	木製品は下駄箱 (炭化) 削長の毛、調等
S6635	12(6)	167.9	10(5)	128.7	12(1)	925.9	26	2760	0	-	11	192.0	0	-	0	-	-	-
S6637	0	-	0	-	0	-	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	-	-
S6638	4(2)	68.3	10(4)	290.3	1(0)	34.0	5	430	0	-	0	0	0	0	0	0	-	-
S6639	2(2)	133.6	3(3)	231.5	5(4)	131.7	1	30	0	-	0	0	0	0	0	0	-	-
S6640	10(3)	251.0	8(4)	142.9	4(4)	171.1	11	730	3	33.3	0	-	0	-	0	-	2	土製品はミニチュア 2(25.1g) と玩具
S6641	14(4)	387.1	8(4)	815.6	12(2)	1055.2	12	599	0	-	0	-	0	-	1	7.0	0	木製品は下駄
S6642	11(3)	316.0	7(2)	311.3	3(0)	39.6	17	1260	0	-	0	-	0	-	0	0	2	木製品は下駄、漆器
S6643	2(0)	9.5	5(1)	45.5	0	-	3	350	0	-	0	-	0	-	0	0	-	-
S6644	16(9)	211.8	43(3)	2223.1	15(2)	1175.5	11	469	0	-	2	220.0	3	125.0	0	-	-	硝子製品 3(70.0g) 硝子 1(32.5g) 漆喰 (101.2g)
S6645	26(7)	282.7	46(9)	486.9	21(7)	512.4	8	476	0	-	9	42.0	11(1)	16.5	1	3.7	-	-
S6646	0	-	6(1)	81.5	2(1)	4.7	0	0	0	-	0	0	-	1(1)	1.5	0	-	-
S6647	25(9)	387.6	16(8)	592.4	3(2)	706.0	50	3450	1	3.4	0	0	-	8(7)	16.9	0	4	木製品に桶付含 漆管 (6.4g) 含 土製 品はミニチュア 種子 (横削 4片 10.3g)
S6648	0	-	0	-	2(0)	126.9	0	0	0	-	0	0	-	0	0	0	1	-
S6649	18(2)	109.8	13(0)	408.5	8(3)	293.3	5486	557672	0	-	1	6.0	0	-	0	-	1	硝子製品 3(214.0g) 硝子 (横 2(6.7g)
S6650	8(2)	32.7	4(0)	590.3	1(0)	35.0	26	3100	1	10.9	1	14.0	0	-	0	-	-	土製品は玩具 土壁 (18.1g)
S6651	6(3)	198.6	2(1)	88.7	6(2)	247.1	6	450	0	-	3	13.0	0	-	0	-	-	硝子製品 3(214.0g)
S6652	26(16)	1225.1	47(26)	895.8	38(10)	2542.5	90	5590	0	-	20	420.0	7(5)	11.3	4	5432.7	2	漆管 2(3.8g) 含 硝子製品 1(5.2g)
S6653	0	-	1(0)	3.5	0	-	1	80	0	-	0	0	-	0	-	0	-	-
S6654	112(61)	8603.1	66(35)	5065.9	7(3)	1232.0	252	19542	2	13.4	12	86.0	0	-	1	116.0	5	土製品はミニチュア (13.0g) と玩具 貝殻 0.9g 硝子 (横 5(7.9g)
S6655	34(9)	1063.9	16(10)	665.9	4(2)	277.9	157	25627	0	-	4	8.0	0	-	1	44.1	2(2)	木製品は板付 硝子 (横 3(5.8g)
S6656	0	-	0	-	0	-	0	0	0	-	4	8.0	0	0	0	0	-	-

遺構	礎部		隅部		土部		瓦		土製品		陶製品		銅製品		石製品		木製品	その他
	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量		
S6057	17(2)	131.1	19(2)	206.0	5(5)	12.3	17	820	2	37.1	3	17.0	1(1)	1.5	1	51.7	-	瓦片はミニチュア(25.7g)と玩具硝子製品(13.8g)目録63.8g、骨組0.7g、種子(胡麻1粒33.9)85.8g
S6058	3(2)	37.7	9(1)	230.7	4(2)	104.3	33	3170	0	-	1	3.0	0	-	0	-	-	-
S6059	7(1)	76.0	5(1)	203.8	2(0)	21.4	4	800	0	-	2	15.0	0	-	0	-	-	-
S6060	52(15)	913.3	67(10)	4170.9	35(8)	1686.5	106	9700	1	5.0	59	276.5	7	127.5	3	30.3	-	土製品は玩具、石製品に石箸2(4.7g)含、硝子製品(17.0g)種子(総32.9g)
S6061	9(5)	552.1	5(1)	187.9	6(1)	212.7	5	351	0	-	0	-	0	-	0	-	2	木製品は漆、板材、種子(総10)9.0g
S6062	3(2)	61.6	4(1)	33.9	4(0)	161.0	23	960	0	-	3	61.0	3(1)	16.6	0	-	-	煙管1(4.1g)含
S6063	0	-	1(0)	4.0	6(0)	757.1	0	-	0	-	0	-	1(1)	1.5	0	-	-	-
S6064	0	3.7	6(0)	34.9	18(0)	1740.6	204	194880	0	-	0	-	1(1)	1.5	0	-	-	-
S6065	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	5	木製品は炭化竹材、漆、植物底3
S6066	68(40)	2297.5	56(15)	4602.3	42(11)	8303.4	48	5570	0	-	35	1548.0	4	42.0	2	122.6	4	硝子製品7(110.0g)種子(総1)3.2g
S6067	35(15)	1148.6	19(3)	613.3	5(2)	336.8	115	13161	3	59.8	2	53.0	0	-	0	-	8	土製品はミニチュア(28.2g)と玩具2硝子製品(11.6g)種子(総10)36.7g
S6068	34(11)	792.0	40(11)	2448.3	8(0)	170.4	82	5716	0	-	2	19.0	2(2)	3.0	1	66.3	12	種子(胡麻2)1、硝28)49.7g
S6070	2(1)	71.0	0	0	0	-	1	110	0	-	0	-	1(1)	1.5	0	-	-	目録19.9g、種子(総5)15)16.5g
S6071	46(26)	1478.1	35(13)	874.7	2(0)	46.6	35	1790	2	25.3	8(1)	43.5	6(2)	20.0	1	34.2	-	木製品は板材
S6072	6(2)	87.9	1(1)	13.2	3(1)	51.2	3	290	0	-	0	-	0	-	0	-	1	-
S6073	9(3)	177.9	10(4)	642.2	0	-	2	15	0	-	3	6.5	1	2.0	0	-	-	-
S6074	0	-	0	-	1(0)	9.9	3	530	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-
S6075	0	-	1(0)	42.6	1(1)	29.0	6	1755	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-
S6078	0	-	0	-	0	-	24	1050	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-
S6081	17(6)	292.0	22(6)	251.7	13(3)	426.8	93	10560	0	-	3	44.0	1(1)	1.5	0	-	8	硝子製品1(684.0g)漆管12(684g)目録22.7g、骨組2.3g、種子(総1)1.4g
pt301	0	-	0	-	0	-	4	370	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-
pt302	0	-	0	-	0	-	0	0	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-
pt303	0	-	0	-	0	-	2	295	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-
pt304	0	-	0	-	0	-	2	100	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-
pt1611	0	-	0	-	0	-	0	0	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-
pt1612	0	-	0	-	0	-	0	0	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-
pt1613	0	-	0	-	0	-	0	0	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-
S6084	1(0)	8.0	0(4)	8.0	0	-	37	2730	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-

遺構	礎石		陶器		土器		瓦		土製品		鉄製品		銅製品		石製品		その他
	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	
基礎 313	0	-	0	-	0	-	3840	319830	0	-	0	-	0	-	0	-	-
基礎 314	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-
基礎 317	0(1)	-	2(1)	-	1(0)	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-
溝 327	0	-	4(0)	134.5	0(3)	16.3	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-
溝 328	12(2)	186.8	5(2)	38.7	3(1)	65.3	70	7260	0	-	6	16.0	0	-	0	-	-
溝 329	1(0)	3.1	1(0)	16.6	0	-	5	600	0	-	0	-	0	-	0	-	-
溝 330	9(1)	64.1	5(0)	52.6	3(0)	130.7	2	32	0	-	2	17.0	0	-	1	13.0	-
溝 331	1(0)	9.0	0	-	3(0)	59.1	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-
溝 332	1(0)	13.5	6(1)	29.9	5(1)	624.4	4	260	0	-	2	2.0	0	-	0	-	-
溝 333	0	-	2(1)	106.2	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-
溝 624	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	1	5.8	1	22.6	-
溝 625	3(1)	136.9	4(2)	91.9	1(0)	49.8	2	250	0	-	0	-	0	-	0	-	-
溝 626	6(3)	35.5	3(0)	18.0	2(0)	6.6	2	260	0	-	0	-	0	-	1	39.3	-
溝 627	3(1)	57.1	2(0)	13.2	0	-	1	40	0	-	0	-	0	-	1	11.1	-
溝 628	7(1)	46.6	26(12)	1927.7	10(0)	501.9	4	140.0	0	-	0	-	4(2)	10.0	6	55.5	-
溝 629	0	-	1(0)	115.5	0	-	1	20	0	-	1	5.0	0	-	0	-	-
溝 630	0	-	1(0)	1.6	0	-	0	-	0	-	0	-	1(1)	1.5	1	4.2	-
溝 631	0	-	4(1)	44.5	1(0)	2.6	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-
溝 632	0	-	1(0)	267.4	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-
溝 634	0	-	3(0)	32.7	1(0)	12.3	0	-	0	-	0	-	0	-	1	17.3	-
溝 635	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-
SE303	0	-	1(0)	9.2	0	-	7	350	0	-	0	-	0	-	0	-	-
SE304	7(3)	116.3	8(2)	281.0	14(0)	26.9	97	11938	0	-	0	-	0	-	0	-	-
SE305	3(2)	330.6	26(5)	582.5	13(8)	355.7	6	660	2	22.6	1	10.4	6	2.0	3	73.9	-
SE307	12(8)	413.9	20(7)	336.7	9(1)	1743.2	15	2320	0	-	0	-	0	-	0	-	-
SE307 榑方	7(2)	228.1	11(2)	566.4	3(0)	295.4	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-
SE311	8(3)	269.9	5(2)	563.6	1(0)	13.5	16	1800	0	-	1	18.0	4	7.0	2	234.4	-
SE312	7(6)	199.5	8(4)	276.6	3(1)	186.2	34	3490	0	-	0	-	0	-	0	-	-
SE312 榑方	45(5)	829.1	52(8)	629.0	30(5)	885.9	3	120	0	-	3	6.0	1	1.0	0	-	-
SE313	0	-	0	-	0	-	16	960	0	-	0	-	0	-	0	-	-
SE313 榑方	8(4)	124.0	11(6)	568.8	20(2)	813.9	2	218	0	-	1	1.0	0	-	0	-	-

遺構	礎部		隅部		土部		瓦		土製品		陶製品		石製品		木製品	その他
	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	
SK002	22(12)	622.8	22(8)	1536.0	10(2)	1655.5	12	1760	1	8.0	0	0	6(2)	8.0	0	4 木製品は漆器、桶底、桶材、骨類 80.9g
SK001	1(1)	32.7	2(1)	140.8	1(0)	9.9	0	-	0	-	0	-	2(2)	3.0	0	-
SK002	1(0)	5.9	3(2)	300.8	2(0)	10.8	0	-	0	-	1	17.0	0	-	0	-
SK009	1(0)	8.0	8(1)	16.8	7(4)	-	3	150	0	-	0	-	0	-	0	-
SK001	6(4)	188.6	8(1)	175.2	7(0)	401.2	6	1620	0	-	1	13.0	1	3.0	0	3 木製品は漆器、桶底、桶材、骨類 328.4g
SK002	1(0)	3.8	5(0)	110.4	3(0)	41.1	1	120	0	-	0	-	0	-	0	10 木製品は漆器、桶底、桶材、骨類 22.0g、骨類 41.3g
SK003	2(1)	36.7	2(1)	63.3	2(1)	198.2	0	-	0	-	1	2.0	1	2.0	0	-
SK004	0	2.2	2(1)	6.8	0	-	1	70	0	-	0	-	0	-	0	3 種子（ウリ科6粒）1g未満
SK005	3(0)	3.6	1(0)	0.7	2(09)	131.8	0	-	0	-	0	-	0	-	0	3
SK006	0	-	1(0)	-	3(1)	386.4	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
SK007	0	-	2(0)	183.5	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
SK008	10(4)	130.4	10(2)	187.5	3(0)	46.4	2	170	0	-	6	30.0	0	-	0	-
SK009	5(3)	87.8	7(0)	243.5	2(0)	25.4	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
SK000	6(3)	287.3	2(0)	44.8	5(0)	176.2	16	2488	0	-	0	-	0	-	0	10 硝子製品 15(2430.0g) 貝類 117.2g 種子 2.7g
SK001	3(1)	42.5	3(0)	26.4	3(0)	122.7	0	-	0	-	0	-	1(1)	1.5	0	-
SK002	5(1)	44.0	6(2)	115.8	1(0)	104.4	2	70	-	-	-	-	2(2)	3.0	0	-
SK003	3(1)	19.0	6(1)	81.9	2(0)	32.1	9	870	0	-	3	23.0	2(1)	4.4	2	490.4 木製品は著 陶製品は漆器（漆管 12.9g）含
SK004	1(0)	3.6	1(0)	2.9	2(0)	71.7	0	-	0	-	0	-	1(1)	1.5	0	-
SK005	4(2)	237.5	4(2)	67.5	5(1)	166.9	19	4800	0	-	0	-	0	-	0	-
SK006	0	-	9(1)	801.9	1(0)	4.2	0	-	0	-	0	-	0	-	0	種子（桐底 310.1g未満）
SK007	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
SK008	7(1)	-	24(3)	691.9	12(0)	360.2	1	35	0	-	5	38.0	0	-	0	-
SK009	0	-	3(0)	56.6	8(0)	813.5	5	270	0	-	0	-	1(1)	1.5	0	-
SK010	4(0)	72.2	6(0)	30.7	1(0)	36.6	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
SK011	6(4)	285.1	6(4)	241.7	2(2)	132.4	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
SK012	2(0)	21.6	3(0)	7.7	0	-	1	40	0	-	0	-	0	-	0	-
SK013	3(2)	172.9	9(1)	266.6	0	-	0	-	0	-	2	9.0	5	2.0	0	-
SK014	0	-	0	-	0	-	1	450	0	-	0	-	0	-	0	-
SK015	21(10)	309.7	51(14)	2793.1	31(14)	1355.0	8	410	0	-	1	21.0	1	4.2	2	226.0 陶製品は漆器、石製品に硬（104.0g）含
SK016	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
SK017	5(2)	111.0	21(2)	1054.1	3(0)	116.3	7	430	0	-	6	27.0	1	0.5	1	14.5 木製品は骨（櫛櫛）

遺構	鋸器		陶器		土器		瓦		土製品		鉄製品		銅製品		石製品		木製品	その他	
	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量			
SK418	1(0)	-	2(0)	30.4	1(1)	25.2	5	330	0	-	4	9.0	0	-	0	-	1	木製品は曲物底(平径3.5cm)	
SK419	18(6)	529.0	12(4)	408.1	14(7)	3080.2	6	385	0	-	1	18.0	0	-	1	136.1	19	木製品は桶側板、桶底板	
SK420	14(8)	297.4	16(5)	614.4	10(4)	473.3	86	11962	0	-	0	-	0	-	1	120.1	104.2	-	
SK421	5(2)	241.3	4(1)	129.3	3(2)	695.8	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	
SK422	4(2)	144.1	7(2)	90.2	3(0)	77.4	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	
SK423	23(17)	2339.6	40(23)	3329.5	16(13)	4437.2	15	2600	1	9.0	1	25.0	9(1)	7.5	0	-	22	木製品は炭化した松 種子1.3g	
SK424	1(0)	9.6	2(0)	48.0	2(1)	23.6	21	1730	0	-	0	-	0	-	0	-	0	木製品は急合 種子(南瓜へタ)0.9g	
SK425	0	-	4(1)	17.2	0(1)	9.2	22	2230	0	-	1	6.0	0	-	0	-	-	種子3.3g	
SK426	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	
SK427	40(13)	493.2	51(10)	1365.6	20(8)	564.0	1128	124718	0	-	14	52.0	0	-	0	-	6	木製品は杓、漆器等 漆皿11(37.6g)	
SK428	0	-	0	-	2(0)	29.4	15	820	0	-	0	-	0	-	0	-	0	土壁19.8g	
SK429	19(11)	1130.3	41(14)	1091.3	30(5)	1102.9	43	3072	1	16.9	2	22.0	3	3.0	1	10.9	26	木製品は曲物底、櫛等 土製品は玩具	
SK430	20(6)	299.7	23(7)	444.4	7(2)	710.6	3	60	0	-	2	15.0	2(2)	3.0	2	3.9	-	右製品は右蓋 硝子製品10(0.5g) 種子(他)10.4g	
SK431	11(6)	427.4	11(6)	294.9	1(0)	8.4	5	300	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	
SK432	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	
SK433	0	-	6(1)	177.1	0	-	1	190	0	-	1	2.0	0	-	0	-	0	-	
SK434	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	
SK435	1(1)	12.5	0	-	0	-	1	290	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	
SK436	3(1)	145.3	11(6)	615.4	0	-	154.9	42	6900	0	-	1	5.0	2	14.7	0	-	0	-
SK437	2(1)	47.6	12(6)	8021.4	2(0)	178.3	7	904	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	
SK438	3(0)	21.4	11(0)	165.5	4(0)	272.6	3	130	0	-	0	-	0	-	0	-	1	415.8	
SK439	2(0)	0.6	11(2)	110.1	0	-	15	1010	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	
SK440	8(3)	325.6	6(2)	251.3	3(0)	182.4	8	840	0	-	3	40.0	1	6.5	0	-	1	煙管含	
SK441	57(26)	1511.4	59(23)	5590.2	34(24)	3408.2	31	1900	0	-	2	186.0	2(1)	8.5	0	-	5	木製品は下駄膚1含 貝類72.9g	
SK442	21(9)	299.5	16(4)	248.0	12(6)	374.7	10	830	0	-	0	-	1	5.0	0	-	1	木製品は漆器(蓋) 貝類94.0g	
SK443	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	
SK444	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	
SK445	5(2)	161.3	18(6)	1435.7	8(5)	7729.5	179	23232	0	-	0	-	0	-	1	7.8	2	320.2	
SK446	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	
SK447	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	
SK448	9(0)	26.4	12(5)	280.8	8(4)	279.1	16	907	0	-	0	-	0	-	1	7.3	0	-	

遺構	礎部		隅部		土部		瓦		土製品		陶製品		銅製品		石製品		木製品	その他
	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量		
SK464	0	-	1(0)	10.8	1(0)	5.6	2	77	0	-	0	-	0	-	1	15.0	-	-
SK465	10(5)	443.5	12(4)	1523.7	16(4)	1045.2	9	916	0	-	0	-	0	-	0	-	5	木製品は漆桶2、蓋、肥手、曲物
SK466	45(14)	149.8	63(23)	182.1	72(29)	306.0	112	11228	0	-	6	34.5	2(1)	2.0	2	2028.6	11	木製品は漆桶5、漆蓋4含
SK467	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-
SK468	2(2)	104.2	6(2)	220.3	1(1)	746.4	45	4390	0	-	0	-	0	-	0	-	1	モルタル片(113.5g) 貝類2、5g
SK469	34(17)	1022.6	29(11)	1505.7	9(3)	577.8	193	28232	1	7.8	4	751.0	4	88.0	1	25.4	8	漆桶2含 土製品は玩具 貝類33.4g
SK470	1(1)	130.1	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-
SK471	0	-	0	-	1(0)	307.1	1	148	0	-	0	-	1	5.8	0	-	-	煙管含
SK472	1(1)	29.3	2(1)	313.0	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	土製6(50g)
SK473	19(5)	559.8	34(19)	1191.3	25(5)	1197.7	36	3290	0	-	3	34.0	1	1.0	3	207.3	10	木製品に漆(炭化)、曲物底含
SK474	3(2)	97.7	6(3)	176.7	9(2)	353.5	11	1370	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-
SK475	10(3)	182.4	8(0)	143.6	7(4)	206.5	9	370	0	-	0	-	0	-	0	-	1	木製品は漆蓋
SK476	2(0)	27.2	4(2)	31.7	3(0)	139.0	12	1230	0	-	0	-	0	-	0	-	3	木製品は刷毛、漆桶、漆蓋
SK477	48(23)	2265.9	66(34)	4398.5	56(32)	5577.9	234	29518	0	-	6(2)	59.0	3	9.1	6	1108.5	25	銅製品は陶管1(7.1g)、石製品は礎
SK478	27(7)	498.4	29(13)	1870.7	13(9)	1707.4	2	75	0	-	6	17.0	0	-	0	-	12(1)	木製品は箸、櫛、曲物底等 土製1(5.9g)
SK479	1(0)	5.3	3(0)	71.8	2(1)	8.8	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-
SK480	11(9)	607.2	5(1)	136.2	3(1)	115.6	50	3450	0	-	2	17.0	0	-	0	-	3	木製品は箸、札、漆器片
SK481	1(0)	1.0	1(0)	3.3	1(1)	16.9	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-
SK482	0	-	6(2)	52.3	1(1)	33.3	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-
SK483	6(0)	17.9	4(0)	33.0	2(2)	24.4	1	40	0	-	0	-	0	-	1	6.5	-	-
SK484	0	-	2(1)	15.8	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-
SK485	0	-	4(1)	17.7	2(1)	33.5	2	200	0	-	0	-	0	-	1	1.6	-	-
SK486	4(1)	30.8	14(3)	329.0	5(1)	133.2	6	1010	0	-	1	3.0	0	-	0	-	-	-
SK487	2(0)	6.8	0	-	1(0)	4.9	0	-	0	-	1	7.0	0	-	0	-	-	貝類11.1g
SK488	9(2)	166.7	28(12)	611.2	15(8)	375.5	34	36229	0	-	0	-	0	-	1	128.1	-	硝子製品2(5.1g) 貝類2.6g
SK489	1(1)	-	0	-	2(2)	35.2	53	3310	0	-	0	-	0	-	1	23.3	-	-
SK490	0	-	1(0)	2.4	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	2	44.3	-	-
SK491	0	-	1(0)	1.8	1(0)	84.9	1	10	0	-	0	-	0	-	0	-	-	其他用品1(7.9g)
SK492	0	-	1(0)	24.4	0	-	0	-	0	-	4	26.0	1	4.7	0	-	-	銅製品は陶管
SK493	3(0)	16.3	5(1)	14.9	2(2)	137.9	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-

選料	鋸材		肉厚		土曜		瓦		土製品		鈣製品		鋼製品		石製品		木製品	その他		
	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量				
SK091	15(1)	147.6	19(4)	303.4	10(1)	213.3	0	-	0	-	0	-	2	12.0	5(5)	7.5	0	-	3	木製品は漆喰 2、漆喰 1
SK092	2(2)	144.9	2(1)	41.2	0	-	4	1150	0	-	0	-	0	-	1	3.0	0	-	1	木製品は部材
SK093	0	-	2(1)	50.2	4(2)	72.7	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	1	65.8	-	木製品は部材
SK094	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	木製品は漆喰 7 含 種子 (油断 1、新 27.6)
SK095	42(29)	1952.8	103(38)	5393.0	69(27)	5352.8	235	21599	0	-	5	66.0	3	7.0	5	444.6	21(1)	-	6	木製品は漆 1、曲物底 1 含 土製品は玩具
SK096	6(2)	120.0	16(8)	528.7	13(8)	1071.1	11	1180	1	15.9	0	-	0	-	0	-	0	-	-	木製品は漆 1、曲物底 1 含 土製品は玩具
SK097	3(2)	124.2	5(2)	101.1	3(1)	115.5	7	1360	1	61.0	1	52.0	0	-	0	-	0	-	-	土製品は玩具
SK098	2(1)	65.3	1(0)	31.6	5(4)	69.8	6	680	0	-	0	-	0	-	1(1)	1.5	0	-	-	木製品は漆喰板 1、底板 2、漆喰箱材 1
SK099	16(11)	945.3	26(15)	1998.9	5(2)	199.1	11	640	0	-	1	4.0	1	6.0	0	-	0	-	4	煙管 3 含 木製品に補材、曲合 種子 4.9
SK700	23(9)	680.0	11(3)	71.5	9(2)	902.5	31	2250	0	-	0	-	0	-	3	41.2	5	609.7	13	煙管 3 含 木製品に補材、曲合 種子 4.9
SK701	3(0)	25.9	7(3)	106.7	1(1)	59.7	2	80	0	-	2	18.0	1	12.0	0	-	0	-	-	煙管 1(1.6g) 含 土製品は玩具
SK702	81(23)	2218.6	161(41)	9386.0	64(22)	4986.0	19	1530	1	59.7	0	-	4	6.6	2	39.4	-	-	-	土曜 1(7.3g) 含 土製品は玩具
SK703	3(2)	133.1	6(1)	37.5	1(0)	8.0	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	木製品は下駄、土曜 1(11.3g)
SK704	4(2)	50.6	23(11)	4647.6	20(1)	3228.2	2	120.0	0	-	6	35.0	4(3)	5.5	0	-	1	木製品は下駄、土曜 1(11.3g)	-	土曜 1(7.3g)
SK705	1(0)	6.2	2(0)	9.3	4(1)	1208.4	0	-	0	-	1	4.0	0	-	0	-	0	-	-	木製品は漆喰 土製品は玩具
SK708	0	-	0	-	1(0)	32.5	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	木製品は漆喰 3、漆喰 1
SK709	1(0)	7.0	8(2)	462.8	1(0)	66.7	0	-	0	-	1	2.0	1(1)	1.8	0	-	0	-	-	土曜 1(7.3g)
SK710	7(3)	244.9	7(4)	120.1	7(6)	322.1	7	480	1	21.0	0	-	1	17.0	0	-	0	-	1	木製品は漆喰 土製品は玩具
SK711	18(13)	773.6	15(8)	907.1	4(0)	364.5	8	1568	0	-	0	-	2(1)	2.5	0	-	4	木製品は漆喰 3、漆喰 1	-	木製品は漆喰 3、漆喰 1
SK712	0	-	1(0)	54.7	0	-	1	60	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	木製品は漆喰 3、漆喰 1
SK713	0	-	1(10)	3.2	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	木製品は漆喰 3、漆喰 1
SK714	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	木製品は漆喰 3、漆喰 1
SK715	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	煙管 1(86.0g) 含
SK716	13(1)	77.2	9(4)	42.1	4(0)	186.0	0	-	0	-	2	70.0	2(1)	187.5	0	-	0	-	-	煙管 2(8.3g) 含 木製品に漆 1 含
SK717	6(1)	78.4	11(6)	249.1	9(1)	638.2	2	140	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	煙管 2(8.3g) 含 木製品に漆 1 含
SK718	24(3)	433.4	60(8)	1463.5	27(6)	1640.3	8	253	1	23.5	3	10.0	7(2)	14.3	3	350.5	5	煙管 2(8.3g) 含 木製品に漆 1 含	-	煙管 2(8.3g) 含 木製品に漆 1 含
SK719	1(1)	70.4	6(0)	34.9	3(1)	177.5	1	80	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	木製品に漆 1 含
SK721	0	-	3(2)	91.1	1(0)	9.4	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	木製品に漆 1 含
SK722	6(2)	193.3	5(2)	200.8	5(2)	167.7	1	24	0	-	1	35.0	0	-	0	-	2	411.7	4	木製品に漆 1 含
SK723	5(1)	61.6	3(1)	26.3	4(0)	97.5	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	木製品に漆 1 含

遺構	礎石		陶器		土器		瓦		土製品		鉄製品		銅製品		石製品		木製品	その他		
	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量				
SK724	6(0)	7.9	5(2)	63.8	2(0)	44.3	0	-	0	0	-	0	0	-	0	2	118.6	1	木製品は漆桶	
SK725	4(1)	57.7	4(2)	524.4	12(10)	791.0	2	330	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	-	
SK726	7(5)	114.2	15(4)	338.6	6(1)	417.6	10	1000	0	-	0	-	0	-	1(1)	1.5	0	-	2(1)	木製品は漆桶と建築部材(一部炭化)
SK727	9(5)	628.6	3(2)	135.9	0	-	9	440	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	3(1)	木製品は漆桶、下駄、建築部材
SK728	8(5)	383.2	7(1)	409.4	5(1)	1131.9	76	6400	0	-	0	-	0	-	0	-	4	-	5(2)	木製品は漆桶、下駄、漆器片、建築材
SK729	5(1)	87.3	9(5)	125.1	2(0)	606.5	6	520	0	-	0	-	0	-	0	-	1	160.0	5(2)	木製品は漆桶、下駄、漆器片、建築材
SK730	4(1)	58.4	6(1)	526.1	1(1)	155.0	22	2749	1	3.3	0	-	0	-	1	2.0	0	-	1	土製品は灰皿
SK731	5(0)	16.3	9(3)	306.6	9(1)	197.3	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	1	3.4	-	石製品は磨石
SK732	0	-	3(0)	570.2	1(0)	4.1	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-
SK733	3(1)	274.0	10(2)	189.1	4(1)	48.7	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-
SK734	0	-	0	-	1(0)	4.4	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-
SK735	4(0)	4.2	2(0)	18.2	2(0)	39.5	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-
SK736	16(4)	60.5	13(2)	225.8	4(0)	126.9	0	-	0	-	0	-	0	-	2	8.4	0	-	-	煙管2含
SK737	0	-	2(1)	11.6	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-
SK738	0	-	3(2)	99.3	3(1)	75.3	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-
SK739	0	-	1(1)	38.4	2(0)	57.9	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-
SK740	2(1)	10.5	11(1)	108.6	3(0)	39.8	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-
SK741	0	-	2(1)	55.7	7(0)	44.0	0	-	0	-	0	-	1	8.0	0	-	0	-	-	-
SK742	3(1)	20.5	6(1)	64.8	3(0)	51.3	6	290	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-
SK743	2(1)	75.0	2(0)	10.9	5(1)	459.6	5	580	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-
SK744	12(4)	287.4	11(0)	226.1	21(2)	1731.4	4	180	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	2	-
SK745	1(1)	45.7	0	-	1(0)	107.4	5	1440	0	-	0	-	0	-	2	6.9	0	-	1	木製品は漆桶
SK746	1(1)	62.3	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-
SK747	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-
SK748	1(0)	21.7	1(0)	3.3	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-
SK749	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	1	132.5	-	-
SK750	8(1)	139.0	4(2)	334.0	3(0)	256.6	12	2275	0	-	2	9.0	0	-	0	-	5	木製品は漆桶4、漆蓋1	-	-
SK751	8(4)	202.2	9(1)	95.2	13(0)	557.5	1	70	0	-	2	5.0	1	16.3	0	-	-	漆器1含	-	-
SK752	0	-	6(0)	79.3	4(0)	45.5	3	200	0	-	3	18.0	0	-	0	-	0	-	1	漆桶含 種子(焼土、南瓜へタ)1.0g
SK753	5(2)	100.2	10(4)	248.8	13(0)	183.2	12	1380	0	-	0	-	3	15.7	2	310.3	2	漆器3含む 種子(焼土、胡蝶)13.6g	-	-

遺構	礎部		陶器		土器		瓦		土製品		鉄製品		銅製品		石製品		木製品		その他
	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	破片数	重量	数	重量	数	重量	数	重量	数	重量	数	重量	
SR754	0	-	2(0)	3.9	1(1)	67.7	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	
SR755	1(0)	1.5	15(6)	929.7	8(3)	872.1	0	-	0	-	0	-	2(2)	3.0	0	-	-	-	
SR756	1(1)	47.2	6(0)	41.0	6(1)	117.8	3	470	0	-	0	-	3	5.1	0	-	-	-	煙管1(4.6g) 含
SR757	2(0)	10.6	2(0)	845.9	0	-	0	-	0	-	0	-	1	8.0	0	-	-	-	
p1331	0(1)	0	0	-	1(1)	7.5	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	
p1315	0	-	0	-	0	-	2	40	0	-	0	-	0	-	0	-	-	-	

第95表 出土貝類一覽表

率總數は破片を含む

[illegible][illegible]

第96表 遺構時期推定一覧表

遺構	最新期陶磁器 備考	推定時期
SE301	磁器型紙摺絵碗・タロム青磁鉢文杯	9期
SE302	磁器銅版転写受付(皿細片・杯)	9期-
SE303	肥前磁器端反碗・陶器灰軸土瓶 SD301より新	[9期]
SE304	瀬戸美濃端反碗 SD301より新	[9期]
SE305	瀬戸美濃磁器色絵香炉・磁器鉢	9期
SE306	陶磁器少	-
SE307a	磁器洋皿(混入カ)・陶器青緑軸土瓶・長頸瓶	(9期)
SE307b	肥前磁器筒形碗(体部中に鉄軸横帯)	[9期カ]
SE308	陶磁器極少 SE305より新	[9期]
SE309	陶器鉄絵土瓶・瀬戸美濃土瓶 瀬戸美濃磁器無し	(6期-)
SE310	瀬戸美濃磁器丸碗あり	(6期-)
SE311	江戸在地系土器乗堀(図示)	(6期-)
SE312	陶磁器無し	-
SE313	瀬戸美濃磁器湯呑形碗・端反碗・陶器土瓶	(7期-)
SE314	瀬戸美濃端反碗多く湯呑碗と陶器青緑軸土瓶少量 肥前志田皿あり 型紙摺絵平碗・銅版転写杯各1は混入カ	(7期-)
SE601	瀬戸美濃磁器端反碗(時期は重複関係から)	[6-7期]
SE602	肥前磁器端反碗・広東碗蓋	5-6期
SE605	肥前磁器端反碗 瀬戸美濃べこかん徳利 銅版転写磁器杯(器高低い)は解体時の混入と想定	6期- 廃絶9期
基礎 303	陶磁器極少	-
基礎 304	陶磁器極少	-
基礎 305	肥前磁器梅樹文碗 陶磁器極少	-
基礎 306	陶磁器極少	-
基礎 307	陶磁器無し	-
基礎 308	肥前磁器梅樹文碗・陶器雙精碗 陶磁器極少	-
基礎 309	陶磁器無し	-
基礎 311	18cの陶磁器主体 19cの確実な陶磁器無	-
基礎 316	陶磁器無し	-
基礎 604	陶磁器やや少・磁器少 肥前青磁香炉等	-
瓦敷 301	肥前磁器広東碗・青緑軸土瓶 18cの陶磁器多	(7期-)
桶 301	瀬戸美濃磁器端反碗 2個体	6-7期
桶 302	肥前磁器広東碗・地方窯陶器壺 陶磁器少	-
桶 303	瓦質土器焙烙のみ	-
桶 304	陶磁器極少 瀬戸美濃柿絵灯明土 土器方形火鉢	-
桶 305	瓦質土器焙烙のみ	-
桶 306	丹波系播鉢片のみ	-
桶 307	京都信楽陶器小杉碗細片	-
桶 308	土器丸底焙烙が主体に出土 瀬戸美濃磁器皿片	-
桶 309	肥前磁器油壺等 陶磁器少	-
桶 310	瓦質土器焙烙等 陶磁器極少	-
桶 311	陶磁器無し	-
桶 312	陶磁器少	-
桶 313	陶磁器少	-
桶 314	陶磁器無し	-
桶 315	陶磁器無し	-

遺構	最新期陶磁器 備考	推定時期
桶 316	瀬戸美濃磁器端反碗・湯呑碗 京信端反碗	(7期カ)
桶 317	瀬戸美濃系磁器端反碗・湯呑碗	(7期カ)
桶 321	肥前磁器小皿(一枚絵描く) 陶磁器少	-
桶 322	陶磁器無し	-
桶 323	陶磁器少	-
桶 325	肥前磁器筒形碗 瀬戸美濃柿絵壺 陶磁器やや少	-
桶 326	広東碗蓋 仙臺通宝	5-6期
桶 334	陶磁器無し	-
桶 601	陶磁器極少	-
桶 602	陶磁器無し	-
桶 603	陶磁器極少 京信杯	-
桶 604	陶磁器少 肥前磁器筒形碗・瀬戸美濃せんじ碗	-
桶 605	陶磁器少 鉄軸土瓶片あり	-
桶 606	瀬戸美濃磁器湯呑碗 全体は肥前筒形碗多い	7期-
桶 607	瀬戸美濃磁器手碗 陶磁器極少	-
桶 608	地方窯陶器徳利(青貝須文字) 瀬戸美濃磁器	9期カ
桶 609	陶磁器無し	-
桶 610	陶磁器無し	-
桶 611	陶磁器少 肥前磁器小丸碗	-
桶 613	瀬戸美濃磁器端反碗 陶磁器少	6期-
桶 617	京信端反碗(白土+鉄絵) 瀬戸美濃陶器摺絵皿・肥前時期粗製碗多く筒形・小丸碗あり	6期カ
桶 618	陶磁器極少 瀬戸美濃柿絵壺	-
桶 619	瀬戸美濃磁器細片1あり 他は18cの陶磁器	-
桶 620	陶磁器極少 瀬戸美濃陶器香炉	-
桶 621	陶磁器極少 肥前仏飯器	-
桶 622	陶磁器極少	-
埋設 601	陶磁器極少 本体壺のみ 時期は重複関係から推定	[5期]
SE301	井戸畔路より昭和10年構築	現代
SE302	瀬戸美濃系磁器湯呑碗 陶器青緑軸土瓶蓋	-9期
SE306	肥前磁器コバルト磁器蓋・銅版転写磁器杯 肥前磁器筒形碗多い	9期
SE308	瀬戸美濃磁器薄手杯(大振り)・湯呑碗	7-8期
SE309	瀬戸美濃磁器脚盤手杯・反皿	-8期
SE310	瀬戸美濃磁器丸形杯・端反碗 陶器青緑軸土瓶	7期
杭列 301		-
杭列 302		-
杭列 303	松岡土瓶	-
杭列 304		-
杭列 305		-
杭列 306	瀬戸美濃磁器端反碗 陶器灰軸土瓶	-
杭列 308	瀬戸美濃陶器せんじ碗・摺絵皿・型押皿	-
杭列 309		-
杭列 310		-
杭列 601	磁器酸化コバルト丸碗 地方窯陶器乗堀	-9期
杭列 603		-

遺構	最新期陶磁器 備考	推定時期
木樋 301	瀬戸美濃磁器端反碗 青土板蓋 松岡土板	7期-
木樋 302	陶磁器極少	-
木樋 303	陶磁器無し	-
木樋 601	酸化コバルト・銅板転写磁器 (ゴム印磁器) あり	-9期
木樋 602	瀬戸美濃磁器丸碗 陶器燐徳利 時期幅大きい	-8期
木樋 603	木樋 601 の最下部	-
竹樋 601	陶磁器無し	-
SD301	瀬戸美濃磁器湯呑碗 三彩土板蓋	7-8期
SD601	磁器酸化コバルト急須 銅板転写端反碗	-9期
SD602	磁器型紙描繪皿 クロム青磁端反碗 三河産兎耳	-9期
SD603	飛び駒状文の陶器土板 瀬戸美濃磁器 陶磁器少	(7期-)
SD604	磁器クロム青磁端反碗 18c以降の陶磁細片多い	-9期
礎土遺構 301	陶磁器無し	-
礎土遺構 302	陶磁器無し	-
礎土遺構 303	陶磁器無し	-
礎土遺構 601	陶磁器無し	-
礎土遺構 602	陶器三彩土板・青緑釉土板	(7期-)
礎土遺構 603	陶磁器無し	-
礎土遺構 604	白土染付土板 金雲母入る火鉢類 (真壁系カ)	7-9期
SK301	瀬戸美濃磁器少量	6期
SK302	磁器クロム青磁軸端反碗・酸化コバルト湯呑杯他に銅板転写染付湯呑杯があるが混入カ	9期
SK303	酸化コバルト磁器主体・型紙描繪合まず	9期
SK304	瀬戸美濃磁器皿・陶器急須蓋	-
SK305	肥前磁器広東碗	5期-
SK306	瀬戸美濃磁器湯呑碗・三河産兎耳細片は混入カ	7期-
SK307	モルタル混入 被熱陶器鉢軸蓋はSK308 接合	6期
SK308	瀬戸美濃磁器杯 SK301/311/312 と接合多	6期
SK309	陶磁器極少 瀬戸美濃陶器掛分碗・腰輪碗のみ時期はSK308 重複関係から	[-6期]
SK310	陶磁器極少 上下層で別遺構の可能性あり・SK301 ほかと同文の磁器あり	6期
SK311	SK301 と接合多・同時期	6期
SK312	SK301 と接合多・同時期	6期
SK313	陶磁器極少 時期はSK312 重複関係から	[-6期]
SK314	瀬戸美濃磁器端反碗	6-7期
SK315	肥前磁器小丸碗 陶磁器極少	-
SK316	陶磁器極少 細片のみ	-
SK317	陶磁器極少	-
SK318	陶器灰釉土板 SK301 他と同文資料被熱あり	[6期]
SK319	瀬戸美濃灯明油皿等陶磁器少量 18c 後〜主体	[-6期]
SK320	瀬戸美濃磁器端反碗 陶磁器極少・細片化	(6期-)
SK321	肥前磁器小丸碗 陶磁器極少	-
SK322	一部被熱	-
SK323	瀬戸美濃半胴甕 (植木鉢転用) SK383 より新	-
SK325	陶磁器極少	-

遺構	最新期陶磁器 備考	推定時期
SK326	肥前磁器小広東碗 三河産兎耳 SK371 より新	9期カ
SK327	陶磁器少量・細片のみ	-
SK328	京信陶器灰釉端反碗・瀬戸美濃陶器水甕	6期-
SK329	京信色絵丸碗 (被熱) あり 近代建材混入	-
SK330	瀬戸美濃磁器端反碗・陶器目鉢・水鉢 (被熱)	6期
SK332	瀬戸美濃磁器碗類細片・陶器緑絵香炉	6-7期
SK333	京信陶器杯「紅浅」上給付	-
SK334	灰質土器結構あり 陶磁器極少	-
SK335	肥前磁器小広東 瓦質土器角火鉢あり	-
SK336	肥前磁器広東碗蓋	-
SK337	肥前磁器梅樹文碗・志戸呂灯明皿 陶磁器少	-
SK338	瀬戸美濃磁器端反碗 陶器青緑釉土板	6-7期
SK339	肥前磁器小丸碗 SK338 と同形の火鉢	6-7期カ
SK340	瀬戸美濃磁器端反碗 SK338 と同形の火鉢	6-7期カ
SK341	瀬戸美濃磁器端反碗・京信陶器燐徳利	7-8期
SK342	肥前磁器急須 陶磁器少	(7-8期)
SK343	瀬戸美濃磁器端反碗多い 火鉢 SK339/345 接合	7期
SK344	肥前磁器広東碗 瀬戸美濃磁器無し 火鉢 SK338 接合	5-6期
SK345	瀬戸美濃磁器端反碗多い	7期
SK347	肥前磁器小丸碗 陶磁器少 SE302 より新	[9期]
SK348	陶磁器極少	-
SK349	瀬戸美濃磁器丸碗 陶磁器極少 SB308 より新	[9期-]
SK351	瀬戸美濃磁器端反碗 陶器鉄軸土板 陶磁器少	6-7期
SK352	陶磁器極少	-
SK353	肥前磁器広東碗	5-6期
SK354	陶磁器極少 細片のみ SD301・SB304 より古	[-8期]
SK355	陶磁器極少 細片のみ SB304 より古	-
SK357	肥前磁器広東碗蓋多い SE304 区画内	5期
SK358	肥前磁器小丸碗 SK357 より古い SB304 区画内	-
SK359	陶磁器無し SB305 より古	-
SK360	肥前磁器広東碗・小広東 (小丸碗・筒形碗主体)	5期
SK361	被熱した肥前磁器広東碗 (SK301 他と同文)	6期
SK362	瀬戸美濃へこかん徳利 陶磁器被熱	6期
SK363	肥前磁器小丸碗・京信陶器杯 SK362 と並ぶ土壇	6期
SK364	陶磁器極少	-
SK366	肥前磁器筒形碗破片等 陶磁器少 SB304 区画内	-
SK367	肥前磁器小丸碗破片等 陶磁器少	-
SK368	陶磁器極少 (瀬戸美濃陶器徳利)	-
SK369	陶磁器無し	-
SK370	瀬戸美濃系磁器端反碗・湯呑碗・反皿 (無文)	8期
SK371	陶磁器極少 (肥前梅樹文碗・小丸碗・京信丸碗)	-
SK372	陶磁器極少 (肥前粗製碗・平鉢碗・京信色絵碗)	-
SK373	陶磁器極少 (肥前粗製碗・京信鉄絵碗)	-
SK374	陶磁器極少 (肥前広東碗あり)	(5期-)
SK375	陶磁器極少	-
SK376	陶磁器少 肥前粗製碗等 18c 目立つ	-

遺構	最新期陶磁器 備考	推定時期
SK377	肥前磁器端反碗 瀬戸美濃陶器土板 SK379 接合多い	6-7期
SK378	肥前磁器端反碗 小丸碗・筒形碗多く被熱磨しい	5-6期
SK379	瀬戸美濃湯呑碗	7期-
SK380	瀬戸美濃端反碗 (薄手) SK379 より古	6期
SK381	肥前磁器端反碗 陶磁器少 SK379 より新	[7期-]
SK382	肥前磁器筒形碗 (体部中に鉄軸横帯)	5-6期
SK383	陶磁器被熱 肥前磁器粗製皿に 4-5 個体同文あり 瀬戸美濃磁器無し	-
SK384	陶磁器少	-
SK385	陶磁器極少 (肥前磁器梅樹文碗のみ)	-
SK386	陶磁器極少 (肥前磁器粗製碗・瀬戸美濃横筋碗)	-
SK387	肥前磁器小丸碗・蓋物の蓋・京信陶器丸碗等	-
SK388	瀬戸美濃べこみ徳利 近代土管は混入と判断	6期か
SK437	陶磁器やや少	-
SK438	酸化コバルト磁器主体 型紙描絵無し	9期
SK439	瀬戸美濃磁器低い端反碗 肥前磁器広東碗 2 個体	6-7期
SK440	地方窯系陶器鉄軸徳利 肥前磁器広東碗蓋 2	8-9期
SK441	瀬戸美濃磁器湯呑碗・横筋碗 端反碗主体	8期
SK442	酸化コバルト磁器あり 型紙描絵無し 筒形硝子	9期
SK443	銅板転写 (色銅版) 磁器・代用陶器 (土器釜)	9期
SK444	瀬戸美濃磁器御影手環	8期
SK445a/b	銅板転写磁器 (色銅版含)・代用陶器 (土器釜)	9期
SK446	瀬戸美濃磁器湯呑碗	7期
SK447	陶磁器極少・18c の波佐見青磁皿・焙烙	-
SK448	陶磁器無し SK440 より古	-
SK449	瀬戸美濃磁器横筋碗	8期
SK450	瀬戸美濃磁器端反碗・型押反皿 肥前小丸碗多い	8期
SK451	肥前磁器広東碗・京信小杉碗 瀬戸美濃磁器無し	5期
SK452	陶磁器無し SK442 より古	-
SK510	肥前磁器端反碗 瀬戸美濃磁器無し 硝子瓶	9期
SK511	磁器銅板転写環・型紙描絵平碗・皿	9期
SK512	肥前筒形・小丸碗 瀬戸美濃磁器無し	-
SK601	瀬戸美濃磁器湯呑碗 SK602 と同時期	8期
SK602	瀬戸美濃系磁器湯呑碗 文久永宝出土	8期
SK603	肥前磁器高い蛇の目高台皿 SK602 と同時期	8期
SK604	瀬戸美濃磁器湯呑碗 SK603 より新	[9期]
SK605	瀬戸美濃磁器端反碗・湯呑碗多い・型押反皿	9期
SK606a/b	瀬戸美濃型押反皿・クロム青磁皿・硝子瓶あり 酸化コバルト・型紙描絵付無し SK605 より古	9期
SK608	陶磁器少 (瀬戸美濃陶器徳利等)	-
SK609	酸化コバルト染付丸碗・銅板転写端反碗	9期
SK610	瀬戸美濃磁器湯呑碗・三河産土器器戸・陶器急須	9期
SK611	瀬戸美濃磁器横筋碗 酸化コバルト碗・端反碗	9期
SK612	瀬戸美濃磁器端反碗・湯呑碗 陶器土板敷種類	7期
SK613	酸化コバルト染付環・瀬戸美濃磁器赤絵小型碗	9期
SK614	肥前系磁器端反碗 SK613 より古	6期-
SK616	陶磁器無し SK617 より古	-

遺構	最新期陶磁器 備考	推定時期
SK617	肥前磁器高い蛇の目高台皿 酸化クロム端反碗 細片 (混入) SK614 接合多い SK618 より古	-
SK618	瀬戸美濃磁器赤絵小型碗・寿文環・御影手環・横筋碗	8-9期
SK620	酸化コバルト染付磁器皿 益子描鉢	9期
SK621	京信灯明皿 陶磁器やや少 SK603 より新	[9期]
SK622	陶磁器無し	-
SK623	瀬戸美濃磁器低い端反碗 青緑釉・白土染付土板	7-8期
SK624	瀬戸美濃磁器丸碗 陶磁器やや少	-
SK625	白土染付土板 肥前磁器端反碗 陶磁器やや少	7-8期
SK626	陶磁器少 SK618 より古	-
SK627	瀬戸美濃磁器蛇の目高台皿 陶磁器少	(7期-)
SK628	クロム青磁軸端反碗 陶磁器少	9期
SK629	陶器鉄軸土板 陶磁器少	-
SK630	地方窯系陶器飛び龍文長頸瓶 陶磁器少	(9期)
SK631	瀬戸美濃磁器端反碗 SK630 より古・SK645 より新	(6期-)
SK632	陶器行平碗 SK628 より古	8期
SK634	瀬戸美濃系磁器端反碗 肥前磁器小丸・広東碗多い	6期
SK635	瀬戸美濃磁器端反碗 酸化コバルト磁器混入	(6期-)
SK637	陶磁器無し SK634 より古・SK641 より新	[6期]
SK638	瀬戸美濃磁器湯呑碗 陶磁器少 焼土 602 より新	7期-
SK639	肥前磁器端反碗 (高台幅広)	7期-
SK640	瀬戸美濃磁器端反碗 陶器青緑釉土板	7期
SK641	肥前・瀬戸美濃磁器端反碗 SK634 と同文あり	6期
SK642	肥前・瀬戸美濃磁器湯呑碗 信楽内面鉄軸の大徳	9期
SK643	陶磁器少	-
SK644	酸化コバルト染付蓋 硝子瓶 陶器鉄軸徳利	9期
SK645	肥前磁器筒形碗 (体部中に鉄軸横帯)・広東碗	5-6期
SK646	陶磁器少 18c 以前のみ	-
SK647	肥前磁器急須 酸化クロム軸端反碗	9期
SK648	陶磁器極少 焙烙・火鉢	-
SK649	酸化コバルト染付・酸化クロム青磁皿 白色硝子	9期
SK650	瀬戸美濃磁器端反碗 陶磁器少	(6期-)
SK651	磁器飯碗・長筒角觥湯呑 ゴム印判製品	9期
SK652	肥前磁器筒形碗主体・小広東あり 地方窯系陶器 器型鉢・瓶類 (混入) 被熱資料多い	5期
SK653	陶磁器極少	-
SK654	瀬戸美濃磁器湯呑碗主体・御影手環	8期
SK655	瀬戸美濃磁器湯呑碗多い・型押反皿	8期
SK656	陶磁器極少	-
SK657	肥前磁器筒形碗多い (体部中に鉄軸横帯あり)	5-6期
SK658	肥前磁器小広東 陶磁器少 SK657 より古	[5-6期]
SK659	肥前磁器広東碗 瀬戸美濃磁器無し	5期
SK660	酸化コバルト染付端反碗・皿 被熱した硝子	9期
SK661	瀬戸美濃陶器鉄軸徳利	9期
SK662	陶磁器極少	-
SK663	陶磁器極少	-

遺構	最新期陶磁器 備考	推定 時期
SK664	常滑土管 衛生陶器	9期
SK665	陶磁器無し	-
SK666	酸化コバルト・型紙焼絵・色銅散磁器 硝子製品	9期
SK667	瀬戸美濃磁器端反碗多く・湯呑碗無し	7期
SK668	瀬戸美濃磁器湯呑碗・横徳利 酸化コバルト磁器細片	9期
SK670	陶磁器極少 SK665より古	-
SK671	瀬戸美濃磁器御飯手坏・酸化コバルト葉刺文碗反碗	9期
SK672	瀬戸美濃御飯手坏 陶磁器少	8期
SK673	瀬戸美濃磁器御飯手坏 酸化コバルト急須・端反坏	9期
SK674	陶磁器少 焙烙は SK672と同一個体か	-
SK675	陶磁器極少	-
SK678	陶磁器無し	-
SK601	瀬戸美濃磁器湯呑碗 緑色硝子瓶	9期
pit301 ～ 304	陶磁器無し	-
pit611 ～ 613	陶磁器無し	-
SK604	陶磁器極少 肥前呉器手碗 肥前磁器皿細片	-
基礎 313	陶磁器無し	-
基礎 314	陶磁器無し	-
基礎 317	陶磁器極少 丸底焙烙底部片	-
桶 327	陶磁器は壓力内のみで少量 京信丸碗	-
桶 328	細片のみ 肥前磁器筒形碗・蛇の目凹状高台皿	(4期)
桶 329	陶磁器極少 肥前磁器梅樹文碗 瀬戸美濃陶器風戸	-
桶 330	陶磁器やや少 京信小杉碗片 肥前磁器梅樹文碗	-
桶 331	陶磁器少 肥前磁器外面青磁筒形碗	(4期)
桶 332	陶磁器やや少 肥前磁器梅樹文碗	(3期-)
桶 333	陶磁器極少 志戸呂灯明皿あり	-
桶 624	陶磁器無し	-
桶 625	陶磁器極少 肥前磁器粗製碗	-
桶 626	陶磁器少 肥前磁器色絵碗 瀬戸美濃せんじ碗	-
桶 627	陶磁器少 肥前梅樹文・粗製碗 瀬戸美濃楕形皿	(3期-)
桶 628	肥前磁器粗製碗 瀬戸美濃菱格碗・輪文鉢・楕形香炉	(3期-)
桶 629	陶磁器極少 (瀬戸美濃楕形のみ)	-
桶 630	陶磁器極少 肥前呉器手碗片	-
桶 631	瀬戸美濃志野・菊皿・楕形・片口鉢 薄手くわらけ	-
桶 632	陶磁器極少 (瀬戸美濃楕形のみ)	-
桶 634	陶磁器極少 志野皿細片	-
桶 635	陶磁器無し	-
SE303	陶磁器極少 志戸呂灯明皿	-
SE304	肥前磁器端反碗 瀬戸美濃石皿	5-6期
SE305	肥前磁器筒形碗 肥前呉器手碗や多い	(4期)
SE307	榎方：瀬戸美濃馬目皿 内部：瀬戸美濃磁器端反碗	5-6期
SE311	肥前磁器端反碗 信楽陶器内面鉄軸大形蓋片	-
SE312	榎方：瀬戸美濃磁器坏 肥前磁器梅樹・粗製碗主体	7-9期
SE313	陶磁器全て榎方内 18c 主体	4期-
SD302	旋輪土器カンテラ 肥前磁器散の張る皿	5-6期

遺構	最新期陶磁器 備考	推定 時期
SA301	陶磁器少 (肥前磁器碗・丹波楕形)	-
SA302	陶磁器少	-
SK389	瀬戸美濃磁器細片有 陶磁器少	(6期-)
SK391	肥前磁器広東碗 陶磁器やや少	5期
SK392	肥前磁器外面青磁輪形碗 陶磁器少	(4期-)
SK393	陶磁器少 肥前梅樹文碗・瀬戸美濃陶器坏等	(3期-)
SK394	陶磁器極少 肥前陶器平碗・瀬戸美濃天目茶碗	-
SK395	陶磁器少 肥前磁器粗製碗・京信丸碗等	(3期-)
SK396	陶磁器極少 瀬戸美濃楕形・真壁系土器焙烙	-
SK397	陶磁器極少 瀬戸美濃灰釉大皿 京信小杉碗	-
SK398	肥前磁器粗製碗多く被熱 瀬戸美濃楕形灯明皿	4期
SK399	肥前磁器筒形碗 陶磁器やや少	(4期)
SK400	肥前磁器筒形碗 陶磁器やや少	(4期)
SK401	陶磁器少 肥前磁器丸碗蓋 SK400より古	-
SK402	瀬戸美濃陶器楕形皿・尾呂徳利・蟹水皿	3期
SK403	陶磁器少 志野軸皿類・楕形 (瀬戸Ⅱ-C2 類)	3期-
SK404	陶磁器極少 肥前磁器粗製碗 瀬戸美濃せんじ碗	-
SK405	肥前磁器筒形碗 瀬戸美濃陶器せんじ・腰筒碗	4期
SK406	陶磁器少 堺明石楕形被熱	-
SK407	陶磁器無し	-
SK408	肥前磁器外面青磁輪形碗 瀬戸美濃せんじ碗多い	4期
SK409	陶磁器少 瀬戸美濃天目茶碗・片口鉢・楕形	-
SK410	瀬戸美濃楕形灯明皿 陶磁器やや少	4期
SK411	肥前磁器外面青磁輪形碗 SK408より新	4期
SK412	陶磁器極少 肥前磁器粗製碗・瀬戸美濃せんじ碗	-
SK413	肥前磁器梅樹文碗・瀬戸美濃平脚鉢	3-4期
SK414	陶磁器無し	-
SK415	肥前磁器筒形碗あり・端反碗片1 (混入か)	4-5期
SK416	陶磁器無し	-
SK417	肥前磁器梅樹文碗主体 瀬戸美濃片口鉢被熱	3期か
SK418	陶磁器少 京信陶器坏 (「紅浅」上給付)	-
SK419	肥前磁器梅樹文碗・筒形碗主体 端反碗蓋細片	4-5期
SK420	肥前磁器式東碗蓋・陶器灰釉土瓶細片	5期
SK421	肥前磁器外面青磁輪形碗 陶磁器少	(4期-)
SK422	肥前磁器朝顔形碗蓋	5期
SK423	肥前磁器碗 (高台ハ字状)・外面青磁丸碗	4期
SK424	陶磁器少 瀬戸美濃陶器楕形皿等 SK425より新	(4期-)
SK425	瀬戸美濃楕形灯明皿 陶磁器極少	(4期)
SK426	陶磁器無し	-
SK427	酸化コバルト磁器鉢 肥前磁器粗製碗主体	-
SK428	陶磁器極少 土器焙烙のみ (丸底・瓦質平底)	-
SK429	肥前磁器外面青磁輪形碗・筒形碗	4-5期
SK430	銅板転写染付端反坏・白色硝子明眼皿細片	9期
SK431	肥前磁器筒形碗 鉄軸土瓶破片 (混入か)	4期-
SK432	陶磁器無し	-
SK433	陶磁器少 京信陶器鉄絵碗・瀬戸美濃腰楕形	(3期-)

遺構	最新期陶磁器 備考	推定時期
SK434	陶磁器無し	-
SK435	陶磁器極少 肥前磁器筒形碗 18c	-
SK436	肥前磁器広東碗 陶磁器やや少	5期
SK453	陶磁器少 瀬戸美濃紺手碗 京信小杉碗	5期
SK454	陶磁器少 瀬戸美濃半胴茶 京信色絵碗ほか	(4期)
SK455	瀬戸美濃柿輪灯明皿 陶磁器少	(4期)
SK456	陶磁器少 瀬戸美濃柿輪灯明皿・京信色絵丸碗	(4期)
SK457	瀬戸美濃磁器端反碗・陶器べこかん徳利 京信灰釉土板(肥前磁器小丸碗多く・筒形・広東碗続く)	6期
SK458	肥前磁器小丸碗・筒形碗	4期
SK459	陶磁器無し	-
SK460	陶磁器極少 SK461より新	[4期-]
SK461	陶磁器少 肥前磁器粗製碗 瀬戸美濃柿輪灯明皿	4期
SK462	陶磁器極少 瓦質土器平底焙烙のみ	-
SK463	肥前磁器小丸碗・筒形碗 京信小杉碗	4-5期
SK464	陶磁器極少	-
SK465	肥前磁器筒形碗 SK466より古	(4-5期)
SK466	肥前磁器広東碗 瀬戸美濃陶器描絵皿が多い	5期
SK467	陶磁器無し	-
SK468	瀬戸美濃陶器腰結輪・掛分碗 京信陶器色絵丸碗	3期
SK469	瀬戸美濃磁器端反碗 肥前磁器筒形碗が多い	6期
SK470	陶磁器極少 肥前磁器粗製碗	-
SK471	陶磁器極少 真壁系平底焙烙のみ	-
SK472	瀬戸美濃柿輪香炉 景徳鎮磁器皿・肥前皿あり	2期々
SK473	肥前磁器筒形碗(外面青磁) SK472より新	4期
SK474	陶磁器少 肥前磁器粗製皿 18c	-
SK475	瀬戸美濃磁器端反碗 SK476より新	6期-
SK476	肥前磁器梅樹文碗 陶磁器やや少	(3期-)
SK477	肥前磁器外面青磁筒形碗 京信灰「虹」土絵付け	4期
SK478	肥前磁器広東碗 清朝磁器碗 肥前磁器小丸碗多い	6期
SK479	陶磁器少 堺明石鉢鉢あり	(3期)
SK480	肥前磁器志田皿・大振りの八角鉢	7期
SK481	陶磁器極少 瀬戸美濃尾呂徳利あり	-
SK482	陶磁器少 京信色絵碗 18c	(3期-)
SK483	陶磁器少 瀬戸美濃陶器半菊しのぎ文香炉	(2期-)
SK484	陶磁器極少 瀬戸美濃陶器皿2	-
SK485	陶磁器少 瀬戸美濃片口鉢 土器皿 18c	[-6期]
SK486	陶磁器やや少 瀬戸美濃陶器描絵皿	[-6期]
SK487	肥前磁器筒形碗 陶磁器少 SK488より新	[6期-]
SK488	瀬戸美濃磁器端反碗・低い端反碗	6-7期
SK489	瀬戸美濃磁器端反碗 陶磁器少	6期-
SK490	陶磁器極少 瀬戸美濃陶器片口鉢(口縁肥厚なし)	-
SK491	陶磁器極少 瀬戸美濃陶器せんじ碗あり	-
SK492	陶磁器極少 瀬戸美濃天目茶碗のみ	-
SK493	陶磁器少 瀬戸美濃陶器せんじ碗・半菊文香炉	(3期-)
SK494	陶磁器極少 瀬戸美濃煮皿のみ	-

遺構	最新期陶磁器 備考	推定時期
SK495	肥前磁器筒形碗 他は17c代(天目茶碗・焙烙)	4期
SK496	陶磁器無し SK477より古	[-4期]
SK497	肥前磁器端反碗 激しく被熱	6期
SK499	肥前磁器筒形碗	(4期)
SK500	陶磁器少 瀬戸美濃長手輪軸売皿あり	-
SK501	瀬戸美濃陶器せんじ碗・腰手碗・柿輪灯明皿	4-5期
SK502	瀬戸美濃陶器せんじ碗・柿輪灯明皿 陶磁器少	4期
SK503	陶磁器極少 瀬戸美濃陶器片口鉢	-
SK504	肥前磁器小丸碗 陶磁器少	(3期-)
SK505	陶磁器少 京信色絵丸碗 初期伊万里皿・天目茶碗	(3期-)
SK506	陶磁器少 京信色絵丸碗の他は17cのもの主体	(3期々)
SK507	陶磁器極少 瀬戸美濃陶器せんじ碗	-
SK508	陶磁器少 肥前型押変形皿(描絵) 肥前内野山皿	(2-3期)
SK509	陶磁器少 志戸呂板飯 初期伊万里皿 坪形かわらけ	(2期々)
SK516	肥前磁器筒形碗・蛇の目凹形高台皿 京信小杉碗	4-5期
SK517	肥前磁器広東・端反碗 全体では筒形碗多い 肥前神谷手薄手鉢・京信徳利あり遺構重複	6期 8期
SK518	瀬戸美濃陶器柿輪灯明皿・肥前磁器外面青磁朝形碗 肥前磁器粗製碗・筒形・小丸碗多い	4-5期
SK519	肥前磁器広東碗・端反碗 小丸碗多い	5-6期
SK520	肥前磁器小丸碗・小広東 陶磁器少	4期
SK521	肥前磁器端反碗 京信土板 瀬戸美濃磁器は無し	6期々
SK522	肥前磁器小丸碗 瀬戸美濃陶器柿輪灯明皿	4期
SK523	陶磁器極少 肥前磁器梅樹文碗	-
SK524	陶磁器無し	-
SK525	陶磁器極少	-
SK526	陶磁器無し	-
SK527	肥前磁器筒形碗 陶磁器少	(4期-)
SK528	肥前磁器広東碗 小丸碗が多い	5期
SK529	肥前磁器小丸碗主体 陶磁器やや少 SK528より新	[5期-]
SK530	瀬戸美濃描絵香炉・京信丸碗 肥前陶器やや多	2-3期
SK531	肥前磁器筒形碗 陶磁器少	(4期)
SK532	瀬戸美濃陶器せんじ碗 陶磁器極少	-
SK533	陶磁器無し	-
SK534	肥前磁器広東碗 梅樹文・筒形碗・瀬戸美濃陶器柿輪灯明皿多い	5期
SK535	肥前磁器小丸碗 瀬戸美濃陶器柿輪灯明皿	4期
SK536	瀬戸美濃陶器柿輪灯明皿 瀬戸美濃陶器腰結輪	4期
SK537	陶磁器少 肥前磁器コンニャク判碗 SK702より新	[4期-]
SK538	瀬戸美濃陶器柿輪灯明皿 瀬戸美濃せんじ碗多い	4期
SK539	瀬戸美濃磁器端反碗 肥前磁器広東碗 肥前磁器筒形碗と小丸碗多い SK701より新	6期
SK540	瀬戸美濃陶器柿輪灯明皿 瀬戸美濃せんじ碗多い	4期
SK541	京信小杉碗 肥前磁器コンニャク判・梅樹文碗と瀬戸美濃せんじ・腰結碗多い SK701より古	3-4期
SK542	肥前磁器梅樹文碗 京信色絵半球碗 陶磁器少	(3期-)
SK543	瀬戸美濃陶器柿輪灯明皿 肥前磁器小丸碗	3-4期
SK544	肥前磁器梅樹文碗 瀬戸美濃せんじ碗 陶磁器少	-

遺構	最新期陶磁器 備考	推定時期
SK708	陶磁器極小 瓦質土器火鉢片のみ	-
SK709	肥前磁器筒形碗 陶磁器少	(4期-)
SK710	肥前磁器小丸碗 瀬戸美濃柿絵灯皿 陶磁器少	(4期)
SK711	肥前磁器小丸・筒形碗 (いずれも外面青磁あり)	4期
SK712	陶磁器極少 瀬戸美濃系漆器のみ	-
SK713	陶磁器極少 京信皿のみ	-
SK714	陶磁器無し	-
SK715	陶磁器無し	-
SK716	肥前磁器粗製碗 陶磁器少 18c 前半カ	-
SK717	肥前磁器外面青磁筒形碗 SK718・719 より古	4期
SK718	肥前磁器筒形碗 (大振り) 瀬戸美濃せんじ碗・肥前磁器梅樹文・粗製・小形碗多く小丸碗少量	4期
SK719	瀬戸美濃せんじ碗 SK717 より新 SK718 より古	4期
SK721	陶磁器極少 瀬戸美濃輪軸皿・志野皿	-
SK722	肥前磁器小丸・筒形碗 瀬戸美濃尾呂徳利あり	4期
SK723	陶磁器少 瀬戸美濃腰結碗 (腰張る)・尾呂徳利	(3期-)
SK724	陶磁器少 肥前梅樹文碗・瀬戸美濃口縁垂鉢	(3期-)
SK725	陶磁器少 瀬戸美濃腰結碗 (古)・粗製かわらけ	2-3期
SK726	瀬戸美濃磁器端反碗底部 陶磁器時期幅広い	[-6期]
SK727	瀬戸美濃端反碗 (反り大・薄い) 陶磁器少	6期
SK728	肥前小丸碗・蛇の目高台箸口 SK727 より古	6期
SK729	肥前小丸碗 (湾曲弱) 瀬戸美濃せんじ碗・輪軸鉢	3-4期
SK730	瀬戸美濃端反碗 (反り大・薄い) SK726 より新	6期
SK731	肥前梅樹文碗・瀬戸美濃せんじ碗・信絵皿 (総軸)	2-3期
SK732	陶磁器極少 肥前三島手鉢・志野鉄絵皿あり	-
SK733	瀬戸美濃せんじ碗・腰結碗 陶磁器細片化	(3期-)

遺構	最新期陶磁器 備考	推定時期
SK734	陶磁器極少 かわらけ片	-
SK735	陶磁器極少 肥前青磁碗	-
SK736	肥前梅樹文碗等 18c 中葉中心 陶磁器やや少	3期カ
SK737	京信小杉碗 陶磁器極少	-
SK738	陶磁器極少 瀬戸美濃腰結碗 (腰張る)	-
SK739	陶磁器極少 土器片のみ	-
SK740	京信色絵丸碗・瀬戸美濃腰結碗 陶磁器少	(3期-)
SK741	陶磁器少 瀬戸美濃天目茶碗等 SK740 より古	-
SK742	肥前磁器外面青磁筒形碗	4期
SK743	肥前磁器梅樹文碗 陶磁器少 SK744 より新	[3期-]
SK744	肥前磁器二重網目文碗 SK743 より古	(3期)
SK745	肥前磁器外面青磁輪軸碗 陶磁器少	(4期)
SK746	陶磁器極少 肥前梅樹文碗のみ SK744 より古	[2-3期]
SK747	陶磁器無し	-
SK748	陶磁器極少 瀬戸美濃陶器灰釉香炉	-
SK749	陶磁器無し	-
SK750	肥前磁器筒形碗 (コンニャク判) 二重網目文碗	4期
SK751	肥前磁器筒形碗・外面青磁箸口 梅樹文碗多い	4期
SK752	陶器青緑土板 陶磁器少	(7期-)
SK753	肥前磁器筒形碗 鉄軸土板・三河産土器混在	-
SK754	陶磁器極少 瀬戸美濃せんじ碗・掛分碗各1	-
SK755	瀬戸美濃輪軸皿・機部志野皿・中国産磁器	1期
SK756	肥前磁器筒形碗・外面青磁箸口 梅樹文碗多い	4期
SK757	陶磁器極少 肥前磁器粗製碗 内野山系陶器皿	(2期-)
pit311	陶磁器極少 肥前磁器梅樹文碗細片とカワラケ	-
pit315	陶磁器無し	-

第97・98表 凡例：

・主要遺構から出土した陶磁器について、器種判別可能遺物についてカウントした。各欄上段に器種・細別を記す。細別左側欄に底部破片数(蓋は頂部破片数)・細別右側欄に破片数を記す。器種が判別できなかった細片等は表中の数値に含めていない。

・器種・細別は東京大学構内遺跡群の分類・記号(東京大学埋蔵文化財調査室『年報2』1999・『年報7』2011)を用いた。

・分類に無い器種の内容は以下の通りである。

肥前系磁器 J B2の「摺絵型皿」は平面変形の型紙摺絵の小皿(第298図606)、瀬戸美濃系陶器 T C2の「端反灰釉」皿は T C2-a・bの口縁部が端反になるもので主に口縁部破片で判別(第303図731等)。T C10「有耳壺」は鉄軸、灰釉の三耳壺、双耳壺を含む(第302図700等)。

土器火鉢 D Z 31「台付」としたものは輪高台状の高い台を有し、江戸地域には稀(第278図82、第280図132・133等)。

他に、肥前系磁器碗 J B1のうち口径12cm以上の碗を J B1-f に対応する「半球大碗」、J B1-g・vに対応する「粗製大碗」に分別した。土器焙烙 DZ47-b は主に北武蔵地域に分布する「瓦質」の製品と、常総地域に分布し雲母が多い「土師質」の製品に分別して記載した。地方窯と考えられる陶器・土器は、TZ・DZとし、対応する器種番号を付した。

JC1	JC2	JC3	JC4	JC5	JC6	JC7	JC8	JC9	JC10	JC11	JC12	JC13	JC14	JC15	JC16	JC17	JC18	JC19	JC20
d	e	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r
SK605	8 13 13 15	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
SK654	5 15 3 9	3	1	3	1	1	9	11	3	7	13	1	1	1	1	1	1	1	1
小計	13 28 16 24	1	0	3	2	4	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
JC21	JC22	JC23	JC24	JC25	JC26	JC27	JC28	JC29	JC30	JC31	JC32	JC33	JC34	JC35	JC36	JC37	JC38	JC39	JC40
d	e	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r
SK605	8 13 13 15	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
SK654	5 15 3 9	3	1	3	1	1	9	11	3	7	13	1	1	1	1	1	1	1	1
小計	13 28 16 24	1	0	3	2	4	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
JC41	JC42	JC43	JC44	JC45	JC46	JC47	JC48	JC49	JC50	JC51	JC52	JC53	JC54	JC55	JC56	JC57	JC58	JC59	JC60
d	e	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r
SK605	8 13 13 15	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
SK654	5 15 3 9	3	1	3	1	1	9	11	3	7	13	1	1	1	1	1	1	1	1
小計	13 28 16 24	1	0	3	2	4	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
JC61	JC62	JC63	JC64	JC65	JC66	JC67	JC68	JC69	JC70	JC71	JC72	JC73	JC74	JC75	JC76	JC77	JC78	JC79	JC80
d	e	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r
SK605	8 13 13 15	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
SK654	5 15 3 9	3	1	3	1	1	9	11	3	7	13	1	1	1	1	1	1	1	1
小計	13 28 16 24	1	0	3	2	4	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

第 98 表 第二面主要土層出土遺物組成表

J81	J82	J83	J84	J85	J86	J87	J88	J89	J90	J91	J92	J93	J94	J95	J96	J97	J98	J99	J100
d	e	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r
SK605	8 13 13 15	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
SK654	5 15 3 9	3	1	3	1	1	9	11	3	7	13	1	1	1	1	1	1	1	1
小計	13 28 16 24	1	0	3	2	4	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
J101	J102	J103	J104	J105	J106	J107	J108	J109	J110	J111	J112	J113	J114	J115	J116	J117	J118	J119	J120
d	e	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r
SK605	8 13 13 15	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
SK654	5 15 3 9	3	1	3	1	1	9	11	3	7	13	1	1	1	1	1	1	1	1
小計	13 28 16 24	1	0	3	2	4	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
J121	J122	J123	J124	J125	J126	J127	J128	J129	J130	J131	J132	J133	J134	J135	J136	J137	J138	J139	J140
d	e	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r
SK605	8 13 13 15	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
SK654	5 15 3 9	3	1	3	1	1	9	11	3	7	13	1	1	1	1	1	1	1	1
小計	13 28 16 24	1	0	3	2	4	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

[illegible]

V 自然科学分析

栗橋宿本陣跡から検出された遺構・遺物の性格を検討するため、各種の自然科学分析を実施した。

建物跡の帰属時期、用材選択を探るため、放射性炭素年代測定と樹種同定を行った。大型植物遺体・動物遺体の分析を行い、江戸時代の宿場町に関する食生活を検討する。埋設桶は用途を探るため付着物分析・寄生虫卵分析を行い、樹種同定に

よって用材選択を検討する。近世木製品の用材選択の資料を蓄積するため、下駄を中心に樹種同定を実施した。また、今回の調査の特徴的な遺物の炭化繊維資料、紙本資料に関しても同定を行った。次回報告予定の分析に関する成果も多いので、分析結果を踏まえた考察は、『栗橋宿本陣跡Ⅱ』にまとめて記載する。

1. 放射性炭素年代測定

1. はじめに

久喜市の栗橋宿跡から出土した木材について、加速器質量分析法（AMS 法）による放射性炭素年代測定（ウィグルマッピング法）を行った。

2. 試料と方法

試料は、第 301 号建物跡の土台に使用されていたと考えられる木材である。形状は直径 32.5cm の半割で、樹皮が付いており最終形成年輪が残存していた。樹種はマツ属複雑管束亜属で、年輪数は 38 年輪であった。木材を輪切りにして、外側から 1-5 年目（PLD-24361）、16-20 年目（PLD-24362）、31-35 年目（PLD-24363）の年輪部分を測定試料として採取した。考古学的な所見では、江戸時代末期から明治時代と推定されている。

測定試料の情報、調製データは第 99 表のとおりである。試料は調製後、加速器質量分析計（パレオ・ラボ、コンパクト AMS：NEC 製 1.5SDH）を用いて測定した。得られた 14C 濃度について

同位体分別効果の補正を行った後、14C 年代、暦年代を算出した。

3. 結果

第 100 表に同位体分別効果の補正に用いる炭素同位体比（ $\delta^{13}C$ ）、同位体分別効果の補正を行って暦年較正に用いた年代値と較正によって得られた年代範囲、慣用に従って年代値と誤差を丸めて表示した ^{14}C 年代、ウィグルマッピング結果を、第 342 図にウィグルマッピング結果を示す。暦年較正に用いた年代値は下 1 桁を丸めていない値であり、今後暦年較正曲線が更新された際にこの年代値を用いて暦年較正を行うために記載した。 ^{14}C 年代は AD1950 年を基点にして何年前かを示した年代である。 ^{14}C 年代 (yrBP) の算出には、 ^{14}C の半減期として Libby の半減期 5568 年を使用した。また、付記した ^{14}C 年代誤差 ($\pm 1 \sigma$) は、測定の統計誤差、標準偏差等に基づいて算出され、試料の ^{14}C 年代がその ^{14}C 年代誤差内に入る確率

第 99 表 ウィグルマッピング測定試料および処理

測定番号	遺構・試料データ	採取データ	前処理
PLD-24361	遺構：SB001 種類：生材（マツ属複雑管束亜属） 形状：半割、直径 32.5cm、38 年輪 性状：最終形成年輪 器種：土台 状態：dry	採取位置：1-5y (最終形成年輪)	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2N、水酸化ナトリウム：1.0N、塩酸：1.2N）
PLD-24362		採取位置：16-20y	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2N、水酸化ナトリウム：1.0N、塩酸：1.2N）
PLD-24363		採取位置：31-35y	超音波洗浄 酸・アルカリ・酸洗浄（塩酸：1.2N、水酸化ナトリウム：1.0N、塩酸：1.2N）

が68.2%であることを示す。

なお、暦年校正、ウィグルマッピング法の詳細は以下のとおりである。

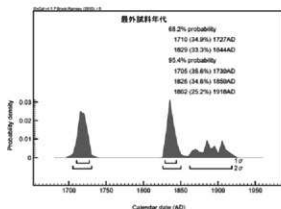
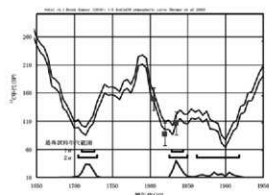
〔暦年校正〕

暦年校正とは、大気中の¹⁴C濃度が一定で半減期が5568年として算出された¹⁴C年代に対し、過去の宇宙線強度や地球磁場の変動による大気中の¹⁴C濃度の変動、および半減期の違い(¹⁴Cの半減期5730 ± 40年)を校正して、より実際の年代値に近いものを算出することである。

¹⁴C年代の暦年校正にはOxCal4.1(校正曲線データ: IntCal09)を使用した。なお、1σ暦年代範囲は、OxCalの確率法を使用して算出された¹⁴C年代誤差に相当する68.2%信頼限界の暦年代範囲であり、同様に2σ暦年代範囲は95.4%信頼限界の暦年代範囲である。カッコ内の百分率の値は、その範囲内に暦年代が入る確率を意味する。グラフ中の縦軸上の曲線は¹⁴C年代の確率分布を示し、二重曲線は暦年校正曲線を示す。

〔ウィグルマッピング法〕

ウィグルマッピング法とは、複数の試料を測定し、それぞれの試料間の年代差の情報を用いて試料の年代パターンと校正曲線のパターンが最も一

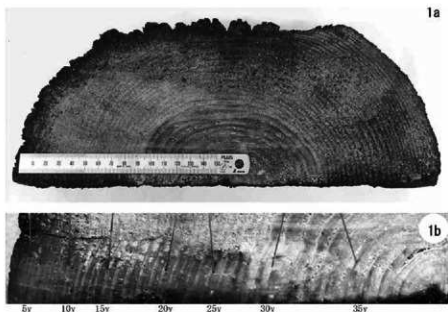


第342図 ウィグルマッピング結果

致する年代値を算出することによって、高精度で年代値を求める方法である。測定では、得られた年輪数が確認できる木材について、1年毎かいは数年分をまとめた年輪を数点用意し、それぞれ年

第100表 放射性炭素年代測定、暦年校正、ウィグルマッピングの結果

測定番号	$\delta^{13}\text{C}$ (‰)	暦年校正用年代 (yrBP ± 1σ)	¹⁴ C年代 (yrBP ± 1σ)	¹⁴ C年代を暦年代に校正した 年代範囲	
				1σ暦年代範囲	2σ暦年代範囲
PLD-24361	-27.24 ± 0.37	106 ± 20	105 ± 20	1695AD (21.7%) 1726AD 1814AD (24.4%) 1852AD 1868AD (15.9%) 1891AD 1909AD (6.2%) 1917AD	1688AD (26.8%) 1731AD 1809AD (68.6%) 1927AD
PLD-24362	-27.25 ± 0.28	87 ± 20	85 ± 20	1700AD (20.2%) 1721AD 1819AD (13.3%) 1833AD 1880AD (34.7%) 1915AD	1693AD (26.1%) 1728AD 1812AD (69.3%) 1919AD
PLD-24363	-24.85 ± 0.29	149 ± 20	150 ± 20	1678AD (10.9%) 1693AD 1728AD (29.1%) 1765AD 1772AD (2.7%) 1777AD 1800AD (9.2%) 1812AD 1919AD (16.3%) 1940AD	1667AD (15.6%) 1700AD 1721AD (35.9%) 1783AD 1796AD (11.2%) 1819AD 1832AD (14.2%) 1880AD 1915AD (18.4%) 1949AD
		最外試料年代		1710AD (34.9%) 1727AD 1829AD (33.3%) 1844AD	1705AD (35.6%) 1730AD 1826AD (34.6%) 1850AD 1862AD (25.2%) 1918AD
		最終形成年輪の年代		1712AD (34.9%) 1729AD 1831AD (33.3%) 1846AD	1707AD (35.6%) 1732AD 1828AD (34.6%) 1852AD 1864AD (25.2%) 1920AD



1a. 木材の横断面（芯持丸木、直径32.5cm、マツ属複維管束型属）
1b. 年輪計測結果（38年輪、最終形成年輪あり）

第343図 年代測定を行った木材（PLD-24361～24363）と年輪計測結果

代測定を行う。個々の測定値から暦年校正を行い、得られた確率分布を最外試料と当該試料の中心値の差だけずらしてすべてを掛け合わせるにより最外試料の確率分布を算出し、年代範囲を求める。なお、得られた最外試料の年代範囲は、まとめた試料の中心部分の年代を表している。そのため、試料となった木材の最終形成年輪の年代を得るためには、最外試料の中心よりも外側にある年輪数を考慮する必要がある。

4. まとめ

第301号建物跡から出土した建物土台の木材について、外側から1-5年目（PLD-24361）と16-20年目（PLD-24362）、31-35年目（PLD-24363）の3点を用いて、ウィグルマッピング法により最

終形成年輪の暦年代を求めた。なお、最終形成年輪の年代は、最外試料年代（5年輪分の試料の中心部分の年代）に2年輪分（試料の中心部の外側にある2.5年輪分：小数点以下切り捨て）を足した年代である。

ウィグルマッピングの結果、最終形成年輪の年代は2 σ 暦年代範囲（確率95.4%）で1707-1732 cal AD(35.6%)および1828-1852 cal AD(34.6%)、1864-1920 cal AD(25.2%)であった。18世紀前半～20世紀前半で、江戸時代中期～大正時代に相当する。

今回の木材は最終形成年輪を測定しており、得られた年代は木材が伐採された年代を示していると考えられる。

引用文献

- Bronk Ramsey, C., van der Plicht, J., and Weninger, B. (2001) 'Wiggle matching' radiocarbon dates. *Radiocarbon*, 43(2A), 381-389.
- Bronk Ramsey, C. (2009) Bayesian Analysis of Radiocarbon dates. *Radiocarbon*, 51(1), 337-360.
- 中村俊夫 (2000) 放射性炭素年代測定法の基礎. 日本先史時代の14C年代編集委員会編「日本先史時代の14C年代」: 3-20, 日本第四紀学会.

Reimer, P.J., Baillie, M.G.L., Bard, E., Bayliss, A., Beck, J.W., Blackwell, P.G., Bronk Ramsey, C., Buck, C.E., Burr, G.S., Edwards, R.L., Friedrich, M., Grootes, P.M., Guilderson, T.P., Hajdas, I., Heaton, T.J., Hogg, A.G., Hughen, K.A., Kaiser, K.F., Kromer, B., McCormac, F.G., Manning, S.W., Reimer, R.W., Richards, D.A., Southon, J.R., Talamo, S., Turney, C.S.M., van der Plicht, J. and Weyhenmeyer C.E. (2009) IntCal09 and Marine09 Radiocarbon Age Calibration Curves, 0-50,000 Years cal BP. Radiocarbon, 51, 1111-1150.

2. 埋設桶材質の樹種同定

1. はじめに

久喜市栗橋に所在する栗橋宿本陣跡から出土した埋設桶木材について、樹種同定を行った。

2. 試料と方法

試料は、第325号埋設桶の側板と、二重構造になっていた第323号埋設桶の、内桶と外桶より側板・底板から採取したものである。

これらの試料から、剃刀を用いて3断面（横断面・接線断面・放射断面）の切片を採取し、ガムクロラルで封入してプレパラートを作製した。これを光学顕微鏡で観察し、写真撮影を行った。

3. 結果

同定の結果、針葉樹であるスギ1分類群のみが確認された。結果を第101表に示す。

木取りは、第325号埋設桶の側板は追柱目、第323号埋設桶外側の底板は柱目、ほかは板目であった。

以下に、同定根拠となった木材組織の特徴を記載し、光学顕微鏡写真を第344図に示す。

(1) スギ

Cryptomeria japonica (L.f.) D. Don
スギ科

第101表 樹種同定結果

遺構	位置	器種	樹種	木取り
第323号埋設桶	内側	桶側板	スギ	板目
		桶底板	スギ	板目
	外側	桶側板	スギ	板目
		桶底板	スギ	柱目
第325号埋設桶	-	桶側板	スギ	追柱目

引用文献

平井信二 (1996) 木の大本科. 394p, 朝倉書店.

伊東隆夫・山田昌久編 (2012) 木の考古学—出土木製品用材データベース—. 449p, 海青社.

第344図 1a-1c (第323号埋設桶外側: 底板)、2a-2c (第323号埋設桶内側: 側板)、3c (第323号埋設桶外側: 側板)、4c (第323号埋設桶内側: 底板)

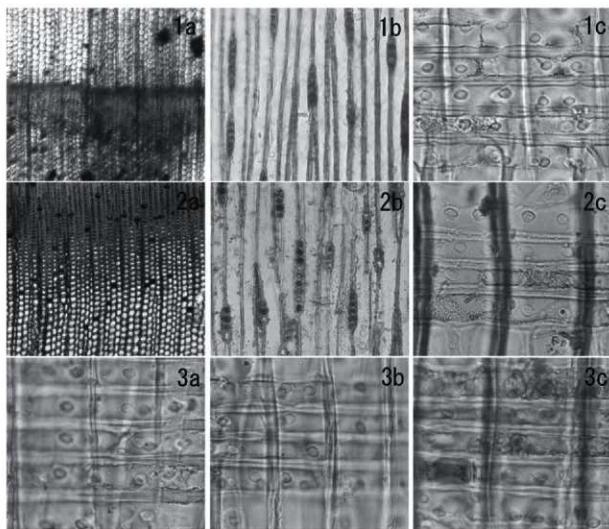
仮道管と放射組織、樹脂細胞からなる針葉樹である。早材から晩材への移行はやや急である。樹脂細胞は主に晩材部に散在する。分野壁孔は大型のスギ型で、1分野に通常2個並ぶ。

スギは暖帯から温帯下部に生育する常緑高木である。材は比較的軽軟で、切削加工は容易である。

4. まとめ

スギは木理直通で真っ直ぐに生育し、軽軟かつ加工が容易で、比較的水湿に強い（平井1996）。したがって、加工性が良くて水場や土中での使用に適していたため、選択的に利用されたと考えられる。

南関東では、東京都の小石川半天神下遺跡や飯田町遺跡、細工町遺跡で、江戸時代後半の桶や井戸側においてヒノキ属とスギが多用されている（伊東・山田編2012）。埼玉県内では、近世以降の木製品の分析例はないが、東京都など周辺地域の用材傾向と類似する可能性がある。



スケール： 
 1a-1c. スギ（第323号埋設桶外側：底板）、2a-2c. スギ（第323号埋設桶内側：側板）、3c. スギ（第323号埋設桶外側：側板）
 a: 横断面（スケール=250 μ m）、b: 接線断面（スケール=100 μ m）、c: 放射断面（スケール=25 μ m）

第344図 栗橋宿本陣跡出土木製品の光学顕微鏡写真

3. 大型植物遺体

1. はじめに

栗橋宿本陣跡から出土した大型植物遺体の同定結果を報告し、当時の利用植物や栽培状況について検討した。

なお、記載にあたっては、第2次、第4次調査時と整理作業時の計3回実施した分析結果を編集・統合して示した。

2. 試料と方法

試料は、遺構確認面と土壌から目視で回収さ



スケール 10:5mm
 第345図 栗橋宿本陣跡から出土した大型植物遺体（1）

れたものである。同定・計数は、肉眼および実体顕微鏡下で行った。第310号井戸跡はソバの果実片が多量確認されるため、保存状態が良好な100個を上限とする他、ソバ以外の種実を精査した。

3. 結果

種実同定結果を第102表、遺構別出土状況を第103表に示す。このほか、C6-I7グリッドでモモが、C6-F6グリッドでイチョウがわずかに得られた。

次に、主な大型植物遺体の記載を行い、図版に写真を示して同定の根拠とする。

イチョウ (*Ginkgo biloba* L.) イチョウ科…茶褐色～灰褐色、広楕円体で頂部から基部にかけて2本の稜があり、両端は短く尖る。種皮表面は粗面。C6-F6グリッド第二面の包含層内から得られたものである。

アンズ (*Prunus armeniaca* L.)

バラ科サクランボ属…核(内果皮)は灰褐色、レンズ状球体で頂部は鈍端、基部は切形で中央部に湾入した臍がある。1本の明瞭な縦の縫合線上が発達し、背面正中線に鈍稜が、腹面正中線はやや鋭い稜となり、稜の左右に浅い縦溝が各1個配列する。内果皮は厚く硬く、表面には浅く微細な凹点が網目模様をなす。

ウメ (*Prunus mume* (Sieb.) Sieb. et Zucc.)

バラ科サクランボ属…核(内果皮)は灰褐色、やや扁平な広楕円体。内果皮表面には円形の小凹点が分布する。欠損がない完形核15個の計測値は、長さが12.55～22.65(平均16.39±標準偏差2.69)mm、幅が9.82～18.77(平均12.82±2.18)mm、厚さが8.20～13.01(平均9.80±1.21)mmを測る(第104表)。

スモモ (*Prunus salicina* Lindley)

バラ科サクランボ属…核(内果皮)は灰褐色、レンズ状広楕円体。内果皮表面はウメよりも平滑でごく浅い凹み那不規則にみられる。

モモ (*Amygdalus persica* L.)

バラ科サクランボ属…核(内果皮)は灰褐色、やや扁平な広楕円体で、頂部が鋭く尖る個体が多い。内果皮表面には縦に流れる不規則な線状の深い窪みがあり、粗いしわ状にみえる。縫合線に沿って半分に割れた内面には種子1個が入る広卵状の窪みがある。

欠損がない完形核の計測値は、SK387(標本数89)は、長さが21.81～37.62(平均30.20±標準偏差3.97)mm、幅が15.52～27.46(平均20.73±2.47)mm、厚さが11.88～19.68(平均14.78±1.38)mm、SK623(標本数177)は、長さが21.87～32.22(平均27.34±1.97)mm、幅が17.30～24.22(平均20.91±1.22)mm、厚さが12.18～18.79(平均15.24±1.21)mm、SK690(標本数21)は、長さが23.80～35.77(平均27.85±3.18)mm、幅が13.84～29.91(平均19.39±3.16)mm、厚さが12.99～19.20(平均14.61±1.37)mmを測る(第104表)。

ソバ (*Fagopyrum esculentum* Moench)

タデ科ソバ属…果実は灰褐色、径4～5mmの稜が鋭く尖る三稜状広卵体で基部に彎がある。果皮表面は粗面で、浅く細い横筋がある。SE310出土果実は、稜に沿って割れた1/3片を主体とする。ニホンカボチャ近似種

(*Cucurbita* cf. *moschata* Duch.)

ウリ科カボチャ属…果柄は灰褐色、木質。残存長13.1～74.6mm、最大径25.8～30.4mmの五角錐状。上下面観は五角形を呈す。側面には5本の縦溝があり、基部は広がりやや膨れて果実につく。

日本で栽培しているカボチャ(属)は16世紀に渡来したニホンカボチャ、19世紀に渡来したセイヨウカボチャ(*C. maxima* Duch.)、セイヨウカボチャよりさらに後れて渡来したペポカボチャ(*C. pepo* L.)がある。今回の出土果柄は、果柄が丸いセイヨウカボチャとは区別される。ペポ

第102表 大型植物遺体同定結果

遺構	分類群	部位	状態	個数	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	検出
SK357	モモ	横	完形	7				345
SK367	モモ	横	完形	65	36.01	24.81	16.27	347-8
SK367		横	完形	-	32.84	22.34	15.55	-
SK367		横	完形	-	33.01	24.58	16.18	-
SK367		横	完形	-	35.08*	25.62	16.19	-
SK367		横	完形	-	33.24	26.46	14.64	-
SK367		横	完形	-	30.83	19.68	12.87	-
SK367		横	完形	-	32.47	21.63	14.73	-
SK367		横	完形	-	34.14	25.19	16.54	-
SK367		横	完形	-	32.54	24.44	17.26	-
SK367		横	完形	-	24.52	17.56	13.44	-
SK367		横	完形	-	35.52	24.78	17.23	-
SK367		横	完形	-	29.70	19.22	14.02	-
SK367		横	完形	-	28.64	21.86	14.73	-
SK367		横	完形	-	30.22	19.81	14.28	-
SK367		横	完形	-	34.99	25.77	19.63	-
SK367		横	完形	-	34.19	24.32	16.36	-
SK367		横	完形	-	35.23	22.01	14.61	-
SK367		横	完形	-	31.53	21.81	15.45	-
SK367		横	完形	-	31.89	21.89	15.23	-
SK367		横	完形	-	30.88	19.98	14.95	-
SK367		横	完形	-	31.18	20.08	13.35	-
SK367		横	完形	-	31.78	22.73	15.37	-
SK367		横	完形	-	35.15	21.71	14.44	-
SK367		横	完形	-	27.25	20.24	14.63	-
SK367		横	完形	-	24.27	17.29	14.56	-
SK367		横	完形	-	30.74	23.39	15.73	-
SK367		横	完形	-	34.72	23.56	16.56	-
SK367		横	完形	-	33.95	23.61	17.02	-
SK367		横	完形	-	29.08	19.57	15.01	-
SK367		横	完形	-	35.96	22.37	14.29	-
SK367		横	完形	-	29.06	19.47	13.99	-
SK367		横	完形	-	25.71	19.51	14.79	-
SK367		横	完形	-	33.89	22.56	16.56	-
SK367		横	完形	-	27.76	17.43	13.50	-
SK367		横	完形	-	28.32	18.94*	13.73	-
SK367		横	完形	-	26.71	20.03	14.10	-
SK367		横	完形	-	30.48	21.68	14.25	-
SK367		横	完形	-	23.21	15.88	13.22	-
SK367		横	完形	-	30.11	17.16*	13.05	-
SK367		横	完形	-	24.19	18.70	14.38	-
SK367		横	完形	-	23.59	17.36	12.95	-
SK367		横	完形	-	34.49	22.46	14.65	-
SK367		横	完形	-	29.62*	21.39	15.72	-
SK367		横	完形	-	32.35*	21.59	14.31	-
SK367		横	完形	-	27.52	18.72	13.78	-
SK367		横	完形	-	32.72	20.56	13.33	-
SK367		横	完形	-	32.67*	24.94	16.73	-
SK367		横	完形	-	24.59	17.61	13.77	-
SK367		横	完形	-	29.70	19.26	14.75	-
SK367		横	完形	-	31.66	23.15	16.18	-
SK367		横	完形	-	33.49	24.54	16.60	-
SK367		横	完形	-	34.76	21.16	14.32	-
SK367		横	完形	-	35.29	24.70	17.02	-
SK367		横	完形	-	34.42	23.04	14.71	-
SK367		横	完形	-	35.11	23.62	16.25	-
SK367		横	完形	-	34.12	26.58	15.94	-
SK367		横	完形	-	30.52	21.73	15.73	-
SK367		横	完形	-	32.51	20.83	13.96	-
SK367		横	完形	-	30.24	22.98	16.60	-
SK367		横	完形	-	23.88	19.26	14.14	-
SK367		横	完形	-	30.96	19.98	16.19	-
SK367		横	完形	-	24.40	18.55	13.97	-
SK367		横	完形	-	24.24	17.85	13.27	-
SK367		横	完形	-	28.27	20.77*	14.88	-
SK367		横	完形	-	21.81	15.52	12.19	347-9
SK367	オニグルミ	横	完形	1	31.68	25.12	25.05	-

遺構	分類群	部位	状態	個数	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	検出
SK367	オニグルミ	横	完形	3	33.64	27.43	25.87	-
SK367		横	完形	-	32.77	30.56	24.53	-
SK367		横	完形	-	31.30	24.82	25.34	347-3
SK367	ウメ	横	完形	4	16.47	12.91	9.62	-
SK367		横	完形	-	15.30	11.68	9.53	-
SK367		横	完形	-	14.21*	10.64	9.53	-
SK367		横	完形	-	14.32	9.82	8.75	-
SK367		横	完形	-	22.65	18.77	13.01	347-5
SK367		横	完形	6	17.12	13.46	9.74	-
SK367		横	完形	-	17.96	13.61	9.15	-
SK367		横	完形	-	14.24	11.96	8.20	-
SK367		横	完形	-	15.91	11.50	10.23	-
SK367		横	完形	-	14.60	10.92	9.73	-
SK367		横	完形	-	13.43	11.66	9.77	-
SK367	モモ	横	完形	15	37.62	27.46	19.68	-
SK367		横	完形	-	36.29	22.83	14.91	-
SK367		横	完形	-	35.43	22.43	14.69	-
SK367		横	完形	-	32.34	21.45	15.36	-
SK367		横	完形	-	23.89	18.02	13.46	-
SK367		横	完形	-	29.23	21.46	11.88	-
SK367		横	完形	-	34.89	21.66	14.44	-
SK367		横	完形	-	28.12	18.48	12.54	-
SK367		横	完形	-	34.48*	21.71	13.98	-
SK367		横	完形	-	30.89	19.24	14.22	-
SK367		横	完形	-	32.31	20.79	16.03	-
SK367		横	完形	-	33.25	21.89	15.02	-
SK367		横	完形	-	32.81	20.47	13.94	-
SK367		横	完形	-	30.25	20.75	14.72	-
SK367		横	完形	-	28.44	17.84	13.63	-
SK367		横	完形	-	30.25*	18.80	13.93	-
SK367		横	完形	-	27.53	20.66	14.68	-
SK367		横	完形	-	25.56	18.29	13.96	-
SK367		横	完形	-	28.04	23.71	17.34	-
SK367		横	完形	-	24.22	17.82	13.85	-
SK367		横	完形	-	25.03	18.35	13.59	-
SK367		横	完形	-	32.01	20.79	14.84	-
SK367		横	完形	-	30.15	19.84	14.55	-
SK367		横	完形	-	24.26	18.37	14.14	-
SK367		横	完形	-	30.35	21.50	14.24	-
SK367		横	完形	-	31.35	20.46*	15.09	-
SK367		横	完形	-	29.92	20.03	14.66	-
SK367		横	完形	-	27.34	17.09	13.65	-
SK367		横	完形	-	29.33	19.06	14.29	-
SK367		横	完形	-	27.76	18.63	12.88	-
SK367		横	完形	-	34.56*	22.28	13.35	-
SK367		横	完形	-	29.11	19.20	14.43	-
SK367		横	完形	-	24.11	18.33	13.73	-
SK367		横	完形	-	30.97	18.69	14.15	-
SK367		横	完形	-	22.12	16.03	13.27	-
第2番 柱	イチヤク	種子	完形	3	17.99	16.43	13.35	347-1
SK390		種子	完形	-	17.82	15.20	12.84	-
SK390		種子	完形	-	17.76	14.39	11.73	-
SK400	モモ	横	完形	1	33.77	22.54	14.42	-
SK422		横	完形	1	26.90	19.43	14.85	-
SK424		横	完形	1	27.16	18.42	13.27	-
SK424		横	半分	1	24.18	18.48	8.23*	-
SK429	オニグルミ	横	半分	1	33.77	28.71	14.64*	-
SK461	モモ	横	-	2	-	-	-	-
SK466	モモ	横	完形	1	37.3	24.7	15.0	346-3
SK466	モモ	横	完形	1	33.1	23.0	18.1	346-3
SK466	モモ	横	完形	1	25.3	17.0	12.9	346-4
SK466	モモ	横	半分	1	26.7	18.9	7.3*	346-5
SK466	モモ	横	-	3	-	-	-	-
SK474	モモ	横	-	3	-	-	-	-
SK475	トウダン	種子	-	4	12.0	7.2	-	346-6
SK475	スイカ	種子	-	1	12.8	5.8	-	346-7
SK475	メロン和肉	種子	-	1	-	-	-	-
SK487	イチヤク	種子	完形	1	18.60	16.30	13.00	346-1
SK487	モモ	横	-	1	-	-	-	-
SK488	メロン和肉	種子	-	41	-	-	-	346-8

造橋	分類群	部位	状態	個数	長さmm	幅(mm)	厚さmm	補注
S8621	アンズ	横	劣部	2	18.18	15.19	8.72	347-4
S8621		横	劣部	-	16.35	13.54	9.05	-
S8621	ウメ	横	劣部	1	16.77	12.80	9.45	-
S8621	スギ	横	劣部	2	12.79	10.88	7.98	347-7
S8621		横	劣部	-	13.73	11.65	8.36	-
S8621		横	劣部	1	-	-	-	-
S8621	ササ	横	劣部	184	32.22	30.49	14.86	347-11
S8621		横	劣部	-	31.99	22.44	16.55	-
S8621		横	劣部	-	28.27	20.87	16.25	-
S8621		横	劣部	-	27.56	21.76	15.59	-
S8621		横	劣部	-	28.22	20.76	14.26	-
S8621		横	劣部	-	28.36	20.66	16.22	-
S8621		横	劣部	-	29.11	22.78	16.72	-
S8621		横	劣部	-	28.11	21.02	13.84	-
S8621		横	劣部	-	27.23	19.59	13.33	-
S8621		横	劣部	-	27.06	20.93	15.99	-
S8621		横	劣部	-	31.16	22.76	17.87	-
S8621		横	劣部	-	27.84	21.01	15.08	-
S8621		横	劣部	-	28.47	21.49	15.61	-
S8621		横	劣部	-	29.62	20.54	14.99	-
S8621		横	劣部	-	27.87	21.14	15.40	-
S8621		横	劣部	-	29.44	21.06	14.89	-
S8621		横	劣部	-	26.34	21.97	16.58	-
S8621		横	劣部	-	28.50	22.51	16.80	-
S8621		横	劣部	-	30.04	21.43	15.96	-
S8621		横	劣部	-	27.14	22.01	17.92	-
S8621		横	劣部	-	30.07	22.30	16.55	-
S8621		横	劣部	-	30.81	23.62	16.68	-
S8621		横	劣部	-	31.28	23.46	14.92	-
S8621		横	劣部	-	28.15	22.89	16.80	-
S8621		横	劣部	-	26.27	19.45	15.34	-
S8621		横	劣部	-	28.15	20.68	15.12	-
S8621		横	劣部	-	27.39	20.82	14.25	-
S8621		横	劣部	-	28.07	20.57	14.24	-
S8621		横	劣部	-	27.04	20.99	14.87	-
S8621		横	劣部	-	27.89	20.60	14.07	-
S8621		横	劣部	-	30.60	22.37	15.81	-
S8621		横	劣部	-	28.59	21.86	15.81	-
S8621		横	劣部	-	25.94	21.03	18.05	-
S8621		横	劣部	-	29.88	24.22	18.22	-
S8621		横	劣部	-	27.48	21.49	16.84	-
S8621		横	劣部	-	27.75	21.69	15.74	-
S8621		横	劣部	-	27.81	21.78	17.16	-
S8621		横	劣部	-	24.97	20.60	15.12	-
S8621		横	劣部	-	25.07	19.30	14.67	-
S8621		横	劣部	-	25.84	20.23	14.51	-
S8621		横	劣部	-	30.11	21.19	13.83	-
S8621		横	劣部	-	30.32	20.16	14.16	-
S8621		横	劣部	-	29.24	22.87	17.14	-
S8621		横	劣部	-	30.49	21.85	16.16	-
S8621		横	劣部	-	28.32	21.75	16.24	-
S8621		横	劣部	-	30.01	20.73	14.94	-
S8621		横	劣部	-	28.15	21.45	16.04	-
S8621		横	劣部	-	28.74	22.12	14.85	-
S8621		横	劣部	-	25.48	18.53	14.81	-
S8621		横	劣部	-	25.30	20.42	15.38	-
S8621		横	劣部	-	29.81	21.90	14.96	-
S8621		横	劣部	-	27.02	20.88	15.22	-
S8621		横	劣部	-	27.21	21.43	15.54	-
S8621		横	劣部	-	28.67	21.63	14.84	-
S8621		横	劣部	-	28.23	21.30	15.95	-
S8621		横	劣部	-	26.63	20.54	15.20	-
S8621		横	劣部	-	29.61	21.48	16.92	-
S8621		横	劣部	-	26.51	21.42	14.94	-
S8621		横	劣部	-	28.38	19.96	14.12	-
S8621		横	劣部	-	28.71	21.21	14.87	-
S8621		横	劣部	-	25.49	22.11	16.66	-
S8621		横	劣部	-	27.66	21.68	17.14	-

造橋	分類群	部位	状態	個数	長さmm	幅(mm)	厚さmm	補注
S8621		横	劣部	-	26.16	21.16	14.88	-
S8621		横	劣部	-	26.46	19.95	13.19	-
S8621		横	劣部	-	25.18	18.83	14.78	-
S8621		横	劣部	-	25.56	21.49	15.50	-
S8621		横	劣部	-	21.87	17.96	14.99	-
S8621		横	劣部	-	28.51	21.18	14.35	-
S8621		横	劣部	-	26.25	19.20	12.78	-
S8621		横	劣部	-	25.99	20.51	14.74	-
S8621		横	劣部	-	28.82	20.60	13.80	-
S8621		横	劣部	-	25.17	21.07	14.95	-
S8621		横	劣部	-	27.77	21.02	14.89	-
S8621		横	劣部	-	28.70	21.50	15.59	-
S8621		横	劣部	-	30.52	20.86	13.31	-
S8621		横	劣部	-	28.44	21.50	14.78	-
S8621		横	劣部	-	26.30	21.39	15.28	-
S8621		横	劣部	-	26.62	20.89	14.36	-
S8621		横	劣部	-	26.04	21.09	15.35	-
S8621		横	劣部	-	24.09	19.62	12.99	-
S8621		横	劣部	-	26.55	21.77	15.88	-
S8621		横	劣部	-	29.71	17.88	13.39	-
S8621		横	劣部	-	27.78	21.76	15.34	-
S8621		横	劣部	-	25.74	20.75	14.42	-
S8621		横	劣部	-	28.25	22.41	17.21	-
S8621		横	劣部	-	26.26	20.79	16.13	-
S8621		横	劣部	-	26.36	19.25	15.33	-
S8621		横	劣部	-	26.59	21.29	16.80	-
S8621		横	劣部	-	25.49	20.58	14.58	-
S8621		横	劣部	-	28.42	21.29	15.67	-
S8621		横	劣部	-	24.21	20.29	15.43	-
S8621		横	劣部	-	28.35	20.18	15.36	-
S8621		横	劣部	-	29.21	22.63	16.35	-
S8621		横	劣部	-	27.23	21.14	14.88	-
S8621		横	劣部	-	27.12	21.26	14.11	-
S8621		横	劣部	-	25.87	19.72	13.17	-
S8621		横	劣部	-	23.62	19.97	15.51	-
S8621		横	劣部	-	27.33	20.68	13.60	-
S8621		横	劣部	-	31.54	21.21	14.38	-
S8621		横	劣部	-	20.52	18.16	13.35	347-8
S8621		横	劣部	-	29.60	22.32	16.07	-
S8621		横	劣部	-	28.46	23.44	18.02	-
S8621		横	劣部	-	25.13	20.46	15.63	-
S8621		横	劣部	-	28.37	23.16	16.53	-
S8621		横	劣部	-	25.94	19.48	15.05	-
S8621		横	劣部	-	28.46	20.81	14.52	-
S8621		横	劣部	-	26.12	20.34	15.22	-
S8621		横	劣部	-	26.86	22.63	14.50	-
S8621		横	劣部	-	28.38	20.92	15.85	-
S8621		横	劣部	-	27.77	20.84	14.85	-
S8621		横	劣部	-	29.21	20.86	13.61	-
S8621		横	劣部	-	23.47	21.23	15.61	-
S8621		横	劣部	-	26.76	20.58	14.67	-
S8621		横	劣部	-	25.22	19.77	14.34	-
S8621		横	劣部	-	28.16	22.11	16.01	-
S8621		横	劣部	-	28.37	19.51	13.47	-
S8621		横	劣部	-	25.66	21.41	15.45	-
S8621		横	劣部	-	25.39	18.89	14.47	-
S8621		横	劣部	-	27.63	17.30	12.18	-
S8621		横	劣部	-	28.24	19.99	13.33	-
S8621		横	劣部	-	30.68	20.87	13.51	-
S8621		横	劣部	-	27.05	21.92	15.17	-
S8621		横	劣部	-	23.14	18.38	14.87	-
S8621		横	劣部	-	24.87	20.05	15.85	-
S8621		横	劣部	-	24.55	18.54	13.39	-
S8621		横	劣部	-	30.09	22.28	16.95	-
S8621		横	劣部	-	25.66	17.73	14.27	-
S8621		横	劣部	-	28.18	22.92	16.42	-
S8621		横	劣部	-	24.12	20.13	14.73	-
S8621		横	劣部	-	30.10	22.80	18.23	-

道産	分類群	部位	状態	個数	長さmm	幅(mm)	厚さmm	特徴
SK623		核	完形	-	26.37	19.94	13.76	-
SK623		核	完形	-	25.22	20.48	15.49	-
SK623		核	完形	-	27.64	22.23	17.88	-
SK623		核	完形	-	25.07	19.99	15.69	-
SK623		核	完形	-	25.45	21.50	16.36	-
SK623		核	完形	-	24.28	18.95	14.67	-
SK623		核	完形	-	28.77	21.67	16.46	-
SK623		核	完形	-	25.34	20.51	15.10	-
SK623		核	完形	-	25.32	20.12	14.84	-
SK623		核	完形	-	27.79	21.69	15.44	-
SK623		核	完形	-	25.98	20.95	16.10	-
SK623		核	完形	-	25.92	20.92	15.45	-
SK623		核	完形	-	25.89	19.25	14.22	-
SK623		核	完形	-	25.99	21.15	15.62	-
SK623		核	完形	-	25.45	19.66	15.49	-
SK623		核	完形	-	28.36	22.26	16.42	-
SK623		核	完形	-	28.22	20.99	16.42	-
SK623		核	完形	-	28.69	20.46	13.44	-
SK623		核	完形	-	24.61	20.84	15.48	-
SK623		核	完形	-	29.36	19.45	13.87	-
SK623		核	完形	-	26.90	20.19	14.35	-
SK623		核	完形	-	27.84	21.01	14.86	-
SK623		核	完形	-	26.31	21.21	16.21	-
SK623		核	完形	-	27.20	20.07	15.11	-
SK623		核	完形	-	25.20	20.01	14.06	-
SK623		核	完形	-	22.18	19.37	14.18	-
SK623		核	完形	-	26.71	20.71	14.89	-
SK623		核	完形	-	24.79	20.29	13.87	-
SK623		核	完形	-	24.95	19.22	14.79	-
SK623		核	完形	-	25.95	20.20	14.50	-
SK623		核	完形	-	27.66	20.42	14.91	-
SK623		核	完形	-	29.57	19.69	14.62	-
SK623		核	完形	-	24.49	19.06	15.97	-
SK623		核	完形	-	22.62	20.51	16.36	-
SK623		核	完形	-	25.85	20.27	13.73	-
SK623		核	完形	-	28.24	21.82	15.05	-
SK623		核	完形	-	26.93	20.93	15.31	-
SK623		核	完形	-	25.53	20.17	14.77	-
SK623		核	完形	-	27.43	20.94	13.86	-
SK623		核	完形	-	24.71	18.92	13.70	-
SK623		核	完形	-	28.47	22.55	15.51	-
SK623		核	完形	-	28.60	23.69	18.79	-
SK623		核	完形	-	28.20	22.82	17.32	-
SK623		核	完形	-	26.97	18.60	14.94	-
SK623		核	完形	-	32.84	23.12	16.52	-
SK623		核	完形	-	26.51	20.05	14.94	-
SK623		核	完形	-	27.73	20.63	15.64	-
SK623		核	完形	-	24.21	19.41	14.53	-
SK623		核	完形	-	23.30	19.87	14.75	-
SK623		核	完形	-	28.06	22.53	13.91	-
SK623		核	完形	-	25.62	18.93	13.25	-
SK623		核	完形	-	25.09	19.93	13.85	-
SK623		核	完形	-	28.42	23.30	17.81	-
SK623		核	完形	-	29.70	18.69	14.33	-
SK623		核	完形未満	19	-	-	-	-
SK623		核	半分	10	-	-	-	-
SK623		核	破片	6	-	-	-	-
SK690	マツ属	雄葉	完形	1	37.87	23.66	-	347-2
SK690	雄葉背表葉	雄葉	完形未満	2	33.93	24.88	-	-
SK690		雄葉	完形未満	-	23.99	12.79	-	-
SK690	オニグルミ	核	半分	1	26.25	24.44	10.84	-
SK690		核	完形	5	19.88	15.49	11.73	-
SK690		核	完形	-	16.87	14.06	10.12	-
SK690		核	完形	-	19.57	12.87	8.41	-
SK690		核	完形	-	12.55	11.12	9.56	347-6
SK690		核	完形	-	-	-	-	-
SK690	モモ	核	完形	26	35.77	29.91	19.20	-
SK690		核	完形	-	30.48	19.98	13.11	-

道産	分類群	部位	状態	個数	長さmm	幅(mm)	厚さmm	特徴
SK690		核	完形	-	29.58	20.27	15.41	-
SK690		核	完形	-	32.38	21.63	15.19	-
SK690		核	完形	-	28.57	19.50	14.56	-
SK690		核	完形	-	27.43	17.18	13.67	-
SK690		核	完形	-	27.63	19.61	15.64	-
SK690		核	完形	-	26.03	16.45	12.99	-
SK690		核	完形	-	26.71	18.15	14.18	-
SK690		核	完形	-	23.90	13.94	13.71	-
SK690		核	完形	-	27.51	19.22	15.05	-
SK690		核	完形	-	29.66	21.97	14.83	-
SK690		核	完形	-	33.08	20.30	13.80	-
SK690		核	完形	-	33.14	21.69	16.01	-
SK690		核	完形	-	31.93	22.83	15.92	-
SK690		核	完形	-	27.87	20.05	14.42	-
SK690		核	完形	-	28.70	20.48	15.09	-
SK690		核	完形	-	25.93	17.28	13.54	-
SK690		核	完形	-	26.74	17.65	13.08	-
SK690		核	完形	-	25.34	18.38	14.95	-
SK690		核	完形	-	27.07	19.12	14.66	-
SK690		核	完形	-	24.68	19.02	14.29	-
SK690		核	完形	-	25.41	17.59	14.20	-
SK690		核	完形	-	26.04	17.69	14.12	-
SK690		核	完形	-	24.94	18.51	13.72	-
SK690		核	完形	-	23.96	17.94	13.45	-
SK690		核	半分	6	-	-	-	-
SK690	ニホンカボチャの仲間	果柄	破片	1	17.37	25.81	-	-
SK700	トチノキ	種子	完形	1	25.21	28.81	27.04	347-12
SK700	ニホンカボチャの仲間	果柄	破片	1	74.63	29.25	-	347-17
SK700		果柄	破片	1	13.14	30.37	32.22	-
SK710	ソバ	果実	完形	3	-	-	-	346-14-15
SK710		果実	完形未満	35	-	-	-	-
SK710		果実	破片	62	-	-	-	-
SK710	ソバ果実片主体	約8cc, 2mm以上の数個片	0.76g	-	-	-	-	347-13
SK710			0.20g	-	-	-	-	-
SK710	ナス	種子	完形	1	2.72	2.84	0.87	347-36

カボチャとは基部は広がらない点で概ね区別されるが、現生標本の観察では、基部が広がるペボカボチャも確認されたため、現段階では厳密な識別は困難である。以上のことから、出土果柄はニホンカボチャ近似種としている。

ナス (*Solanum melongena* L.)

ナス科ナス属…種子は灰褐色、長さ2.72mm、幅2.84mm、厚さ0.87mmの扁平で歪な腎臓形で、基部はやや肥厚し、くびれた部分に臍がある。種皮表面には微細な星型状網目模様か臍から同心円状に発達する。

トウガン (*Benincasa hispida* (Thunb.) Cogn.)

ウリ科…赤褐色で、倒卵形。表面は平滑。基部



1. イチョウ種子 (SK497)、2-4. モモ核 (SK496)、5. モモ核 (半割、SK496)、6. トウガン種子 (SK475)、7. スイカ種子 (SK475)、8. メロン仲間種子 (SK498)

第 346 図 栗橋宿本陣跡から出土した大型植物遺体 (2)

第 103 表 栗橋宿本陣跡で出土した大型植物遺体

	部位	状態	SK357	SK397	SK623	SK499	SK422	SK424	SK429	SK461	SK466	SK474	SK475	SK487	SK499	SK690	SK700	SK310	合計
イチョウ	種子	完形	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
アズキ	種子	完形	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
ウメ	核	完形	-	10	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	16
スモモ	核	完形	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
		完形未満	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
モモ	核	完形	7	100	194	1	1	1	-	2	7	3	-	1	-	26	-	-	352
		完形未満	-	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17
		半分	-	10	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	7
		破片	-	6	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	3
フナ	果実	完形	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
		完形未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	35
		破片	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	62
フナ果実片主体	破片	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,06g 1,06g
ナス	種子	完形	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
ニホンカボチャ近縁種	果柄	破片	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	3
トウガン	種子	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	4
スイカ	種子	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
メロン仲間	種子	完形	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	36	-	-	-	37
		破片	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	5
マツ属植物管束痕	痕跡	完形	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1
		完形未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	2
オニダルミ	核	完形	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
		半分	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2
トチノキ	種子	完形	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
桜桃種				130	225	1	1	2	-	2	8	3	6	2	41	38	2	101	542
その他の木本				4	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4	1	-	19
合計			7	114	225	1	1	2	1	2	8	3	6	2	41	42	3	101	552

第 104 表 ウメ核・モモ核の計測値

分類群	位置	標本数	長さ (mm)				幅 (mm)				厚さ (mm)			
			最小	最大	平均	標準偏差	最小	最大	平均	標準偏差	最小	最大	平均	標準偏差
ウメ	SK387・SK623・SK690	15	12.55	22.65	16.39	± 2.69	9.82	18.77	12.82	± 2.18	8.20	13.01	9.80	± 1.21
モモ	SK387	89	21.81	37.62	30.20	± 3.97	15.52	27.46	20.73	± 2.47	11.88	19.68	14.78	± 1.38
モモ	SK623	177	21.87	32.22	27.34	± 1.97	17.30	24.22	20.91	± 1.22	12.18	18.79	15.24	± 1.21
モモ	SK690	21	23.80	35.77	27.85	± 3.18	13.84	29.91	19.30	± 3.16	12.99	19.20	14.61	± 1.37

注) 欠損がない完形核の計測値を基にしている。

両側に薄い突出部がある。周囲を縁取る肥厚があり、中央部は窪む。長さ 12.0mm、幅 7.2mm。

スイカ (*Citrullus lanatus* (Thunb.) Matsum et Nakai)

ウリ科…黄褐色で、倒卵形。表面は平滑。基部両側に薄い突出部がある。周囲を縁取る肥厚がわずかに見られる。長さ 12.8mm、幅 8.0mm。

メロン仲間 (*Cucumis melo* L.)

ウリ科…黄褐色で、上面観は扁平、側面観は細長い卵形で頂部が尖る。幅狭でやや厚みがある。

藤下 (1984) は、種子の大きさから概ね次の 3 群に分けられるとしている。長さ 6.0mm 以下の雑草メロン型、長さ 6.1~8.0mm のマクワウリ・シロウリ型、長さ 8.1mm 以上のモルディカメロン型である。種子 10 点の大きさは、長さ 7.7~8.7 (平均 8.3 ± 0.4) mm、幅 3.8~4.4 (平均 4.0 ± 0.2) mm で、大きさで分類すると 2 点がマクワウリ・シロウリ型、8 点がモルディカメロン型で、平均値はモルディカメロン型である。

4. まとめ

各遺構・包含層より出土した種実遺体には、栽培種のイチョウ、アンズ、ウメ、スモモ、モモ、ソバ、ニホンカボチャ近似種、ナスが確認され、栽培種が種実遺体群全体の 98% 超を占める。特に、第 310 号井戸跡より出土した多量のソバと、第 387・623・400・422・424・429・690 号土壌より出土した多量のモモは特徴的である。

引用文献

藤下典之 (1984) 出土遺体よりみたウリ科植物の種類と変遷とその利用法、渡辺直経編「古文化財に関する保存科学と人文・自然科学—総括報告書」: 638-654, 同朋舎出版。

新津 健 (1999) 遺跡から出土するモモ核について—山梨県内の事例から—、山梨考古学論集 IV, 361-374, 山梨県考古学協会。

4. 動物遺体

1. はじめに

栗橋宿本陣跡の発掘調査では、江戸時代の土壌から動物遺体が出土した。栗橋宿において利用された動物について議論する材料を得るために、出

山梨県内の遺跡から出土したモモ核の事例を集成した新津 (1999) によると、モモの核は時代ごとに大きさや形状が変化しており、弥生時代では比較的大きくかつ丸味が強い核が多いのに対し、平安時代から近世には縦長になる傾向があるという。さらに、鎌倉期では大きさの変異幅が大きく、江戸時代後期になると大型になり、平均核長 2.69cm、最大で 3.8cm 程度の核がみられるとしている。栗橋宿本陣跡出土のモモ核は、江戸時代後期の平均値よりもやや大きく、縦長で長めのタイプが認められた。

メロン仲間は、種子の大きさからマクワウリ・シロウリ型とモルディカメロン型に分類された。第二面一括で出土したイチョウは種子が食用可能である。果樹のアンズは第 623 号土壌、ウメは第 387・623 号土壌、スモモは第 623 号土壌、果菜類のニホンカボチャ近似種は第 690・700 号土壌より確認された。その他、第 310 号井戸跡からは、ナスの種子が 1 個確認された。これらの栽培種は、当時利用された植物質食料と示唆される。栽培種を除いた分類群は、第 387・429・690 号土壌より出土したオニグルミ、第 700 号土壌より出土したトチノキは河畔林要素の落葉高木で、第 690 号土壌より出土したマツ属複雑管束亜属は、二次林要素の常緑高木である。栗橋宿本陣跡周辺域の河畔林や二次林などに生育していたと考えられる。

土した動物遺体の同定を行った。

2. 試料と方法

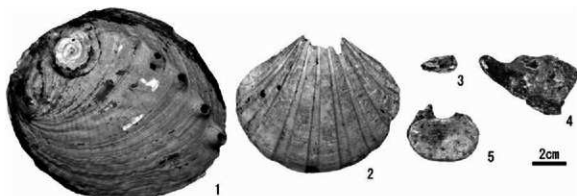
試料は、第 349・370・387 号土壌から出土した動物遺体である。動物遺体は、水洗されタッパ

第105表 分類群一覧

軟体動物門 Mollusca	
腹足綱 Gastropoda	
メガイアワビ	<i>Haliotis gigantea</i>
二枚貝綱 Bivalvia	
イタヤガイ	<i>Pecten albicans</i>
脊椎動物門 Vertebrata	
硬骨魚綱 Osteichthyes	
マクロ属	<i>thunnus sp.</i>

第106表 栗橋宿本陣跡出土の動物遺体一覧

遺構	分類群	左右	部位	部分・状態	数量	備考
SK349	メガイアワビ	—	殻	完存	1	殻長 135.3mm
SK370	マクロ属	右	歯骨	前縁	1	
		右	角骨	関節	2	
		—	椎骨	椎体	53	
	マクロ属か	不明	不明	破片	>100	
SK387	イタヤガイ	右	殻	破片	2	殻頂欠けが2個体 1個体には2つ穿孔



1. メガイアワビ (SK349) 2. イタヤガイ右殻 (SK387)
3. マクロ属右歯骨 (SK370) 4. マクロ属右角骨 (SK370) 5. マクロ属椎骨 (SK370)

第348図 栗橋宿本陣跡出土の動物遺体

一に1片ずつあるいは複数片ずつが収められていた。同定は、目視と実体顕微鏡下で、現生標本と比較して行った。観察の際、切創など解体や調理の痕跡についても注意した。保存状態が良好な試料については、ノギスを用いて計測を行った。

3. 結果

3-1. 貝類

メガイアワビの殻1点が第349号土壌で見られた。殻長は135.3mmで大型である。メガイアワビは、海産で、水深20m内外の岩礁に生息する。食用となり、美味とされる。メガイアワビの他に、第121号土壌（遺構は『栗橋宿本陣跡Ⅱ』で報告予定）でアワビ属の貝殻破片が2個体分見られた。アワビ属にはメガイアワビ以外にクロアワビ、マダカアワビなどがある。なお、江戸ではアワビ類は屋敷地内からの出土が多く、庶民生活を反映したごみ穴からの出土は少ないとされる（金子2001）。

イタヤガイの右殻2点（2個体分）が第387号土壌で見られた。2点とも破損して殻頂が失わ

れていた。1点の後縁近くには径2mmほどの孔が2つ見られた。イタヤガイは左殻が扁平、右殻が碗状である。江戸では、イタヤガイ右殻の隅に2孔を開けて柄を結び、杓として使われたと考えられている（金子2001）。栗橋宿本陣跡のイタヤガイは右殻のみの出土であり、2孔が開けられているため、食用ではなく、杓として利用されたと考えられる。イタヤガイは、水深50m内外に生息する。

3-2. 魚類

マクロ属が、第370号土壌で右歯骨1点と右角骨2点、椎骨53点が見られた。マクロ属には、クロマクロやメバチマクロ、キハダマクロなどがある。いずれも海産の回遊魚である。

4. おわりに

動物遺体同定結果から、やや内陸に位置する栗橋宿に海産物が流通していた様子が窺われる。メガイアワビのように高級食材として食事に供されたと考えられるものもあり、本陣での食材利用を考える上で興味深い。また、杓と考えられるイタ

ヤガイのように、食用以外の用途の貝があった点

にも留意する必要がある。

引用文献

金子浩昌 (2001) 食料残渣とその他の動物遺体、図説江戸考古学研究事典、393-402、柏書房。

5. 埋設桶内面付着物の分析

1. はじめに

栗橋宿本陣跡の調査では、灰白色の板状膠着物が付着した埋設桶が検出された。

この付着物のある埋桶は、トイレに利用された可能性が考えられている。ここでは、この膠着物の特徴を調べるために蛍光X線分析等による元素分析を行った。

2. 試料と方法

分析試料は、第313号埋設桶内面に付着した板状膠着物1点である(第349図1a・b, 第107表)。分析は、面的な元素分布を調べるために、蛍光X線分析による元素マッピング分析を行った。また、膠着物の平均的な元素組成を調べるため蛍光X線分析を行った。さらに、膠着物中に含まれる結晶の化学組成を調べるためEDS分析を行った。

元素マッピング分析は、X線分析顕微鏡(堀場製作所製XGT-5000Type II)を用いた。元素マッピングの測定条件は、X線導管径100 μm 、電圧50KV、電流自動設定、測定時間10,000secである。平均的な元素組成を調べるための元素分析は、エスアイアイ・ナノテクノロジー株式会社製のエネルギー分散型蛍光X線分析計SEA1200VXを使用した。装置の仕様は、X線管ターゲットはロジウム(Rh)、X線検出器はSDD検出器である。測定条件は、測定時間100sec、照射径8mm、電圧50KV、電流1000 μA 、試料室内は真空中に設定し、一次フィルタにPb測定用を用いた。定量計算は、

標準試料を用いないFP(ファンダメンタルパラメータ)法で半定量分析を行った。

黒色部の針状結晶の化学組成を調べるために、エネルギー分散型X線分析装置が付属した走査型電子顕微鏡で調べた。観察および測定は、走査型電子顕微鏡(日本電子株式会社製JSM-5900LV、以後SEM)による反射電子像の観察および付属するエネルギー分散型X線分析装置(同JED-2200)による定性・簡易定量分析を行った。

3. 結果およびまとめ

膠着物は、灰黄色(2.5Y6/6)～灰白色(5Y7/1)の厚さ3mm弱の板状多孔質物である(第349図1a～c)。表面には黒色部分も見られた(第349図2・4)。破断面では、大きく3層に分層され、付着面の1層は比較的緻密であるが、外側2層分は多孔質である。灰白色部では、基質は白色物であり、100 μm 以下の細粒の石英などをわずかに含む(第349図3)。黒色部では、50 μm 以下の黒色で針状の結晶質物が集合して全体として黒色を呈するが、偏光顕微鏡で観察すると深いスカイブルー色を呈する単斜晶系の結晶鉱物である(第349図4)。元素マッピング分析では、全体的にカルシウム(Ca)の輝度(濃度)が高く、鉄(Fe)において著しく不均質であった。その他、ケイ素(Si)あるいはリン(P)においてやや不均質であった(第349図5a～d)。なお、黒色部分では鉄(Fe)の輝度(濃度)が高い。元素分析では、

第107表 分析試料とその詳細

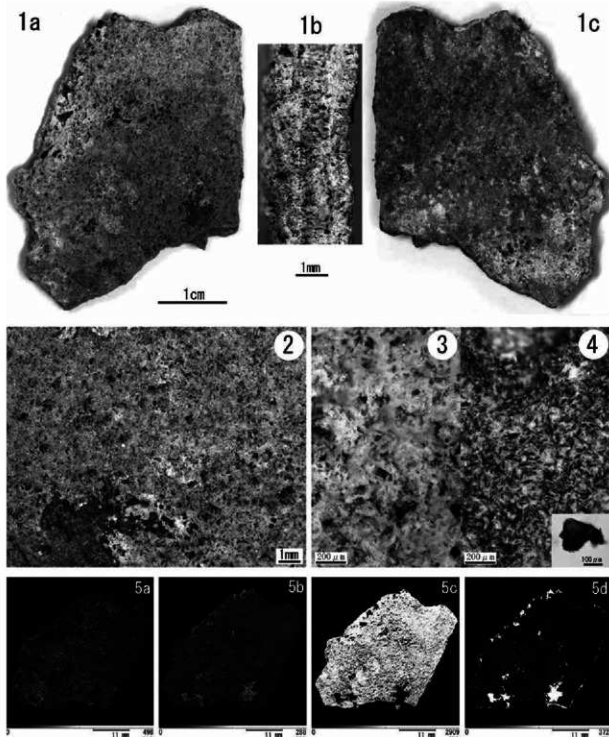
分析No.	遺構No.	時期	採取位置	分析試料	特徴
1	第313号埋設桶	江戸時代後半期頃	桶内面	膠着物	灰黄色(2.5Y6/6)～灰白色(5Y7/1)、厚さ3mm弱、板状多孔質物

第108表 桶内面付着物の蛍光X線分析結果(単位: %)

分析No.	MgO	Al ₂ O ₃	SiO ₂	P ₂ O ₅	SO ₃	K ₂ O	CaO	TiO ₂	MnO	Fe ₂ O ₃	CuO	ZnO	As ₂ O ₃	SrO	ZrO ₂	BaO	合計
1	4.35	3.41	8.02	3.36	1.19	0.35	72.31	0.11	1.51	4.65	0.01	0.04	0.01	0.31	0.01	0.38	100.02

第 109 表 黒色針状の結晶質物の EDS 分析結果 (単位: %)

点 No.	Na ₂ O	MgO	Al ₂ O ₃	SiO ₂	P ₂ O ₅	K ₂ O	CaO	TiO ₂	MnO	Fe ₂ O ₃	Total
1	-	1.13	0.25	-	8.00	0.29	-	-	9.52	80.81	100.00
2	-	-	1.16	1.05	6.17	-	0.30	0.54	7.19	83.60	100.01
3	-	1.89	-	0.14	10.18	-	0.06	0.16	9.47	78.11	100.01
4	0.12	-	0.29	0.58	3.94	-	0.30	0.15	9.33	85.30	100.01



1a 膠着物の表面 1b 断面 1c 裏面 (桶面付着側) 2 膠着物の表面 3 灰白色部の拡大 4 黒色部の拡大と結晶
5a～d 元素マッピング図 a. ケイ素 (Si) b. リン (P) c. カルシウム (Ca) d. 鉄 (Fe)

第 349 図 第 313 号埋設桶内面付着膠着物の詳細と元素マッピング図

酸化カルシウム (CaO) が 72.31% と高く、次いで酸化ケイ素 (SiO₂) が 8.02%、酸化鉄 (Fe₂O₃) が 4.65%、酸化マグネシウム (MgO) が 4.35%、酸化アルミニウム (Al₂O₃) が 3.41%、酸化リン (P₂O₅) が 3.36% などであった (第 108 表)。

黒色部の針状の結晶質物の EDS 分析では、酸化鉄 (Fe₂O₃) が約 80% 以上と多く、酸化リン (P₂O₅) が数～10%、酸化マンガン (MnO) が 10% 前後であり (第 109 表)、リン酸塩鉱物の一種と考えられる。

この膠着物は、主にカルシウムを主体とした沈着物であり、その際リン酸塩鉱物が集合して形成されたと考えられる。なお、尿中にはリン酸が含まれることから、黒色 (偏光顕微鏡では深いスカ

引用文献

大田区立郷土博物館 (1997) トイレの考古学, 229p, 東京美術。

6. 埋設桶の寄生虫卵分析

1. はじめに

栗橋宿本陣跡において、江戸時代の埋設桶が検出された。この埋設桶は用途不明であるため、トイレ遺構などの可能性を検討する目的で寄生虫卵分析を行った。なお、分析は第 2 次・第 3 次調査の二回行ったが、内容を編集・統合して記載する。

2. 試料と方法

分析試料は、桶から採取された土壌試料 7 点である (第 110 表)。これらの試料について、以下の手順にしたがって寄生虫卵分析を試みた。

計量した試料に、10% の水酸化カリウム溶液を加え 10 分間湯煎する。水洗後、46% のフッ化水素酸溶液を加え 1 時間放置する。水洗後、比重分離 (比重 2.1 に調整した臭化亜鉛溶液を加え遠心分離) を行い、浮遊物を回収し水洗する。水洗後、酢酸処理を行い、続けてアセトリシス処理 (無水酢酸 9:1 濃硫酸の割合の混酸を加え 20 分間湯煎) を行う。水洗後、この残渣に適容量のグリセリンを加えて計量した。この残渣からプレパラートを作製し、プレパラート全面に渡り検鏡した。なお、

イブルー色) のリン酸塩鉱物中のリンの供給元の可能性が考えられる。

このような膠着物の類例として、東京帝国大学図書館のトイレ遺構では、便器に使われた常滑焼大甕内部に糞尿の痕である無機質カルシウムが付着していた (大田区立郷土博物館編 1997)。

4. おわりに

埋設桶内面に付着した灰黄色などの膠着物は、カルシウムを主成分とした板状多孔質物であった。なお、一部に 50 μm 以下の黒色の針状結晶が集合した黒色部が観察され、リン酸塩鉱物であることが分かった。便器での検出例と類似しているため、埋設桶は小便器の可能性が考えられる。

試料 1g 中の寄生虫卵含有数は、次式で求める。

$X = BD/AC$ 。X: 試料 1g 中の寄生虫卵含有数、A: 分析に用いた試料の重量 (g)、B: 濃縮試料 + グリセリンの重量 (g)、C: 濃縮試料 + グリセリンのうち、封入に用いた重量 (g)、D: プレパラート中の寄生虫卵数

また、寄生虫卵を検鏡する際には花粉の検鏡も同時に行った。花粉の含有量が十分な試料については樹木花粉 200 個を目途にし、花粉の含有量が不十分な試料についてはプレパラート 1 枚を目途にして検鏡を行った。

3. 分析結果

計量し、検鏡した結果を第 111 表に示す。寄

第 110 表 分析試料一覧

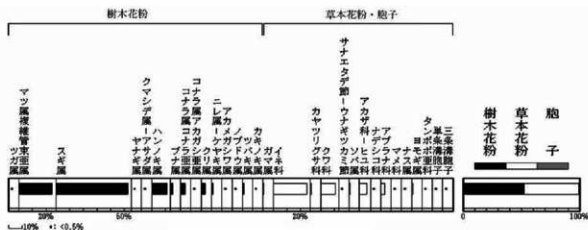
遺構	土相
桶 325	オリブ黒色 (7.5Y3/1)
7 層	植物遺体・シルト混じり砂
桶 619	オリブ黒色 (5Y3/2) シルト混じり中粒砂
桶 621	オリブ黒色 (5Y3/2) シルト
桶 622	オリブ黒色 (5Y3/2) シルト
SE311	オリブ黒色 (5Y3/2) 植物遺体混じりシルト
桶 628	灰オリブ色 (7.5Y4/2) シルト混じり中粒砂
桶 634	オリブ黒色 (5Y3/2) シルト

生虫卵が検出されたのは第 325・621 号埋設桶・第 311 号井戸跡である。第 325 号埋設桶では、試料 1 g 当たり、回虫卵が 88 個、鞭虫卵が 28 個、肝吸虫卵が 46 個、横川吸虫卵が 56 個、不明寄生虫卵が 14 個である。試料 1 cm 当たりでは計 257 個になる。第 621 号埋設桶では回虫卵が試料 1g 当たり 2 個、第 311 号井戸跡では回虫卵が試料 1g 当たり 14 個、肝吸虫卵が試料 1g 当たり 7 個、不明寄生虫卵が試料 1g 当たり 137 個検出できた。試料 1 cm 当たりでは、第 621 号埋設桶で 4 個、第 311 号井戸跡で 185 個である。

事で示してある。また、図においてハイフン (—) で結んだ分類群は、それらの分類群間の区別が困難なものを示している。さらに、クワ科やマメ科の花粉には樹木起源と草本起源のものがあるが、各々に分けるのが困難なため、便宜的に草本花粉に一括して入れてある。

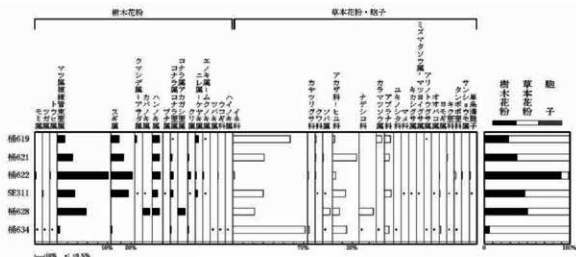
検査の結果、寄生虫卵が検出されたのは第325・621号埋設桶・第311号井戸跡で、第325号埋設桶では試料1cm当たり257個、第621号埋設桶では試料1cm当たり4個、第311号井戸跡では試料1cm当たり185個の寄生虫卵が検出できた。寄生虫卵数については、試料1cm中に

第111表 寄生虫卵分析に用いた試料の計量値と寄生虫卵数



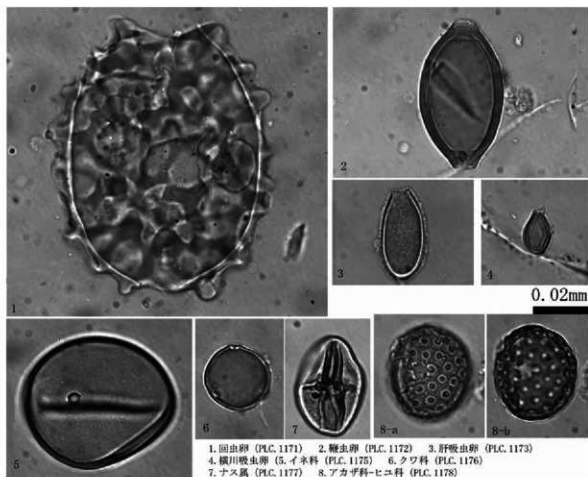
樹木花粉は樹木花粉粒数、草本花粉・胎子付産出花粉胎子粒数を基数として百分率で算出した。

第 350 図 栗橋宿本陣跡(第 325 号埋設桶)における花粉分布図



樹木花粉・草本花粉・種子は庫出花粉総数を基数として百分率で算出した。

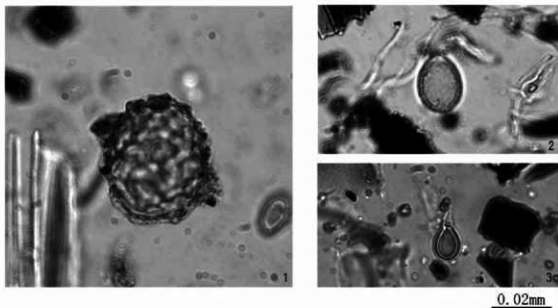
第351図 埋設桶における花粉分布図



第352図 第325号埋設桶7層から産出した寄生虫卵と花粉化石

1,000個以上あれば糞便の可能性があると考えられている（金原1997）。この値に照らし合わせると、第621号埋設桶は寄生虫卵数が少ないため、

糞便が含まれていた可能性は低いと思われる。一方で、第325号埋設桶・第311号井戸跡は1000個には達していないものの、他試料に比べると寄



1. 回虫卵 2. 肝吸虫卵 3. 不明寄生虫卵

第353図 第311号井戸跡から産出した寄生虫卵

生虫卵数が比較的多い。寄生虫卵数から考えると、本試料は糞便自体とは言い難いが、寄生虫卵が多く含まれているため、糞便が混じりこんでいる試料であるといえよう。トイレ遺構では食用や薬用となる植物の花粉が多産する例が知られており、今回の分析試料についても花粉分析を行った。第325号埋設桶から産出した花粉化石では、食用や薬用となる植物はイネ科やクワ科、ソバ属、アカザ科・ヒユ科、アブラナ科、ナス属などが挙げられる。トイレ遺構の可能性が低い第36号埋設桶『栗橋宿本陣跡Ⅱ』報告予定)の桶内堆積物の花粉分析結果と比べると、今回は第36号埋設桶内

引用文献

金原正明 (1997) 自然科学的研究からみたトイレ文化。大田区立郷土博物館編「トイレの考古学」: 197-216, 東京美術。

7. 第4次調査出土木製品の樹種同定

1. はじめに

栗橋宿本陣跡第4次調査で出土した木製品15点について、樹種同定を行った。

2. 試料と方法

堆積物では確認できなかったソバ属やナス属が産出しており、イネ科やクワ科、アカザ科・ヒユ科、アブラナ科は、いずれも第36号埋設桶より産出率が高い。

以上のように、寄生虫卵が比較的多く含まれ、食用や薬用となる分類群の産出が比較的多いため、第325号埋設桶は肥溜やトイレ遺構の可能性があると言えよう。

寄生虫卵の産出が見られなかった第634号埋設桶では、イネ科花粉が特異的に多く産出した。例えばイネの粃殻には花粉が多く付着しているため、桶に粃殻が含まれていた可能性も考えられる。

試料は、井戸跡や土壌から出土した木製品15点であるが、差歯下駄は台と歯、蓋つきの曲物容器は蓋と把手、底板、側板についても樹種同定を行ったため、同定した総数は20点となる。これ

らの試料から、剃刀を用いて3断面（横断面・接線断面・放射断面）の切片を採取し、ガムクロールで封入してプレパラートを作製した。これを光学顕微鏡で観察および同定、写真撮影を行った。

3. 結果

樹種同定の結果、針葉樹はモミ属、カラマツ、スギ、ヒノキの4分類群、広葉樹はクリ、ブナ属、コナラ属コナラ節（以下、コナラ節）、ケンボナシ属の4分類群の、計8分類群が確認された。器種別の樹種組成を第112表、結果の一覧を第113表に示す。以下に、同定根拠となった木材組織の特徴を記載し、光学顕微鏡写真を第354～356図に示す。

(1) モミ属 *Abies* マツ科 第354図1a-c

仮道管および放射組織からなる針葉樹である。早材から晩材への移行は比較的緩やかである。放射組織でじゅず状末端壁がみられる。分野壁孔はスギ型で、1分野に1～4個存在する。

モミ属は暖帯から温帯の山地に生育する常緑高木で、ウラジロモミやシラベ、トドマツなど約5種がある。材は柔軟で加工容易であるが、割れや狂いが出やすく、保存性が低い。

(2) カラマツ *Larix kaempferi* (Lamb.)

Carriere マツ科 第354図2a-c

仮道管と垂直および水平樹脂道、放射組織、放射仮道管からなる針葉樹である。早材から晩材への移行は比較的緩やかである。大型の樹脂道を薄壁のエピセリウム細胞が囲んでいる。分野壁孔は小型のヒノキ型で、1分野に4～5個みられる。

第112表 器種別の樹種組成

樹種/器種	一本下駄		差歯下駄		曲物容器				木札	底板	板材	計
	台	歯	側板	底板	蓋	蓋把手						
モミ属								1				1
カラマツ			1									1
スギ	1	1			1	1	1	1	1		4	11
ヒノキ										2		2
クリ			1									1
ブナ属			1									1
コナラ属コナラ節	2											2
ケンボナシ属			1									1
計	3	2	2	1	1	1	1	2	3		4	20

また放射組織は数珠状末端壁を有し、放射組織の上下には放射仮道管がある。

カラマツは温帯に分布する落葉高木で、自生では宮城県・新潟県以南から中部山岳地帯の日当たりの良い山地に生育する。材は水湿に強い。

(3) スギ *Cryptomeria japonica* (L.f.) D. Don スギ科 第354・355図3a-c、4a-c

仮道管と放射組織、樹脂細胞からなる針葉樹である。早材から晩材への移行はやや急である。樹脂細胞は主に晩材部に散在する。分野壁孔は大型のスギ型で、1分野に通常2個並ぶ。

スギは暖帯から温帯下部に生育する常緑高木である。材は比較的軟で、切削加工は容易であり、割裂性は大きい。

(4) ヒノキ *Chamaecyparis obtusa*

(Siebold et Zucc.) Endl.

ヒノキ科 第355図5a-c

仮道管と放射組織、樹脂細胞からなる針葉樹である。早材から晩材への移行は緩やかである。樹脂細胞は主に晩材部に散在する。分野壁孔はトウヒ型～ヒノキ型で、1分野に2個存在する。

ヒノキは福島県以南の温帯から暖帯に分布する常緑高木である。材は加工容易で割裂性は大きく、耐朽性および耐湿性は著しく高く、狂いが少ない。

(5) クリ *Castanea crenata* Siebold et Zucc.

ブナ科 第355図6a-c

大型の道管が年輪のはじめに数列並び、晩材部では薄壁で角張った小道管が火炎状に配列する環孔材である。軸方向柔組織はいびつな線状となる。

道管の穿孔は単一である。放射組織は同性で主に単列である。

クリは温帯下部から暖帯に分布する落葉高木である。材は重硬で、耐朽性および耐湿性に優れ、保存性が高い。

(6) ブナ属 *Fagus* ブナ科 第356図7a-c

小型で単独の道管が密に分布し、晩材部ではやや径を減ずる散孔材である。道管の穿孔は単一のものと同段階の2種類がある。放射組織はほぼ同性で、単列と2～数列、広放射組織の3種類がある。ブナ属は温帯に分布する落葉高木で、ブナとイヌブナがある。材は堅硬および緻密で、靱性はあるが保存性は低い。

(7) コナラ属 *Quercus* sect. *Prinus* ブナ科 第356図8a-c

大型の道管が年輪のはじめに1列程度並び、晩材部では薄壁で角張った小道管が火炎状に配列する環孔材である。軸方向柔組織はいびつな線状となる。道管の穿孔は単一である。放射組織は同性で、単列と広放射組織の2種類がある。

コナラ属は温帯下部および暖帯に分布する落葉高木で、カシワとミズナラ、コナラ、ナラガシワがある。材は全体的に重硬で、加工困難である。

第113表 樹種同定結果一覧

No.	遺構	層位	遺物 No.	器種	部位	樹種	木取り
1	SK676	第二面	No. 2	木札	-	モミ属	榎目
2	SK469	第二面	No. 5	木札	-	スギ	板目
3	SE305	第二面	-	板材	-	スギ	板目
4	SK451	第一面	No. 1	板材	-	スギ	板目(芯持)
5	SK469	第二面	No. 1	板材	-	スギ	追榎目
6-1	SK477	第二面	-	曲物容器	蓋	スギ	榎目
6-2					蓋把手	スギ	角材
6-3					底板	スギ	榎目
6-4					側板	カラマツ	榎目
7	SK442	第一面	No. 3	板材	-	スギ	板目(芯持)
8	SK477	第二面	-	一木下駄	-	コナラ属コナラ節	板目
9					-	コナラ属コナラ節	榎目
10-1	SE306	第一面	-	差歯下駄	台	スギ	板目
10-2					歯	ブナ属	板目
11	SK451	第一面	No. 2	一木下駄	-	スギ	板目(芯持)
12-1	基礎 317	第二面	No. 2	差歯下駄	台	ケンボナシ属	板目
12-2					歯	クリ	板目
13	SK497	第二面	-	底板	-	ヒノキ	追榎目
14	SK497	第二面	No. 3	底板	-	スギ	板目
15	桶 321	第一面	-	底板	-	ヒノキ	板目

(8) ケンボナシ属 *Hovenia* クロウメモドキ科 第356図9a-c

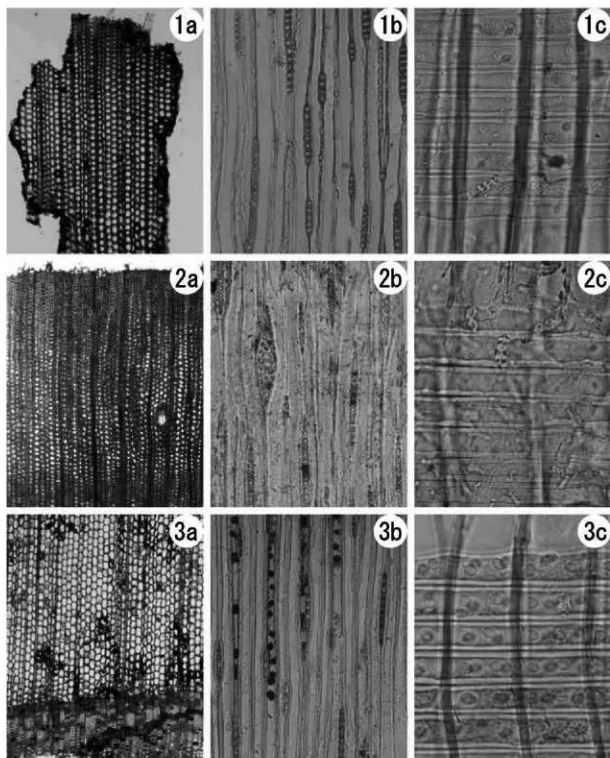
やや大型の道管が年輪のはじめに配列し、晩材部では厚壁で小型の道管が単独もしくは2～3個複合して散在する環孔材である。道管の穿孔は単一である。放射組織は異性で、1～3列幅である。

ケンボナシ属は温帯から暖帯に分布する落葉高木で、ケンボナシとケンボナシの2種がある。材は重さおよび堅さは中庸、切削加工は容易であり、狂いや割れは少ない。

4. まとめ

木製品全体では、スギが11点で最も多くみられた。曲物容器と木札、底板、板材はすべて針葉樹であり、広葉樹の利用がみられたのは下駄のみであった。

蓋付きの曲物容器は、底板と蓋、蓋の把手がスギ、側板がカラマツであった。木取りは、蓋の把手が角材、それ以外は榎目であった。木札は、モミ属とスギが各1点であった。木取りは、モミ属が榎目、スギが板目であった。底板は、スギが1点とヒノキが2点であった。木取りは、第497号土壌出土のヒノキ(No.13)が追榎目、その他は板目であった。板材は、4点ともスギであった。

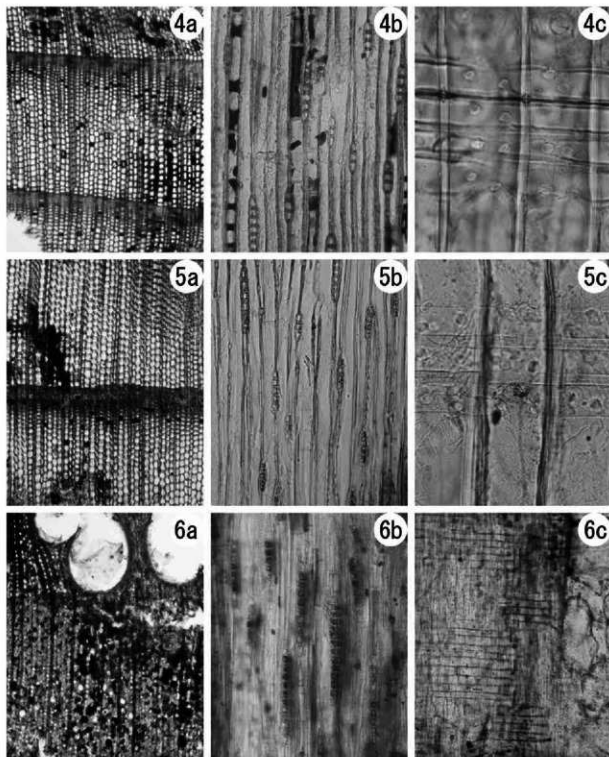


スケール： 

1a-1c. モミ属 (No.1)、2a-2c. カラマツ (No.6-4)、3a-3c. スギ (No.2)

a: 横断面 (スケール=250 μ m)、b: 接線断面 (スケール=100 μ m)、c: 放射断面 (スケール=25 μ m)

第 354 図 栗橋宿本陣跡第 4 次出土土木製品の光学顕微鏡写真 (1)

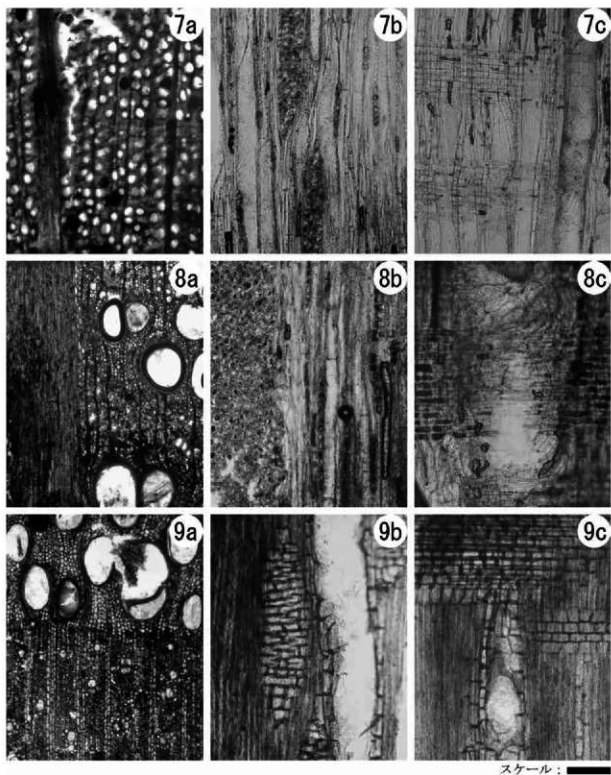


スケール： 

4a-4c. スギ (No. 7)、5a-5c. ヒノキ (No. 13)、6a-6c. クリ (No. 12-2)

a : 横断面 (スケール=250 μ m)、b : 接線断面 (スケール=100 μ m)、c : 放射断面 (スケール=4-5 : 25 μ m、6 : 100 μ m)

第 355 図 栗橋宿本陣跡第 4 次出土木製品の光学顕微鏡写真 (2)



7a-7c. ブナ属 (No. 10-2)、8a-8c. コナラ属コナラ節 (No. 8)、9a-9c. ケンボナシ属 (No. 12-1)
a: 横断面 (スケール=250 μ m)、b: 接線断面 (スケール=100 μ m)、c: 放射断面 (スケール=100 μ m)

第 356 図 栗橋宿本陣跡第 4 次出土木製品の光学顕微鏡写真 (3)

第469号土壌出土のNa5は追柵目、それ以外は板目であったが、第451号土壌出土のNa4と第442号土壌出土のNa7は芯持の板目であった。

近世の江戸では、土木材や器具材など多様な木製品にスギやヒノキ、マツ属を中心とした針葉樹が大量消費される傾向が明らかにされている（鈴木・三浦 2012）。今回の分析でもスギを中心とした針葉樹の利用が多く、江戸における木材利用の傾向とも類似する。また、曲物容器の側板でみられたカラマツは、中部地方周辺の山地に生育する樹種であり、木材もしくは製品として流通してきたと推測される。

下駄は、一本下駄はコナラ節が2点と、スギが

引用・参考文献

平井信二（1996）木の百科。394p, 朝倉書店。

伊東隆夫・山田昌久編（2012）木の考古学—出土木製品用材データベース—。449p, 海育社。

鈴木伸哉・三浦 恵（2012）南関東地方（2）—神奈川県・千葉県・東京都・埼玉県（中世以降）—。伊東隆夫・山田昌久編「木の考古学—出土木製品用材データベース—」：185-192, 海育社。

8. 木製品の樹種同定

1. はじめに

栗橋宿本陣跡で出土した木製品のうち、実測図に示した遺物について樹種を同定する。

2. 試料と方法

試料は、報告書に図示した木製品30点である。資料の木取りを観察した上で、剃刀を用いて木口（横断面）・柵目（放射断面）・板目（接線断面）の3断面の徒手切片を直接採取する。切片をガム・クロラール（抱水クロラール、アラビアゴム粉末、グリセリン、蒸留水の混合液）で封入し、プレパラートとする。プレパラートは、生物顕微鏡で木材組織の種類や配列を観察し、その特徴を現生標本および独立行政法人森林総合研究所の日本産木材識別データベースと比較して種類（分類群）を同定する。

3. 結果

樹種同定結果を第114表に示す。木製品は、針葉樹5分類群、広葉樹7分類群とイネ科タケ亜

1点であった。差歯下駄では、第306号井戸跡出土のNa10は台がスギ、歯がブナ属、第317号基礎状遺構出土のNa12は台がケンボナシ属、歯がクリであった。木取りは第477号土壌出土の一本下駄（Na9）のコナラ節が柵目で、それ以外は板目であった。関東地方南部における近世以降の下駄材は、一本下駄はマツ属複雑管束亜属とクリ、スギが多く、差歯下駄の台はスギとクリ、歯はケヤキとアカガシ亜属が多い傾向があるが、その他にも多様な樹種が利用されている（伊東・山田編 2012）。今回の分析でも、樹種に統一性がみられず、用材の選択性は低いと考えられる。

科に同定された。次に各分類群の解剖学的特徴等を記す。

・マツ属複雑管束亜属

Pinus subgen. *Diploxylon* マツ科

軸方向組織は仮道管と垂直樹脂道で構成される。仮道管の早材部から晩材部への移行は急〜やや緩やかで、晩材部の幅は広い。垂直樹脂道は晩材部に認められる。放射組織は、仮道管、柔細胞、水平樹脂道、エビセルウム細胞で構成される。分野壁孔は窓状となる。放射仮道管内壁には鋸歯状の突起が認められる。放射組織は単列、1-15細胞高。

・スギ *Cryptomeria japonica* (L. f.) D. Don スギ科スギ属

軸方向組織は仮道管と樹脂細胞で構成される。仮道管の早材部から晩材部への移行はやや急で、晩材部の幅は比較的広い。樹脂細胞はほぼ晩材部に認められる。放射組織は柔細胞のみで構成され

る。分野壁孔はスギ型で、1分野に2-4個。放射組織は単列、1-10細胞高。

- ・ヒノキ *Chamaecyparis obtusa* (Sieb. et Zucc.) Endlicher ヒノキ科ヒノキ属

軸方向組織は仮道管と樹脂細胞で構成される。仮道管の早材部から晩材部への移行は緩やかへやや急で、晩材部の幅は狭い。樹脂細胞は晩材部付近に認められる。放射組織は柔細胞のみで構成される。分野壁孔はヒノキ型〜トウヒ型で、1分野に1-3個。放射組織は単列、1-10細胞高。

- ・ヒノキ科 Cupressaceae

軸方向組織は仮道管と樹脂細胞で構成される。仮道管の早材部から晩材部への移行は緩やかへやや急で、晩材部の幅は狭い。樹脂細胞は晩材部付

近に認められる。放射組織は柔細胞のみで構成される。分野壁孔は保存が悪く観察できない。放射組織は単列、1-10細胞高。

上記ヒノキを含むヒノキ科のいずれかであるが組織の保存状態が悪く、重要な特徴である分野壁孔が観察できないため、ヒノキ科とした。

- ・カヤ *Torreya nucifera* Sieb. et Zucc. イチイ科カヤ属

軸方向組織は仮道管のみで構成される。仮道管の早材部から晩材部への移行はやや急で、晩材部の幅は狭い。仮道管内壁には2本が対をなしたらせん肥厚が認められる。放射組織は柔細胞のみで構成される。分野壁孔はトウヒ型〜ヒノキ型で、1分野に1-4個。放射組織は単列、1-10細胞高。

第114表 樹種同定結果一覧

図版No.	分析%	調査面	遺構番号	掲載番号	種類	分類	部位	木取り	種類	備考
1-1	1-1	第一面	SK339	第202図3	下駄	V. 無限	板目	板目	マツ属複雑管束型属	
1-2	1-2		SK353	第203図16	下駄	I. 連歯	板目	板目	トネリコ属	
1-3	1-3		SK618	第207図63	下駄	I. 連歯	板目	板目	ヒノキ科	
1-4	1-4		SK641	第208図72	下駄	V. 無限	板目	板目	マツ属複雑管束型属	
1-5	1-5		SK642	第208図74	下駄	IV. 除印	台 前歯	板目 板目	ケヤキ ケヤキ	
1-6	1-6		SK666	第208図81	下駄	IV. 除印	台	板目	スギ	
1-7	1-7		SK668	第209図88	下駄	V. 無限	板目	板目	マツ属複雑管束型属	小型
1-8	1-8		桶621	第80図105	下駄	IV. 除印	台 後歯	板目 板目	ケンボナシ属 ケヤキ	
1-9	1-9	第二面	SK415	第312図28	下駄	IV. 除印	台 前歯	板目 板目	ケンボナシ属 キハダ	
1-10	1-10		SK677	第320図141	下駄	I. 連歯	板目	板目	ブナ属近似種	
1-11	1-11		SK678	第321図157	下駄	I. 連歯	板目	板目	クリ	
1-12	1-12		SK678	第321図158	下駄	I. 連歯	板目	板目	コナラ属コナラ節	
1-13	1-13		SK729	第325図209	下駄	V. 無限	板目	板目	マツ属複雑管束型属	
1-14	1-14		SK473	第317図99	下駄	IV. 除印	台 後歯	板目 板目	ケンボナシ属 ケンボナシ属	
1-15	1-15		SK477	第318図114	下駄	I. 連歯	板目	板目	トネリコ属	
1-16	1-16		SE307	第256図6	下駄	IV. 除印	台 前歯	板目 板目	クリ ケヤキ	漆塗
1-17	1-17	第一面	SK605	第205図55	箸		削出棒状	削出棒状	カヤ	
1-18	1-18		SK605	第205図56	箸		削出棒状	削出棒状	スギ	
1-19	1-19		SK605	第205図57	箸		削出棒状	削出棒状	スギ	
1-20	1-20		SK605	第205図58	箸		削出棒状	削出棒状	ヒノキ科	
1-21	1-21		SK423	第312図37	箸		削出棒状	削出棒状	ヒノキ	
1-22	1-22		SK423	第312図38	箸		削出棒状	削出棒状	ヒノキ	
1-23	1-23		SK423	第312図39	箸		削出棒状	削出棒状	ヒノキ科	
1-24	1-24		SK423	第312図40	箸		削出棒状	削出棒状	ヒノキ	
1-25	1-25	第二面	SK307a	第54図1	建築材	丸太	芯持丸木	芯持丸木	クリ	
1-26	1-26		SK307a	第54図2	建築材	丸太	芯持丸木	芯持丸木	クリ	
1-27	1-27		SK307b	第55図12	建築材	丸太	芯持丸木	芯持丸木	マツ属複雑管束型属	
1-28	1-28		木桶302	第104図15	建築材	側板	板目	板目	ヒノキ科	
1-29	1-29		木桶302	第104図9	建築材	支柱	芯持丸木	芯持丸木	ヒノキ科	
1-30	1-30		木桶303	第103図3	建築材	底板	板目	板目	マツ属複雑管束型属	

・ブナ属近似種 cf. *Fagus* ブナ科

散孔材で、道管は単独または放射方向に2-3個が複合して散在し、年輪界付近で径を減ずる。道管の分布密度は高い。道管は単穿孔を有する。放射組織は同性、1-3列程度の組織が認められるほか、木口切片の一部に複合放射組織と考えられる組織が観察できる。全体的に保存状態が悪く、複合放射組織と考えられる組織を板目で観察することができなかったため、近似種とした。

・コナラ属コナラ亜属コナラ節 *Quercus* subgen. *Quercus* sect. *Prinus* ブナ科

環孔材で、孔圏部は1-3列、孔圏外で急激に径を減じたのち、漸減しながら火炎状に配列する。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列する。放射組織は同性、単列、1-20細胞高のものと複合放射組織とがある。

・クリ *Castanea crenata* Sieb. et Zucc.

ブナ科クリ属

環孔材で、孔圏部は3-4列、孔圏外で急激に径を減じたのち、漸減しながら火炎状に配列する。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列する。放射組織は同性、単列、1-15細胞高。

・ケヤキ *Zelkova serrata* (Thunb.) Makino

ニレ科ケヤキ属

環孔材で、孔圏部は1-2列、孔圏外で急激に径を減じたのち、塊状に複合して接線・斜方向に紋様状あるいは帯状に配列し、年輪界に向かって径を漸減させる。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列、小道管内壁にはらせん肥厚が認められる。放射組織は異性、1-6細胞幅、1-50細胞

高。放射組織の上下縁辺部を中心に結晶細胞が認められる。

・キハダ *Phellodendron amurense* Ruprecht

ミカン科キハダ属

環孔材で、孔圏部は3-5列、孔圏外でやや急激に管径を減じたのち塊状に複合して接線・斜方向に紋様状に配列し、年輪界に向かって径を漸減させる。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列、小道管内壁にはらせん肥厚が認められる。放射組織は同性、1-5細胞幅、1-40細胞高。

・ケンボナシ属 *Hovenia* クロウメモドキ科

環孔材で、孔圏部は1-3列、孔圏外で急激に管径を減じたのち、厚壁の道管が単独または2個が放射方向に複合して配列し、年輪界に向かって径を漸減させる。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列する。放射組織は異性、1-5細胞幅、1-40細胞高。

・トネリコ属 *Fraxinus* モクセイ科

環孔材で、孔圏部は1-3列、孔圏外で急激に管径を減じたのち、厚壁の道管が単独または2個が放射方向に複合して配列し、年輪界に向かって径を漸減させる。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列する。放射組織は同性、1-3細胞幅、1-30細胞高。

栗橋宿本陣跡では、下駄について定量的に材質同定を行い、北側の本陣敷地推定地でも約20点を分析している。結果については、試料写真、まとめと参考文献とともに、次に刊行する『栗橋宿本陣跡Ⅱ』にまとめて記載する。

9. 出土布片の同定

1. はじめに

栗橋宿本陣跡第4次調査で第497号土壌から出土した布片2点について、素材の同定を行った。

2. 試料と方法

試料は第497号土壌から出土した布片で、織

りの密度がやや高い布(№1)と、織りの密度が低い布(№2)の2点を採取した。形状の観察用に試料の一部を切り取り、写真を撮影した後、布の繊維を直径1cmの真鍮製試料台に両面テープで固定した。その後、イオンスパッタで金コーテ

第115表 分析試料と同定結果

No.	素材	織り方	糸の撚り	糸の直径	繊維のサイズ	備考
1	木綿（ワタ属の種子毛繊維）	平織（密度：高）	S字（右撚り）	約 350 μm	直径約 10 μm	炭化
2	麻（アサ類の靱皮繊維）	平織（密度：低）	S字（右撚り）	約 310 μm	直径約 15 μm	炭化

イングを施し、走査型電子顕微鏡（KEYENCE 社製 VE-9800）を用いて観察と計測を行った。

3. 結果

観察の結果、No.1はワタ属の種子毛繊維で作られた木綿、No.2はアサ類の靱皮繊維で作られた麻であった。結果を第115表に示す。以下に、繊維の形状について特徴を記載し、試料写真と走査型電子顕微鏡写真を第357図に示す。

1. ワタ属 *Gossypium* アオイ科

第357図2a-d (No.1)

種子毛繊維：繊維の直径は、約 10 μm である。繊維の側面は扁平なりボン状で、全長にわたり天然の撚りがみられる。断面は中空部分があり、ソラメ型や馬蹄型など多様な形態となる。以上の形態から、ワタ属の種子毛繊維と同定した。

試料は、炭化した平織の布で、太さ約 350 μm の糸で織られている。糸は繊維を束ねて、緩く右に撚られている。

2. アサ類 第357図3a-d (No.2)

靱皮繊維：直径約 15 μm である。繊維の側面は、繊維軸方向に線条が走り、所々に節を有する。断面は多角形で、中心には内腔があると思われる。以上の形態から、アサ類の茎から採取された靱皮繊維と同定した。アサには、アサ属のアサ (*Cannabis sativa* L.) やイラクサ科のカラムシ (*Boehmeria nivea* var. *nipponnivea*) があり、

引用・参考文献

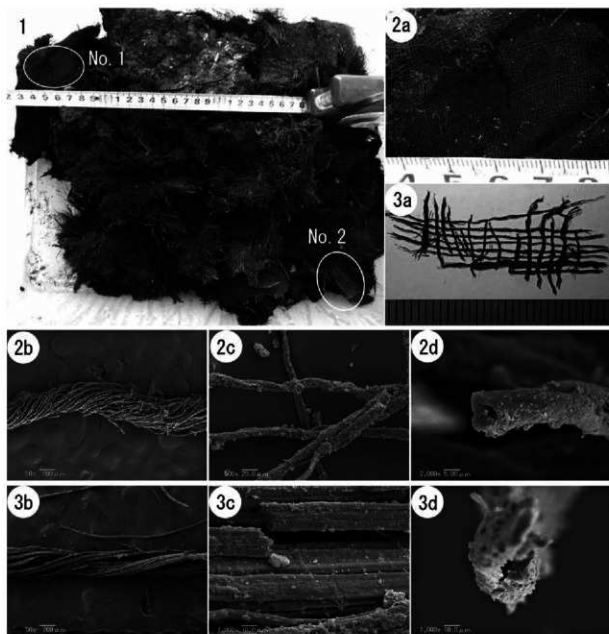
- 小林和典・佐々木由香・能城修一・鈴木三男（2015）南元町遺跡3次調査出土繊維製品等の素材植物。国際文化財株式会社編「南元町遺跡Ⅲ」：248-254。住友不動産株式会社・国際文化財株式会社。
- 篠崎茂雄（2014）アサ利用の民俗学的利用。工藤雄一郎編「国立歴史民俗博物館研究紀要 第187集 縄文時代の人と植物の関係史」：405-424。国立歴史民俗博物館。
- 鈴木三男（2012）東宮遺跡出土繊維の繊維素材。財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団編「東宮遺跡（2）一遺物編一」：478-479。財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団。
- 山田都一（2003）改訂 衣服繊維・材料学（増補）。333p。コロナ社。

断面や中心の内腔の形状により識別される。本試料は炭化して断面の形状が崩れているため、アサ類までの同定とした。試料は、炭化した平織の布で、太さ約 310 μm の糸で織られている。糸は繊維を束ねて、緩く右に撚られている。

4. まとめ

2点の布は、それぞれ異なる素材で織られている。織りの密度が高い布（No.1）は木綿、織りの密度が低い布（No.2）は麻であった。布No.2の麻については、種類の特定には至らなかった。

アサ (*Cannabis sativa* L.) の布は、新宿区の南元町遺跡から出土した近世～近代の織物（小林ほか2015）、群馬県長野原町の東宮遺跡から出土した近世の布でも確認されている（鈴木2012）。アサは、民俗学の事例では、紐や縄類、細く割いて糸に績いたものから普段着や作業着が作られ、カラムシは着物や高級織物の加工に用いられており、利用は明確に区別されていた（篠崎2014）。本試料の元の製品は不明であるが、綿の塊（綿の分析の項参照）と、布No.1の木綿、布No.2の麻が混在して出土しており、いずれもが同一製品に利用されていた可能性がある。製品としては布団や綿入れなどが考えられ、日用品としてのアサ (*Cannabis sativa* L.) が利用された可能性が高い。



1. 試料全体の写真と採取箇所、2a. No. 1の試料写真、3a. No. 2の試料写真
2b～2d. No. 1の走査型電子顕微鏡写真（b：糸の側面、c：繊維の側面、d：繊維の横断面）
3b～3d. No. 2の走査型電子顕微鏡写真（b：糸の側面、c：繊維の側面、d：繊維の横断面）

第 357 図 栗橋宿本陣跡出土の布片の試料写真と走査型電子顕微鏡写真

10. 綿の同定

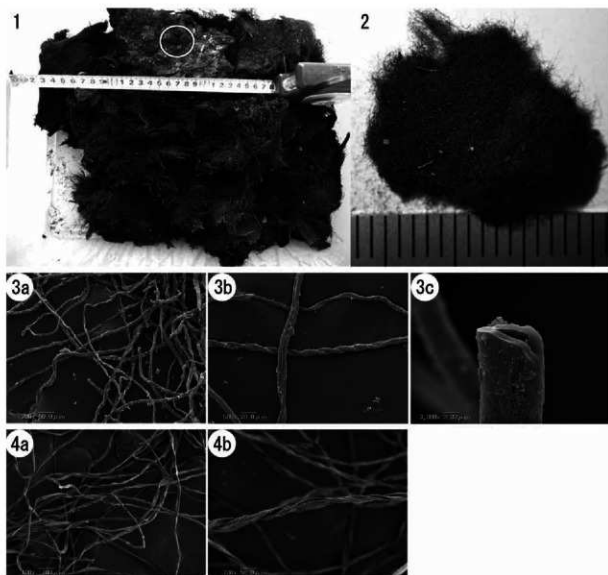
1. はじめに

栗橋宿本陣跡から出土した綿について、素材の同定を行った。

2. 試料と方法

試料は第 497 号土壌から出土した綿の塊が 1

点である。写真を撮影した後、試料の一部を採取し、繊維を直径 1 cm の真鍮製試料台に両面テープで固定した。その後、イオンスパッタで金コーティングを施し、走査型電子顕微鏡（KEYENCE 社製 VE-9800）を用いて観察と計測を行い、現生



1. 試料全体の写真と採取箇所（○印の箇所）、2. 採取試料の写真、
3a-3c. 試料の走査型電子顕微鏡写真
4a・4b. 現生綿の走査型電子顕微鏡写真

第 358 図 栗橋宿本陣跡第 4 次出土の綿の試料写真と走査型電子顕微鏡写真

試料と比較を行った。

3. 結果

観察の結果、繊維はワタ属の種子毛繊維の綿であった。次に、繊維の形状について特徴を記載し、試料写真と走査型電子顕微鏡写真を第 358 図に示す。

ワタ属 *Gossypium* アオイ科

参考文献

山田都一 (2003) 改訂 衣服繊維・材料学 (増補). 333p, コロナ社.

第 358 図 3a-e (試料)、4a-b (現生の綿)

種子毛繊維: 繊維は、直径 $5 \sim 10 \mu\text{m}$ であった。

繊維の側面は扁平なりボン状で、全長にわたり天然の撚りがみられる。断面は中空部分があり、ソラメ型や馬蹄型など多様な形態となる。以上の形態から、ワタ属の種子毛繊維と同定した。

11. 紙片の同定

1. はじめに

栗橋宿本陣跡から出土した紙片について、素材の同定を行った。

2. 試料と方法

試料は、第497号土城出土の炭化した紙片である。肉眼観察と写真撮影の後、試料の一部を採取した。分析はC染色液を用いた繊維分析と、走査型電子顕微鏡による観察を行い、それぞれ繊維判定用和紙見本帳を用いて比較を行った。

C染色液を用いた繊維分析では、JIS P 8120に基づきC染色液を製作した。プレバートに紙試料から採取した繊維を載せて水を滴下し、繊維を分散させた。乾燥後、C染色液を滴下し、カバーガラスを載せて光学顕微鏡で観察を行った。

走査型電子顕微鏡による観察は、試料を直径1cmの真鍮製試料台に両面テープで固定した。その後、イオンスパッタで金コーティングを施し、走査型電子顕微鏡(KEYENCE 社製 VE-9800)を用いて観察を行った。また、試料は炭化に伴う収縮や繊維の変形が考えられたため、比較試料の和紙についても、一部を採取しアルミホイルに包んで火であぶって炭化させたのち、観察を行った。

3. 結果

[C染色液を用いた繊維分析]

試料が炭化していたため染色液が浸透せず、呈色反応はみられなかった(第359図4・5)。

[走査型電子顕微鏡による観察]

細長い繊維で構成された和紙である。繊維は長さ1mm以上、幅およそ4.3～20.6 μm (平均9.9

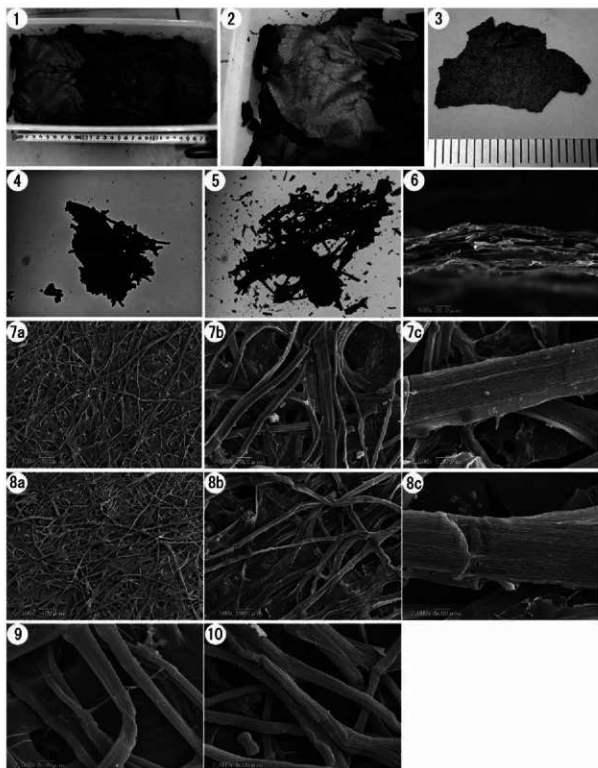
μm)で、円筒形の幅の狭い繊維とリボン状の幅の広い繊維がある。表面は繊維方向に大きな縦筋と細かい縦皺がみられる(第359図6、7a-c)。比較を行った楮紙でも同様の特徴がみられたため(第359図8a-c)、本試料は楮の靱皮繊維の可能性が高いと判断した。なお、特徴が類似する素材には三桠と雁皮の靱皮繊維があるが、三桠の靱皮繊維は円筒形が多く、表面の繊維方向にやや細かく明瞭な縦皺がみられた(第359図10)。また、雁皮の靱皮繊維は、繊維方向に大きな縦筋がみられるが、表面は平滑であった(第359図9)。

4. まとめ

形態観察の結果から、本試料は楮紙である可能性が高い。楮はクワ科コウゾ属の総称で、ヒメコウゾ(*Broussonetia monoica* Hance)、ツルコウゾ(*Broussonetia kaempferi* Siebold)、カジノキ(*Broussonetia papyrifera* (L.) L'Hér. ex Vent.)と、ヒメコウゾとカジノキの雑種であるコウゾ(*Broussonetia* × *kazinoki* Siebold)の4種がある(平井1996)。コウゾ属の樹皮にある靱皮繊維は強靱で長い性質があり、和紙の原料として奈良時代以降利用されている。紙の試料は遺跡から出土する例が少なく、炭化した紙の分析例は確認できなかった。香川県の空港跡地遺跡では紙製品が1点出土しており、C染色液を用いて素材の識別が行われている(香川県埋蔵文化財調査センター1996)。今回の試料ではC染色液による同定は困難であったが、走査型電子顕微鏡による形態観察が有効であった。

参考・引用文献

- 平井信二(1996) 木の大百科, 394p, 朝倉書店。
日本工業(JIS)規格(1998) JIS P 8120 紙・板紙及びバルブ用繊維組成試験法。
香川県埋蔵文化財センター(1996) 空港跡地遺跡Ⅰ, 334p, 香川県教育委員会。
山田真徳・永田勝久(2007) SEMによる和紙の形態観察, 鶴見大学紀要第4部人文・社会・自然科学編, 44, 51-67。
穴倉佐敏・林仲次(2008) 繊維判定用 和紙見本帳, 紙の温度株式会社。
穴倉佐敏編(2011) 必携 古典籍・古文書試料事典, 455p, 八木書店。
永田勝久・山田真徳(2008) SEMによる和紙の形態観察(2), 鶴見大学紀要第4部人文・社会・自然科学編, 45, 39-55。



1-3. 試料写真、4. 光学顕微鏡写真、5. 光学顕微鏡写真（C染色液）、
6. 断面の走査型電子顕微鏡、7a-7c. 試料の走査型電子顕微鏡写真、
8a-8c. 炭化楮紙の走査型電子顕微鏡写真、9. 炭化雁皮紙の走査型電子顕微鏡写真、
10. 炭化三極紙の走査型電子顕微鏡写真

VI 調査のまとめ

報告対象とした栗橋宿跡本陣跡の南半部は、現在の町並みの状況や各種絵図面によって、町屋の敷地と推定される。調査では、短冊形地割を構成する杭列が検出された。位置が現在の町割りとかなり一致しており、町屋の実態を良く示している。

他方、第二面では杭列等の区画施設は認められず、町並みの形成過程に関する大きな問題点と言える。

以下に、各敷地の遺構・遺物の様相をまとめるとともに、そこから明らかになったいくつかの問題点を提起する。なお、時期区分については、第IV章「4. 出土遺物一覧と遺構の時期」を参照されたい。

(1) 絵図との照合

栗橋の絵図類には、本陣池田家所蔵の天保三年『取調絵図面控』、久喜市所蔵の年不詳『栗橋宿往還絵図』、深廣寺所蔵の明治六年『深廣寺所蔵絵図』等がある。久喜市所蔵『栗橋宿往還絵図』

(以下『絵図』)は、江戸期の19世紀前半に作成されたものと推定され、職業や名前が記されている。第360図は、現状の屋敷境と、検出された杭列等を比較して作成した『絵図』との対比案である。各区画は、実際に検出された区画施設を基準として、北から区画A～Gとして区分した。以下に区画毎の様相をみていく。

(2) 区画Aの様相

第一面では日光道中に面して、北側基礎のみ「布掘り+筏地業」、南側基礎は「壺掘り+捨て杭」の工法を用いる第307a号建物跡が検出された。基礎が堅固なことから、土蔵造りであった可能性もある。しかし、他の建物跡と構造が異っており、それ自身が建物構造の違いを示唆している。明治37年の『日本家屋構造』には、住家の側廻りに布掘り、局所の柱に壺掘りを用いることが記されている。これとは基本構造が異なるが、検出された

建物跡も土蔵造りとは限らない。周辺には、組み合わせが不明なものを含めて大小の建物・基礎状遺構が多く検出されており、頻繁に建替えが行われていたことが想定される。第307a号建物跡や区画Bの307b号建物跡は、これらの最終段階に建築されたと考えられるが、建物構造や時期に不明な点が多い。現存古建築の解体でも基礎構造まで含めて調査される例は極めて少なく、関連した調査の積み重ねが望まれる。

敷地「ウラ」にあたる東側では第319～312号建物跡が連なるように検出された。布掘り基礎を有し、土蔵であった可能性が高い。土壌は一部に火災処理土壌がみられるが、少なかった。

区画Aは、『絵図』の「質屋 年寄 長次郎」に該当する。出土資料にも関連する墨書がみられる。即ち、第310号建物跡の「くりはし 山本/いせや長二郎殿」、第391号土壌の「栗橋/いせや長次郎殿 松田」、「栗橋/伊勢屋長二郎殿 嶋屋半兵衛」、第393号土壌の「いせ屋長二郎殿行」、第394号土壌「くりはし/いせや長二郎殿 いせ屋」、第496号土壌の「栗橋/伊勢屋長治郎殿行 万屋喜四郎」である。長次郎関連の墨書資料は他の区画では認められず、『絵図』と明確に対応する。墨書資料が出土した土壌の時期から、伊勢屋長次郎は栗橋5期以前より、区画Aを所持していたと推測される。間口は約4間半である。

(3) 区画Bの様相

日光道中側の第307b号建物跡は、第307a号建物跡とほぼ同じ構造である。その南には、第305・308号建物跡を始め、多くの建物基礎が重複する。なお、第二面ではこれらの範囲に建物跡は認められず、酸化・硬化範囲が広がっていた。構造上、遺構として残り難い建物が存在した可能性が高い。「ウラ」空間には、布掘り基礎の第303・304号建物跡が連なり、土蔵と推定される。これらの建物

跡は、主に他遺構との切り合い関係から、19世紀後半の構築と考えられる。「ウラ」空間の建物範囲内には多くの土壌や井戸跡が分布し、建物構築前の空間利用を窺わせる。これらの土壌は概ね栗橋6～7期に帰属するため、19世紀第3四半期以降に「ウラ」空間に建物が進出したことが示唆される。区画Bは「旅籠屋 清八」に相当する。土壌が明らかに隣接区画より多く、第345号土壌の灯明皿一式や、第357・358号土壌のように一定量の磁器碗を含むものがある。また、第二面の第423号土壌(栗橋4期でも新しい様相)では、組物の陶磁器・漆器が豊富であり、18世紀後葉には旅籠として成立していた可能性も考慮される。間口は約6間と想定される。

(3) 区画C

掘乱が多く遺構が少ない区画である。全体に蛭燭地業を採用する第301号建物跡は、重複関係が確定できない部分もあり年代推定が難しいが、出土した磁器から19世紀後葉の構築と考えるのが妥当だろう。ただし、捨て土台が基礎の中心軸からずれている点や、かなり基礎が深いことは不自然である。同一箇所での建て替えについても考慮さ

れよう。『絵図』では「荒物屋 利兵衛」であるが、現状区画と対比すると、2つ分の敷地であった可能性もある。間口は約8間である。

(4) 区画D1・D2

区画D1～2間は、遺構としての区画が認められないが、面積と現況区画から分割した。区画D1の第314号建物跡は遺物から19世紀後半と判断される。第二面に大型の第466・477号土壌があり、陶磁器が比較的多く出土している。『絵図』では「医師 宗芸」であり、間口は4間と想定した。

区画D2の第601号建物跡は、基礎内に瀬戸美濃系磁器を含み、栗橋8期の火災処理土壌(第602号土壌)に掘り込まれる。19世紀初頭～中葉に建てられた建物である。基礎は砂とシルトの互層で、捨て杭・筏地業等の工法は見られない。建物基礎下層からは、18世紀中葉のせんじ碗・腰緒碗が一括して出土した。『絵図』では「茶屋 七郎左衛門」であり、間口4間と想定した。なお、第601～603号土壌は、出土した文久永宝の初繰年である1863年以降の火災処理に伴う土壌である。

(5) 区画E・F

遺構としては、第601号杭列が存在し、明治前半期まで機能していたと考えられるが、現況は一つの区画である。『絵図』との対比でも前後の区画との関連から、2区画とするのが難しい。便宜上、2区画併せて間口6間半、「温純屋 音吉」に比定するが、遺構上は明らかに2区画の土地と考えられる。

第一面では、区画Eに小型の円・不整形土壌が密集する。区画Fには大型の方形土壌がみられる。第二面でも、区画Eには埋設桶が集中し、区画Fに第604号建物跡がある。以上のように『絵図』との対比が難しいが、F区第605号土壌では、8期の様相を示す燭徳利や磁器杯の組物が出土しており、飲食業に係る遺物の可能性が高い。なお、F区東部には第一・二面でほぼ同じ位置に井戸が構築されており、栗橋4期～7期にかけての使用



第360図 絵図と調査区の対比表

が想定される。井戸下層からは多量の蕎麦殻が検出された。

(6) 区画G

第602号建物跡は、陶磁器が比較的多く、栗橋6期頃の建物と考えられる。建物範囲の中心部に栗橋8期の第654号土壌が検出されており、19世紀半ばには解体されたものと考え得る。捨て土台は4本一組で長軸方向に並べられた丸太である。捨て杭は南西部の一隅に採用される。なお、本文中に述べたように、本来は樺地業であった可能性もある。その東から検出された第605号建物跡は、基礎埋土が区画D2の第601号建物跡とよく似ており、時期も栗橋6期と考えられる。これらの建物跡は比較早い時期の土蔵建物と推定される。区画E・Fとの関係から『絵図』との対比に若干問題があるが、『旅籠屋 友八』の区画と思われる。ヨーロッパ産を始めとする大皿類が多い第654号土壌の遺物は、旅籠に関する一括資料の可能性があり、開口は6間半である。

(7) 火災処理に係る土壌

第一面の土壌の中で特に注目されるのは、火災処理に係る土壌（以下、火災土壌と略）である。これらは、焼けた瓦・土壁材を多く含んでおり、他の土壌とは一見して区別できた。

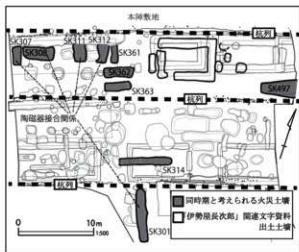
調査区の北側で検出された、第301・308・

311・312号土壌は、重複関係がないにもかかわらず、陶磁器類が顕著に接合している。同時期の火災土壌として間違いないであろう。このほか第307・314・361～363号土壌も、同文の被熱した磁器の出土と各土壌の配置から、これらと同時期の火災土壌と考えられる。また、第301・314号土壌から検出された炭化した繊維製品と同じものが第362・497号土壌からも出土し、陶磁器の年代観からも、やはり同時期の火災土壌と捉えられる。

これらの火災土壌の分布を第361図に示す。区画Aに集中するが、区割りを跨いで分布していることが分かる。敷地が異なる第301号土壌と第308・311・312号土壌から出土した陶磁器が接合するため、この火災処理に際して町割り（区画境）が機能していないことを示す。第301・308・311・312号土壌の出土陶磁器は一括して第135～147図に示した。最新期の磁器は、僅かな瀬戸美濃系磁器端反碗である。高い蛇の目状高台を有する皿も出土するが、裏銘を有する古手のタイプである。白土染付けの鍋蓋等は第301号土壌から出土したもので、重複遺構からの混在と判断される。陶磁器の様相からは、19世紀前葉の年代が与えられ、具体的には1810～20年代の様相と推定される。

(8) 文化・文政期の大火

文化・文政期は栗橋で火災が頻発した時期であるが、このうち文化7年（1810）の弥七火事と文政5年（1822）の大火の規模が大きい。時期的には後者が火災土壌に係る火事の候補となろう。この火事について、『御閑所御用書抜』では「文政五年正月三（二）日夜四ツ時上町百姓長次郎店弥四郎方より出火、上町・鍛冶町・舟戸町迄類焼、尤御閑所矢来土手通大類焼、（中略）惣家数百三十拾宅軒之由也」と伝えている（埼玉県教育委員会2002）。弥四郎の住所は不詳ながら、上町は本陣を含む一帯である。陶磁器の時期を鑑みると、ここに取り上げた火災処理土壌は、文政5年の火災に伴う可能性が極めて高い。火災土壌は遺物也多



第361図 火災処理に係る土壌の分布

く、時期が特定できる一括資料として、今後の研究に益する部分が大きい。また、火災処理土壌が区画を無視して構築されている点は、火災による延焼範囲を示すのみならず、この段階で敷地割りやリセットされている可能性を示唆する。あるいは、第一面杭列の敷設は、文化・文政期の大火を契機に整備された可能性を考慮すべきであろう。

火災土壌の一つ、第497号土壌からは「紺」の記録がある炭化文書が出土しており、各土壌から炭化した繊維製品が多量に出土している。繊維製品の量は、通常の火災処理としてはかなり多い。区画Aの第400号土壌からは、「栗橋/綿屋彦三郎殿」の墨書がある木製品2点が出土しているが、綿屋彦三郎については『絵図』等に見られない。文政期の火災は絵図の作成前と考えられ、文献上認められない住人に係る遺物とも考え得る。

(9) 遺物の様相と遺構の時期

遺物の様相についても検討課題が多い。肥前(波佐見)系磁器では「板屋」染付銘の小碗や皿(第254図40・第335図4等)が出土し、第3地点の調査でも同文の碗・皿が出土している(埼玉県埋蔵文化財調査事業団2018)。板屋は明治35年『営業便覧』に「米雑穀商 板屋商店」と記され、第3地点の向い側に当たる。人名等から『絵

図』にみえる「年寄 庄兵衛」まで遡るものらしい。皿に描かれた屋号と記号(カギに「上△」)は『営業便覧』と一致し、栗橋宿から生産地に注文していることが判る。

土器類では、江戸近郊の製品とは異なる在地系の土器が多く、瓦も第678号土壌の刻書資料から、行田市荒木での生産が確実視される。明治8年の行政文書には荒木村に3名の瓦生産者の名があり、享保元年(1716)創業と伝える(埼玉県立民俗文化センター1986)。木製品・金属製品・石製品も含めた各種遺物の編年が進めば、宿場をめぐる流通についても有益な情報が得られるであろう。

陶磁器等から想定される遺構の時期は、第一面では18世紀末以降で、概ね天明期以降の遺構面を捉えたものと考えられる。第二面はそれ以前だが、大多数の遺構が18世紀半ばを遡らず、栗橋宿の形成を考える上で大きな問題となる。一方、第755号土壌は17世紀前葉の土壌であり、少数ながら宿場開設に近い時期の土壌が捉えられた意味は大きい。

近世宿場町や本陣跡の調査は少なく、現段階では比較できる調査例に限られる。栗橋宿本陣跡では、宿場町の様相が広範囲で捉えられた。近世宿場町の実態をよく示す調査例と言えるであろう。

参考・引用文献

- 大館勝治 1986『いわゆるクルリボウについて』『研究紀要』第8号 埼玉県立歴史資料館
久喜市教育委員会 2014『久喜市栗橋町史 第二巻 通史編 下』久喜市教育委員会
久喜市教育委員会 2015『久喜市栗橋町史 第一巻 通史編 上』久喜市教育委員会
久喜市教育委員会 2015『図説 利根川と生きる栗橋のあゆみ』久喜市教育委員会
越村 篤 2013『江戸遺跡出土木製品の概観』『江戸と木の文化』江戸遺跡研究会第26回大会発表要旨
埼玉県教育委員会 2002『埼玉県資料叢書』13上 栗橋開所史料 I
埼玉県埋蔵文化財調査事業団 2018『栗橋開所番土屋敷跡』埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第436集
埼玉県埋蔵文化財調査事業団 2018『栗橋宿跡 I』埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第448集
埼玉県民俗文化センター 1986『さいたまの瓦』埼玉県民俗工芸調査報告書第4集
立花壽史也 2000『近世木製品の問題提起—汐留遺跡の出土遺物を例に—』『東京考古』18 東京考古談話会
東京大学埋蔵文化財調査室 1999『東京大学構内遺跡調査研究年報2』東京大学埋蔵文化財調査室
東京大学埋蔵文化財調査室 2011『東京大学構内遺跡調査研究年報7』東京大学埋蔵文化財調査室
東京大学埋蔵文化財調査室 2012『東京大学構内遺跡調査研究年報8』東京大学埋蔵文化財調査室
堀内秀樹 1997『東京大学本郷構内の遺跡における年代的考察』『東京大学構内遺跡調査研究年報1』